令 和 ９ 年 度

東 京 都 立 高 等 学 校
入学者選抜実施要綱・同細目

東 京 都 教 育 委 員 会

令和9年度　都立高等学校入学者選抜の主な日程

1　月

日	曜	主　な　内　容
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	成績一覧表調査委員会
5	火	成績一覧表調査委員会
6	水	成績一覧表調査委員会
7	木	成績一覧表調査委員会
8	金	成績一覧表調査委員会 推薦・IBコース：出願書類提出期間開始
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	調査書記載事項通知締切
16	土	
17	日	
18	月	成績一覧表提出締切 推薦・IBコース出願書類提出期間終了
19	火	
20	水	在京（国際以外）：入学願書受付
21	木	在京（国際以外）：入学願書受付
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	推薦・IBコース・在京（国際以外）：検査
27	水	推薦・IBコース：検査
28	木	
29	金	一次・分割前期・帰国・在京（国際）・通信制（前期選抜）：出願書類提出期間開始
30	土	
31	日	

2　月

日	曜	主　な　内　容
1	月	
2	火	推薦・IBコース・在京（国際以外）：合格発表・入学手続
3	水	推薦・IBコース・在京（国際以外）：入学手続締切
4	木	一次・分割前期・帰国・在京（国際）・通信制（前期選抜）：出願書類提出期間終了 引揚：入学願書受付
5	金	引揚：入学願書受付
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	全日制一次・分割前期・帰国・引揚：入学願書取下げ
11	木	
12	金	全日制一次・分割前期・帰国・引揚：入学願書再提出
13	土	
14	日	
15	月	帰国・引揚・在京（国際）：検査
16	火	
17	水	帰国・引揚・在京（国際）：合格発表・入学手続
18	木	帰国・引揚・在京（国際）：入学手続締切
19	金	
20	土	
21	日	一次・分割前期：学力検査等
22	月	通信制（前期選抜）：学力検査
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	

3　月

日	曜	主　な　内　容
1	月	一次・分割前期 通信制（前期選抜）：合格発表・入学手続
2	火	一次・分割前期 通信制（前期選抜）：入学手続締切
3	水	
4	木	分割後期・全日制二次：入学願書受付
5	金	分割後期・全日制二次：入学願書取下げ
6	土	
7	日	
8	月	分割後期・全日制二次：入学願書再提出
9	火	分割後期・全日制二次：学力検査等
10	水	
11	木	
12	金	分割後期・全日制二次：合格発表・入学手続
13	土	
14	日	
15	月	分割後期・全日制二次：入学手続締切
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	定時制二次：入学願書受付
26	金	定時制二次：学力検査等
27	土	
28	日	
29	月	定時制二次：合格発表・入学手続
30	火	定時制二次：入学手続締切
31	水	

4　月

日	曜	主　な　内　容
1	木	4月募集（前期日程）：入学願書受付 通信制（後期選抜）：入学願書受付
2	金	4月募集（前期日程）：学力検査、合格発表・入学手続 通信制（後期選抜）：入学願書受付
3	土	
4	日	通信制（後期選抜・一橋）：学力検査
5	月	4月募集（前期日程）：入学手続締切 4月募集（後期日程）：入学願書受付 通信制（後期選抜・新宿山吹）：学力検査
6	火	4月募集（後期日程）：学力検査、合格発表・入学手続 通信制（後期選抜・砂川）：学力検査
7	水	4月募集（後期日程）：入学手続締切
8	木	
9	金	通信制（後期選抜）：合格発表・入学手続
10	土	通信制（後期選抜）：入学手続締切
11	日	

※インターネットを活用した出願の入力期間はそれぞれ以下のとおりとする。
令和8年12月18日（金）～令和9年1月18日（月）午後5時：推薦に基づく選抜、国際バカロレア（IB）コース入学者選抜
令和8年12月18日（金）～令和9年2月　4日（木）午後5時：学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）、海外帰国生徒対象選抜（4月入学）
在京外国人生徒等対象選抜（国際）（4月入学）、通信制課程における選抜（前期選抜）

目　　次

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱
第１　推薦に基づく選抜　……1
第２　学力検査に基づく選抜（第一次募集）……9
第３　学力検査に基づく選抜（第二次募集）……２１
第４　成績一覧表及び調査書　……２６
第５　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等　……３２
第６　受検上の配慮　……３５
第７　インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査　……３８
第８　その他　……４１
第９　保護者の転勤等に伴う４月入学者募集　……４２

東京都立国際高等学校国際バカロレアコース入学者選抜実施要綱……４６

海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱
Ⅰ　海外帰国生徒対象（三田・竹早・日野台・国際の各高校）
第１　４月入学生徒の選抜　……５１
第２　９月入学生徒の選抜　……５５
第３　その他　……５６
Ⅱ　引揚生徒対象（深川・光丘・富士森の各高校）……５７
Ⅲ　在京外国人生徒等対象（竹台・田柄・南葛飾・府中西・飛鳥・六郷工科・杉並総合・国際・一橋・浅草・荻窪・砂川の各高校）
第１　４月入学生徒の選抜　……５９
第２　９月入学生徒の選抜　……６２
第３　その他　……６３

東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱
（六本木・大江戸・世田谷泉・稔ヶ丘・桐ヶ丘・小台橋・立川緑・八王子拓真（チャレンジ枠）の各高校）
第１　学力検査等に基づく選抜（第一次募集）……６４
第２　学力検査等に基づく選抜（第二次募集）……６７
第３　本人得点の開示等　……６９
第４　その他　……６９
＜参考＞東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱（第一次募集）主な相違点　…７０

東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱
（一橋・新宿山吹・浅草・六郷工科・荻窪・飛鳥・板橋有徳・八王子拓真（一般枠）・砂川・青梅総合・東久留米総合の各高校）
第１　推薦に基づく選抜　……７１
第２　学力検査等に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）……７２
第３　学力検査等に基づく選抜（分割後期募集）……７７
第４　学力検査等に基づく選抜（第二次募集）……７９
第５　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等　……７９
第６　その他　……７９
＜参考＞東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱（第一次募集・分割前期募集）
主な相違点　……８０

東京都立高等学校通信制課程入学者選抜実施要綱（一橋・新宿山吹・砂川の各高校）
第１　通信制課程における選抜（前期選抜）　……８２
第２　通信制課程における選抜（後期選抜）……８４

第３　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等 ……８６
第４　その他 ……８６

〈参考１〉令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針 ……８７
〈参考２〉令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における連携型中高一貫教育に関わる選抜の実施方針 ……９０
〈参考３〉令和９年度東京都立総合芸術高等学校舞台表現科の入学者選抜における選抜の実施方針 ……９２
別表１　都立高等学校一覧 ……９３
別表２－１　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・全日制） ……９７
別表２－２－１　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・定時制） ……９８
別表２－２－２　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）） ……９９
別表２－３　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・通信制） ……１００
別表３　都立高等学校入学願書再提出先一覧 ……１０１
＜各高校における別表４及び別表５の掲載ページ一覧＞ ……１０２
別表４　令和９年度入学者選抜実施方法一覧 ……１０５
別表４付表　令和９年度推薦実施校における観点別学習状況の評価の活用方法一覧 ……１３６
別表５－１　令和９年度文化・スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法等一覧 ……１３７
別表５－２　令和９年度理数等特別推薦の選抜方法等 ……１７６
別表５付表１　令和９年度文化・スポーツ等特別推薦実施校における観点別学習状況の評価の活用方法一覧 ……１７７
別表５付表２　文化・スポーツ等特別推薦の実技検査の内容等一覧 ……１７８
別表６　実技検査等の内容 ……２１３
別表７　令和９年度第一次募集・分割前期募集等における学力検査問題を自校で作成する高校一覧 ……２２３
別表８　令和７年度以前の中学校卒業者である受検者を対象として面談を実施する高校一覧 ……２２４
別表９－１　令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（全日制課程） ……２２５
別表９－２　令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（定時制課程） ……２２６
別表９－３　令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（通信制課程） ……２２７
別表 10　都内公立中学校等学校番号等一覧 ……２２８
別表 11　令和９年度選抜成績一覧表調査委員会一覧 ……２３９
別表 12　令和９年度選抜用評定等確認表の区市町村別送付先一覧 ……２４１
別表 13　追検査実施方法一覧 ……２４３
別表 14　学力検査以外の検査の内容 ……２６０
別表 15　学校において予防すべき感染症の種類と出席停止期間の基準 ……２７２

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の細目
第１　出願書類についての注意事項等 ……２７３
第２　様式一覧 ……２７９
＜様　式＞
第３　東京都立高等学校応募資格審査取扱要項 ……３３４

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱

令和９年度の東京都立高等学校（以下「都立高校」という。）の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）及び令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針に基づき、この東京都立高等学校入学者選抜実施要綱（以下「実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。ただし、国際バカロレアコース（国際高校）、海外帰国生徒等、チャレンジスクール（八王子拓真高校（チャレンジ枠）を含む。）、定時制課程単位制及び通信制課程の入学者選抜のうち、必要な事項については、別に定める。

第　１　　推薦に基づく選抜

○　推薦に基づく選抜として、一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦（以下「特別推薦」という。）及び理数等特別推薦（以下「特別推薦（理数）」という。）を設ける。

○　推薦に基づく選抜の目的

１　一般推薦

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

２　特別推薦

各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。

３　特別推薦（理数）

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

第１－１　推薦に基づく選抜日程（一般推薦、特別推薦及び特別推薦（理数））

事　　項	日　　時
出　　願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年１月１８日（月）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年１月８日（金）から１月１８日（月）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
検　　査	令和９年１月２６日（火） １月２７日（水）
合格者の発表	令和９年２月　２日（火）　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年２月　２日（火）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ２月　３日（水）　午前９時 ～ 正午
選抜用評定等確認表の送付期限	令和９年３月２日（火）から３月８日（月）までに、別表12の中学校の校長へ各都立高校の校長が発送する。

第１－２　対象学科及び募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第1－3 応募資格

第１－３－１　応募資格

次の(1)から(3)までの全てに該当し、**志願する都立高校を第１志望とする者**。ただし、連携型中高一貫教育に関わる選抜、在京外国人生徒等対象の選抜（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校）及び国際バカロレアコースの選抜に出願する者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中学校を卒業する見込みの者並びに都立中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者の応募は認めない。

(1) 令和８年１２月３１日現在、都内（ただし、本項(3)オに該当する者については、都外でも可とする。）に所在する学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）に在籍し、令和９年３月に都内の中学校を卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者

(2) 以下による者

ア　一般推薦

一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長（以下「中学校長」という。）の推薦を受けた者

イ　特別推薦

特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者

ウ　特別推薦（理数）

特別推薦（理数）に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者

(3) 保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下、本実施要綱において同じ。）と同居している者で、令和８年１２月３１日現在、都内に住所を有し、それ以降も都内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者、又は令和８年１２月３１日現在、都内に住所を有し、それ以降も都内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き都内から通学することが確実で次のアからエまでのいずれかに該当する者、あるいは、オに該当する者。ただし、次のアからエまでのうち、父母のどちらか一方とも同居していない場合は、具申書（様式14）の提出が必要（東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の細目（以下「細目」という。）第１－４「具申書の提出」を参照）。エに該当する者のうち都内に所在する児童福祉施設、又はオに該当する者のうち都外に所在する児童福祉施設に入所している東京都の措置児童の場合は、具申書の提出に代えて、当該児童福祉施設の長からの「意見書」の提出が必要。なお、一般推薦と特別推薦とを同時に志願する者は、具申書及び意見書は１部のみ提出する。

ア　父母のどちらか一方又は父と母が行方不明で、父母のどちらか一方又はおじ、おば、祖父母、兄姉等（以下「おじ等」という。）と同居している者

イ　父母のどちらか一方又は父と母が療養・転勤のため、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

ウ　父と母が離婚したため又は離婚するため別居している場合で、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

エ　その他、志願者と保護者がやむを得ず別居中であると認められる者

オ　都外に所在する都立特別支援学校の中学部を卒業する見込みの者又は都外に所在する児童福祉施設に入所している東京都の措置児童で、中学校を卒業する見込みであり、令和８年１２月３１日に都内に住所を有していなくても、入学日までに保護者と同居し、都内へ転居することが確実な者

なお、東日本大震災（平成２３年3月１１日発生）、平成２８年熊本地震（平成２８年４月１４日発生）、平成３０年７月豪雨、平成３０年北海道胆振東部地震（平成３０年９月６日発生）、令和元年台風第１９号、令和２年７月豪雨、令和６年能登半島地震（令和６年１月１日発生）又は令和８年熊本地震（令和８年７月２８日発生）において、当該災害の発生日現在、当該災害による災害救助法適用地域に住所を有し、被災したことにより、引き続き当該地域に在住することが困難になった者で、既に都内に避難し都内中学校に在学する者については、事情により都内に住民票を異動することができていない場合であっても志願することができる。その際、志願者が父母のどちらか一方とも同居していない場合は、志願者と保護者がやむを得ず別居中であると認められる者とし、具申書（様式14）を提出すること。なお、一般推薦と特別推薦とを同時に志願する者は、１部のみ提出する。

第１－３－２　応募資格審査に準ずる手続が必要な場合

(1) 都内の島しょ（以下「島しょ」という。）の中学校を卒業する見込みの者のうち、入学日までに島しょ以外の都内又は他の島しょに保護者の１人以上とともに転居すること又は都内在住の身元引受人と同居することが確実な者は、島しょからの転居に関する申立書（様式15）の提出が必要となる。なお、一般推薦と特別推薦とを同時に志願する者は、１部のみ提出する。

(2) 大島海洋国際高校に出願する者のうち、保護者が大島を除く都内（大島を除く島しょも含む。）に住所を有し、志願者本人が大島に在住する身元引受人になり得る親族と同居する場合及び志願者と保護者の１人以上が大島に転居

する場合には、島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書（様式15-2）の提出が必要となる。

また、大島海洋国際高校へ出願する者のうち、保護者が大島を除く都内（大島を除く島しょも含む。）に住所を有し、志願者本人が大島に所在する寄宿舎に入舎する場合には、当該都立高校の校長が必要とする転居等に関わる書類の提出が必要となる。

第1－4 出願方法

(1) 一般推薦

志願者は、１校１コース又は１科（１分野）に限り出願する。志願変更はできない。

志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に２科（２分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く。）は、第２志望として他の１科（１分野）に限り指定することができる。ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第１志望とした場合、他方を第２志望に指定することはできない。

（例１） 第１志望を八王子桑志高校の産業科のデザイン分野とした場合、同じ学科のクラフト分野を第２志望に指定することができる。

（例２） 第１志望を松が谷高校の外国語コースとした場合、普通科を第２志望に指定することはできない。

（例３） 第１志望を瑞穂農芸高校の農業に関する学科の園芸科学科とした場合、同じ学科の畜産科学科を第２志望に指定することはできるが、家庭に関する学科の生活デザイン科を第２志望に指定することはできない。

（例４） 第１志望を工芸高校の工業に関する学科のマシンクラフト科とした場合、同じ学科のアートクラフト科を第２志望に指定することができる。

(2) 特別推薦

志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから１種目を指定し、１コース又は１科（１分野）に限り出願する。志願変更はできない。また、当該都立高校の一般推薦にも出願することができる。この場合の出願方法は、前項第１－４(1)の一般推薦における出願方法による。

(3) 特別推薦（理数）

志願者は、１校１科に限り出願する。志願変更はできない。また、他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。

第1－5 出願手続

第１－５－１　中学校長の手続

中学校長は、次の(1)から(4)までにより、出願に必要な書類の作成等を行い、実施要綱第１－５－２－１に定める出願に要する書類及び志願者一覧を同封し、都立高校の校長（以下「都立高校長」という。）宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により書類提出期間中に必着するように提出する。

(1) 一般推薦、特別推薦及び特別推薦（理数）にあっては、中学校長は校内の推薦委員会等の厳正な審査を参考にして被推薦者を決定し、一般推薦書（様式１）、文化・スポーツ等特別推薦書（様式２）及び理数等特別推薦書（学校所定の様式）をそれぞれ作成する。

なお、推薦書を提出する際は、都立高校長宛ての親展扱いとする。

(2) 入学願書（様式３）

中学校長は、志願者が出願サイトに入力した事項及び添付された写真が本人のものであること並びに志願しようとする都立高校への応募資格があることを確認し、中学校用の出願管理サイトを通じ、承認の登録を行う。

(3) 成績一覧表（様式11）

ア　作成方法

実施要綱第４－３－１及び第４－３－２に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先

成績一覧表調査委員会の調査を経たものを、都立高校長宛ての親展扱いとし、令和９年１月１８日（月）までに、生徒が出願を予定している都立高校長に中学校長が提出する。郵送する場合は、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法とし、上記の期日までに当該都立高校に到着するように、送付すること。

(4) 調査書（様式10）

ア　作成方法

実施要綱第４－６－１、第４－６－２及び第４－６－３に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先

都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法で、書類提出期間に必着するように提出する。

ウ　提出部数　　１部

(5) 志願者一覧（様式32）

ア　作成方法

志願者一覧は、所定の様式（様式32）により課程及び学科等ごとに１枚ずつ作成する。

イ　記載事項

志願者一覧には、次の事項を記載する。

(ｱ) 中学校名及び学校番号（別表10参照）

(ｲ) 志願者一覧の枚数

(ｳ) 成績一覧表同封の有無

(ｴ) 志願者数

(ｵ) 氏名、性別、調査書の有無

(ｶ) その他必要な事項

ウ　提出方法及び提出先

都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法で、書類提出期間に必着するように提出する。

第１－５－２　志願者の手続

第１－５－２－１　出願に要する書類等

(1) 一般推薦

ア　一般推薦書（様式１）

イ　入学願書（様式３）

インターネット出願では、出願サイトに志願者情報等を入力する。

ウ　調査書（様式10）

エ　自己ＰＲカード（様式12）

オ　入学考査料　全日制２，２００円

（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。）

(2) 特別推薦

ア　文化・スポーツ等特別推薦書（様式２）

イ　入学願書（様式３）

インターネット出願では、出願サイトに志願者情報等を入力する。

なお、一般推薦を同時に志願する者は、特別推薦の内容と併せ、出願サイトに必要事項を入力する。

ウ　調査書（様式10）

一般推薦を同時に志願する者は１部のみの提出でよい。

エ　自己ＰＲカード（様式12）

一般推薦を同時に志願する者は１部のみの提出でよい。

オ　入学考査料　全日制２，２００円

（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。ただし、一般推薦を同時に志願する場合は、一般推薦の出願にも入学考査料が必要となる。その際は、一般推薦・特別推薦双方について入学考査料の支払が必要となる。）

(3) 特別推薦（理数）

ア　理数等特別推薦書（学校所定の様式）

イ　入学願書（学校所定の様式）

インターネット出願では、出願サイトに志願者情報等を入力する。

ウ　調査書（様式10）

エ　自己ＰＲカード（様式12）

オ　科学分野等の研究に関するレポート（Ａ４判２枚以内、様式任意）

カ　入学考査料　全日制２，２００円

（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。）

第１－５－２－２　提出方法

(1) 志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、中学校長の承認を経た上で、入学願書の提出を行う。また、出願に要する書類（入学願書を除く。）を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

なお、上記の手段による提出ができないやむを得ない事情がある場合には、志願者は、中学校を通じて志願先の都立高校に連絡の上、出願に要する書類（入学願書を含む。）を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。この場合、入学考査料は所定の納付書による納付とし、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けた上で提出すること。

(2) 入学願書提出後は、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更を認めない。

(3) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

第１－５－３　受検票の交付

出願を受け付けた都立高校長は、出願サイト上で受検票を交付する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行わなかった者に対しては、出願を受け付けた都立高校長が中学校を通じて交付する。

第1－6 検査等の実施及び採点

(1) 検査内容

ア　一般推薦及び特別推薦

(ｱ) 一般推薦の志願者全員に個人面接を実施する。集団討論については、必要と判断した都立高校において実施することができる。また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査（以下「小論文又は作文等の検査」という。）のうちから、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施する（別表４を参照）。

特別推薦の志願者全員に個人面接又は集団面接及び実技検査を実施し、その他の検査の内容については当該都立高校長が定める（別表５－１を参照）。

(ｲ) 一般推薦における小論文又は作文等の検査の実施については、別表４（１０５ページ）のとおりとする。

(ｳ) 一般推薦において、第１志望及び第２志望とする科（分野）で実施する小論文又は作文等の検査の課題が異なる場合は、それぞれの課題を課すものとする。

(ｴ) 特別推薦と同時に一般推薦を志願する者については、一般推薦において実施する個人面接及び小論文又は作文等の検査についても課すものとする。

イ　特別推薦（理数）

科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の検査を実施する。

(2) 日時等

ア　実 施 日　　実施要綱第１－１のとおり

イ　実施時間　　受検票により指定する。

ウ　検査会場　　受検票により指定する。

なお、大島海洋国際高校を志願する者のうち、島しょ以外に住所を有する者の検査会場は、東京都教職員研修センターとする。また、大島に住所を有する者の検査会場は同校とし、大島以外の島しょに住所を有する者は、同校又は東京都教職員研修センターのどちらかを検査会場として希望することができる。

(3) 採点

推薦に基づく選抜を実施する各都立高校に、採点委員会を置く。

ア　採点委員会に委員長を置く。委員長は、当該都立高校長とする。

イ　採点委員会は、当該都立高校長、当該都立高校長が指定する副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭及び日勤講師（非常勤教員）並びにその他当該都立高校長が指定する者をもって組織する。

ウ　採点委員会は、当該都立高校で実施した検査の答案等の採点を行う。

エ　委員長は、委員を指揮監督し、採点についての責任を負う。

オ　委員長は、採点責任者を命ずる。

第1－7 選考

第１－７－１　一般推薦の選考

(1) 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法（別表４を参照）に基づき、調査書、個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む。）、小論文又は作文等の検査を総合した成績（以下「総合成績」という。）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料（自己ＰＲカードを含む。）により行う。

(2) 全ての都立高校で、調査書における各教科の観点別学習状況の評価（全２７観点）又は評定（９教科）のどちらか一方を調査書点として点数化する。ただし、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、観点別学習状況の評価を用いる。

ア　観点別学習状況の評価を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて、特定の観点の配点を高くするなどして活用する。

イ　評定を用いる場合、特定の教科の評定に比重をかけることは行わない。

ウ　観点別学習状況の評価や評定に斜線／（スラッシュ）のある調査書の各教科の学習の記録の処理方法については、各都立高校が適切に定める。

エ　「Ａ」と朱書された調査書（実施要綱第４－６－３(8)アを参照）により調査書点を算出する際には、受検者に不利にならないように扱う。

(3) 個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む。）、小論文又は作文等の検査の結果については、各都立高校が適切に基準を定めてそれぞれ点数化する。

(4) 自己ＰＲカードは、点数化しない。

なお、個人面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

(5) 選考に当たっては、一般推薦書（様式１）の〔推薦理由〕欄にも十分配慮する。

(6) 選考のための順位を定めるに当たり、総合成績が同点である場合は、都立高校長が必要とする資料（自己ＰＲカードを含む。）を用いて、同順位が出ないように配慮する。

第１－７－２　特別推薦の選考

(1) 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法（別表５－１を参照）に基づき、総合成績により行う。

(2) 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接又は集団面接及び実技検査のほか、小論文又は作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用いる。

なお、個人面接や集団面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

(3) 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が適切に定める。

(4) 受検者のうち、各都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から入学許可予定者（以下「合格者」という。）の候補者（以下「合格候補者」という。）を決定する。

(5) 選考に当たっては、文化・スポーツ等特別推薦書（様式２）の〔推薦理由〕欄にも十分配慮する。

(6) 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないように配慮する。

第１－７－３　特別推薦（理数）の選考

(1) 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法（別表５－２を参照）に基づき、総合成績により行う。

(2) 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問及び小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用いる。

なお、個人面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

(3) 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が適切に定める。

(4) 受検者のうち、各都立高校で定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定する。

(5) 選考に当たっては、理数等特別推薦書（学校所定の様式）の〔推薦理由欄〕にも十分配慮する。

(6) 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないように配慮する。

第１－７－４　選考委員会

推薦に基づく選抜を実施する各都立高校に、選考委員会を置く。

(1) 選考委員会に委員長を置く。委員長は、当該都立高校長とする。

(2) 選考委員会は、当該都立高校長、副校長、経営企画課（室）長及び当該都立高校長が指定する教職員をもって組織する。

(3) 選考委員会は、面接（個人面接（集団討論を実施する場合は集団討論を含む。）又は集団面接）及び小論文又は作文等の検査の実施に関する事務を行うほか、合格候補者の決定その他選抜に関する事務を行う。

第１－７－５　合格候補者の決定

(1) 一般推薦及び特別推薦を実施する都立高校

ア　全ての種目等の募集人員を男女別に定めて特別推薦を実施する場合

(ｱ)　種目等ごとに、当該種目等の男女別の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により男女別の総合成績の順に決定し、これを当該種目等の特別推薦合格候補者とする。ただし、当該種目等の特別推薦合格候補者の人員は、当該都立高校があらかじめ定めた当該種目等の男女別の募集人員を超えてはならない。

(ｲ)　全ての種目等の特別推薦合格候補者を、当該都立高校の特別推薦合格候補者とする。

(ｳ)　当該都立高校の推薦に基づく選抜の募集人員（コース及び科（分野）ごとに定めている場合はその募集人員。以下同じ。）に相当する人員から、当該都立高校の特別推薦合格候補者となった人員を減じた人員を一般推薦の募集人員とし、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該都立高校の一般推薦合格候補者とする。

イ　全ての種目等の募集人員を男女合同に定めて特別推薦を実施する場合

(ｱ)　種目等ごとに、当該種目等の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該種目等の特別推薦合格候補者とする。ただし、当該種目等の特別推薦合格候補者の人員は、当該都立高校があらかじめ定めた当該種目等の募集人員を超えてはならない。

(ｲ)　全ての種目等の特別推薦合格候補者を、当該都立高校の特別推薦合格候補者とする。

(ｳ)　当該都立高校の推薦に基づく選抜の募集人員に相当する人員から、当該都立高校の特別推薦合格候補者となった人員を減じた人員を一般推薦の募集人員とし、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該都立高校の一般推薦合格候補者とする。

ウ　種目等ごとに募集人員を男女別又は男女合同に定めて特別推薦を実施する場合

(ｱ)　募集人員を男女別に定めた種目等ごとに、当該種目等の男女別の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により男女別の総合成績の順に決定し、これを当該種目等の特別推薦合格候補者とする。ただし、当該種目等の特別推薦合格候補者の人員は、当該都立高校があらかじめ定めた当該種目等の男女別の募集人員を超えてはならない。

(ｲ)　募集人員を男女合同に定めた種目等ごとに、当該種目等の男女合同の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該種目等の特別推薦合格候補者とする。ただし、当該種目等の特別推薦合格候補者の人員は、当該都立高校があらかじめ定めた当該種目等の男女合同の募集人員を超えてはならない。

(ｳ)　全ての種目等の特別推薦合格候補者を、当該都立高校の特別推薦合格候補者とする。

(ｴ)　当該都立高校の推薦に基づく選抜の募集人員に相当する人員から、当該都立高校の特別推薦合格候補者となった人員を減じた人員を一般推薦の募集人員とし、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該都立高校の一般推薦合格候補者とする。

(2) 一般推薦のみを実施する都立高校

当該都立高校の推薦に基づく選抜の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該都立高校の一般推薦合格候補者とする。

(3) 特別推薦（理数）のみを実施する都立高校

当該都立高校の特別推薦（理数）の募集人員に相当する人員を、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績の順に決定し、これを当該都立高校の特別推薦（理数）合格候補者とする。

第１－７－６　合格者の決定

(1) 当該都立高校長は、選考委員会で決定した合格候補者を合格者として決定する。

(2) 合格者として決定した後にコース及び科（分野）を変更することはできない。

第1－8 合格者の発表

(1) 発表方法

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

なお、大島海洋国際高校の合格者の発表は、東京都教職員研修センターにおいても行う。

(2) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（推薦）（様式７）を交付する。

(3) 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

第1－9 入学手続（入学確約書の提出）

合格者は、入学手続期間内に入学確約書（推薦）（様式８）を提出し、所定の納付書により、納付期間内（合格発表日の翌日から起算して５日以内。ただし、５日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日）に入学料（全日制 ５，６５０円）を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。

入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

また、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効とする。

都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校が交付する。都立高校が必要とするその他の書類は、当該都立高校長が定める期間内に提出する。

なお、大島海洋国際高校の入学手続は、東京都教職員研修センターにおいても行う。

第１－１０ 辞退防止への指導

推薦に基づく選抜の志願者については、出願後の辞退等が起こらないよう、中学校長が十分に指導する。

中学校長は、志願者が病気等のやむを得ない理由のため受検できなかった場合（受検を辞退した場合を含む。）及び合格発表後に辞退した場合は、その事情を明らかにした理由書（様式任意）を当該都立高校長に郵送等により速やかに提出する。ただし、インフルエンザ等の感染症に罹(り)患したことにより受検できなかった場合については、罹患証明書等の写しにより理由書に代えることができる。

第　２　　学力検査に基づく選抜（第一次募集）

第2－1 第一次募集日程

事　　項		日　　時
出　　願		インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後5時まで 〔書類提出期間〕令和９年　１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着）
志願変更（注）	入学願書取下げ	令和９年２月１０日（水）　午前９時　～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年２月１２日（金）　午前９時　～ 正午
学力検査及び面談		令和９年２月２１日（日）　集合　午前８時３０分 （定時制成人受検者特別措置者も同じ。）
面接及び実技検査等		令和９年２月２１日（日）以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表		令和９年３月　１日（月）　（全日制）午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分（校内掲示） （定時制）午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午後４時（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月　１日（月）　（全日制）午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 （定時制）午後４時　～ 午後８時 ３月　２日（火）　（全日制）午前９時　～ 正午 （定時制）午後４時　～ 午後８時
選抜用評定等確認表の送付期限		令和９年３月２日（火）から３月８日（月）までに、別表12の中学校長へ各都立高校長が発送する。

（注）　志願変更ができるのは、全日制に出願した者のみであり、実施要綱における定時制（夜間学年制）に出願した者は、志願変更はできない。

第2－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第2－3 応募資格

第２－３－１　応募資格

都立高校に入学を志願することのできる者は、平成２４年４月１日以前に出生した者のうち、次の表①欄の(1)から(5)までのいずれかに該当し、高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、かつ、②欄中のいずれかに該当する者とする。ただし、第一次募集入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、在京外国人生徒等対象の選抜（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校）及び国際バカロレアコースの選抜における合格者、通信制課程の前期選抜に出願する者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）並びに都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者の応募は認めない。また、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜（国際高校）又は東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学者選抜の合格者は、第一次募集に出願していても、受検を認めない。

なお、既に高等学校を卒業している者が、卒業した学科と同一の学科に再入学することはできない。

①

(1) 令和９年３月に中学校を卒業する見込みの者
(2) 中学校を卒業した者
(3) 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号。以下「施行規則」という。）第９５条に規定する次のアからオまでのいずれかに該当する者
ア　外国において、学校教育における９年の課程を修了した者
イ　文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
ウ　文部科学大臣の指定した者

エ　就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和４１年文部省令第３６号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者

オ　その他高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(4) 日本国内において、外国人学校の教育により、日本の９年の義務教育相当の教育を受けた外国籍を有する者又は令和９年３月３１日までに修了する見込みの外国籍を有する者

(5) 令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第１号に規定する外国において学校教育における９年の課程（以下「現地校」という。）を修了する見込みの者又は同条第２号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「日本人学校」という。）の当該課程を修了する見込みの者

②

＜全日制を志願する者＞

(1) 都内の中学校に在学している者のうち、保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者、又は都内の中学校に在学している者のうち、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実で、次のアからエまでのいずれかに該当する者、あるいは、オに該当する者。ただし、アからエまでのうち、父母のどちらか一方とも同居していない場合は、具申書（様式14）の提出が必要（細目第１－４「具申書の提出」を参照）。エに該当する者のうち都内に所在する児童福祉施設、又はオに該当する者のうち都外に所在する児童福祉施設に入所している東京都の措置児童の場合は、具申書に代えて、当該児童福祉施設の長からの「意見書」の提出が必要。

ア　父母のどちらか一方又は父と母が行方不明で、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

イ　父母のどちらか一方又は父と母が療養・転勤のため、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

ウ　父と母が離婚したため又は離婚するため別居している場合で、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

エ　その他、志願者と保護者がやむを得ず別居中であると認められる者

オ　都外に所在する都立特別支援学校の中学部を卒業する見込みの者又は都外に所在する児童福祉施設に入所している東京都の措置児童で、中学校を卒業する見込みの者のうち、入学日までに保護者と同居し、都内へ転居することが確実な者

なお、東日本大震災（平成２３年３月１１日発生）、平成２８年熊本地震（平成２８年４月１４日発生）、平成３０年７月豪雨、平成３０年北海道胆振東部地震（平成３０年９月６日発生）、令和元年台風第１９号、令和２年７月豪雨、令和６年能登半島地震（令和６年１月１日発生）又は令和８年熊本地震（令和８年７月２８日発生）において、当該災害の発生日現在、当該災害による災害救助法適用地域に住所を有し、被災したことにより、引き続き当該地域に在住することが困難になった者（以下「災害に伴う被災者」という。）で、父母のどちらか一方と入学日までに都内に住所を有することが確実な者又は都内に身元引受人がおり、身元引受人の元に転居し、身元引受人と同居する者についても、志願することができる。

また、災害に伴う被災者で、既に都内に避難し都内中学校に在学する者については、事情により都内に住民票を異動することができていない場合であっても志願することができる。その際、志願者が父母のどちらか一方とも同居していない場合は、志願者と保護者がやむを得ず別居中であると認められる者とし、具申書（様式14）を提出すること。

(2) 第２－３－２に定める応募資格の審査を受け、承認を得た者

＜定時制を志願する者＞

(1) 都内に住所又は勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所又は勤務先を有することが確実な者

(2) 入学日までに都内に住所又は勤務先を有することが確実で、入学後も引き続き都内に住所又は勤務先を有することが確実な者

第２－３－２　全日制で応募資格審査等が必要な場合

次の(1)から(10)までのいずれかに該当する者は、東京都立高等学校応募資格審査取扱要項（３３４ページ）に定める手続等により応募資格の審査を受け、承認を得た後に出願することができる。応募資格の審査及び出願についての承認は、都立高校長に委任する。

なお、次の(1)から(7)までにおいて、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（(2)及び(4)・(6)・(7)において身元引受人がいる場合を除く。）。その際、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類の提出が必要である（(2)、(6)及び(7)に該当する者を除く。）。

(1) 都内在住者で都外の中学校に在学している者又は都内在住者で中学校等を既に卒業した者(都内在住者で外国において学校教育における９年以上の課程を修了した者を含む。)

(2) 入学日までに保護者の１人以上とともに島しょへ転居することが確実な者（下記(6)に該当する者を除く。）
(3) 前記第２－３－１②欄の規定にかかわらず、都外在住者で、保護者とともに入学日までに都内に転入することが確実な者
(4) 前記第２－３－１①欄(2)若しくは(5)に該当する者又は現地校若しくは日本人学校を卒業した者で、海外に在住している者のうち、保護者とともに入学日までに都内に転入することが確実な者。ただし、日本国籍を有する者で、特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいて、かつ、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母のどちらか一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが確実であることが必要である。
(5) 前記第２－３－１①欄(4)に該当する者
(6) 島しょ以外の都内に住所を有し、島しょの都立高校（大島海洋国際高校を除く。）への受検を希望する者で、都内の中学校を卒業する見込みの者のうち、入学日までに当該島しょに保護者の１人以上とともに転居すること若しくは当該島しょに在住する身元引受人になり得る親族と同居することが確実な者、又は島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者は、島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書（様式15-2）を提出することにより、応募資格の審査に代える。
(7) 島しょの中学校を卒業する見込みの者のうち、入学日までに島しょ以外の都内又は他の島しょに保護者の１人以上とともに転居すること若しくは都内在住の身元引受人と同居することが確実な者、又は島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者は、島しょからの転居に関する申立書（様式15）を提出することにより、応募資格の審査に代える。
(8) 大島海洋国際高校へ出願する者のうち、保護者が大島を除く都内（大島を除く島しょも含む。）に住所を有し、同校に入学後は志願者本人が大島に所在する寄宿舎に入舎する場合又は保護者が大島を除く都内（大島を除く島しょも含む。）に住所を有し、入学日までに志願者本人が大島に在住する身元引受人になり得る親族と同居する場合には、当該都立高校長が必要とする転居等に関わる書類を提出することにより、応募資格の審査に代える。
(9) 都外在住者で、入学日までにＪＯＣエリートアカデミー事業の対象者として当該事業に係る都内の寮に入居することが確実である者は、都内への転居及び身元引受人に関する申立書（様式任意）、不受検証明書（様式応２）及び当該事業の対象者に内定したことが分かる書類を提出することにより、応募資格の審査に代える。
(10) 前記第２－３－１②(1)欄なお書に該当する者は、転居に関する申立書（様式応４）及び転居を証明する書類（身元引受人と同居する場合は身元引受人承諾書（様式任意）及び身元引受人の住民票記載事項証明書（様式応３））並びに罹(り)災証明書又は被災証明書等、当該災害の発生日現在、当該災害による災害救助法適用地域に住所を有していたことを証明する書類を提出することにより、応募資格の審査に代える。

第２－４ 出願方法

志願者は、１校１コース又は１科（１分野）に限り出願する。

志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に２科（２分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く。）は、他の全ての科（分野）に志望の順位を付けて出願することができる。

同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第１志望とした場合、他方を第２志望に指定することはできない。ただし、立川高校の理数科を第１志望とする者は同校の普通科を、科学技術高校の理数科を第１志望とする者は同校の科学技術科を、それぞれ第２志望に指定することができる。

第２－５ 出願手続

第２－５－１　中学校長の手続

都内の中学校長は、次の(1)から(4)までにより、出願に必要な書類の作成等を行い、実施要綱第２－５－２－１に定める出願に要する書類及び志願者一覧を同封し、都立高校長宛てに、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により、書類提出期間に必着するように提出する。

都外の中学校又は日本人学校の校長の手続は、次の(2)及び(3)によるものとする。

(1) 入学願書（様式４）

都内の中学校長は、志願者が出願サイトに入力した事項及び添付された写真が本人のものであること並びに志願しようとする都立高校への応募資格があることを確認し、中学校用の出願管理サイトを通じ、承認の登録を行う。

(2) 成績一覧表（様式11）

ア　作成方法

令和８年１２月３１日現在都内の中学校に在学する者については、実施要綱第４－３－１及び第４－３－２、それ以外の者については、実施要綱第４－４－１及び第４－４－２に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先

令和８年１２月３１日現在都内の中学校に在学する者については実施要綱第４－３－５、それ以外の者については実施要綱第４－４－３に定める方法により提出する。

ウ　提出部数

成績一覧表は、志願する都立高校の全日制、定時制、通信制の課程別に１部提出する。ただし、一度提出した都立高校（課程別）に再度提出する必要はない。

なお、一度提出した成績一覧表は返却しない。

(3) 調査書（様式10）

ア　作成方法　　実施要綱第４－６－１、第４－６－２及び第４－６－３に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先

書類提出期間に必着するよう都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法で提出する。

ウ　提出部数　　１部

エ　中学校長は、やむを得ない理由のため調査書の一部が記入できない場合は、「学籍の記録」等記入できる欄について記入し、実施要綱第４－６－１(4)ア、イ又はウに定めるところにより作成した「理由書」（様式任意）等を提出する。

オ　中学校長は、やむを得ない理由のため調査書が提出できない場合は、その事情を明らかにした「理由書」（様式任意）とともに、参考となる資料を添付する。

カ　令和４年度から令和７年度までに中学校を卒業した者については、調査書（様式10-2）を用いる。

(4) 志願者一覧（様式32）

実施要綱第１－５－１（5）に定める方法により作成する。

なお、入学願書、調査書、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）（以下「スピーキングテスト」という。）の個人レポート等の出願書類における氏名の表記（漢字等）を統一することができない場合、中学校長はその旨を志願者一覧の備考欄に記載する。

（例）入学願書と調査書との漢字表記が異なる（高と髙）。

※　志願者は、インターネット出願の志願者情報入力において入力できない文字がある場合、入力の際に「本サイトに入力できない文字の有無」の項目で「あり」を選択する。

第２－５－２　志願者の手続

第２－５－２－１　出願に要する書類等

(1) 全日制

別表２－１　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・全日制）（９７ページ）のとおり

（例１）　都内中学校卒業見込み者（保護者とともに都内に在住し、入学日までに転居の予定がない者）

① 入学願書（様式４）
（インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

② 入学考査料　２，２００円
（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

③ 調査書（様式10）

④ 自己ＰＲカード（様式12）
（面接を実施する都立高校（以下「面接実施校」という。）の志願者のみ提出する。）

⑤ スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）
（都内公立中学校在籍者及び都内公立中学校以外の中学校在籍者のうち、スピーキングテストを受験した者のみ、都立高校提出用の原本を提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。
なお、英語学力検査を実施しない学校には提出する必要はない。）

（例２）　中学校卒業者（保護者とともに都内に在住し、入学日までに転居の予定がない者）

① 入学願書（様式４）
（インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

② 入学考査料　２，２００円
（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

③ 調査書（様式10-2）
（令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。）

④ 自己ＰＲカード（様式12）
（面接実施校の志願者のみ提出する。）

⑤ スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）
（スピーキングテストを受験した者のみ、都立高校提出用の原本を提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。
なお、英語学力検査を実施しない学校には提出する必要はない。）

⑥ 東京都立高等学校出願承認申請書（様式応１）

⑦ 志願者と保護者の住民票記載事項証明書（様式応３）
（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの。志願者が成人の場合、保護者について記載する必要はない。）

(2) 定時制

別表２－２－１　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・定時制）（９８ページ）のとおり

（例１）　都内中学校卒業見込み者（都内に在住する者）

① 入学願書（様式４）

（インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

② 入学考査料　９５０円

（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

③ 調査書（様式10）

④ 自己ＰＲカード（様式12）

⑤ スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）

（都内公立中学校在籍者及び都内公立中学校以外の中学校在籍者のうちスピーキングテストを受験した者のみ、都立高校提出用の原本を提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。

なお、英語学力検査を実施しない学校及びリスニングテストを実施しない学校には提出する必要はない。）

定時制において、中学校を既に卒業し、令和９年３月３１日現在満１８歳以上の者（平成２１年４月１日以前に出生した者）で希望する者については、学力検査に代えて面接及び作文により選考する。これを、定時制成人受検者特別措置という。ただし、定時制課程単位制の都立高校では、この措置を適用しない。

（例２）　成人受検者特別措置を希望する者

① 入学願書（様式４）

（インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

② 入学考査料　９５０円

（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

③ 成人受検者特別措置申請書（様式９）

④ 卒業証明書

⑤ 自己ＰＲカード（様式12）

⑥ 住民票記載事項証明書（様式応３）

（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの。都外に住所を有し、勤務先が都内にある場合は、住民票記載事項証明書に代えて、勤務先を証明する書類を提出する。）

第２－５－２－２　提出方法

(1) 都内の中学校に在学している志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、中学校長の承認を経て、入学願書の提出を行う。また、出願に要する書類（入学願書を除く。）を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

(2) 前記 (1) 以外の志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、入学願書の提出を行う。また、出願に要する書類（入学願書を除く。）を、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

(3) 前記(1)及び(2)の方法により出願することができないやむを得ない事情がある場合には、志願者は、志願する都立高校に連絡の上、出願に要する書類（入学願書を含む。）を、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。この場合、入学考査料は所定の納付書による納付とし、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けた上で提出すること。

なお、郵送により出願する場合は、提出書類に、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の郵券を貼り付けたもの）を同封すること。

(4) 書類提出期間内に到着するように郵送することができない等やむを得ない事情がある場合には、志願する都立高

校に連絡の上で、持参により提出することを認めるものとする。

(5) 入学願書提出後は、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更を認めない。

(6) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、志願変更の手続による場合を除き返却しない。

第２－５－３　受検票の交付

出願を受け付けた都立高校長は、出願サイトを通じて受検票を交付する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行わなかった者に対しては、次の(1)又は(2)により交付する。

(1) 都内の中学校に在学している者

出願を受け付けた都立高校長が中学校を通じて交付する。

(2) 都内の中学校に在学していない者

入学願書とともに提出される受検票返送用封筒を使用し、出願を受け付けた都立高校長が交付する。

第2－6 志願の変更

第２－６－１　志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－１（１０１ページ）の○を付した変更について、１回に限り行うことができる。

なお、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方に出願後、他方へ志願変更をすることができる。ただし、入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科（分野）に再提出することはできない。また、同一の都立高校内にある同一学科内の科（分野）相互間の志望順位の変更もできない。

＜志願変更ができる例＞

（例１）　八潮高校の普通科に出願後、異なる学科である芝商業高校のビジネス科へ志願変更をすることができる（その逆も可能）。

（例２）　富士森高校の普通科に出願後、コースを置く片倉高校の造形美術コースへ志願変更をすることができる（その逆も可能）。

（例３）　国際高校の国際学科に出願後、コースを置く小平高校の外国語コースへ志願変更をすることができる（その逆も可能）。

（例４）　コースを置く深川高校の外国語コースに出願後、同じ深川高校の普通科へ志願変更をすることができる（その逆も可能）。

（例５）　農業高校の農業に関する学科の食品科学科に出願後、同じ農業高校の家庭に関する学科の食物科へ志願変更をすることができる（その逆も可能）。

＜志願変更ができない例＞

（例１）　園芸高校の農業に関する学科の動物科を第１志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第１志望として再提出することはできない（同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。）。

（例２）　工芸高校の工業に関する学科のアートクラフト科を第１志望として出願後取り下げ、同じ工芸高校の工業に関する学科のマシンクラフト科を第１志望として再提出することはできない（同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。）。

（例３）　エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない（全日制からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能）。

第２－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更をする者は、志願変更願（様式16）を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、出願に要した書類及び調査書等の返却を受ける。ただし、都内の中学校に在学していない者については、中学校長の確認は必要ない。

なお、志願変更願を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示すること。ただし、保護者が志願変更願を提出する場合は、保護者の本人確認ができるもの及び志願者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示すること。

(2) 志願変更願を受理した都立高校長は、その志願者の提出した出願に要する書類（都立高校が都立高校用の出願管理サイトから印刷した入学願書を含む。）及び中学校長から提出されたその志願者の調査書等を返却し、都立高校用の

出願管理サイトでその志願者の出願情報を取り下げる。

なお、調査書は折らずに封入し、厳封すること。都立高校が都立高校用の出願管理サイトから印刷した入学願書は調査書と同封しないようにすること。また、スピーキングテスト不受験者が志願変更する際の都立高校の手続については、別に定める。

(3) 志願変更をする者で、面接実施校を志願変更先とする場合は、志願変更先の都立高校が示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして、新たに自己ＰＲカードを作成する。

(4) 志願変更をする者は、志願変更願を受理した都立高校長が、都立高校用の出願管理サイトで出願情報を取り下げた後、指定された期間内に出願サイトで必要事項を入力し、返却された出願に要する書類に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、厳封した調査書（志願変更願を受理した都立高校長から返却を受けたもの）及び新たに作成した自己ＰＲカード（面接実施校の志願者のみ）等を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、出願サイト上で受検票の交付を受ける。

なお、志願変更の際、中学校長は、志願変更先の高等学校に志願者一覧（様式 32）を改めて提出する必要はない。

(5) やむを得ない事情により、インターネット出願を行うことができなかった者は、志願変更においてもインターネット出願は行わない。

該当する志願者は、志願変更願（様式 16）を提出する際に、出願に要した書類として入学願書及び受検票も返却される。志願者は、返却された入学願書等に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、受検票、厳封した調査書（志願変更願を受理した都立高校長から返却を受けたもの）及び新たに作成した自己ＰＲカード（面接実施校の志願者のみ）等を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、受検票の交付を受ける。

(6) 大島海洋国際高校に出願した者のうち、島しょ以外に住所を有する者又は大島以外の島しょに住所を有し検査会場を東京都教職員研修センターと希望した者の志願変更の手続は、東京都教職員研修センターで行い、それ以外の者の手続は同校で行う。

(7) チャレンジスクール又は八王子拓真高校（チャレンジ枠）に出願後、全日制へ志願変更をする者は、新たに調査書及び自己ＰＲカード（面接実施校の志願者のみ）を提出する。

(8) チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校に出願後、全日制へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第2－7 学力検査等の実施

第２－７－１　検査教科等

学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の５教科とする。ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学及び外国語（英語）の３教科とする。

なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しない。

定時制は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の５教科のうち、３教科を下らない範囲で各都立高校が定める（別表４を参照）。また、面接を実施する。

その他の検査の実施内容は、各都立高校が定める（別表４を参照）。

各教科の満点は１００点とし、特定の教科の配点に比重をかける（以下「傾斜配点」という。）都立高校は、別表４（１０５ページ）による。

検査教科等のうち、１教科（面接及び実技検査等を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

面接及び実技検査等を行う科（分野）を第２志望以下の志望順位とした者については、当該の科（分野）において実施する面接及び実技検査等の検査を課すものとする。

第２－７－２　集合時刻及び時間割

(1) 全日制及び定時制（次の(2)及び(3)を除く。）

学力検査の教科の時間割は、次の表による。ただし、国際高校及びエンカレッジスクールとして指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定める。

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第４時限	午後　１時１０分 ～ 午後　２時００分	５０分	社　会
第５時限	午後　２時２０分 ～ 午後　３時１０分	５０分	理　科

（注）英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

(2) 定時制成人受検者特別措置（次の(3)の都立高校を除く。）

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査内容
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文
第２時限	出願時に指定する日時		面　接

(3) 学力検査問題を自校で作成する定時制の検査開始・終了時刻及びそれらの都立高校の定時制成人受検者特別措置の検査開始・終了時刻は、(1)及び(2)にかかわらず当該都立高校で定めることができる。ただし、検査は午前１１時までに開始する。

第２－７－３　面談の実施

都立高校長は、別に定めるところ（別表８を参照）により、令和７年度以前の中学校卒業者である受検者を対象として、入学後の学校生活に対する意欲等を確認するための面接（以下「面談」という。）を行うことができる。ただし、別表４（１０５ページ）において、面接を検査教科等の実施内容として定めている都立高校を除く。

面談を実施する場合、都立高校長は、対象とする受検者に面談を実施することを個別に通知しなければならない。

なお、面談の対象となる受検者は、出願時に自己ＰＲカードを提出する。

第２－７－４　検査会場

(1) 検査会場は、志願先の都立高校長が受検票により指定する。

(2) 大島海洋国際高校を志願する者のうち、島しょ以外に住所を有する者の検査会場は、東京都教職員研修センターとする。また、大島に住所を有する者の検査会場は同校とし、大島以外の島しょに住所を有する者は、同校又は東京都教職員研修センターのどちらかを検査会場として希望することができる。

(3) 大島海洋国際高校以外の島しょの都立高校を志願し、当該都立高校の所在する島しょ以外に住所を有する者は、当該都立高校又は東京都教職員研修センターのどちらかを検査会場として希望することができる。東京都教職員研修センターを検査会場として希望する者の受検については、別に定める（島外受検）。

(4) 都立高校が設置されていない島しょの中学校及び小笠原村立小笠原中学校を卒業する見込みの者の受検については、別に定める（現地受検）。

第２－７－５　検査会場等の管理

(1) 検査会場の管理責任者は、当該都立高校長とする。

(2) 検査会場の監督者等は、当該都立高校の教職員のうちから当該都立高校長が命ずる。

(3) 当該都立高校長は、検査終了後直ちに答案等を包装し、封印して、採点時まで保管する。

(4) 前記第２－７－４(3)及び(4)でいう島外受検及び現地受検における検査会場等の管理については、別に定める。

第2－8 問題作成

(1) 出題の基本方針

ア　中学校の教育課程に基づく学習の成果としての学力を検査することを基本とし、出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている内容によるものとする。

イ　出題の内容は、各教科とも、中学校学習指導要領に示されている教科の目標及び内容に照らして基本的な事項を選ぶとともに、一部の領域に偏ることのないようにする。

ウ　出題に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や、思考力、判断力、表現力などをみるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習などの成果もみることができるようにする。

(2) 検査問題は、検査問題作成委員会が作成する。

(3) 検査問題作成委員会の委員は、東京都教育委員会教育長が命ずる。

(4) 別に定める都立高校(別表４及び別表７を参照)は、検査教科の全部又は一部について、各都立高校で検査問題を作成することができる。

第2－9 採点

学力検査に基づく選抜を実施する各都立高校の全日制及び定時制の課程別に、採点委員会を置く。

(1) 採点委員会に委員長を置く。委員長は、当該都立高校長とする。

(2) 採点委員会は、当該都立高校長、当該都立高校長が指定する副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭及び日勤講師（非常勤教員）並びにその他当該都立高校長が指定する者をもって組織する。

(3) 採点委員会は、当該都立高校で実施した検査の答案等の採点を行う。

(4) 委員長は、委員を指揮監督し、採点についての責任を負う。

(5) 委員長は、採点責任者を命ずる。

(6) 採点及び点検方法等については、東京都教育委員会及び各都立高校が別に定める。

第2－10 選考

第２－１０－１　選考

(1) 選考は、別表４（１０５ページ）に基づき、調査書、学力検査（面接、小論文又は作文及び実技検査を実施する都立高校にあってはそれらを含む。）及び点数化したスピーキングテスト結果を総合した成績（総合成績）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。ただし、点数化したスピーキングテスト結果は、原則、英語の学力検査を実施する都立高校においてのみ、選考に用いる。

なお、面接実施校においては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。ただし、自己ＰＲカードは点数化しない。また、第２－７－３に定める面談を実施する都立高校にあっては、面談は点数化しないが、選考に当たっては、面談の結果にも十分配慮する。

(2) 学力検査の得点（学力検査を実施した教科の得点の合計。ただし、傾斜配点を行う教科については、傾斜配点を行った得点とする。）と調査書の各教科の学習の記録を点数化したもの（以下「調査書点」という。）の合計は、１０００点を満点とする。また、スピーキングテストの結果を点数化したものは、２０点を満点とする。

学力検査の得点と調査書点に、点数化したスピーキングテスト結果を加えた合計を「総合得点」といい、１０２０点を満点とする。

学力検査の得点と調査書点の比率については、次のとおりとする。

ア　全日制は、原則として７：３とする。ただし、芸術及び体育に関する学科は６：４とする。また、受検者ごとに７：３と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる学校については、別表４（１０５ページ）による。

イ　定時制は、７：３又は６：４のどちらかとする。

(3) スピーキングテストの結果の点数化については、以下のとおりとする。

ア　スピーキングテスト結果について、Ａは２０点、Ｂは１６点、Ｃは１２点、Ｄは８点、Ｅは４点、Ｆは０点とする。

イ　スピーキングテスト不受験者については「仮のスピーキングテスト結果」を算出し、点数化の上、加点することで不利にならないよう取り扱うものとする。ただし、以下の(ｱ)に該当しない者がスピーキングテストを受験しなかった場合、「仮のスピーキングテスト結果」は算出せず、加点しない。

(ｱ) 不受験者とは、次の ａ 又は ｂ に該当する者とする。

ａ　都内公立中学校に在籍する者のうち、スピーキングテストを受験していない者で、実施要綱第６－８に定める措置により都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を都立高校に提出した者

ｂ　スピーキングテスト実施日時点で、都内公立中学校に在籍していないため、スピーキングテストを受験していない者等（スピーキングテスト申込期間終了後に転入した者を含む。）

(ｲ) 不受験者については、英語学力検査の得点により順位を決め、当該不受験者の上下５名ずつ（合計１０名）以上の受検者を集計する範囲として定めることを基本とする。集計する範囲に含まれる受検者それぞれのスピーキングテスト結果を点数化し、その平均値により、当該不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」を求める。その際、平均値が１８点以上はＡ、１４点以上１８点未満はＢ、１０点以上１４点未満はＣ、６点以上１０点未満はＤ、２点以上６点未満はＥ、２点未満はＦとする。

ウ　都内特別支援学校及び中学校の特別支援学級に在籍している者のうち、本人の希望によりスピーキングテストを受験した者は、スピーキングテスト結果をアに従って点数化する。

エ　都内公立中学校に在籍していない者のうち、本人の希望によりスピーキングテストを受験した者は、スピーキングテスト結果をアに従って点数化する。

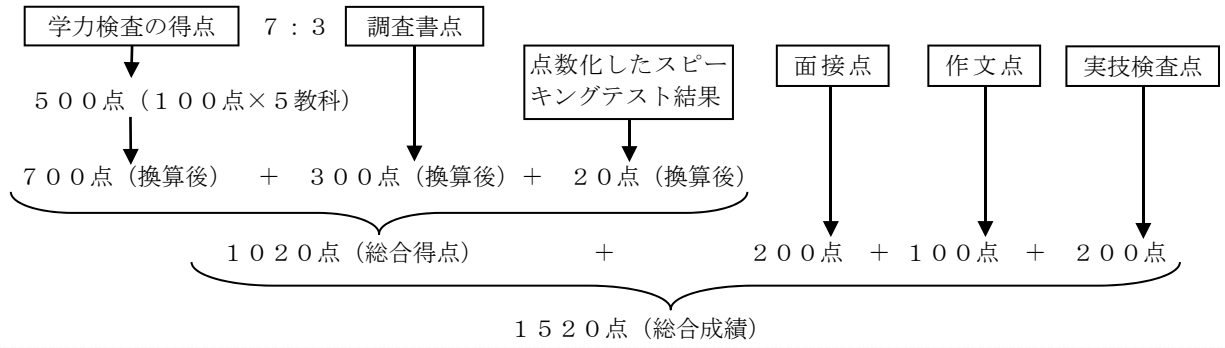
(4) 面接、小論文又は作文及び実技検査の結果については、各都立高校が適切に基準を定めて、それぞれ点数化する。

(5) 所定の書類が一部整わない者については、参考にできる資料を活用して、選考を行う。

(6) 調査書中の各教科の学習の記録を点数化する際は、受検者から提出された調査書の各教科の評定数値を当該受検者の在学する中学校から提出された成績一覧表において確認した後、学力検査を実施する教科は評定数値を１倍、学力検査を実施しない教科は評定数値を２倍して、調査書点を算出する。ただし、在学する中学校から成績一覧表が提出されていない受検者、成績一覧表の除外人員となっている受検者及び評定を行うことができずに評定が斜線／（スラッシュ）となっている教科のある受検者については、学力検査の得点等の参考にできる資料を活用して当該都立高校が調査書点を求める。また、「Ａ」と朱書された調査書（実施要綱第４－６－３(8)アを参照）により調査書点を算出する際には、受検者に不利にならないように扱う。調査書の記載内容に疑義がある場合は、都立高校長は当該中学校長に問い合わせ、内容を確認する。

なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出する。

（例）　５教科、傾斜配点を行わず、学力検査の得点と調査書点の比率が７：３、面接点の満点が２００点、作文点の満点が１００点及び実技検査点の満点が２００点の学校の場合



第２－１０－２　エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考

(1) 選考は、別表４（１０５ページ）に基づき、調査書、面接、小論文又は作文（実技検査を実施する都立高校にあってはこれらに加え、実技検査）の結果を総合した成績（総合成績）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。

(2) 自己ＰＲカードは、点数化しない。

なお、面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

(3) 調査書、面接、小論文又は作文（実技検査を実施する都立高校にあってはこれらに加え、実技検査）の結果は点数化する。それぞれの満点については、各都立高校が適切に定める。

第２－１０－３　定時制成人受検者特別措置の選考

(1) 選考は、面接及び作文の結果を総合した成績（総合成績）、入学願書による志望並びに都立高校長が必要とする資料により行う。

(2) 自己ＰＲカードは、点数化しない。

なお、面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

(3) 面接及び作文の結果は点数化する。

(4) 定時制成人受検者特別措置による面接及び作文の点数の満点の合計は、当該都立高校の総合成績の満点と同一となるようにする。

第２－１０－４　選考委員会

学力検査に基づく選抜を実施する各都立高校の全日制及び定時制の課程別に、選考委員会を置く。

(1) 選考委員会に委員長を置く。委員長は当該都立高校長とする。

(2) 選考委員会は、当該都立高校長、副校長、経営企画課（室）長及び当該都立高校長が指定する教職員をもって組織する。

(3) 選考委員会は、学力検査等の実施に関する事務を行うほか、合格候補者の決定その他選抜に関する事務を行う。

第２－１０－５　合格候補者の決定

合格候補者数については、入学手続者数が募集人員に対して過不足のないよう、適切に決定する。

第２－１０－５－１　普通科（コースを置く都立高校のコースを除く。）及び総合学科の都立高校

当該都立高校の募集人員（推薦に基づく選抜の入学手続者数を除く。以下同じ。）に相当する人員を総合成績の順により決定し、これをその都立高校の合格候補者とする。

第２－１０－５－２　普通科（コースを置く都立高校のコース）の都立高校

当該都立高校の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定し、これをそのコースの合格候補者とする。

第２－１０－５－３　専門学科（芸術に関する学科を除く。）及び定時制の都立高校

⑴ 当該都立高校の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定する。

⑵ 学科内に２科（２分野）以上ある場合には、次の方法により合格候補者を決定する。

ア　科（分野）ごとに、前項⑴の人員のうち、その科（分野）を第１志望とした者の中から、総合成績の順に合格候補者を決定する。

イ　第１志望で募集人員に達しない科（分野）は、その不足人員を前項⑴の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。

ウ　イの方法により充足しない科（分野）がある場合、当該の科（分野）について、合格候補者となっていない受検者の中から、総合成績の順に、当該の科（分野）の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない科（分野）が複数ある場合は、総合成績の順に、当該の科（分野）の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。

第２－１０－５－４　専門学科（芸術に関する学科）の都立高校

当該都立高校の各科の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定し、これをその科の合格候補者とする。

第２－１０－５－５　定時制成人受検者特別措置による選考

当該措置適用者からの合格候補者の決定については、学力検査に基づく選抜の受検者の選考結果と総合して検討し、決定する。

その際、中学校を卒業する見込みの者及び卒業した者（ただし、定時制成人受検者特別措置適用者を除く。）からの合格者を決定することに努めた後、定時制成人受検者特別措置適用者からの合格者を決定するものとする。

第２－１０－５－６　理数科及び理数科以外の学科を設置する都立高校

当該都立高校の理数科の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定し、これをその科の合格候補者とする。

なお、理数科の合格候補者となっていない者のうち、理数科以外の学科を第２志望とした者を理数科以外の学科の志望者と合わせ、当該都立高校の募集人員に相当する人員を総合成績の順により理数科以外の学科の合格候補者を決定する。

第２－１０－６　合格者の決定

⑴ 当該都立高校長は、選考委員会で決定した合格候補者を合格者として決定する。

⑵ 合格者として決定した後にコース及び科（分野）を変更することはできない。

第2－11　合格者の発表

⑴ 発表方法

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

なお、大島海洋国際高校の発表は東京都教職員研修センターにおいても行う。

⑵ 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

⑶ 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

第2－12　入学手続（入学確約書の提出）

合格者は、入学手続期間内に入学確約書（様式23）を提出し、所定の納付書により、納付期間内（合格発表日の翌日から起算して５日以内。ただし、５日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日）に入学料（全日制５，６５０円、定時制 ２，１００円）を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

また、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効とする。

都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校が交付する。都立高校が必要とするその他の書類は、当該都立高校長が定める期間内に提出する。

なお、大島海洋国際高校の入学手続は、同校又は東京都教職員研修センターにおいて行う。また、島外受検の合格者の入学手続は、各都立高校又は東京都教職員研修センターのいずれかのうち、各都立高校が指定した場所で行う。

第　３　　学力検査に基づく選抜（第二次募集）

第3－1 全日制第二次募集日程

事　　項		日	時
出　　願		令和９年３月　４日（木）	午前９時 ～ 午後３時
志願変更	入学願書取下げ	令和９年３月　５日（金）	午前９時 ～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年３月　８日（月）	午前９時 ～ 正午
学力検査及び面談		令和９年３月　９日（火）	集合　午前８時３０分
面接及び実技検査等		令和９年３月　９日（火）以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表		令和９年３月１２日（金）	午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 正午（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月１２日（金） ３月１５日（月）	正午 ～ 午後３時 午前９時 ～ 正午
選抜用評定等確認表の送付期限		令和９年３月１５日（月）から３月２３日（火）までに、別表12の中学校長へ各都立高校長が発送する。	

定時制第二次募集日程

事　　項	日	時
出　　願	令和９年３月２５日（木）	午後３時 ～ 午後７時
学力検査等	令和９年３月２６日（金）	集合　各都立高校が定める時刻
合格者の発表	令和９年３月２９日（月）	午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午後３時（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年３月２９日（月） ３月３０日（火）	午後３時 ～ 午後７時 午後３時 ～ 午後７時

第3－2 募集人員

第一次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校は、その相当人員について第二次募集を行う。

第3－3 応募資格

実施要綱第２－３を準用する。

全日制第二次募集においては、入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者並びに東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者の応募は認めない。

定時制第二次募集においては、上記に加え、分割後期募集・全日制第二次募集の選抜における合格者も出願できない。

また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

第3－4 出願方法

志願者は、１校に限り出願する。

なお、志望校に複数の学科、コース、科（分野）があり、募集がある場合は、第一次募集と異なり、志望の順位を付けることができる（芸術に関する学科を除く。）。

＜全日制の出願例＞

（例１）

	松が谷高校
第１志望	外 国 語 コ ー ス
第２志望	普 通 科
第３志望	―

（例２）

	農業高校
第１志望	服 飾 科 （ 家 庭 ）
第２志望	都 市 園 芸 科 （ 農 業 ）
第３志望	食 物 科 （ 家 庭 ）

第3－5 出願手続

第３－５－１　中学校長の手続

都内の中学校長は、次の(1)から(3)までにより、出願に必要な書類の作成等を行う。

都外の中学校又は日本人学校の校長の手続は、次の(2)及び(3)によるものとする。

(1) 入学願書（様式５又は様式６）

都内の中学校長は、在学している生徒について、入学願書に記載されている事項及び貼り付けてある写真が本人のものであること並びに志願しようとする都立高校への応募資格があることを確認し、所定の位置に中学校長の公印を押す。

(2) 成績一覧表（様式11）

ア　作成方法

令和８年１２月３１日現在都内の中学校に在学する者については、実施要綱第４－３－１及び第４－３－２、それ以外の者については、実施要綱第４－４－１及び第４－４－２に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先

令和８年１２月３１日現在都内の中学校に在学する者については実施要綱第４－３－５、それ以外の者については実施要綱第４－４－３に定める方法により提出する。

ウ　提出部数

成績一覧表は、志願する都立高校の全日制、定時制の課程別に１部提出する。ただし、一度提出した都立高校（課程別）に再度提出する必要はない。

なお、一度提出した成績一覧表は返却しない。

(3) 調査書（様式10）

ア　作成方法　　実施要綱第４－６－１、第４－６－２及び第４－６－３に定める方法により作成する。

イ　提出方法及び提出先　　折らずに封入し、厳封の上、志願者が持参により志願先の都立高校長へ提出する。

ウ　提出部数　　１部

エ　中学校長は、やむを得ない理由のため調査書の一部が記入できない場合は、「学籍の記録」等記入できる欄について記入し、実施要綱第４－６－１(4)ア、イ又はウに定めるところにより作成した「理由書」（様式任意）等を提出する。

オ　中学校長は、やむを得ない理由のため調査書が提出できない場合は、その事情を明らかにした「理由書」（様式任意）とともに、参考となる資料を添付する。

カ　令和４年度から令和７年度までに中学校を卒業した者については調査書（様式10-2）を用いる。

第３－５－２　志願者の手続

第３－５－２－１　出願に要する書類等

実施要綱第２－５－２－１を準用する。インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行い、入学考査料は所定の納付書により納付書裏面に記載の納付場所で納付し、入学願書の裏面に貼り付けること。ただし、全日制の入学願書は、分割後期募集・全日制第二次募集用（様式５）を用い、定時制の入学願書は、定時制第二次募集用（様式６）を用いる。

なお、成績一覧表の提出については、出願日（志願変更する場合は、入学願書再提出日）までとする。ただし、既に推薦に基づく選抜又は学力検査に基づく選抜の第一次募集等で提出した都立高校（課程別）には、再度提出する必要はない。

第３－５－２－２　提出方法

(1) 都内の中学校に在学している志願者は、中学校長の承認を経て、出願日に志願する都立高校長に出願に必要な書類を全て紙で提出する。

(2) インターネット出願及び郵送による出願は受け付けない。ただし、次のアからウまでのいずれかに該当する場合は、提出期限までに簡易書留郵便で到着したものに限り受け付ける。

なお、郵送により出願する場合は、提出書類に、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の郵券を貼り付けたもの）を同封すること。

ア　定時制へ出願する場合

イ　島しょの中学校を卒業する見込みの者が出願する場合

ウ　大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校を志願する者のうち、当該都立高校の所在する島しょ以外に住所を有する者が出願する場合

(3) 大島海洋国際高校への出願は、持参又は郵送に限る。

(4) 入学願書提出後は、記載事項の変更を認めない。

(5) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、志願変更の手続による場合を除き返却しない。

第３－５－３　受検票の交付

入学願書等を受け付けた都立高校長は、受検票を交付する。

第3－6 志願の変更

第３－６－１　全日制第二次募集における志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－２（１０１ページ）の○を付した変更について、１回に限り行うことができる。

＜志願変更ができる例＞

（例１）　深川高校の普通科を第１志望、外国語コースを第２志望として出願後取り下げ、松が谷高校の外国語コースを第１志望、普通科を第２志望として志願変更をすることができる。

（例２）　農業高校の服飾科を第１志望、都市園芸科を第２志望、食物科を第３志望として出願後取り下げ、多摩工科高校の機械科を第１志望、環境化学科を第２志望として志願変更をすることができる。

ただし、次の都立高校へは入学願書の再提出ができない。

・　入学願書の返却を受けた都立高校

・　大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校（ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる。）

第３－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更をする者は、志願変更願（様式16）及び受検票を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、入学願書等の出願に要した書類及び調査書等の返却を受ける。ただし、都内の中学校に在学していない者については、中学校長の確認は必要ない。

なお、志願変更願を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示すること。ただし、保護者が志願変更願を提出する場合は、保護者の本人確認ができるもの及び志願者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示すること。

(2) 志願変更願を受理した都立高校長は、その志願者の提出した入学願書等の出願に要した書類、受検票及び中学校長から提出されたその志願者の調査書を返却する。

なお、調査書は折らずに封入し、厳封すること。

(3) 志願変更をする者で、面接実施校を志願変更先とする場合は、志願変更先の都立高校が示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして、新たに自己ＰＲカードを作成する。

(4) 志願変更をする者は、返却された入学願書等に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、受検票、厳封した調査書（志願変更願を受理した都立高校長から返却を受けたもの）及び新たに作成した自己ＰＲカード（面接実施校の志願者のみ）を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、受検票の交付を受ける。

(5) チャレンジスクール又は八王子拓真高校（チャレンジ枠）に出願後、全日制へ志願変更をする者は、新たに調査書及び自己ＰＲカード（面接実施校の志願者のみ）を提出する。

(6) チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校に出願後、全日制へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第3－7 学力検査等の実施

第３－７－１　検査教科等

学力検査の教科について、全日制第二次募集は、国語、数学及び外国語（英語）の３教科とする。

なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しない。

定時制第二次募集は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の５教科のうち、３教科を下らない範囲で各都立高校が定める（別表４を参照）。また、面接を実施する。

その他の検査の実施内容は、各都立高校が定める（別表４を参照）。

各教科の満点は１００点とし、傾斜配点を行う都立高校は、別表４（１０５ページ）による。

検査教科等のうち、１教科（面接及び実技検査等を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

面接及び実技検査等を行うコース及び科（分野）を第２志望以下の志望順位とした者については、当該のコース及び科（分野）において実施する面接及び実技検査等の検査を課すものとする。

第３－７－２　集合時刻及び時間割

(1) 全日制

学力検査の教科の時間割は、次の表による。ただし、エンカレッジスクールとして指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定める。

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科
集　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語

(2) 定時制

集合時刻及び時間割は、各都立高校が定める。

第３－７－３　面談の実施、検査会場及び検査会場等の管理

実施要綱第２－７－３、第２－７－４及び第２－７－５を準用する。ただし、大島海洋国際高校を志願する者の検査会場は同校に限る。

なお、実施要綱第２－７－４(3)及び(4)でいう島外受検及び現地受検は実施しない。

第3－8 問題作成

第３－８－１　全日制

実施要綱第２－８を準用する。

第３－８－２　定時制

出題の基本方針は、実施要綱第２－８(1)を準用する。

検査問題は、各都立高校が作成する。

第3－9 採点

実施要綱第２－９を準用する。

第3－10 選考

(1) 選考

実施要綱第２－１０－１を準用する。ただし、学力検査の得点と調査書点の比率は、次のとおりとする。

ア　全日制は、原則として６：４とする。ただし、受検者ごとに６：４と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる学校については、別表４（１０５ページ）による。

イ　定時制は、６：４又は５：５のどちらかとする。

エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考は、実施要綱第２－１０－２を準用する。

定時制成人受検者特別措置の選考は、実施要綱第２－１０－３を準用する。

なお、スピーキングテストの結果は選考に活用しない。

(2) 選考委員会

実施要綱第２－１０－４を準用する。

(3) 合格者の決定

実施要綱第２－１０－６を準用する。

第3－11 合格者の発表

(1) 発表方法

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(2) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

(3) 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

第3－12 入学手続（入学確約書の提出）

合格者は、入学手続期間内に入学確約書（様式23）を提出し、所定の納付書により、納付期間内（合格発表日の翌日から起算して５日以内。ただし、５日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日）に入学料（全日制５，６５０円、定時制 ２，１００円）を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

また、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効とする。

都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校が交付する。都立高校が必要とするその他の書類は、当該都立高校長が定める期間内に提出する。

第3－13 第三次募集、第四次募集の実施について

(1) 全日制第二次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校（島しょの都立高校を除く。）は、第三次募集を行う。

(2) 定時制第二次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない定時制の都立高校（島しょの都立高校を除く。）は、第三次募集を行う。

(3) 第三次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない定時制の都立高校（島しょの都立高校を除く。）は、第四次募集を行う。

(4) 第三次募集、第四次募集の実施について必要な事項は別に定める。

第　４　　成績一覧表及び調査書

第４－１ 成績一覧表及び調査書の作成基準日等

成績一覧表	作成基準日	令和８年１２月３１日
	調査委員会	令和９年１月４日（月）から１月８日（金）まで
調査書	成績一覧表調査委員会の調査の後、応募ごと（推薦、第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集、定時制第二次募集及び通信制前期選抜）に作成し、提出する。	

第４－２ 成績一覧表調査委員会の設置

(1) 成績一覧表の客観性・信頼性を確保するため、成績一覧表調査委員会を設置する。

(2) 各区市町村が設置する中学校及び義務教育学校（以下「都内公立中学校」という。）を対象とする成績一覧表調査委員会並びに東京都が設置する中学校及び中等教育学校（以下「都立中学校・中等教育学校」という。）を対象とする成績一覧表調査委員会の設置等については、次のとおりとする。

ア　都内公立中学校を対象とする成績一覧表調査委員会（以下「公立中学校対象成績一覧表調査委員会」という。）の設置

(ｱ)　各区市が設置する中学校及び義務教育学校を対象とする成績一覧表調査委員会は、各区市教育委員会が設置する。

(ｲ)　瑞穂町、日の出町、檜原村及び奥多摩町が設置する中学校を対象とする成績一覧表調査委員会については、多摩教育事務所が各町村教育委員会と協議し、三町一村合同による成績一覧表調査委員会を設置する。

(ｳ)　島しょの各町村が設置する中学校を対象とする成績一覧表調査委員会については、教育庁各出張所が各町村教育委員会と協議し、大島町、利島村及び新島村、神津島村、三宅村及び御蔵島村、八丈町、青ヶ島村及び小笠原村による成績一覧表調査委員会を設置する。

イ　都立中学校・中等教育学校を対象とする成績一覧表調査委員会（以下「都立中学校・中等教育学校対象成績一覧表調査委員会」という。）は、東京都教育委員会が設置する。

ウ　公立中学校対象成績一覧表調査委員会は都内公立中学校の校長（以下「都内公立中学校長」という。）を、都立中学校・中等教育学校対象成績一覧表調査委員会は都立中学校・中等教育学校の校長をもって組織する。

(3) 学校法人及び国立大学法人が設置する都内所在の中学校、中等教育学校及び特別支援学校並びに東京都が設置する特別支援学校（以下「国私立中学校等」という。）を対象とする成績一覧表調査委員会（以下「国私立中学校等対象成績一覧表調査委員会」という。）は、東京都教育委員会が設置する。

(4) 成績一覧表調査委員会に委員長を置く。委員長は同委員会を招集し、主宰する。

第４－３ 成績一覧表（令和8年12月31日現在、都内の中学校に在学する者）

第４－３－１　作成

(1) 中学校長は、中学校学習指導要領に示す各教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（英語））について記載する成績一覧表を作成する。

(2) 中学校長は、作成に当たり、校内に成績一覧表作成委員会を設けるなどして正確を期すとともに、成績一覧表調査委員会に提出する前に必ず点検を行うこと。

(3) 中学校長は、令和８年１２月３１日現在、在学している中学校第３学年（義務教育学校においては第９学年。以下、実施要綱において同じ。）の生徒全員について、各生徒の教科ごとの観点別学習状況の評価及び評定を成績一覧表に記載する。ただし、全ての教科を特別の教育課程により実施している特別支援学級（固定）在籍者は記載人員に含めない。

なお、令和７年度以前の卒業者については、成績一覧表の作成を要しない。

(4) 中学校夜間学級・病院内学級等の生徒及び少年院等に入所している生徒については、在学している中学校の成績一覧表に記載する。

(5) 観点別学習状況の評価及び評定の記載については、次のとおりとする。

ア　令和８年１２月３１日現在で、中学校第３学年における中学校学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況をみる観点別学習状況の評価及び観点別学習状況の評価を総括した評定を記載する。評価・評定に当たっては、第３学年の第一学期及び第二学期の成績を十分参考とする。また、二学期制の学校にあっては、前期の成績及び後期の１２月３１日までの学習状況を十分参考とする。

イ　観点別学習状況の評価は、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、Ａ、Ｂ、Ｃの記号により記入する。この場合、「十分満足できる」状況と判断されるものをＡ、「おおむね満

足できる」状況と判断されるものをＢ、「努力を要する」状況と判断されるものをＣとする。

ウ　各教科の評定は、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価して５段階で表す。表示は、５、４、３、２、１とする。この場合、「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを５、「十分満足できる」状況と判断されるものを４、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを３、「努力を要する」状況と判断されるものを２、「一層努力を要する」状況と判断されるものを１とする。

(6) 中学校長は、前記(5)に基づき観点別学習状況の評価及び評定を記載できる場合には必ず記載すること。ただし、出席日数が少ないため、参考にできる資料等を活用しても観点別学習状況の評価を行うことができないと中学校長が判断する場合、記入できる教科の評価のみ記入し、記入できない教科の評価は斜線／（スラッシュ）とする。また、評定を行うことができない教科がある場合、その教科の評定は斜線／（スラッシュ）とする。この際、評定を斜線／（スラッシュ）とした教科のある者は、表紙の記載人員に含めるが、教科別の小計・合計には含めない。

(7) 中学校長が作成する成績一覧表及び部数は、それぞれ次のとおりとする。

ア　氏名記載のある成績一覧表（以下「原簿」という。）　１部

なお、原簿には、表紙の左上に、「原簿」と朱書すること。

イ　氏名記載のない成績一覧表　都立高校長に提出を予定している部数に１部を加えた部数

第４－３－２　作成方法

成績一覧表は、所定の様式（様式11）により次の(1)から(6)までの方法で作成する。

(1) １ページに４０人ずつ記入し、ページごとに小計欄を設ける。

(2) 最終ページは、合計欄及び総計欄のみとする。

(3) 「割合%」は総計に対する各評定を与えた数の割合で、小数点以下第２位を四捨五入し、小数点以下第１位までを求める。四捨五入の組合せにより、割合の合計が１００%にならない場合も可とする。

(4) 成績一覧表の訂正については、訂正箇所に当該中学校長の私印を押し、欄外に当該中学校長の公印を押す。

なお、成績一覧表調査委員会の委員長は、訂正箇所及び訂正内容についての確認を行うこと。

(5) 裏表紙（白紙）を１枚付ける。また、上部２箇所をステープラで留め、製本テープ等を貼る。

(6) 氏名記載のない成績一覧表の内容が原簿と一致していることを確認した上で、表紙に当該中学校長の公印を押す。

第４－３－３　成績一覧表調査委員会への提出

(1) 中学校長は、実施要綱第４－３－１(7)で作成した、次のア及びイを成績一覧表調査委員会に提出する。

ア　原簿　１部

イ　氏名記載のない成績一覧表　都立高校長に提出を予定している部数に１部を加えた部数

(2) 提出は、成績一覧表調査委員会の委員長の指定する日とする。

(3) 都内公立中学校長は、当該中学校所在の区市等に設置された公立中学校対象成績一覧表調査委員会に提出する。ただし、都立中学校・中等教育学校の校長は、東京都教育委員会が設置した都立中学校・中等教育学校対象成績一覧表調査委員会に提出すること。また、国私立中学校等の校長は、東京都教育委員会が設置した国私立中学校等対象成績一覧表調査委員会に提出すること。

第４－３－４　成績一覧表調査委員会の調査等

(1) 成績一覧表調査委員会の調査は、次のとおりとする。

ア　成績一覧表の各項目の記載状況を確認する。

イ　都立高校提出用の氏名記載のない成績一覧表の内容が原簿と一致していることを確認する。

ウ　各教科の評定の教科別度数分布を調査する。

エ　成績一覧表の作成及び調査に関わる課題を整理する。

オ　その他、成績一覧表調査委員会を設置する区市教育委員会等が必要とする調査を行う。

(2) 成績一覧表調査委員会は、令和９年１月４日（月）から１月８日（金）までに成績一覧表の調査を完了する。調査後、原簿を含めて提出された成績一覧表表紙に成績一覧表調査委員会の委員長名を記載し、委員長の確認印（私印）を押す。

(3) 成績一覧表調査委員会の委員長による成績一覧表の保管等は、次のとおりとする。

ア　氏名記載のない成績一覧表１部を保管する。

イ　原簿と都立高校提出用の氏名記載のない成績一覧表を中学校長に返却する。

第４－３－５　都立高校長への提出

中学校長は、成績一覧表調査委員会の調査を経た成績一覧表を親展扱いで、令和９年１月１８日（月）までに、生徒が出願を予定している都立高校長に全日制課程・定時制課程・通信制課程別に１部提出する。その際、出願を予定していない課程には提出する必要はない。

成績一覧表を提出していない都立高校（課程別）に生徒が出願した場合は、中学校長は出願日（志願変更する場合は、入学願書再提出日）までに当該都立高校長に成績一覧表を提出する。ただし、成績一覧表は、一度提出した都立高校（課

程別）に再度提出する必要はない。

なお、志願変更により当該中学校からの志願者がいなくなった場合でも返却しない。

郵送により提出する場合は、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法とし、上記期間中に当該都立高校に到着するよう送付すること。

中学校が持参し、受領書を必要とする場合には、中学校で受領書（様式任意）を作成し、成績一覧表とともに上記期間内に当該都立高校長に提出する。

第４－４ 成績一覧表（令和8年12月31日現在、都内の中学校に在学する者以外の者）

第４－４－１　作成

実施要綱第４－３－１を準用する。

道府県等で成績一覧表の作成に関する規定が定められている場合は、当該道府県等の規定に従うことができる。

なお、当該道府県等において成績一覧表を作成していない場合又は東京都の成績一覧表の提出期間内に当該道府県等において作成が不可能な場合は、提出を要しない。また、令和７年度以前の中学校卒業者及び令和８年１２月３１日現在現地校に在学する者については、成績一覧表の作成を要しない。

第４－４－２　作成方法

実施要綱第４－３－２を準用する。ただし、道府県等で成績一覧表の様式が定められている場合は、当該道府県等の所定の様式に代えることができる。

第４－４－３　都立高校長への提出

中学校長は、親展扱いで令和９年２月４日（木）までに、生徒が出願を予定している都立高校長に全日制課程・定時制課程・通信制課程別に１部提出する。その際、出願を予定していない課程には提出する必要はない。

なお、中学校長は、都内に設置された成績一覧表調査委員会の調査を経ずに、直接都立高校長に提出するものとする。

また、生徒が志願変更した場合は、中学校長は志願変更期間中に当該都立高校長に成績一覧表を提出する。ただし、一度提出した成績一覧表は、志願変更により当該中学校の志願者がいなくなった場合でも返却しない。

郵送により提出する場合は、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法とし、上記期間中に当該都立高校に到着するよう送付すること。提出する都立高校に全日制課程・定時制課程又は定時制課程・通信制課程が併置されている場合は、封筒等に課程名を明記するなどして、課程の別が分かるようにすること。

第４－５ 成績一覧表作成基準日以降に転入学した者の取扱い

(1) 令和９年１月１日以降に都内の中学校から転入学してきた者

志願者の在学する中学校の校長が、前在籍中学校の校長から調査済みの成績一覧表を受領し、受領した成績一覧表の表紙の右上に転入学者氏名、転入学年月日及び当該生徒の成績一覧表の番号を朱書し、記名して公印を押し、出願を予定している都立高校長に提出する。

(2) 令和９年１月１日以降に都外の中学校から転入学してきた者

前在籍中学校において成績一覧表を作成している場合は、志願者の在学する中学校の校長が、前在籍中学校の校長から成績一覧表を受領し、受領した成績一覧表の表紙の右上に転入学者氏名、転入学年月日及び当該生徒の成績一覧表の番号を朱書し、記名して公印を押し、出願を予定している都立高校長に提出する。

前在籍中学校において成績一覧表を作成していない場合は、出願を予定している都立高校長に提出する必要はない。

第４－６ 調査書

第４－６－１　作成

(1) 中学校卒業見込者及び卒業者について、志願者が在学している又は卒業した中学校の教職員が作成する。

(2) 記載者以外の複数の教職員が成績一覧表（卒業者については生徒指導要録）と照合し、確認する。

(3) 少年院等に入所している生徒の調査書は、少年院等に対して必要な資料の報告を求め、中学校の教職員が作成する。

(4) 中学校長は、次のア、イ、ウの場合、調査書の一部を作成しないことができる。

ア　令和８年４月１日以降帰国し、現地校から編入学した者については調査書の所定欄のうち記入できる事項についてのみ記入する。各教科の学習の記録欄に一部でも記入できない場合、現地校の成績資料の写しを添付する。その際、現地校の成績資料の写しの添付が不可能な場合は、その旨を明らかにした「理由書」（様式任意）を添付する。

イ　中学校の、全ての教科を特別の教育課程により実施している特別支援学級（固定）在籍者（卒業者を含む。）については、調査書の所定の欄のうち記入できる事項のみ記入し、記入できない欄については斜線を引く。この場合、不足する記録に関わる資料の写しを添付する。

ウ　中学校長は、第４－３－１(5)に基づき観点別学習状況の評価及び評定を記載できる場合には必ず記載すること。ただし、出席日数が少ないため、参考にできる資料等を活用しても観点別学習状況の評価を行うことができない

と中学校長が判断する場合、記入できる教科の評価のみ記入し、記入できない教科の評価は斜線／（スラッシュ）とする。また、評定を行うことができない教科がある場合、その教科の評定は斜線／（スラッシュ）とする。この場合、中学校長はその旨を明らかにした「理由書」（様式任意）を添付する。

(5) 中学校長は、当該中学校の卒業者から調査書の発行を請求された際、スピーキングテスト個人レポートも提出された場合は、当該個人レポートが令和８年度実施のスピーキングテスト結果が記載されたものであることを確認した上で、当該個人レポートに記載されたＡからＦまでのいずれかの記号を調査書に記入する。

なお、提出された個人レポートは、調査書を交付する際に併せて返却すること。

(6) 当該中学校長は上記(1)から(5)までを確認の後、公印を押し、内容を証明する。

(7) 中学校長は、卒業者で令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）については、調査書を作成する必要はない。

第４－６－２　記載事項

調査書には、次の事項を記載する。

(1) 成績一覧表の番号

(2) 学籍の記録

(3) 各教科の学習の記録

(4) 総合的な学習の時間の内容及び評価

(5) 諸活動の記録（スピーキングテスト結果を含む。）

(6) 海外帰国生徒対象等との併願

(7) 学校番号

(8) その他必要な事項

第４－６－３　作成方法

調査書は、所定の用紙（様式10）により作成する（コピー等鮮明な表記のものは認める。）。ただし、令和４年度から令和７年度までの卒業者については調査書（様式10-2）により作成する。

調査書の作成に当たっては、原則として生徒指導要録の記入方法に従うものとする。

調査書には、次により所定の欄にそれぞれ必要事項を記入して、当該中学校長の公印を押す。

(1) 成績一覧表の番号

ア　志願者の成績一覧表の番号（３桁）を記入する。

イ　成績一覧表に記載されない志願者及び成績一覧表の作成を要しない志願者については、成績一覧表の番号欄に斜線を引く。

(2) 学籍の記録

ア　氏名、性別、生年月日、転入学等の年月及び卒業・卒業見込年月を記入する。

イ　中学校に転入学又は編入学した志願者については、転入学等の欄に転入学等の年月及び前在籍校名を記入する。転入学又は編入学がない場合は、転入学等の欄に斜線を引く。

なお、令和８年４月１日以降帰国し、現地校から編入学した者については、転入学等の欄に国名・都市名を記入する。

ウ　生徒指導要録の記載事項のうち、生徒の氏名で特に確認を要する事項が生じた場合は、区市町村長から住民票記載事項証明書（様式応３）の交付を受けるよう保護者（既卒者で成人の場合は志願者）に求める。

志願者が外国籍である場合は、「公立学校に在学する在日外国人幼児・児童・生徒に関わる教育指導について（通知）」（令和８年１月１９日付７教指企第１０６６号）を踏まえ、本名と通称名を明確にするとともに、通称名を使用するのかどうか、志願者と保護者の意思を十分確かめること。通称名を併記する場合の記入については、入学願書の記入方法と同様とする。

(3) 各教科の学習の記録

ア　実施要綱第４－３－１(5)に基づいて記載された成績一覧表の観点別学習状況の評価及び評定を記入する。

イ　志願者の調査書の評価及び評定と成績一覧表中の評価及び評定は必ず一致しなければならない。

ウ　卒業者については生徒指導要録に記載されている中学校第３学年の観点別学習状況の評価及び評定を記入する。

(4) 総合的な学習の時間の内容及び評価

ア　中学校第３学年における総合的な学習の時間で設定した課題及び内容を記入する。

イ　学習状況及び成果を評価し文章で記入する。

（例）　課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々に成果を発表する動画を作成した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる力、発表での表現力が向上した。

(5)　諸活動の記録

ア　特別活動等及びその他の学校内外の活動のうちから、当該志願者において特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を、所見を除いた客観的な記録として記入する。ただし、成績一覧表に記載されない志願者及び成績一覧表の作成を要しない志願者については、生徒指導要録の記載内容等を基にできる限り記入する。

なお、「諸活動の記録」の記入に当たっては、学級担任、教科担任の意見のみでなく、関係教職員の意見等を総合して記入し、中学校長が確認する。また、顕著な成果のある活動だけでなく、次のような活動についても記入することができる。

(ｱ) 当該志願者が積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動

(ｲ) 当該志願者の人間形成上好ましい影響のある活動や他の生徒に好ましい影響を与えている活動

(ｳ) 当該志願者の中学校３年間における継続的な活動又は各学年における特筆すべき活動

（例）・図書委員として「図書だより」の作成を担当（第３学年）

・○○検定○級を取得（第３学年）

イ　スピーキングテスト結果

スピーキングテストを受験した結果は第一次募集・分割前期募集において活用することとし、第一次募集・分割前期募集の出願時に提出する調査書については、諸活動の記録の欄にある中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果の欄に、ＡからＦまでの記号により、結果を記入する。

ただし、スピーキングテストを受験していない者のうち、スピーキングテストの受験対象者ではない者はN、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書の交付を受けた者はH、それ以外の者はWの記号を、それぞれ記入する。

なお、スピーキングテストの受験対象者ではない者が本人の希望により受験した場合は、スピーキングテスト結果の欄に、スピーキングテスト結果を、ＡからＦまでの記号により記入する。

また、第一次募集・分割前期募集以外の選抜の出願時に提出する調査書については、スピーキングテスト結果の欄に記号を記入する必要はなく、欄に斜線を引いて提出する。ただし、記号を記入した調査書を提出しても差し支えない（選考には使用しない。）。

(6) 海外帰国生徒対象等との併願

海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜又は東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学者選抜と併願し応募する場合は、海外帰国生徒対象等との併願の欄にある該当の番号を○で囲む。

(7) 学校番号

学校番号の欄は、別表10を参照し、都内公立中学校のみ記入する。

(8) その他

ア　障害等のある志願者で、学力検査を行わない教科のうち障害等の特性上著しく学習が困難な教科のある場合については、その教科の名称を○で囲み、調査書の標題の右横に「**A**」と朱書する。

イ　令和９年１月１日以降に転入学した志願者（都内の中学校及び都外の中学校からの転入学者）については、調査書の標題の右横に「**B**」と朱書する。

ウ　実施要綱第４－６－１(4)アに規定する「所定の欄のうち記入できる事項のみ記入した調査書」については、調査書の標題の右横に「**C**」と朱書する。

エ　引揚生徒対象の選抜の志願者及び一般の学力検査における引揚生徒の受検についての配慮の申請をした志願者については、調査書の標題の右横に「**D**」と朱書する。

第４－６－４　令和９年４月以降に実施する定時制課程の第三次募集以降及び通信制課程の後期選抜以降における令和９年３月卒業者の調査書の記載について

(1) 学籍の記録、各教科の学習の記録は、生徒指導要録に記載された第３学年のものとする。

(2) 諸活動の記録については、生徒指導要録を基に記入する。

(3) 成績一覧表は必要としないため、成績一覧表の番号欄には斜線を引く。

第4－7 調査書記載事項の通知

(1) 成績一覧表を作成した中学校長は、成績一覧表に記載した各教科の観点別学習状況の評価及び評定に加え、総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録等が記載された調査書の内容について、令和９年１月１５日（金）までに調査書を作成した生徒の保護者に調査書記載事項通知書（様式17）により必ず通知すること。ただし、スピーキングテスト結果の欄への記号の記入が間に合わない場合は、欄に斜線を引く。また、都立高校を受検する予定のない者については、調査書記載事項通知書における総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録の欄は斜線を引いてもよい。

(2) 前記(1)において、スピーキングテストの結果欄に斜線を引いて通知した生徒の保護者に対しては、改めて、スピーキングテスト結果を記入した調査書記載事項通知書（様式17）を、令和９年１月２９日（金）までに通知すること。

(3) 成績一覧表に記載しなかった者についても、前記(1)及び(2)に準じて、調査書に記載する内容について、調査書を作成した生徒の保護者に必ず通知する。

(4) 中学校長は、当該中学校の卒業者から調査書の発行を請求された場合、令和９年４月以降に実施する定時制課程の第三次募集及び通信制課程の後期選抜以降に志願する令和９年３月の卒業者、令和４年度から令和７年度までの卒業者には調査書記載成績通知書（様式18）を併せて発行し、交付する。

第　５　　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等

第5－1 本人得点の開示

第５－１－１　受検者又は保護者の手続

(1) 受検者又は保護者（以下「受検者等」という。）は、実施要綱に基づき、学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求書（様式19）（以下「開示請求書」という。）により、受検した都立高校長に対して、定められた受付開始日から受付終了日までに、学力検査等得点表（様式20）の開示を請求することができる。その際、受検票や身分証明書など、本人確認できるものを提示すること。ただし、保護者が開示を請求する場合は、受検票と保護者の本人確認ができるものの両方を提示すること。また、受検者等は、請求時に学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求受付票（以下「受付票」という。）を受領する。

なお、上記の手続によらず、SaaS型共同電子申請サービス（以下「電子申請」という。）により開示を請求することができる。

(2) 受検者等は、請求時に受領した受付票に記載された交付日以後に、受付票を提示して、受検票や身分証明書などにより本人確認を受けた後、受付票と引き換えに学力検査等得点表を受領する。電子申請を利用した場合は、電子メールで通知された交付日以降に、都立高校の窓口で通知内容を提示し、受検票や身分証明書などにより本人確認を受けた後、学力検査等得点表を受領する。ただし、保護者が受領する場合は、受検票、保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示すること。

第５－１－２　都立高校長の手続

(1) 受検者等から都立高校長に学力検査等得点表の開示請求があった場合、当該都立高校長は受検者等であることを受検票や身分証明書などで確実に確認の上、開示請求書により請求を受け付ける。ただし、保護者から開示請求があった場合は、受検票と保護者の本人確認ができるものの両方を確認の上、請求を受け付けること。また、当該都立高校長は、受付時に交付日等を記載した受付票を交付する。電子申請による学力検査等得点表の開示請求があった場合、当該都立高校長は請求内容を審査し、請求を受け付ける。

なお、受付開始日は、推薦に基づく選抜及び第一次募集については令和９年３月３日（水）、全日制第二次募集については令和９年３月１６日（火）、定時制第二次募集以降の募集については当該募集における合格発表日とする。ただし、合格者（推薦に基づく選抜を不合格となり、同一校を他の選抜で合格した者も含む。）からの実施要綱に基づく開示請求については、令和９年５月１日（土）を受付開始日とする。（都立高校の窓口へ請求をする場合は、令和９年５月６日（木）を受付開始日とする。）

(2) 学力検査等得点表の開示に当たり、当該都立高校長は、受検者等に受付票等を提示させるとともに、受検者等であることを受検票や身分証明書などで確認の上、受付時に受検者等に交付した受付票に記載した交付日以後に、受付票と引き換えに、受検区分を明示した当該受検者の学力検査等得点表を個別に交付する。ただし、交付の対象が保護者である場合は、保護者であることを、受検票、保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）で確認の上、交付すること。

なお、交付日は、推薦に基づく選抜及び第一次募集については令和９年３月１５日（月）以後、全日制第二次募集については令和９年３月２５日（木）以後、定時制第二次募集以降の募集については当該募集における合格発表日から８日目以後とする。ただし、都立高校長は、特に不合格者からの請求に対しては、可能な限り速やかに交付するよう配慮するものとする。

交付期限は、受付票に記載された交付日から３か月とし、交付期限までに受検者等が受領に来なかった場合は、当該請求を無効とする。

(3) 実施要綱に基づく開示請求は、令和９年８月３１日（火）を受付終了日とする。

なお、実施要綱に定める受付開始日から受付終了日までの期間以外における開示請求については、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号）に基づき行うものとする。

第５－１－３　学力検査等得点表の保存期間

都立高校における学力検査等得点表の保存期間は、「都立高等学校の入学者選抜に係る文書保存期間について（通知）」（平成２６年１１月４日付２６教学高第１３０８号）の定めるところにより、１年とする。文書の取扱いについては、東京都公文書等の管理に関する条例（平成２９年東京都条例第３９号）及び東京都教育委員会文書管理規則（平成１１年東京都教育委員会規則第６４号）に基づき処理する。

第5－2 学力検査における答案の開示

第５－２－１　受検者等の手続

(1) 受検者等は、実施要綱に基づき、開示請求書により、受検した都立高校長に対して、定められた受付開始日から受付終了日までに、学力検査における答案の開示を請求することができる。その際、受検票や身分証明書など、本人確

認できるものを提示すること。ただし、保護者が開示を請求する場合は、受検票と保護者の本人確認ができるものの両方を提示すること。また、受検者等は、請求時に受付票を受領する。

なお、上記の手続によらず、電子申請により開示を請求することができる。

(2) 受検者等は、請求時に受領した受付票に記載された交付日以後に、受付票を提示して、受検票や身分証明書などにより本人確認を受けた後、受付票と引き換えに答案の写しを受領する。電子申請を利用した場合は、電子メールで通知された交付日以降に、都立高等学校の窓口で通知内容を提示し、受検票や身分証明書などにより本人確認を受けた後、答案の写しを受領する。ただし、保護者が受領する場合は、受検票、保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示すること。

第５－２－２　都立高校長の手続

(1) 受検者等から都立高校長に学力検査における答案の開示請求があった場合、当該都立高校長は受検者等であることを受検票や身分証明書などで確実に確認の上、開示請求書により請求を受け付ける。ただし、保護者から開示請求があった場合は、受検票と保護者の本人確認ができるものの両方を確認の上、請求を受け付けること。また、当該都立高校長は、受付時に交付日等を記載した受付票を交付する。電子申請により学力検査における答案の開示請求があった場合、当該都立高校長は請求内容を審査し、請求を受け付ける。

なお、受付開始日は、学力検査を実施する全ての都立高校において、第一次募集については令和９年３月３日（水）、全日制第二次募集については令和９年３月１６日（火）、定時制第二次募集以降の募集については当該募集における合格発表日とする。ただし、合格者からの実施要綱に基づく開示請求については、令和９年５月１日（土）を受付開始日とする。（都立高校の窓口へ請求をする場合は、令和９年５月６日（木）を受付開始日とする。）

(2) 学力検査における答案の開示に当たり、当該都立高校長は、受検者等に受付票等を提示させるとともに、受検者等であることを受検票や身分証明書などで確認の上、受付時に受検者等に交付した受付票に記載した交付日以後に、受付票と引き換えに、当該受検者の答案の写しを個別に交付する。ただし、交付の対象が保護者である場合は、保護者であることを、受検票、保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）で確認の上、交付すること。

なお、交付日は、学力検査を実施する全ての都立高校において、第一次募集については令和９年３月１５日（月）以後、全日制第二次募集については令和９年３月２５日（木）以後、定時制第二次募集以降の募集については当該募集における合格発表日から８日目以後とする。ただし、都立高校長は、特に不合格者からの請求に対しては、可能な限り速やかに交付するよう配慮するものとする。

交付期限は、受付票に記載された交付日から３か月とし、交付期限までに受検者等が受領に来なかった場合は、当該請求を無効とする。

(3) 実施要綱に基づく開示請求は、令和９年８月３１日（火）を受付終了日とする。

なお、実施要綱に定める受付開始日から受付終了日までの期間以外における開示請求については、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号）に基づき行うものとする。

第５－２－３　答案の保存期間

都立高校における答案の保存期間は、「都立高等学校の入学者選抜に係る文書保存期間について（通知）」（平成２６年１１月４日付２６教学高第１３０８号）の定めるところにより、全日制課程は３年、定時制課程及び通信制課程は４年とする。文書の取扱いについては、東京都公文書等の管理に関する条例（平成２９年東京都条例第３９号）及び東京都教育委員会文書管理規則（平成１１年東京都教育委員会規則第６４号）に基づき処理する。

第5－3 選抜用評定等確認表の送付及び受領

第５－３－１　都立高校長の手続

(1) 各都立高校の採点委員会の委員長（当該都立高校長）は、中学校長が作成した成績一覧表及び調査書の内容が、当該都立高校の入学者選抜において確実に使用されたかどうかを、中学校長が確認できるようにするため、採点終了後速やかに、選抜に用いた受検者の各教科の評定又は各教科の観点別学習状況の評価等を記載した、選抜用評定等確認表（様式21）を受検区分ごとに作成する。

(2) 都内の中学校に在学している受検者が、中学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高校から中学校へ検査結果を提供することに同意し、出願サイト上で入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に受検者氏名が表示されるように登録した上で出願した場合又は入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に自署した上で出願した場合は、各都立高校の採点委員会の委員長は選抜用評定等確認表に、当該受検者の各教科の評定又は各教科の観点別学習状況の評価に加えて、当該受検者が受検した各検査における得点を記載する。

(3) 各都立高校の採点委員会の委員長は、都内公立中学校及び都立中学校・中等教育学校在学者の選抜用評定等確認表をそれぞれの学校別に分類し「選抜用評定等確認表在中」と朱書された指定の封筒（長形３号）に入れ、封をした上で、「選抜用評定等確認表在中」と朱書された指定の封筒（角形２号）を用いて、推薦に基づく選抜及び第一次募集については令和９年３月２日（火）から３月８日（月）までに、全日制第二次募集については令和９年３月１５日（月）

から３月２３日（火）までに、別表12（２４１ページ）により区市町村別送付先の都内公立中学校長及び都立中学校・中等教育学校の校長宛てに親展扱いの簡易書留郵便等追跡可能かつ対面で受け渡される方法で発送する。

(4) 令和７年度以前の中学校卒業者、都内国私立中学校等在学者、都外中学校在学者及び定時制第二次募集以降を受検した者の選抜用評定等確認表は、各都立高校長が保管し、当該中学校長から請求があった場合、これを送付する。その際、当該都立高校の採点委員会の委員長が選抜用評定等確認表に記載する内容については、実施要綱第５－３－１(1)及び(2)を準用する。

第５－３－２　中学校長の手続

(1)　別表12（２４１ページ）の送付先の都内公立中学校長及び都立中学校・中等教育学校長は、選抜用評定等確認表（様式21）を受領した後、個人情報の取扱いに十分配慮し、関係の中学校長に遅滞なく送付する。

送付を受けた中学校長は、選抜用評定等確認表に記載された各教科の評定又は各教科の観点別学習状況の評価について確認し、各区市町村又は東京都における文書管理の取決めに基づき保管する。また、受検者が出願時に同意したことにより、都立高校長から提供された各検査における得点（以下「提供された検査結果」という。）については、個人情報として取扱いに十分配慮した上で、当該中学校における進路指導及び学習指導に活用することができる。

なお、都内公立中学校においては、提供された検査結果を、当該中学校所在の区市町村内で活用する場合、当該区市町村教育委員会の管理の下、個人を特定できないようにするなど十分注意し、適切に取り扱うこと。

(2)　令和７年度以前の中学校卒業者、都内国私立中学校等在学者、都外中学校在学者及び定時制第二次募集以降を受検した者の選抜用評定等確認表を請求する中学校長は請求の際、簡易書留郵便による返送料相当分の郵券を貼った返信用封筒等を送付する。

第５－３－３　選抜用評定等確認表の保存期間

選抜用評定等確認表は、「都立高等学校の入学者選抜に係る文書保存期間について（通知）」（平成２６年１１月４日付２６教学高第１３０８号）の定めるところによる「(4)その他の書類」に該当する文書とし、都立高校における保存期間は１年とする。文書の取扱いについては、東京都公文書等の管理に関する条例（平成２９年東京都条例第３９号）及び東京都教育委員会文書管理規則（平成１１年東京都教育委員会規則第６４号）に基づき処理する。

なお、中学校における選抜用評定等確認表の保存については、各区市町村又は東京都における文書管理の取決めによる。

第　６　　受検上の配慮

第6－1 障害のある受検者に対する配慮

障害のある受検者のうち以下の配慮を希望する者は、中学校長を経由して、令和８年１２月１８日（金）までに以下のように申請する。

なお、都立高校の学力検査日以前に他校へ入学手続を終えた者は、中学校長を経由して、本配慮を辞退する旨の連絡を申請先の都立高校に速やかに行うこと（以下(1)の申請者から本配慮を辞退する旨の連絡があった場合、都立高校長は直ちに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に連絡すること。）。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

(1) 障害による学力検査等実施上の配慮

障害による学力検査等実施上の配慮（英語学力検査リスニングテスト､面接及び小論文･作文における配慮を含む。）を希望する者は、学力検査等実施上の配慮申請書（様式24）により、志願する都立高校長に申請する。

学力検査等の実施は通常の受検者と同一とする。ただし、通常の検査方法では受検が困難と認められる者については、検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法（問題･解答用紙の拡大、記号選択式での受検、ＩＣＴ機器の使用、介助者（代筆者、音読者等を含む。）の同行等）、検査時間及び検査会場について適切な配慮を行う。

本配慮申請を受け付けた都立高校長は、申請の内容にかかわらず、速やかに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当と協議すること。

なお、本配慮申請後、志願の取りやめ又は変更をするときは、申請者は速やかに中学校長を経由して、申請先の都立高校長に志願の取りやめ又は変更をする旨を報告する。変更をする場合は、中学校長を経由して、申請変更先の都立高校長に学力検査等実施上の配慮申請書を直ちに提出する。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

推薦に基づく選抜においても、本配慮申請を行うことができる。その場合は、学力検査等実施上の配慮申請書（様式24）の標題の「学力検査等」に二重線を引き、「推薦選抜」と書き換える。ただし、推薦に基づく選抜において申請した志願者が、学力検査等に基づく選抜においても本配慮を希望する際は、改めて申請すること。

(2) 選考の特例

第一次募集又は分割前期募集において、選考の特例を希望する者は、選考の特例申請書（様式25）により、東京都教育委員会に申請する。前記(1)による配慮を申請した者は、学力検査等実施上の配慮申請書（様式24）の写しも併せて提出する。

学力検査等の実施は、通常の受検者と同一とする。ただし、現住所から通学至便な全日制又は定時制の都立高校を希望し、その他の都立高校に通学することが困難と認められる者については、志願した都立高校において個別面談を実施し、選考の際、個別面談点を付加する。

なお、第一次募集又は分割前期募集で選考の特例を申請した者が、分割後期募集又は第二次募集を受検する場合、再度選考の特例を申請することができる。

第6－2 事故や病気等による学力検査等実施上の配慮

(1) 事故や病気等により、通常の学力検査の方法で受検することが困難な受検者（「軽度の障害」を含む。）で、学力検査等実施上の配慮を希望する者は、中学校長を経由して、令和８年１２月１８日（金）までに、事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書（様式26）により、志願する都立高校長に申請する。令和８年１２月１９日（土）以降に、事故や病気等が発生した場合は、状況発生後直ちに中学校長を経由して、志願する都立高校長に申請する。

・　学力検査等実施上の配慮

学力検査等の実施は通常の受検者と同一とする。ただし、通常の検査方法では受検が困難と認められる者については、検査時間及び検査会場について適切な配慮を行う。

中学校長は、状況を把握した後直ちに申請先の都立高校長に電話連絡すること。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

都立高校長は、検査方法の配慮を必要と認めた場合には、直ちに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当と協議すること。

なお、推薦に基づく選抜においても、本配慮申請を行うことができる。その場合は、事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書（様式26）の標題の「学力検査等」に二重線を引き、「推薦選抜」と書き換える。ただし、推薦に基づく選抜において申請した志願者が、学力検査等に基づく選抜においても本配慮を希望する際は、改めて申請すること。

(2) 学校保健安全法（昭和３３年法律第５６号）第１９条により中学校長が出席停止にすることができるインフルエン

ザ等の学校感染症（以下「インフルエンザ等」という。）に罹患した者は、受検することはできない。ただし、中学校長が出席停止を解除している場合又は症状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認められた場合は、受検を認める。その際、事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書（様式26）により別室による受検等を申請する場合は、医療機関からの証明書や中学校長がインフルエンザ等による出席停止を解除していることについて証明する書類を添付すること。

第6－3　インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置

第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は学校保健安全法第１９条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状、痴漢被害等受検者本人の責めによらず、やむを得ない事情等で受検できなかった者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者（１教科（面接及び実技検査等を含む。）でも受検した者は除く。）のうち、希望する者に対して追検査の措置を行う。追検査の措置を希望する者は、中学校長を経由して、令和９年２月２２日（月）午後５時までに、インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置申請書（様式27）により第一次募集において出願した都立高校長に申請する。

中学校長は、状況を把握した後直ちに申請先の都立高校長に電話連絡すること。都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

当該都立高校長は、第一次募集の検査日当日に、当該受検者が検査の全て又は一部を受検していないことを確認し、追検査に応募する資格があると認めた場合には、直ちに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に電話連絡する。

なお、当該中学校長は、当該生徒が追検査の措置の申請をした後、分割後期募集実施校、全日制第二次募集実施校への受検又は国私立高校への進学等により、追検査に出願しないことが確実になった場合、その旨を速やかに当該都立高校長へ電話等により連絡し、事情を記載した理由書を提出する。都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

当該都立高校長は、当該中学校長から追検査の措置の申請をした生徒が追検査に出願しない旨の連絡を受けた場合には、直ちに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に電話連絡する。

学校において予防すべき感染症の種類と出席停止期間の基準については、別表15を参照する。

第6－4　一般の学力検査における引揚生徒の受検についての配慮

海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱Ⅱ－３（５７ページ）に該当する者で、一般の学力検査を受検する者のうち、学力検査実施上の配慮を希望する者は、中学校長を経由して、第一次募集・分割前期募集の場合は令和９年１月５日（火）、分割後期募集・全日制第二次募集の場合は令和９年３月４日（木）、定時制第二次募集の場合は令和９年３月１５日（月）までに、引揚生徒の都立高等学校受検に対する配慮申請書（様式29）により、東京都教育委員会に申請する。

また、都立高校の学力検査日以前に他校に入学手続を終えた者は、中学校長を経由して、本配慮を辞退する旨の連絡を都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に速やかに行うこと。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

本配慮を希望する者は、出願時に自己ＰＲカード（様式12）を提出する。

・　学力検査実施上の配慮

検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法及び検査時間について適切な配慮を行うとともに面接を行う。

なお、配慮申請後、志願の取りやめ又は変更をするときは、申請者は速やかに中学校長を経由して、都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に志願の取りやめ又は変更をする旨を報告する。変更をする場合は、中学校長を経由して都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に配慮申請書を直ちに提出する。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

第6－5　一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮（ルビ付問題）

国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として６年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮を希望する者は、中学校長を経由して、日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）（様式30）により、出願時に志願する都立高校長へ申請する。

なお、都立高校の学力検査日以前に他校に入学手続を終えた者は、中学校長を経由して、本配慮を辞退する旨の連絡を申請先の都立高校長に速やかに行うこと。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

・　日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮

第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、 ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査を実施する。

なお、本配慮申請後、志願の取りやめ又は変更をするときは、申請者は速やかに中学校長を経由して、申請先の都

立高校長に志願の取りやめ又は変更をする旨を報告する。変更をする場合は、中学校長を経由して申請変更先の都立高校長に入学願書再提出時に本配慮申請書を提出する。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

また、申請に要する書類は、以下のとおりとする。

(1) 日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）（様式30）

(2) 入国後の在日期間が入学日現在６年以内であることを証明する公的機関発行の書類（中学校に在学していない者のみ）

なお、在京外国人生徒等対象の選抜における検査問題については、ひらがなのルビを振った問題で実施するため、日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）（様式30）を提出する必要はない。

第６－６　一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮（ルビ付問題・辞書持込み）

国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として３年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮を希望する者は、中学校長を経由して、日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査実施上の配慮申請書（ルビ付問題・辞書持込み）（様式31）により、出願時に志願する都立高校長へ申請する。ただし、入学日現在入国後３年を超える者のうち、入国日が令和６年１月１日以降の者については、入国後の在日期間が入学日現在３年以内とみなす。

なお、都立高校の学力検査日以前に他校に入学手続を終えた者は、中学校長を経由して、本配慮を辞退する旨の連絡を申請先の都立高校長に速やかに行うこと。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

・　日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮

第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題での検査の実施に加え、辞書の持込み（電子辞書を除く。）を一部認めるとともに、検査時間及び検査会場について適切な配慮を行う。持ち込める辞書は、希望する外国語について、日本語に対する当該外国語の訳が記載されている辞書１冊と、当該外国語に対する日本語の訳が記載されている辞書１冊の合計２冊を原則とし、辞書に書き込みはできない。辞書の持込みを希望する者は持ち込む辞書を、第一次募集・分割前期募集にあっては、令和９年２月８日（月）から２月１２日（金）正午までに、分割後期募集・第二次募集にあっては、令和９年３月４日（木）から３月８日（月）正午までに、受検する都立高校長に提出する。

なお、本配慮申請後、志願の取りやめ又は変更をするときは、申請者は速やかに中学校長を経由して、申請先の都立高校長に志願の取りやめ又は変更をする旨を報告する。変更をする場合は、中学校長を経由して申請変更先の都立高校長に出願時に本配慮申請書を提出する。中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

また、申請に要する書類は、以下のとおりとする。

(1) 日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査実施上の配慮申請書（ルビ付問題・辞書持込み）（様式31）

(2) 入国後の在日期間が入学日現在３年以内であることを証明する公的機関発行の書類（中学校に在学していない者のみ）

第６－７　性同一性障害等の受検者の取扱い

性同一性障害等の理由により、戸籍上の性とは別の性で受検を希望する者があった場合の取扱いは、当該生徒が在学する中学校を所管する区市町村教育委員会等と東京都教育委員会が協議し、個別に決定する。

第６－８　都内公立中学校在籍のスピーキングテスト不受験者に対する措置

都内公立中学校に在籍する者のうち、やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験することができない又は受験できなかった者は、東京都教育委員会の承認を得ることで、実施要綱第２－１０－１(3)のとおり取り扱う。本措置を希望する者は、グローバル人材育成部国際教育企画課国際教育推進担当が発出した「令和８年度中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR 3)実施要項」における『第２－５　受験上の配慮（２）』に基づいて申請し、交付を受けた「都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書」を出願書類に添付する。

なお、都内公立中学校に在籍していない者で、スピーキングテストの受験申込を行わなかった場合は、本措置を申請する必要はない。スピーキングテストの受験申込を行い、やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できなかった場合は、都内公立中学校に在籍する者と同様に、本措置の申請が必要となる。

第　７　　インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査

第一次募集において、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第１９条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状、痴漢被害等受検者本人の責めによらず、やむを得ない事情等で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、追検査を実施する。

なお、追検査は、第一次募集を実施する都立高校（全日制課程及び定時制課程（島しょの都立高校を含む。））において実施する。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しない。

第7－1 日程

事　　項	日　　時
出　　願	令和９年３月　４日（木）　午前９時 ～ 午後３時
学　力　検　査	令和９年３月　９日（火）　集合　午前８時３０分
面接及び実技検査等	各都立高校が定める時間
合格者の発表	令和９年３月１２日（金）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 正午　（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年３月１２日（金）　正午　～ 午後３時 ３月１５日（月）　午前９時 ～ 正午

第7－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

なお、実施要綱第６－３に定める追検査の措置の申請がなかった都立高校は追検査を実施しない。

第7－3 応募資格等

実施要綱第３－３を準用する。

なお、追検査においては、第一次募集の検査日当日に罹患者等となった者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、実施要綱第６－３に定める手続により追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得た者とする。

また、第一次募集の検査日当日に受検者本人の責めによらず、やむを得ない事情等により受検することができなかった者で、第三者機関により証明ができる場合は、当該中学校長が都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に協議の上、当該都立高校長から承認を得ること。

第7－4 出願方法

志願者は、追検査の措置の申請をした都立高校のうち、第一次募集において第１志望とした科（分野）又は部に限り出願することができる。追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできない。また、追検査に出願した者は、志願変更をすることはできない。

志願者は、追検査の出願期間中に、出願に要する書類等を追検査の措置の申請をした都立高校長に提出し、受検票の交付を受ける。

なお、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科、１部から３部までの各部等、複数の学科等がある場合であっても、それぞれ別の学科として扱うため、志望の順位を付けることはできない。また、実施要綱第６－３に定める手続により追検査の措置を申請した者が、分割後期募集・全日制第二次募集を実施する都立高校に出願することも可能であるが、分割後期募集・全日制第二次募集に出願した場合、追検査に出願することはできない。

第7－5 出願手続

(1) 中学校長、志願者及び都立高校長が行う手続は、実施要綱第３－５を準用する。ただし、入学願書は、入学願書（様式33）を用いる。追検査に出願する際には、入学考査料（全日制２，２００円、定時制９５０円）を所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付ける。

なお、チャレンジスクールの入学願書については、別に定める。

(2) 郵送による出願は受け付けない。ただし、次のアからウまでのいずれかに該当する場合は、入学願書提出期限までに簡易書留郵便で到着したものに限り受け付ける。

なお、郵送により出願する場合は、入学願書等提出書類に、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の切手を貼り付けたもの）を同封すること。

ア　定時制へ出願する場合（定時制のうち、新宿山吹高校、チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）を除く。）

イ　島しょの中学校を卒業する見込みの者が出願する場合

ウ　島しょの都立高校を志願する者のうち、当該都立高校の所在する島しょ以外に住所を有する者が出願する場合

(3) 追検査における入学願書について、都内の中学校長は、在学している生徒が、第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患したこと又は中学校長が出席停止の措置を行ったこと等及び第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかったことを確認した上で、所定の位置に公印を押す（都内の中学校に在学していない者は、中学校長の公印の押印は必要ない。）。また、出願の際には、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったこと等について中学校長が証明する書類（いずれか１通。様式は任意）を添付し、入学願書と併せて当該都立高校に提出すること。

＜出願に要する書類等＞

・入学願書（様式33）（チャレンジスクールについては、別に定める。）

・医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類（いずれか１通。様式は任意）

・自己ＰＲカード（様式12）（追検査で面接を実施する学校に出願する場合は、提出する。）

※　第一次募集の出願時に提出した、調査書（様式10又は10-2）、自己ＰＲカード（様式12）（面接を実施する学校）、志願申告書（チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠））等については、追検査において改めて提出する必要はない。

(4) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

第7－6 学力検査等の実施

第７－６－１　検査教科等

学力検査（共通問題）の教科については、国語、数学及び外国語(英語)の３教科とし、各教科の満点は１００点とする。また、追検査で使用する検査問題（共通問題）は、分割後期募集・全日制第二次募集で使用する検査問題（共通問題）と同一のものとする。

なお、チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）においては、学力検査を実施しない。学力検査以外の検査の実施内容は、面接、小論文又は作文、実技検査、学校設定検査（各都立高校が実施する、社会・理科の内容を含む検査）の中から、各都立高校が別に定めた方法により実施する（別表13及び別表14を参照）。

検査教科等のうち、１教科（学力検査以外の検査を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

第７－６－２　集合時刻及び時間割

学力検査の教科の時間割は、次の表による。

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科
集　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語

学力検査以外の検査については、各都立高校が適切に定め実施する。

第７－６－３　検査会場及び検査会場の管理

(1) 検査会場

検査会場は、志願先の都立高校長が受検票により指定する。

なお、第二次募集を併せて実施する場合は、第二次募集とは別に追検査の会場を校内に設置して実施する。

(2) 検査会場の管理

ア　検査会場の管理責任者は、当該都立高校長とする。

イ　検査会場の監督者等は、当該都立高校の教職員のうちから当該都立高校長が命ずる。

ウ　当該都立高校長は、検査終了後直ちに答案等を包装し、封印して、採点時まで保管する。

第7－7 採点

実施要綱第２－９を準用する。

第7－8 選考

第７－８－１ 選考

(1) 選考は、別表13（２４３ページ）に基づき、調査書、学力検査（面接、小論文又は作文、実技検査及び学校設定検査を実施する都立高校にあってはそれらを含む。）を総合した成績（総合成績）により行う。なお、スピーキングテストの結果は活用しない。

(2) 各都立高校は、選考に当たり次の項目を適切に定める。内容については、別表13（２４３ページ）のとおりとする。

ア　面接点の満点

イ　小論文点又は作文点の満点

ウ　実技検査点の満点

エ　学校設定検査点の満点

(3) 学力検査の得点（学力検査を実施した教科の得点の合計。ただし、傾斜配点を行う教科については、傾斜配点を行った得点とする。）及び学校設定検査点と調査書点の比率については、次のとおりとし、当該都立高校が第一次募集で実施した比率とする。

ア　全日制は、原則として７：３とする。ただし、芸術及び体育に関する学科は６：４とする。また、受検者ごとに７：３と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる学校については、別表13（２４３ページ）による。

イ　定時制は、７：３又は６：４のどちらかとする。

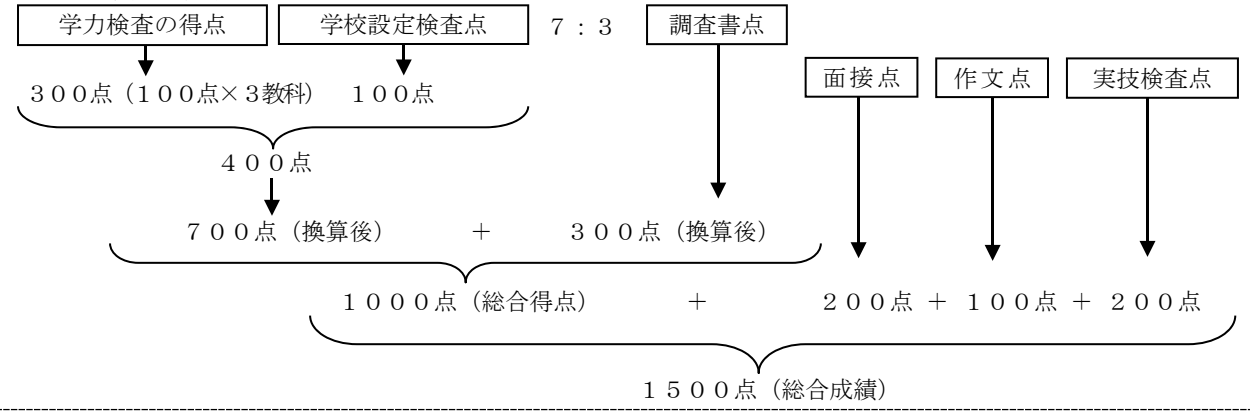
なお、学力検査の得点及び学校設定検査点と、調査書点の合計は、１０００点を満点とする。

(4) 面接、小論文又は作文、実技検査及び学校設定検査の結果については、各都立高校が適切に基準を定め、それぞれ点数化する。

(5) 調査書中の各教科の学習の記録を点数化する際は、受検者から提出された調査書の各教科の評定数値を当該受検者の在学する中学校から提出された成績一覧表において確認した後、別表13においてあらかじめ各都立高校が定めた方法により調査書点を算出する。ただし、在学する中学校から成績一覧表が提出されていない受検者、成績一覧表の除外人員となっている受検者及び評定を行うことができずに評定が斜線 / （スラッシュ）となっている教科のある受検者については、学力検査の得点等の参考にできる資料を活用して当該都立高校が調査書点を求める。

(6) チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）については、志願申告書、面接及び作文を総合した審査結果、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。

（例）　３教科、傾斜配点を行わず、学力検査の得点及び学校設定検査点と調査書点の比率が７：３、学校設定検査点の満点が１００点、面接点の満点が２００点、作文点の満点が１００点及び実技検査点の満点が２００点の学校の場合



第７－８－２ 選考委員会

実施要綱第２－１０－４を準用する。

第７－８－３　合格候補者数の決定

当該都立高校は、実施要綱第７－２で定めた募集人員のとおり各課程及び学科（分野）ごとに合格候補者数を決定する。

なお、当該都立高校のうち、第一次募集における受検人員が募集人員に満たない都立高校については、これによらず、追検査の措置を行うことになった人員と第一次募集における未充足人員のうち人数の少ない方の人員を合格候補者とする。

第７－８－４　合格候補者の決定

追検査を受検した者のうち、各都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から、実施要綱第７－８－３で定めた合格候補者数に相当する人員を、その都立高校の合格候補者とする。

第７－８－５ 合格者の決定

実施要綱第２－１０－６を準用する。

第7－9 合格者の発表及び入学手続

実施要綱第３－１１及び第３－１２を準用する。

第7－10 本人得点の開示及び答案の開示

実施要綱第５－１から第５－３までを準用する。

第7－11 その他

(1) 追検査においては、実施要綱第２－５－２に定める定時制成人受検者特別措置を適用しない。

(2) 追検査においては、実施要綱第２－７－４に定める現地受検及び島外受検を実施しない。

第　８　　その他

1　施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、実施要綱に定める学力検査の成績により行う。

2　応募資格に違反し、又は調査書及び必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

3　入学手続者の選択科目申請等に係る「入学関係書類提出日」については、都立高校における新入生受入準備や中学校の教育課程に支障のないように、東京都公立高等学校長協会が東京都中学校長会及び東京都立学校経営企画室長会と協議の上、定めた期日以降とする。

4　入学手続者を招集する必要がある都立高校は、令和９年３月２３日（火）以降に招集を行う。

5　検査時間中に監督の指示に従わないことや情報通信機器を検査時間中に使用することなどの行為が確認された場合、不正行為とみなし、厳正に対応する。

6　その他、都立高校の入学者選抜において新たな対応を行うこととなった場合、このことに関し必要な事項は、別に定める。

第　９　　保護者の転勤等に伴う４月入学者募集

保護者の転勤等に伴い都内に転入する生徒(新１年生)を対象に、都立高校全日制課程における入学者選抜を実施する。

第9－1　4月募集日程

	出　　願	学力検査等	合格者の発表	入学手続
前期日程	令和９年４月１日（木） 午前９時～午後３時	令和９年４月２日（金）	令和９年４月２日（金） 各高校で定める時刻	合格発表後から 令和９年４月５日（月） 正午まで
後期日程	令和９年４月５日（月） 午前９時～午後３時	令和９年４月６日（火）	令和９年４月６日（火） 各高校で定める時刻	合格発表後から 令和９年４月７日（水） 正午まで

（注）４月募集を行う都立高校の募集人員は、令和８年１０月頃に発表する予定である。

第9－2　対象校及び募集人員

募集を行う都立高校は、第９－１の前期日程対象校（４４ページ）及び後期日程対象校（４５ページ）のとおりとし、「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第9－3　応募資格

保護者の転勤等に伴い、保護者とともに入学日までに都内に転入することが確実な者で、令和９年度の道府県等の国公私立高等学校全日制課程の入学者選抜に合格している者及び中等教育学校後期課程に進級見込みの者とする。ただし、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方(転勤等に伴い都内に転入する保護者)と同居すればよい(応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。)。

なお、既に実施された令和９年度東京都立高等学校入学者選抜に応募した者の出願は認めない。

第9－4　出願方法

志願者は、原則として道府県等の高校の合格した学科及び進級見込みの中等教育学校後期課程の学科と同一の学科に出願する。

１校１コース又は１科（１分野）を指定して出願するが、志望する同一の都立高校内にある同一学科に２科（２分野）以上あり、募集がある場合は、他の全ての科（分野）に志望の順位を付けて出願することができる。

なお、前期日程の都立高校における合格者は、後期日程の都立高校に出願することはできない。

第9－5　出願手続

(1) 提出先

志願する都立高校

(2) 出願に要する書類等

ア　入学願書（様式34)

イ　入学考査料　全日制２，２００円

志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

ウ　転居に関する申立書（様式応４）

エ　前記第９－３ただし書に該当する場合は、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

オ　転居を証明する書類

(ｱ) 新たに都内に住居を持つ場合

契約書の写し(売買、賃貸)、転居証明書(社宅等)、当選通知書の写し(公共住宅)、確認済証(建築物)の写し

なお、写しを提出する場合は原本を持参し、確認後返却を受けること。

(ｲ) 既に都内に在住している親族等と同居する場合

親族等の住民票記載事項証明書（様式応３（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの)）及び同居同意書（様式任意）

カ　調査書（道府県等の入学者選抜に用いたもの）

キ　道府県等の国公私立高等学校全日制課程の合格通知書(中等教育学校の場合は「後期課程進級見込み証明書」等)の写し

なお、原本を持参し、確認後に返却を受けること。

ク　保護者の転勤等を証明する書類

なお、入学日に、入学を予定している都立高校の校長に住民票記載事項証明書（様式応３（申請した都内の住所に本人及び保護者が転居したことを確認できるもの））を提出すること。

(3) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

第9－6 学力検査等の実施

第９－６－１　検査教科等

学力検査の教科については、国語、数学及び外国語（英語）の３教科とする。また、面接を実施する。

なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しないこととし、実施する検査の内容は、各都立高校が定める。

検査教科等のうち、１教科（面接等を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

第９－６－２　集合時刻及び時間割

原則として、以下のとおりとする。ただし、エンカレッジスクールとして指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定める。

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第４時限	午後　１時００分 ～		面　接

第９－６－３　検査会場

志願先の都立高校長が受検票により指定する。

第９－６－４　問題作成

実施要綱第２－８(1)アからウまでに基づき、各都立高校が作成する。

第9－7 選考

入学願書等の提出書類、学力検査等の結果を総合した成績（総合成績）により、当該都立高校長が合格者を決定する。

第9－8 合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

(1) 発表場所

志願先の都立高校

(2) 発表方法

受検番号順に、受検番号により掲示する。

(3) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

(4) 入学手続（入学確約書の提出）

合格者は、入学手続期間内に入学確約書（様式23）を提出し、所定の納付書により納付期間内（合格発表日の翌日から起算して５日以内。ただし、５日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日）に入学料５，６５０円を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。

入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

なお、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効とする。

都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校が交付する。その他の書類は、当該都立高校長が定める期間内に提出する。

第9－9 本人得点の開示及び学力検査における答案の開示

実施要綱第５－１及び第５－２を準用する。ただし、第５－１－２(2)及び第５－２－２(2)でいう交付の開始時期は、合格者の入学手続締切日の翌日とする。

第9－10 その他

応募資格に違反し、又は入学願書等の必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

※　前期日程及び後期日程の学校は、令和９年度の募集人員が発表される令和８年１０月頃に、変更となる場合がある。

前期日程

１　普通科の高校

所在地	学校名
新宿区	戸山高校
文京区	竹早高校
台東区	上野高校
墨田区	日本橋高校
江東区	深川高校
品川区	大崎高校、小山台高校
目黒区	目黒高校
大田区	大森高校、蒲田高校
世田谷区	桜町高校
渋谷区	広尾高校
中野区	鷺宮高校
杉並区	杉並高校、西高校
豊島区	文京高校
板橋区	大山高校、北園高校
練馬区	石神井高校、光丘高校
足立区	足立高校、淵江高校
葛飾区	南葛飾高校
江戸川区	江戸川高校、紅葉川高校
八王子市	八王子東高校、富士森高校
武蔵野市	武蔵野北高校
青梅市	多摩高校
府中市	府中東高校
昭島市	昭和高校
調布市	調布北高校
町田市	小川高校、町田高校
小平市	小平高校
日野市	日野高校、南平高校
東村山市	東村山西高校
国立市	国立高校
福生市	福生高校
狛江市	狛江高校
東大和市	東大和高校
清瀬市	清瀬高校
武蔵村山市	武蔵村山高校
羽村市	羽村高校
西東京市	田無高校

【単位制】

所在地	学校名
墨田区	墨田川高校
大田区	美原高校
板橋区	板橋有徳高校
練馬区	大泉桜高校
八王子市	翔陽高校
国分寺市	国分寺高校

２　専門学科の高校

学科	所在地	学校名
農業	葛飾区	農産高校
	西多摩郡	瑞穂農芸高校
工業	文京区	工芸高校
	大田区	六郷工科高校(単位制)
	杉並区	杉並工科高校
	荒川区	荒川工科高校
	足立区	足立工科高校
	江戸川区	葛西工科高校
	府中市	府中工科高校
	町田市	町田工科高校
科学技術	小金井市	多摩科学技術高校
商業	江東区	江東商業高校
	渋谷区	第一商業高校
	葛飾区	葛飾商業高校
※	豊島区	千早高校
家庭	北区	赤羽北桜高校
	西多摩郡	瑞穂農芸高校
福祉	北区	赤羽北桜高校
産業	墨田区	橘高校

※　ビジネスコミュニケーション科

３　総合学科の高校

所在地	学校名
大田区	つばさ総合高校
北区	王子総合高校
葛飾区	葛飾総合高校
青梅市	青梅総合高校
稲城市	若葉総合高校

後期日程

1　普通科の高校

所在地	学校名
千代田区	日比谷高校
港区	三田高校
文京区	向丘高校
墨田区	本所高校
江東区	城東高校、東高校
品川区	八潮高校
目黒区	駒場高校
大田区	田園調布高校、雪谷高校
世田谷区	千歳丘高校、松原高校
渋谷区	青山高校
中野区	武蔵丘高校
杉並区	豊多摩高校
豊島区	豊島高校
荒川区	竹台高校
板橋区	板橋高校、高島高校
練馬区	井草高校、練馬高校
足立区	青井高校、足立西高校、江北高校
葛飾区	葛飾野高校
江戸川区	小岩高校、小松川高校
八王子市	片倉高校、松が谷高校
立川市	立川高校
府中市	府中高校、府中西高校
昭島市	拝島高校
調布市	神代高校、調布南高校
町田市	成瀬高校、山崎高校
小金井市	小金井北高校
小平市	小平南高校
日野市	日野台高校
東村山市	東村山高校
東大和市	東大和南高校
東久留米市	久留米西高校
西東京市	保谷高校

【単位制】

所在地	学校名
新宿区	新宿高校
台東区	忍岡高校
世田谷区	深沢高校、芦花高校
北区	飛鳥高校
武蔵村山市	上水高校

2　専門学科の高校

学科	所在地	学校名
農業	世田谷区	園芸高校
	杉並区	農芸高校
	府中市	農業高校
工業	台東区	蔵前工科高校
	江東区	墨田工科高校
	世田谷区	総合工科高校
	中野区	中野工科高校
	板橋区	北豊島工科高校
	練馬区	練馬工科高校
	福生市	多摩工科高校
	西東京市	田無工科高校
科学技術	江東区	科学技術高校
商業	港区	芝商業高校
	江東区	第三商業高校
	練馬区	第四商業高校
	国立市	第五商業高校
※	大田区	大田桜台高校
家庭	台東区	忍岡高校(単位制)
	府中市	農業高校
福祉	町田市	野津田高校
産業	八王子市	八王子桑志高校

※　ビジネスコミュニケーション科

3　総合学科の高校

所在地	学校名
中央区	晴海総合高校
世田谷区	世田谷総合高校
杉並区	杉並総合高校
町田市	町田総合高校
東久留米市	東久留米総合高校

東京都立国際高等学校国際バカロレアコース
入学者選抜実施要綱

令和９年度の東京都立国際高等学校国際学科のうち、国際バカロレアコース（以下「ＩＢコース」という。）の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）に基づき、この東京都立国際高等学校国際バカロレアコース入学者選抜実施要綱（以下「本実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。

１　ＩＢコースの選抜日程

事　　項	日　　時
出　　願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で当該都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年１月１８日（月）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年　１月　８日（金）から１月１８日（月）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
検　　査	令和９年１月２６日（火）　集合　午前８時３０分 １月２７日（水）　集合　午前８時３０分
合格者の発表	令和９年２月　２日（火）　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年２月　２日（火）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ２月　３日（水）　午前９時 ～ 正午

２　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

３　応募資格

ＩＢコースの選抜に志願することのできる者は、平成２４年４月１日以前に出生した者で、次の(1)又は(2)に該当し、ＩＢコースを第１志望とする者とする。ただし、都立高等学校（以下「都立高校」という。）の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜及び在京外国人生徒等対象の選抜（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校）に出願する者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）並びに都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者の応募は認めない。

(1) 日本人生徒募集

日本国籍を有し、次のア及びイに該当する者

ア　高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次の(ｱ)から(ｵ)までのいずれかに該当する者

(ｱ) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を令和９年３月に卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者

(ｲ) 中学校を卒業した者

(ｳ) 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号。以下「施行規則」という。）第９５条各号のいずれかに該当する者

(ｴ) 令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第１号に規定する外国において学校教育における９年の課程（以下「現地校」という。）を修了する見込みの者

(ｵ) 令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第２号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「日本人学校」という。）の当該課程を修了する見込みの者

イ　東京都立高等学校入学者選抜実施要綱（以下「都立高校の実施要綱」という。）第２－３－１の②欄中のいずれかに該当する者

また、前記ア(ｴ)若しくは(ｵ)に該当する者又は現地校若しくは日本人学校を卒業した者で海外に在住している者について、特別の事情により保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方､親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下、本実施要綱において同じ。）が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいて、かつ、保護者(保護者が父母である場合は、父又は母のどちらか一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが確実であること。

(2) 外国人生徒募集

外国籍を有し、次のア及びイに該当する者

ア　高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次の(ｱ)から(ｳ)までのいずれかに該当する者

(ｱ) 令和９年３月３１日までに、現地校を修了する見込みの者又は修了した者

(ｲ) 令和９年３月３１日までに、日本国内において外国人学校の教育により日本の９年の義務教育相当の課程を修了する見込みの者又は修了した者

(ｳ) 令和９年３月３１日までに、中学校を卒業する見込みの者又は卒業した者

イ　都立高校の実施要綱第２－３－１の②欄中のいずれかに該当する者

４ 出願手続

４－１ 中学校の校長及び日本人学校の校長の手続

都立高校の実施要綱第２－５－１を準用する。

４－２ 志願者の手続

(1) 応募資格の確認

出願に先立ち、応募資格確認を受けること。

(2) 出願に要する書類等

ア　日本人生徒募集

(ｱ) 入学願書（学校所定の様式）

（インターネット出願では、志願者情報等をインターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に入力する。）

(ｲ) 調査書（様式10）

令和４年度から令和７年度までに中学校を卒業した者については、調査書（様式10-2）を用いる。

なお、現地校を修了する見込みの者及び修了した者は、最終学校の成績証明書又はこれに代わるもの（現地校を修了したことが分かる卒業証明書等）を提出する。

(ｳ) 入学考査料　全日制２，２００円

（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

(ｴ) その他当該都立高校の校長（以下「都立高校長」という。）が必要とする書類

イ　外国人生徒募集

(ｱ) 入学願書（学校所定の様式）

（インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

(ｲ) 最終学校の成績証明書又はこれに代わるもの（外国において学校教育における９年の課程を修了したことが分かる卒業証明書等）

なお、中学校に在学している者又は卒業した者は、調査書を提出する。

(ｳ) 外国籍を有していることを証明する住民票記載事項証明書（様式応３）又は公的機関発行の書類

(ｴ) 入学考査料　全日制２，２００円

（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

(ｵ) その他当該都立高校長が必要とする書類

(3) 提出方法

ア　都内の中学校に在学している志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、中学校長の承認を経て、入学願書の提出を行う。また、出願に必要な書類（入学願書を除く。）を、中学校長を通じて、書類提出期間内に必着するよう、当該都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。ただし、インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

イ　前記ア以外の志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、入学願書の提出を行う。また、出願に要する書類（入学願書を除く。）を、書類提出期間内に必着するよう、当該都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。ただし、インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

ウ　前記ア及びイの方法により出願することができないやむを得ない事情がある場合には、志願者は、志願する都立高校に連絡の上、出願に要する書類（入学願書を含む。）を、書類提出期間内に必着するよう、当該都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。この場合、入学考査料は所定の納付書による納付とし、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けた上で提出すること。

エ　出願受付期間内に到着するように郵送することができない等やむを得ない事情がある場合には、当該都立高校に連絡の上で、持参により提出することを認めるものとする。

オ　入学願書提出後は、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更を認めない。

カ　志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

４－３ 受検票の交付

出願を受け付けた都立高校長は、出願サイトを通じて受検票を交付する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行わなかった者に対しては、出願を受け付けた都立高校長が別途交付する。

5 検査の実施

(1) 検査内容

ア　英語運用能力検査

イ　数学活用能力検査

ウ　小論文

エ　個人面接

なお、イからエまでは日本語又は英語による。また、検査のうち、一つでも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部を受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 日時等

ア　実 施 日　本実施要綱１のとおり

イ　実施時間　受検票により指定する。

ウ　検査会場　受検票により指定する。

6 問題作成

(1) 問題作成に関する事項は、別に定める。

なお、数学活用能力検査における出題の基本方針については、都立高校の実施要綱第２－８(1)を準用する。

(2) 検査問題は、当該都立高校が作成する。

7 採点

(1) 採点委員会に委員長を置く。委員長は、当該都立高校長とする。

(2) 採点委員会は、当該都立高校長、当該都立高校長が指定する副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教

論、日勤講師（非常勤教員）及び特別専門講師並びにその他当該都立高校長が指定する者をもって組織する。
(3) 採点委員会は、当該都立高校で実施した検査の答案等の採点を行う。
(4) 委員長は、委員を指揮監督し、採点についての責任を負う。
(5) 委員長は、採点責任者を命ずる。
(6) 採点及び点検方法等については、別に定める。

8 選考

８－１　選考

(1) 選考は、当該都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、小論文及び個人面接を総合した成績（以下「総合成績」という。）により行う。

なお、英語運用能力検査及び数学活用能力検査は、ＩＢコースで行われる授業に必要な力の有無（適・不適）の判定のみに使用し、英語運用能力検査及び数学活用能力検査の得点は総合成績には含めない。

(2) 選考に当たっては、当該都立高校が全ての検査について、自校の教育活動の特色やＤＰ（ディプロマ・プログラム）の履修に必要な能力などに基づいて適切な基準を定める。

(3) 受検者のうち、当該都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から入学許可予定者（以下「合格者」という。）の候補者（以下「合格候補者」という。）を決定する。

なお、全ての検査のうち、一つでも基準に達しない検査があった場合は選考の対象としない。

(4) 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないように配慮する。

８－２　選考委員会

都立高校の実施要綱第２－１０－４を準用する。

８－３　合格候補者の決定

日本人生徒募集及び外国人生徒募集それぞれの募集人員に相当する人員を、当該都立高校が定めた基準に達していると認められた者について、日本人生徒募集及び外国人生徒募集それぞれの総合成績の順により決定し、合格候補者とする。

なお、外国人生徒募集の募集人員が充足しない場合、当該都立高校が定めた基準に達していると認められた者のうち、合格候補者となっていない日本人生徒募集の受検者の中から充足する。

８－４　合格者の決定

当該都立高校長は、選考委員会で決定した合格候補者を合格者として決定する。

9 合格者の発表

(1) 発表方法

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(2) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

(3) 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

10 入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第２－１２を準用する。

11 本人得点の開示

１１－１　本人得点の開示等

都立高校の実施要綱第５－１を準用する。ただし、学力検査等得点表については、学校所定の様式とする。

なお、令和９年３月３日（水）を請求の受付開始日とし、令和９年３月１５日（月）以後を交付日とする。

１１－２　選抜用評定等確認表の送付及び受領

都立高校の実施要綱第５－３を準用する。ただし、選抜用評定等確認表については、学校所定の様式とする。

なお、当該都立高校長は、「選抜用評定等確認表在中」と朱書された指定の封筒等を用いて、令和９年３月２日（火）から３月８日（月）までに、別表12（２４１ページ）により区市町村別送付先の中学校の校長宛てに親展扱いの簡易書留郵便で送付する。

12 辞退防止への指導

ＩＢコースの入学者選抜の志願者については、合格発表後の辞退等が起こらないよう中学校長等が十分指導する。

13 その他

(1) 施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める検査の成績により行う。

(2) 応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

(3) ＩＢコースの選抜の合格者は、入学手続日以降に実施する都立高校の募集に出願することはできない。

(4) 本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱

令和９年度の海外帰国生徒等の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）に基づき、この海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱（以下「本実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。

なお、本実施要綱の対象となる海外帰国生徒対象の選抜を実施する都立高等学校（以下「都立高校」という。）は、三田高校、竹早高校、日野台高校及び国際高校であり、引揚生徒対象の選抜を実施する都立高校は、深川高校、光丘高校及び富士森高校である。また、在京外国人生徒等対象の選抜を実施する都立高校は、竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、国際高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校である。

Ⅰ　海外帰国生徒対象

第　１　　４月入学生徒の選抜

Ⅰ－第1－1　海外帰国生徒対象･4月入学生徒の選抜日程

事　　項		日　　時
出　　願		インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年　１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
志願変更	入学願書取下げ	令和９年２月１０日（水）　午前９時 ～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年２月１２日（金）　午前９時 ～ 正午
学　力　検　査　等		令和９年２月１５日（月）　集合　午前８時３０分
合　格　者　の　発　表		令和９年２月１７日（水）　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年２月１７日（水）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ２月１８日（木）　午前９時　～ 正午
実　施　高　校　名		三田高校、竹早高校、日野台高校、国際高校

（注）都立高校の第一次募集・分割前期募集にも出願することができる。

Ⅰ－第1－2　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

Ⅰ－第1－3　応募資格

海外帰国生徒対象の４月入学生徒の選抜に志願することのできる者は、日本国籍を有し、次の(1)から(4)までの全てに該当する者で、平成２４年４月１日以前に出生した者とする。

(1) 高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次のアからオまでのいずれかに該当する者

ア　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を令和９年３月に卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者

イ　中学校を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）（以下「施行規則」という。）第９５条各号のいずれかに該当する者

エ　令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第１号に規定する外国において学校教育における９年の課程（以下「現地校」という。）を修了する見込みの者

オ　令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第２号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「日本人学校」という。）の当該課程を修了する見込みの者

(2) 東京都立高等学校入学者選抜実施要綱（以下「都立高校の実施要綱」という。）第２－３－１の②欄中のいずれかに該当する者

なお、都内に志願者と同居する保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下、本実施要綱において同じ。）については、以下の場合も含む。

(ｱ)　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により帰国できないときは、父又は母のどちらか一方が帰国し、都内に志願者と同居すればよい。

(ｲ)　特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいて、かつ、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母のどちらか一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが確実であること。

(3) 保護者に伴って海外に在住している者又は在住していた者（保護者が父母である場合は、父母のどちらか一方に伴って海外に在住している者又は在住していた者でもよい。ただし、本人と同居していない父又は母は海外又は都内に在住している場合に限る。）

(4) 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア　保護者（保護者が父母の場合は、父母のどちらか一方でよい。ただし、本人と同居していない父又は母は海外又は都内に在住している場合に限る。以下、イ及びウにおいて同じ。）に伴った外国における連続した在住期間が２年以上３年未満の者（連続した２箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。）で、入学日現在当該海外在住期間終了後１年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後１年を超える者のうち、帰国日が令和８年３月１日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後１年以内とみなす。

イ　保護者に伴った外国における連続した在住期間が３年以上４年未満の者（連続した３箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。）で、入学日現在当該海外在住期間終了後２年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後２年を超える者のうち、帰国日が令和７年３月１日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後２年以内とみなす。

ウ　保護者に伴った外国における連続した在住期間が４年以上の者（連続した４箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。）で、入学日現在当該海外在住期間終了後３年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後３年を超える者のうち、帰国日が令和６年３月１日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後３年以内とみなす。

Ⅰ－第1－4　出願手続

(1) 中学校の校長（以下「中学校長」という。）及び日本人学校の校長の手続

都立高校の実施要綱第２－５－１を準用する。

(2) 志願者の手続

ア　応募資格の確認

出願に先立ち、応募資格確認を受けること。

イ　出願に要する書類等

(ｱ)　入学願書（学校所定の様式）

（インターネット出願では、志願者情報等をインターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に入力する。）

(ｲ)　自己ＰＲカード（様式12）

(ｳ)　志願者及び保護者が海外に在住したまま出願する場合は、帰国等に関する申立書（様式応５）

(ｴ)　海外における最終学校の成績証明書又はこれに代わるもの（現地校を修了したことが分かる卒業証明書等）

なお、中学校に在学している者又は既に卒業した者及び日本人学校卒業（見込み）者は調査書（様式10又は10-2）を提出する。

(ｵ)　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により帰国できないときは、理由書（様式応７）

及び父母のどちらか一方が帰国できない理由を証明する書類（海外における勤務証明書等）

ただし、都内の中学校を卒業する見込みの者は、理由書（様式応７）を提出する必要はない。

(ｶ) 特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる身元引受人の身元引受人承諾書（様式応６）及び保護者が帰国できない理由を証明する書類（海外における勤務証明書等）

(ｷ) 入学考査料　２，２００円

（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

(ｸ) 応募資格の審査に要する書類（該当する者のみ）

(ｹ) その他海外生活を証明する書類等で当該都立高校の校長（以下「都立高校長」という。）が必要とするもの

ウ　提出方法

(ｱ) 都内の中学校に在学している志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、中学校長の承認を経て、入学願書の提出を行う。また、志願先の都立高校長宛てに、出願に必要な書類（入学願書を除く。）を、中学校長を通じて、書類提出期間内に必着するよう、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。ただし、インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

(ｲ) 前記(ｱ)以外の志願者は、出願サイトに志願者情報等の入力を行い、入学願書の提出を行う。また、出願に要する書類（入学願書を除く。）を、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。ただし、インターネット出願に係る入力方法の詳細は別に定める。

(ｳ) 前記(ｱ)及び(ｲ)の方法により出願することができないやむを得ない事情がある場合には、志願者は、志願する都立高校に連絡の上、出願に要する書類（入学願書を含む。）を、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により提出する。この場合、入学考査料は所定の納付書による納付とし、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けた上で提出すること。

(ｴ) 出願受付期間内に到着するように郵送することができない等やむを得ない事情がある場合には、志願する都立高校に連絡の上で、持参により提出することを認めるものとする。

(ｵ) 入学願書提出後は、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更を認めない。

(ｶ) 志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、志願変更の手続による場合を除き返却しない。

(3) 受検票の交付

出願を受け付けた都立高校長は、出願サイトを通じて受検票を交付する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行わなかった者に対しては、出願を受け付けた都立高校長が別途交付する。

Ｉ－第1－5 志願の変更

海外帰国生徒対象の４月入学生徒の選抜の志願者は、入学願書提出後、１回に限り海外帰国生徒対象の都立高校に志願変更をすることができる。ただし、入学願書の返却を受けた都立高校に再提出することはできない。

志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第２－６－２を準用する。

Ｉ－第1－6 学力検査等の実施

(1) 検査教科等

国語（作文を含む。）、数学及び外国語（英語）の３教科並びに面接とし、各教科の満点は１００点とする。

検査教科のうち、１教科（面接を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第４時限	午後　１時１０分 ～		面　接

（注）　志願者が多い場合には、面接が２日間にわたる場合がある。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

Ⅰ－第1－7 問題作成

都立高校の実施要綱第２－８(1)及び(4)を準用する。ただし、作文については別に定める。

Ⅰ－第1－8 選考

都立高校の実施要綱第２－１０に準じて、当該都立高校長が定める。ただし、面接点の取扱いについては、別に定める。

Ⅰ－第1－9 採点

都立高校の実施要綱第２－９を準用する。

Ⅰ－第1－10 合格者の発表

(1) 発表方法

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(2) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

(3) 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

Ⅰ－第1－11 入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第２－１２を準用する。

Ⅰ－第1－12 本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等

都立高校の実施要綱第５を準用する。

第　２　　９月入学生徒の選抜

Ⅰ－第２－１　海外帰国生徒対象･9月入学生徒の選抜日程

事　　項	日　　時
出　　願	令和９年７月　１日（木）　午前９時 ～ 午後３時 ７月　２日（金）　午前９時 ～ 正午
検　　査	令和９年７月　８日（木）　集合　午前８時３０分
合格者の発表	令和９年７月１３日（火）　午前９時
合格者の入学手続	令和９年７月１３日（火）　午前９時 ～ 午後３時 ７月１４日（水）　午前９時 ～ 正午
実施高校名	三田高校、竹早高校、日野台高校、国際高校

Ⅰ－第２－２　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

Ⅰ－第２－３　応募資格

海外帰国生徒対象の９月入学生徒の選抜に志願することができる者は、日本国籍を有し、次の(1)から(3)までの全てに該当する者で、平成２４年４月１日以前に出生した者とする。

なお、既に実施された令和９年度東京都立高等学校入学者選抜に応募した者の出願は認めない。

(1) 高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、令和９年４月１日から同年８月３１日までの間に、現地校（１０年の課程を含む。）を修了する見込みの者又は修了した者

(2) 保護者に伴って海外に在住している者又は在住していた者（保護者が父母である場合は、父母のどちらか一方に伴って海外に在住している者又は在住していた者でもよい。ただし、本人と同居していない父又は母は海外又は都内に在住している場合に限る。）

(3) 保護者（保護者が父母の場合は、父母のどちらか一方でよい。ただし、本人と同居していない父又は母は海外又は都内に在住している場合に限る。）に伴った外国における連続した在住期間が２年以上の者（連続した２箇学年の課程を修了する見込みの者を含む。）で、保護者とともに都内に住所を有する者又は入学日までに住所を有することが確実な者のうち、入学後も引き続き都内から通学する者。ただし、都内に志願者と同居する保護者については以下の場合も含む。

ア　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により帰国できないときは、父又は母のどちらか一方が帰国し、都内に志願者と同居すればよい。

イ　特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいて、かつ、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母のどちらか一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが確実であること。

Ⅰ－第２－４　出願手続

本実施要綱Ⅰ－第１－４(2)及び(3)を準用する。ただし、インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行い、入学考査料は志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

Ⅰ－第２－５　検査の実施

(1) 検査内容

作文及び面接とする。

なお、言語については、それぞれの検査において日本語又は英語のどちらかを選択することができる。

作文又は面接を受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査内容
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文
第２時限	午前１０時１０分 ～		面　接

(3) 検査会場

受検票により指定する。

Ⅰ－第2－6　問題作成

問題作成に関する事項は、別に定める。

Ⅰ－第2－7　選考

選考の方法等については、別に定める。

Ⅰ－第2－8　採点

都立高校の実施要綱第２－９(1)から(5)までを準用する。

Ⅰ－第2－9　合格者の発表

(1) 発表方法

志願先の都立高校において校内に掲示する。

なお、都立高校長は、本実施要綱Ⅰ－第２－１に定める合格者の発表日時以降、合格者の受検番号の一覧を当該都立高校のホームページへ掲載する。

(2) 合格通知書の交付

合格者には、合格通知書（様式22）を交付する。

(3) 合格通知書の交付期間

入学手続期間中とする。

Ⅰ－第2－10　入学手続（入学確約書の提出）及び本人得点の開示

都立高校の実施要綱第３－１２及び第５－１を準用する。ただし、第５－１－２(2)でいう交付の開始時期は、合格者の入学手続締切日の翌日とする。

第　３　　その他

1　施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める検査の成績により行う。

2　応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

3　４月入学生徒の選抜に出願する者は、都立高校の第一次募集・分割前期募集に併せて出願することができる。ただし、海外帰国生徒対象の選抜の合格者は、第一次募集・分割前期募集に出願していても、受検を認めない。

4　４月入学生徒の選抜に出願する者は、都立高校通信制課程の前期選抜に出願することができない。

5　本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

Ⅱ　引揚生徒対象

Ⅱ－1 引揚生徒対象の選抜日程

事　　項		日	時
出　　願		令和９年２月　４日（木） ２月　５日（金）	午前９時 ～ 午後３時 午前９時 ～ 正午
志願変更	入学願書取下げ	令和９年２月１０日（水）	午前９時 ～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年２月１２日（金）	午前９時 ～ 正午
検　　査		令和９年２月１５日（月）	集合　午前８時３０分
合格者の発表		令和９年２月１７日（水）	午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年２月１７日（水） ２月１８日（木）	午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 午前９時　　～ 正午
実施高校名		深川高校、光丘高校、富士森高校	

（注）都立高校の第一次募集・分割前期募集にも出願することができる。

Ⅱ－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

Ⅱ－3 応募資格

引揚生徒対象の選抜に志願することができる者は、高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない平成２４年４月１日以前に出生した者で、次の表①欄(1)から(4)までのいずれかに該当し、かつ、②欄及び③欄に該当する者とする。

①
(1) 令和９年３月に中学校を卒業する見込みの者 (2) 中学校を卒業した者 (3) 施行規則第９５条の各号のいずれかに該当する者 (4) 令和９年３月３１日までに、外国において学校教育における９年の課程を修了する見込みの者又は日本人学校の当該課程を修了する見込みの者
②
保護者が引揚者である者（保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が引揚者である場合を含む。）のうち、保護者とともに都内に住所を有する者又は入学日までに都内に住所を有することが確実で、入学後も引き続き都内から通学する者。ただし、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。 さらに、①欄の(1)又は(2)に該当する場合、引揚げ後に原則として小学校第４学年以上の学年に入学した者とする。 なお、引揚者とは、終戦前（昭和２０年９月２日以前をいう。）から引き続き外国に居住していた者（これらの者を両親として終戦後外国において出生した者を含む。）で、終戦後初めて永住の目的をもって帰国した者をいう。
③
以前に、引揚生徒を対象とする本選抜により入学したことがない者

Ⅱ－4 出願手続

(1) 中学校長の手続

都立高校の実施要綱第３－５－１を準用する。

(2) 志願者の手続

本実施要綱第Ⅰ－第１－４(2)を準用する。ただし、インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行う。

志願者の出願に要する書類等は、次のとおりとする。

なお、志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

ア　入学願書（学校所定の様式）

イ　次の(ｱ)から(ｴ)までのいずれかの書類

(ｱ) 引揚証明書

(ｲ) 自立支度金支給決定通知書

(ｳ) 永住帰国者証明書

(ｴ) 引揚生徒対象志願者の状況申立書（様式28）

なお、上記(ｴ)については、事前に、在学中学校長を経由して、令和９年１月５日(火)までに都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に報告し、都立学校教育部高等学校教育課の受付印が押印してあるものであること。ただし、中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

ウ　調査書（都立高校の実施要綱第４－６により作成したもの。様式10又は10-2）

エ　自己ＰＲカード（様式12）

オ　入学考査料　２，２００円

（所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付ける。）

カ　中学校を既に卒業した者は、志願者及び保護者の住民票記載事項証明書（様式応３）

キ　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

ただし、都内の中学校を卒業する見込みの者は提出する必要はない。

ク　その他当該都立高校長が必要とする書類

(3) 受検票の交付

都立高校の実施要綱第３－５－３を準用する。

Ⅱ－5 志願の変更

引揚生徒対象の志願者は、入学願書提出後、１回に限り、引揚生徒対象の都立高校に志願変更をすることができる。ただし、入学願書の返却を受けた都立高校に再提出することはできない。

志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第３－６－２を準用する。

Ⅱ－6 検査の実施

(1) 検査内容

作文及び面接とする。

作文又は面接を受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻、時間割及び検査会場

受検票により指定する。

Ⅱ－7 問題作成

問題作成に関する事項は、別に定める。

Ⅱ－8 選考

選考の方法等については、別に定める。

Ⅱ－9 採点、合格者の発表、入学手続（入学確約書の提出）及び本人得点の開示等

都立高校の実施要綱第２－９(1)から(5)まで、第３－１１、第３－１２、第５－１及び第５－３を準用する。

Ⅱ－10 その他

(1) 施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める検査の成績により行う。

(2) 応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

(3) 引揚生徒対象の選抜に出願する者は、都立高校の第一次募集・分割前期募集に併せて出願することができる。ただし、引揚生徒対象の選抜の合格者は、第一次募集・分割前期募集に出願していても、受検を認めない。

(4) 引揚生徒対象の選抜に出願する者は、都立高校通信制課程の前期選抜に出願することができない。

(5) 本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

Ⅲ　在京外国人生徒等対象

第　１　　４月入学生徒の選抜

Ⅲ－第１－１　在京外国人生徒等対象・4月入学生徒の選抜日程

＜竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校＞

事　　項	日	時
出　　願	令和９年１月２０日（水） １月２１日（木）	午前９時 ～ 午後３時 午前９時 ～ 正午
検　　査	令和９年１月２６日（火）	
合格者の発表	令和９年２月　２日（火）	午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年２月　２日（火） ２月　３日（水）	午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 午前９時　　～ 正午

＜国際高校＞

事　　項	日　　時
出　　願	インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、当該都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後５時まで 〔書類提出期間〕令和９年　１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着）
検　　査	令和９年２月１５日（月）
合格者の発表	令和９年２月１７日（水）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年２月１７日（水）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ２月１８日（木）　午前９時　　～ 正午

（注）都立高校の第一次募集・分割前期募集にも出願することができる。

Ⅲ－第１－２　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

Ⅲ－第１－３　応募資格

在京外国人生徒等対象の４月入学生徒の選抜に志願することのできる者は、次の(1)及び(2)に該当する日本語指導が必要な者で、平成２４年４月１日以前に出生した者とする。ただし、国際高校の在京外国人生徒等対象の選抜においては、竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校の在京外国人生徒等対象の選抜における合格者の応募は認めない。

(1) 高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次のアからエまでのいずれかに該当する者

ア　国籍を問わず、令和９年３月３１日までに、外国において学校教育における９年の課程を修了する見込みの者又は修了した者

イ　国籍を問わず、令和９年３月３１日までに、中学校を卒業する見込みの者又は既に卒業した者で、入国後の在日期間が入学日現在原則として３年以内の者。ただし、入学日現在入国後３年を超える者のうち、入国日が令和６年１月１日以降の者については、入国後の在日期間が入学日現在３年以内とみなす。

ウ　外国籍を有している者で、令和９年３月３１日までに、日本国内において外国人学校の教育により日本の９年の義務教育相当の課程を修了する見込みの者又は修了した者

エ　国籍を問わず、令和９年３月３１日までに、日本人学校の当該課程を修了する見込みの者又は修了した者

(2) 都立高校の実施要綱第２－３－１の②欄中のいずれかに該当する者

Ⅲ－第１－４　出願方法

志願者は、検査日の異なるそれぞれの都立高校に出願することができる。

Ⅲ－第１－５　出願手続

(1) 中学校長の手続

竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、都立高校の実施要綱第３－５－１を準用する。国際高校においては、都立高校の実施要綱第２－５－１を準用する。

(2) 志願者の手続

竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行う。国際高校においては、本実施要綱Ⅰ－第１－４(2)を準用する。

また、出願に先立ち、応募資格確認を受けること。

志願者が出願に要する書類等は、次のとおりとする。

なお、志願する都立高校に提出された出願に要する書類等は、返却しない。

ア　入学願書（学校所定の様式）

（国際高校において、インターネット出願の場合は、志願者情報等を出願サイトに入力する。）

イ　最終学校の成績証明書又はこれに代わるもの（外国において学校教育における９年の課程が修了したことが分かる卒業証明書等）

なお、中学校に在学している者又は既に卒業した者は調査書（様式10又は10-2）を提出する。

ウ　外国籍を有している者の場合、外国籍を有していることを証明する住民票記載事項証明書（様式応３）又は公的機関発行の書類

エ　前記Ⅲ－第１－３(1)イに該当する場合は、入国後の在日期間が入学日現在３年以内であることを証明する公的機関発行の書類

オ　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

ただし、都内の中学校を卒業する見込みの者及び定時制課程の高校を志願する者は提出する必要はない。

カ　入学考査料　（全日制　２，２００円、定時制　９５０円）

（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、インターネット出願は行わないため、所定の納付書により、納付書裏面に記載した納付場所で納付した領収証書を入学願書の裏面に貼り付ける。国際高校においては、出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）

キ　パーソナル・ヒストリー（学校所定の様式）

ク　応募資格の審査に要する書類（該当する者のみ）

ケ　その他当該都立高校長が必要とする書類

(3) 受検票の交付

竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、インターネット出願は行わないため、入学願書等を受け付けた都立高校長が受検票を交付する。国際高校においては、本実施要綱Ⅰ－第１－４(3)を準用する。

Ⅲ－第１－６　検査の実施

(1) 検査内容

作文及び面接とする。

なお、言語については、それぞれの検査において日本語又は英語のどちらかを選択することができる。また、当該都立高校長が必要と判断した場合は、学力検査を実施することができる。日本語により作文及び学力検査を実施する場合は、ひらがなのルビを振った検査問題とする。

作文又は面接を受検しなかった者（学力検査を実施する場合は、検査教科のうち、１教科でも受検しなかった者を含む。）は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

＜竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、国際高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査内容
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文
第２時限	午前１０時１０分 ～		面　接

＜府中西高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査内容
集　　合	午前１１時３０分		
第１時限	正午　　～ 午後　０時５０分	５０分	作　文
第２時限	午後　１時１０分 ～		面　接

＜一橋高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査内容
集　　合	午前　９時００分		
第１時限	午前　９時３０分 ～ 午前１０時２０分	５０分	作　文
第２時限	午前１０時５０分 ～		面　接

(3) 検査会場

受検票により指定する。

Ⅲ－第1－7　問題作成

問題作成に関する事項は、別に定める。

Ⅲ－第1－8　選考

選考の方法等については、別に定める。

Ⅲ－第1－9　採点、合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第２－９(1)から(5)まで、第３－１１及び第３－１２を準用する。

Ⅲ－第1－10　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示

都立高校の実施要綱第５を準用する。

第　２　　９月入学生徒の選抜

Ⅲ－第2－1　在京外国人生徒等対象・9月入学生徒の選抜日程

事　　項	日　　時
出　　願	令和９年７月　１日（木）　午前９時 ～ 午後３時 ７月　２日（金）　午前９時 ～ 正午
検　　査	令和９年７月　８日（木）
合格者の発表	令和９年７月１３日（火）　午前９時
合格者の入学手続	令和９年７月１３日（火）　午前９時 ～ 午後３時 ７月１４日（水）　午前９時 ～ 正午
実施高校名	竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、国際高校

Ⅲ－第2－2　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

Ⅲ－第2－3　応募資格

在京外国人生徒等対象の９月入学生徒の選抜に志願することのできる者は、次の(1)及び(2)に該当する日本語指導が必要な者で、平成２４年４月１日以前に出生した者とする。

なお、既に実施された令和９年度東京都立高等学校入学者選抜に応募した者の出願は認めない。

(1) 高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次のア又はイのどちらかに該当する者

ア　国籍を問わず、令和９年４月１日から同年８月３１日までの間に、外国において学校教育における９年の課程を修了する見込みの者又は修了した者

イ　外国籍を有している者で、令和９年４月１日から同年８月３１日までの間に、日本国内において外国人学校の教育により日本の９年の義務教育相当の課程を修了する見込みの者又は修了した者

(2) 保護者とともに都内に住所を有する者又は入学日までに住所を有することが確実な者で、かつ、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。ただし、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

Ⅲ－第2－4　出願手続、検査の実施、問題作成及び選考

本実施要綱Ⅰ－第２－４及びⅢ－第１－６からⅢ－第１－８までを準用する。ただし、田柄高校の集合時刻及び時間割については、以下のとおりとする。

＜田柄高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時間	検査内容
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　８時４５分　～　午前　９時３５分	５０分	作文
第２時限	午前　９時５０分　～		面接

Ⅲ－第2－5　採点、合格者の発表、入学手続（入学確約書の提出）及び本人得点の開示

都立高校の実施要綱第２－９(1)から(5)まで、本実施要綱Ⅰ－第２－９、都立高校の実施要綱第３－１２及び第５－１を準用する。ただし、第５－１－２(2)でいう交付の開始時期は、合格者の入学手続締切日の翌日とする。

Ⅲ－第2－6　学力検査における答案の開示

都立高校の実施要綱第５－２を準用する。

第　３　　その他

１　施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める検査の成績により行う。

２　応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

３　在京外国人生徒等対象の選抜（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校）の合格者は、入学手続日以降に実施する都立高校の募集に出願することができない。

４　４月入学生徒の選抜（国際高校）に出願する者は、都立高校通信制課程の前期選抜に出願することができない。

５　本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱

令和９年度の東京都立高等学校定時制課程単位制高等学校のうち、総合学科の六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校及び立川緑高校（以下「チャレンジスクール」という。）並びに普通科の八王子拓真高校（チャレンジ枠）の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）に基づき、この東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱（以下「本実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。

第　１　　学力検査等に基づく選抜（第一次募集）

第1－1 第一次募集日程

事　　項		日　　時
出　　願		インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
志願変更（注1、2）	入学願書取下げ	令和９年２月１０日（水）　午前９時　～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年２月１２日（金）　午前９時　～ 正午
検　　査		令和９年２月２１日（日）　（第１学年相当）集合　各都立高校が定める時刻 面接については、令和９年２月２１日（日）以後、各都立高校が定める日時
		令和９年２月１９日（金）　（第2学年相当以上）集合　各都立高校が定める時刻
合格者の発表		令和９年３月　１日（月）　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月　１日（月）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ３月　２日（火）　午前９時　～ 正午

（注１）　志願変更ができるのは、第１学年相当に出願した者のみであり、第２学年相当以上に出願した者は志願変更はできない。

（注２）　チャレンジスクール又は八王子拓真高校（チャレンジ枠）の志願者は、全日制の都立高等学校（ただし、全日制の応募資格を有する者に限る。）、他のチャレンジスクール（八王子拓真高校（チャレンジ枠）を含む。）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校への志願変更ができる。

第1－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

なお、高等学校等中途退学者を対象とした特別枠を設ける（八王子拓真高校を除く。）。

第1－3 応募資格等

(1) 第１学年相当

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱（以下「都立高校の実施要綱」という。）第２－３－１に定める定時制の応募資格を有する者又は同資格を有する高等学校等中途退学者で、令和８年１２月までの高等学校における修得単位数が１８単位以下の者

(2) 第２学年相当以上

都立高校の実施要綱第２－３－１に定める定時制の応募資格を有する高等学校等中途退学者で、在学していた期間が１年以上、かつ、令和８年１２月までの高等学校における修得単位数が１９単位以上の者

第1－4 出願方法

志願者は、１校に限り出願する。

チャレンジスクールの志願者は１部から３部までの各部に、八王子拓真高校（チャレンジ枠）の志願者は１部又は２部の各部に、それぞれ志望の順位を付けて出願することができる。

第1－5 出願手続

第１－５－１　中学校、義務教育学校、特別支援学校及び中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長の手続

次の(1)及び(2)により、出願に必要な書類の作成等を行い、都立高校長宛てに、簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により、書類提出期間に必着するように提出する。

(1) 入学願書（学校所定の様式又は様式４）

都内の中学校長は、志願者が出願サイトに入力した事項及び添付された写真が本人のものであること及び志願しようとする都立高校への応募資格があることを確認し、中学校用の出願管理サイトを通じ、承認の登録を行う。

なお、都外の中学校又は日本人学校の校長は、中学校用の出願管理サイトでの承認登録の必要はない。

(2) 志願者一覧（様式32）

都内の中学校長は、都立高校の実施要綱第１－５－１（5）に定める方法により作成する。

なお、都外の中学校又は日本人学校の校長は、作成する必要はない。

第１－５－２　志願者の手続

第１－５－２－１　出願に要する書類等

(1) 別表２－２－２　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠））（９９ページ）のとおり。

なお、高等学校等中途退学者で高等学校における修得単位がある者は、上記の書類の他に、高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の様式）を提出する。

(2) インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行うことができない場合は、所定の入学願書により出願することとする。その際、チャレンジスクールの入学願書は八王子拓真高校（チャレンジ枠）のみ都立高等学校（以下「都立高校」という。）共通の様式（様式４）を用い、その他の学校については各学校所定の様式を用いる。

(3) 調査書の提出は必要としない。また、自己ＰＲカードに代えて学校所定の志願申告書を提出する。

(4) **入学考査料は９５０円**とする（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）。

第１－５－２－２　提出方法

都立高校の実施要綱第２－５－２－２を準用する。

第１－５－３　受検票の交付

都立高校の実施要綱第２－５－３を準用する。

第1－6 志願の変更

第１－６－１　志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－１（１０１ページ）の○を付した変更について、１回に限り行うことができる。ただし、入学願書の返却を受けたチャレンジスクール（八王子拓真高校(チャレンジ枠）を含む。以下この項において同じ。）に再提出することはできない。

第１－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第２－６－２を準用する。ただし、他のチャレンジスクールに入学願書を再提出する場合は、新たに志願申告書を作成し提出する。

(2) 面接を実施する全日制の都立高校へ志願変更をする場合、又は一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカードを作成し、調査書とともに提出する。

(3) 全日制の都立高校へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第1－7 検査の実施

(1) 検査内容

面接及び作文を実施する。

面接又は作文を受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

＜世田谷泉高校、小台橋高校及び立川緑高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 内 容
集　　合	午前　８時３０分		
第 1 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文
第 2 時 限	各都立高校が定める時刻		面　接

（注）　志願者が多い場合には、面接が２日間にわたる場合がある。

＜六本木高校、大江戸高校、稔ヶ丘高校及び桐ヶ丘高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 内 容
集　　合	午前　９時３０分		
第 1 時 限	午前１０時００分 ～ 午前１０時５０分	５０分	作　文
第 2 時 限	各都立高校が定める時刻		面　接

（注）　志願者が多い場合には、面接が２日間にわたる場合がある。

＜八王子拓真高校（チャレンジ枠）＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 内 容
集　　合	午前　８時３０分		
第 1 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文

（注）　面接については、２月２２日（月）に実施する。集合時刻については、受検票により指定する。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第1－8 採点

都立高校の実施要綱第２－９(1)から(5)までを準用する。

第1－9 選考

第１－９－１　選考

(1) 第１学年相当

志願申告書、面接及び作文を総合した審査結果（以下「審査結果」という。）、入学願書による志望並びに都立高校の校長（以下「都立高校長」という。）が必要とする資料により行う。

(2) 第２学年相当以上

高等学校の単位修得証明書・成績証明書、審査結果、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。

第１－９－２　選考委員会

都立高校の実施要綱第２－１０－４を準用する。

第１－９－３　合格候補者の決定

(1) 各部の募集人員を合計した人員を、審査結果の順により決定する。

(2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第１志望とした者の中から合格候補者を決定する。

第１志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、審査結果の順に充足する。

(3) 特別枠の合格候補者が募集人員に満たない場合は、中学校を卒業する見込みの者又は既に卒業した者で充足することができる。

(4) (2)及び(3)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中か

ら、審査結果の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、審査結果の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。

第１－９－４　合格者の決定

都立高校長は、選考委員会で決定した合格候補者を入学許可予定者（以下「合格者」という。）として決定する。

第1－10 合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第２－１１及び第２－１２を準用する。

第　２　　学力検査等に基づく選抜（第二次募集）

第2－1 第二次募集日程

事　　項		日	時
出　　願		令和９年３月　４日（木）	午前９時 ～ 午後３時
志願変更（注１）	入学願書取下げ	令和９年３月　５日（金）	午前９時 ～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年３月　８日（月）	午前９時 ～ 正午
検　　査		令和９年３月　９日（火）	集合　各都立高校が定める時刻
合格者の発表		令和９年３月１２日（金）	午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 正午　（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月１２日（金） ３月１５日（月）	正午　～ 午後３時 午前９時 ～ 正午

（注１）　チャレンジスクール又は八王子拓真高校（チャレンジ枠）の志願者は、全日制の都立高校（ただし、全日制の応募資格を有する者に限る。）、他のチャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校への志願変更ができる。

（注２）　第二次募集は、第１学年相当のみとする。

第2－2 募集人員

第一次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校は、その相当人員について第二次募集を行う。

第2－3 応募資格

本実施要綱第１－３(1)を準用する。

なお、第二次募集入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者並びに東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者の応募は認めない。

また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

第2－4 出願方法

志願者は、１校に限り出願する。また、募集のある全ての部に志望の順位を付けることができる。

第2－5 出願手続

第２－５－１　中学校の校長の手続

都内の中学校長は、在学している生徒について、入学願書（学校所定の様式又は様式５）に記載されている事項及び貼り付けてある写真が本人のものであること並びに志願しようとする都立高校への応募資格があることを確認し、所定の位置に中学校長の公印を押す。

第２－５－２　志願者の手続

第２－５－２－１　出願に要する書類等

本実施要綱第１－５－２－１を準用する。ただし、入学考査料は所定の納付書により納付書裏面に記載の納付場所で納付し、領収証書を入学願書の裏面に貼り付けること。

第２－５－２－２　提出方法

都立高校の実施要綱第３－５－２－２を準用する。ただし、インターネット出願は行わないため、所定の用紙を持参により提出する。

第２－５－２－３　受検票の交付

都立高校の実施要綱第３－５－３を準用する。

第2－6 志願の変更

第２－６－１　志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－２（１０１ページ）の○を付した変更について、１回に限り行うことができる。ただし、入学願書の返却を受けたチャレンジスクール（八王子拓真高校（チャレンジ枠）を含む。以下この項において同じ。）に再提出することはできない。

第２－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第３－６－２を準用する。ただし、他のチャレンジスクールに入学願書を再提出する場合は、新たに志願申告書を作成し提出する。

(2) 面接を実施する全日制の都立高校へ志願変更をする場合、又は一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカードを作成し、調査書とともに提出する。

(3) 全日制の都立高校へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第2－7 検査の実施

(1) 検査内容

面接及び作文を実施する（本実施要綱第１－７(1)を準用する。）。

(2) 集合時刻及び時間割

＜世田谷泉高校、小台橋高校、立川緑高校及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 内 容
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	作　文
第 ２ 時 限	各都立高校が定める時刻		面　接

＜六本木高校、大江戸高校、稔ヶ丘高校及び桐ヶ丘高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 内 容
集　　合	午前　９時３０分		
第 １ 時 限	午前１０時００分 ～ 午前１０時５０分	５０分	作　文
第 ２ 時 限	各都立高校が定める時刻		面　接

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第2－8 採点、選考

本実施要綱第１－８、第１－９を準用する。

第2－9　合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第３－１１、第３－１２を準用する。

第2－10 第三次募集の実施について

(1)　第二次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない場合は、都立高校の実施要綱第３－１で定めた定時制第二次募集日程で、第三次募集を行う。

なお、第三次募集の結果にかかわらず、第四次募集は実施しない。

(2)　第三次募集の実施について必要な事項は別に定める。

第　３　　本人得点の開示等

都立高校の実施要綱第５－１及び第５－３を準用する。ただし、第５－３－１において、当該都立高校長は、都内の中学校に在学している受検者が、中学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高校から中学校へ検査結果を提供することについて同意した場合のみ、当該受検者の選抜用評定等確認表（様式21）を作成する。その際、当該受検者の選抜用評定等確認表については、面接の得点、作文の得点及び志願申告書の得点のみを記載する。

第　４　　その他

１　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める検査の成績により行う。

２　応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

３　本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

＜参考＞東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱（第一次募集）主な相違点

<table>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">項　目</td><td colspan="7">チャレンジスクール</td><td rowspan="2">八王子拓真
（チャレンジ枠）</td></tr>
<tr><td>六本木</td><td>大江戸</td><td>世田谷泉</td><td>稔ヶ丘</td><td>桐ヶ丘</td><td>小台橋</td><td>立川緑</td></tr>
<tr><td colspan="3">出　願　方　法</td><td colspan="7">１～３部の各部に志望の順位を付けて出願</td><td>１部、２部の各部に志望の順位を付けて出願</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願手続
（出願に要する書類）</td><td colspan="2">中学校卒業見込みの者
又は既卒者</td><td colspan="8">① 入学願書（学校所定の様式。ただし、八王子拓真高校（チャレンジ枠）のみ都立高校共通の様式（様式４））
インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。
② 入学考査料（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する）
③ 志願申告書（学校所定の用紙）
④ 卒業見込証明書（都外の中学校を卒業見込みの者）又は卒業証明書（既卒者）
⑤ 住民票記載事項証明書（様式応３）(都内に住所を有する既卒者)(注１、２)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高等学校等中途退学者で高等学校での修得単位がある者</td><td>第１学年相当</td><td colspan="8" rowspan="2">① 入学願書（学校所定の様式。ただし、八王子拓真高校（チャレンジ枠）のみ都立高校共通の様式（様式４））
インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。
② 入学考査料（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する）
③ 志願申告書（学校所定の用紙）
④ 高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の様式）
⑤ 住民票記載事項証明書（様式応３）(都内に住所を有する者)(注１、２)</td></tr>
<tr><td>第２学年
相当以上</td><td>第２学年相当以上の募集を行わない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">志願の変更</td><td colspan="2">中学校卒業見込みの者
又は既卒者</td><td colspan="8" rowspan="2">入学願書提出後、１回に限り他のチャレンジスクール（八王子拓真高校（チャレンジ枠）を含む。以下この項において同じ。）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）、砂川高校及び全日制高校（ただし、全日制の応募資格を有する者に限る。）に、志願変更をすることができる。
（他のチャレンジスクールに入学願書を再提出する場合は、新たに志願申告書を作成して提出する。面接を実施する全日制高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカードを作成し、調査書とともに提出する。また、全日制高校に志願変更をする者は、入学考査料の差額（1,250円）を再提出先の全日制高校の窓口において、現金で納付する。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高等学校等中途退学者で高等学校での修得単位がある者</td><td>第１学年相当</td></tr>
<tr><td>第２学年
相当以上</td><td colspan="7">志願変更をすることはできない。</td><td>第２学年相当以上の募集を行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="3">検　査　等　の　実　施</td><td colspan="8">面接及び作文</td></tr>
<tr><td colspan="3">選考（合格候補者の決定）</td><td colspan="8">(1) １～３部（八王子拓真高校(チャレンジ枠)においては、１部、２部）の募集人員を合計した人員を、審査結果の順により決定する。
(2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第１志望とした者の中から合格候補者を決定する。
第１志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、審査結果の順に充足する。
(3) 特別枠の合格候補者が募集人員に満たない場合は、中学校を卒業する見込みの者又は既に卒業した者で充足することができる。
(4) (2)及び(3)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中から、審査結果の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、審査結果の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。</td></tr>
<tr><td colspan="11">（注１）都内の中学校を卒業見込みの者を除き、都外に住所を有し、入学日までに都内に転入することが確実な者は、転居を証明する書類を提出する。
（注２）都内の中学校を卒業見込みの者を除き、都外に住所を有し、勤務先が都内にある場合は、住民票記載事項証明書に代えて、勤務先を証明する書類を提出する。</td></tr>
</table>

東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱
（チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）を除く。）

チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）を除く令和９年度の東京都立高等学校定時制課程単位制の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）及び令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針に基づき、この東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱（以下「本実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。

なお、本実施要綱の対象となる定時制課程単位制の都立高等学校（以下「都立高校」という。）とは、一橋高校、新宿山吹高校、浅草高校、六郷工科高校、荻窪高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、八王子拓真高校（一般枠）、砂川高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校である。

第　１　　推薦に基づく選抜

第１－１　新宿山吹高校定時制課程・情報科・推薦に基づく選抜日程

事　　項	日　　時
出　　願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年１月１８日（月）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年１月８日（金）から１月１８日（月）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
検　　査	令和９年１月２６日（火）　集合　午前８時３０分
合格者の発表	令和９年２月　２日（火）　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年２月　２日（火）　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ２月　３日（水）　午前９時　～ 正午

第１－２　募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第１－３　応募資格

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱（以下「都立高校の実施要綱」という。）第１－３を準用する。

第１－４　出願方法

志願者は、情報科２部又は情報科４部のどちらか一つの部を指定して出願する。志願変更はできない。

第１－５　出願手続

(1) 都立高校の実施要綱第１－５を準用する。

(2) **入学考査料は９５０円**とする（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。）。

第１－６　検査の実施及び採点

(1) 検査内容

志願者全員に個人面接及び作文を実施する。

(2) 集合時刻、時間割及び検査会場

ア　集合時刻及び時間割

受検票により指定する。

イ　検査会場

受検票により指定する。

第1－7 選考、合格者の発表、入学手続（入学確約書の提出）及び辞退防止への指導

都立高校の実施要綱第１－７、第１－８、第１－９及び第１－１０を準用する。ただし、入学料は２，１００円とする。

第　２　　学力検査等に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）

第2－1 定時制課程単位制・第一次募集・分割前期募集日程

事　　項		日　　時	
出　　願		インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後５時まで 〔書類提出期間〕令和９年１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着）	
志願変更（注1、2）	入学願書取下げ	令和９年２月１０日（水）	午前９時　～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年２月１２日（金）	午前９時　～ 正午
検　　査		令和９年２月２１日（日）	（第１学年相当）集合　午前８時３０分 面接については、令和９年２月２１日（日）以後、各都立高校が定める日時
		令和９年２月１９日（金）	（第２学年相当以上）集合　午前８時３０分
合格者の発表		令和９年３月　１日（月）	（一橋・新宿山吹・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川） 午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分（校内掲示） （六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合） 午前８時３０分（合否照会サイト上で発表） 午後４時（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月　１日（月） ３月　２日（火）	（一橋・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川） 午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 （新宿山吹）午前９時３０分 ～ 午後８時 （六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合） 午後４時 ～ 午後８時 （一橋・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川） 午前９時 ～ 正午 （新宿山吹）午前９時 ～ 午後５時 （六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合） 午後４時 ～ 午後８時

（注１）　八王子拓真高校（チャレンジ枠）については、本実施要綱によらず、別要綱による。

（注２）　志願変更ができるのは、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校の第１学年相当に出願した者のみであり、第２学年相当以上に出願した者は、志願変更はできない。

（注３）　募集人員を分割し、第一次募集期間における選抜（分割前期募集）と第二次募集期間における選抜（分割後期募集）の２回に分けて募集（分割募集）を行う学校は、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校である。詳細は別表４（１３２ページ）のとおりとする。

第2－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第2－3 応募資格等

(1) 第１学年相当

都立高校の実施要綱第２－３－１に定める定時制の応募資格を有する者（都立高校の実施要綱２－３－１において「第一次募集」とあるのは「第一次募集・分割前期募集」と読み替えるものとする。以下同じ。）又は同資格を有する高

等学校等中途退学者で、令和８年１２月までの高等学校における修得単位数が１８単位以下の者

(2) 第２学年相当以上

都立高校の実施要綱第２－３－１に定める定時制の応募資格を有する高等学校等中途退学者で、在学していた期間が１年以上、かつ、令和８年１２月までの高等学校における修得単位数が１９単位以上の者

第2－4 出願方法

(1) 志願者は、１校１科に限り出願する。ただし、新宿山吹高校の志願者は、各科各部に志望の順位を付けて出願することができる。

(2) 一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校の志願者は、１部から３部までの各部に志望の順位を付けて出願することができる。

(3) 六郷工科高校の志願者は、普通科と生産工学科に志望の順位を付けることはできない。

第2－5 出願手続

第２－５－１　中学校、義務教育学校、特別支援学校及び中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長の手続

都立高校の実施要綱第２－５－１を準用する。

第２－５－２　志願者の手続

第２－５－２－１　出願に要する書類等

(1) 都立高校の実施要綱第２－５－２－１(2)を準用する。ただし、八王子拓真高校はスピーキングテスト個人レポートの提出は不要。なお、高等学校等中途退学者で高等学校における修得単位がある者は、上記の書類のほかに以下の書類を提出する。

ア　第１学年相当に出願する者

(ｱ)　中学校の調査書（様式10又は10-2。ただし、令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。）

(ｲ)　高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の用紙）

イ　第２学年相当以上に出願する者

高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の用紙）

(2) **入学考査料は９５０円**とする（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。）。

第２－５－２－２　提出方法

都立高校の実施要綱第２－５－２－２を準用する。ただし、同項(3)を準用する場合において、一橋高校及び新宿山吹高校の入学願書は学校所定の様式とする。

第２－５－３　受検票の交付

都立高校の実施要綱第２－５－３を準用する。

第2－6 志願の変更

第２－６－１　志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－１（１０１ページ）の○を付した変更について、１回に限り行うことができる。ただし、入学願書の返却を受けた都立高校に再提出することはできない。

第２－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第２－６－２を準用する。ただし、チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）に入学願書を再提出する場合は、調査書の提出は必要なく、学校所定の志願申告書を提出する。

(2) 面接を実施する全日制の都立高校へ志願変更をする場合、又は一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカードを作成し、調査書とともに提出する。

(3) 全日制の都立高校へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第2－7 学力検査等の実施

(1) 検査教科等

ア　学力検査の教科は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の５教科のうち、３教科を下らない範囲で各都立高校が定める（別表４を参照）。各教科の満点は１００点とする。また、面接を実施する。

その他の検査の実施内容については、各都立高校が定める（別表４を参照）。

イ　検査教科等のうち、１教科（面接及び実技検査等を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

＜一橋高校　第１学年相当＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 ２ 時 限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 ３ 時 限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語

（注１）　英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

（注２）　面接については、２月２２日（月）に実施する。集合時刻については、受検票により指定する。

＜新宿山吹高校＞

ア　第１学年相当

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 ２ 時 限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 ３ 時 限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第 ４ 時 限	午後　０時３０分 ～		面　接

（注）　英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

イ　第２学年相当以上

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時４０分	４０分	国　語
第 ２ 時 限	午前　９時５５分 ～ 午前１０時３５分	４０分	数　学
第 ３ 時 限	午前１０時５０分 ～ 午前１１時３０分	４０分	英　語
第 ４ 時 限	午前１１時５０分 ～		面　接

＜浅草高校　第１学年相当＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 ２ 時 限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 ３ 時 限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語

（注１）　英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

（注２）　面接については、２月２２日（月）に実施する。集合時刻については、受検票により指定する。

＜荻窪高校＞

ア　第１学年相当

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 １ 時 限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 ２ 時 限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 ３ 時 限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第 ４ 時 限	午後　１時００分 ～		面　接

（注）　英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

イ　第２学年相当以上

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時４５分	４５分	国　語
第２時限	午前１０時００分 ～ 午前１０時４５分	４５分	数　学
第３時限	午前１１時００分 ～ 午前１１時４５分	４５分	英　語
第４時限	正午 ～		面　接

＜八王子拓真高校（一般枠）　第１学年相当・第２学年相当以上＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国語、数学、英語を総合したもの
第２時限	都立高校が定める時刻		面　接

（注）　志願者が多い場合には、面接が２日間にわたる場合がある。

＜砂川高校　第１学年相当＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第４時限	午後　１時１０分 ～ 午後　２時００分	５０分	社　会
第５時限	午後　２時２０分 ～ 午後　３時１０分	５０分	理　科

（注１）　英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

（注２）　面接については、２月２２日（月）に実施する。集合時刻については、受検票により指定する。

＜一橋高校（第２学年相当以上）、浅草高校（第２学年相当以上）、砂川高校（第２学年相当以上）、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校、東久留米総合高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第１時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第２時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第３時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第４時限	各都立高校が定める時刻		面　接

（注）　第１学年相当については、英語学力検査時間の最初の約１０分間に、リスニングテストを実施する。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第２－８　問題作成

第２－８－１　第１学年相当の学力検査の問題作成

都立高校の実施要綱第２－８を準用する。

第２－８－２　第２学年相当以上の学力検査の問題作成

(1) 出題の基本方針

ア　高等学校の教育課程に基づく学習の成果としての学力を検査することを基本とし、出題の範囲は高等学校学習指導要領により、標準授業時数で学習する範囲とする。

イ　出題の内容は、各教科とも高等学校学習指導要領に示されている教科の目標に照らして基本的な事項を選ぶとともに、一部の領域に偏ることのないようにする。

ウ　単なる知識だけの検査に偏らないようにし、思考力、判断力、表現力などもみることができるようにする。

(2) 検査問題は、各都立高校が作成する。

第2－9 採点

都立高校の実施要綱第２－９を準用する。

第2－10 選考

第２－１０－１　選考

(1) 第１学年相当

都立高校の実施要綱第２－１０－１を準用する。

(2) 第２学年相当以上

＜一橋高校、新宿山吹高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校＞

高等学校の単位修得証明書・成績証明書、学力検査の成績及び面接の結果により行う。

第２－１０－２　選考委員会

都立高校の実施要綱第２－１０－４を準用する。

第２－１０－３　合格候補者の決定

＜新宿山吹高校及び砂川高校＞

(1) 各部（新宿山吹高校は科を含む。以下同じ。）の募集人員を合計した人員を、総合成績の順により決定する。

(2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第１志望とした者の中から合格候補者を決定する。

第１志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。

(3) (2)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中から、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。

＜一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び八王子拓真高校（一般枠）＞

(1) 各部の募集人員に相当する人員を、部ごとにその部を第１志望とした者のうちから総合成績の順により決定する。

(2) 第１志望で募集人員に達しない部は、 その不足人員を他の部の合格候補者になっていない受検者のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。

＜六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校＞

都立高校の実施要綱第２－１０－５－３を準用する。

第２－１０－４　合格者の決定

当該都立高校長は、選考委員会で決定した入学許可予定者（以下「合格者」という。）の候補者を合格者として決定する。

第2－11 合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第２－１１及び第２－１２を準用する。

第　３　　学力検査等に基づく選抜（分割後期募集）

第3－1 分割後期募集日程

事　　項		日　　時
出　　願		令和９年３月　４日（木）　　午前９時 ～ 午後３時
志願変更	入学願書取下げ	令和９年３月　５日（金）　　午前９時 ～ 午後３時
	入学願書再提出	令和９年３月　８日（月）　　午前９時 ～ 正午
検　　査		令和９年３月　９日（火）　　集合　午前８時３０分 面接については、令和９年３月　９日（火）以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表		令和９年３月１２日（金）　　午前８時３０分　（合否照会サイト上で発表） 正午　　（校内掲示）
合格者の入学手続		令和９年３月１２日（金）　　正午　　～ 午後３時 ３月１５日（月）　　午前９時 ～ 正午

（注１）　分割後期募集は、第１学年相当のみとする。

（注２）　分割後期募集を実施する学校は、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校である。詳細は別表４（１３２ページ）のとおりとする。

第3－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第3－3 応募資格

本実施要綱第２－３(1)を準用する。

なお、分割後期募集入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者並びに東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者の応募は認めない。

また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

第3－4 出願方法

志願者は、１校に限り、１部から３部までの各部に志望の順位を付けて出願することができる。

第3－5 出願手続

第３－５－１　中学校の校長の手続

都立高校の実施要綱第３－５－１を準用する。

第３－５－２　志願者の手続

第３－５－２－１　出願に要する書類等

本実施要綱第２－５－２－１を準用する。ただし、入学考査料は所定の納付書により納付書裏面に記載の納付場所で納付し、領収証書を入学願書の裏面に貼り付けること。

なお、浅草高校、八王子拓真高校、砂川高校及び荻窪高校への出願においては、分割後期募集・全日制第二次募集用（様式５）の入学願書を使用する。

第３－５－２－２　提出方法

都立高校の実施要綱第３－５－２－２を準用する。ただし、インターネット出願は行わないため、出願に要する書類は全て紙で持参により提出する。

第３－５－３　受検票の交付

都立高校の実施要綱第３－５－３を準用する。

第3－6 志願の変更

第３－６－１　志願変更

志願者は、入学願書提出後、別表３－２（１０１ページ）の〇を付した変更について、１回に限り行うことができる。

なお、入学願書の返却を受けた都立高校及び大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校への再提出はできない。

第３－６－２　志願変更の手続

(1) 志願変更の手続は、都立高校の実施要綱第３－６－２を準用する。

(2) 面接を実施する全日制の都立高校へ志願変更をする場合、又は一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカードを作成し、調査書とともに提出する。

(3) 全日制の都立高校へ志願変更をする者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

第3－7 学力検査等の実施

(1) 検査教科等

学力検査の教科は、国語、数学及び外国語（英語）の３教科とし、各教科の満点は１００点とする。また、面接を実施する。

検査教科のうち、１教科（面接又を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなす。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。

(2) 集合時刻及び時間割

＜一橋高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検 査 教 科
集　　合	午前　８時３０分		
第 1 時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 2 時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 3 時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語

（注）　面接については、３月１０日（水）に実施する。集合時刻については、受検票により指定する。

＜浅草高校、荻窪高校及び砂川高校＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 1 時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国　語
第 2 時限	午前１０時１０分 ～ 午前１１時００分	５０分	数　学
第 3 時限	午前１１時２０分 ～ 午後　０時１０分	５０分	英　語
第 4 時限	各都立高校が定める時刻		面　接

＜八王子拓真高校（一般枠）＞

	開始時刻　～　終了時刻	時　間	検査教科等
集　　合	午前　８時３０分		
第 1 時限	午前　９時００分 ～ 午前　９時５０分	５０分	国語、数学、英語を総合したもの
第 2 時限	都立高校が定める時刻		面　接

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第3－8 問題作成

＜八王子拓真高校（一般枠）＞

都立高校の実施要綱第２－８に基づき作成する。

＜一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校＞

都立高校の実施要綱第２－８を準用する。

第3－9 採点

本実施要綱第２－９を準用する。

第3－10 選考

本実施要綱第２－１０を準用する。ただし、第１学年相当の選考における学力検査の得点と調査書点の比率は、６：４又は５：５のどちらかとする。

第3－11 合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱第３－１１及び第３－１２を準用する。

第3－12 第三次募集の実施について

東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱第２－１０を準用する。

第　４　　学力検査等に基づく選抜（第二次募集）

＜新宿山吹高校、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校＞

第４－１　第二次募集日程

都立高校の実施要綱第３－１　定時制第二次募集日程で実施する。

なお、第二次募集は第１学年相当のみ行う。

第４－２　募集人員

第一次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校は、その相当人員について第二次募集を行う。

第４－３　応募資格

本実施要綱第２－３(1)を準用する。

なお、第二次募集入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、分割後期募集・全日制第二次募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者並びに東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者の応募は認めない。

また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

第４－４　出願方法、出願手続及び志願の変更

都立高校の実施要綱第３－４、第３－５及び第３－６を準用する。

なお、新宿山吹高校の入学願書は学校所定の様式とする。

第４－５　学力検査等の実施

(1) 検査教科等

本実施要綱第２－７(1)を準用する。

(2) 集合時刻及び時間割

集合時刻及び時間割は、各都立高校が定める。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第４－６　問題作成、採点

本実施要綱第２－８及び第２－９に準じて、当該都立高校長が別に定める。

第４－７　選考

本実施要綱第２－１０を準用する。ただし、学力検査の得点と調査書点の比率は、６：４又は５：５のどちらかとする。

第４－８　合格者の発表及び入学手続（入学確約書の提出）

本実施要綱第３－１１を準用する。

第４－９　第三次募集、第四次募集の実施について

都立高校の実施要綱第３－１３を準用する。

第　５　　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等

都立高校の実施要綱第５を準用する。この場合において、「第一次募集」とあるのは「第一次募集・分割前期募集」と、「全日制第二次募集」とあるのは「分割後期募集」と読み替えるものとする。

第　６　　その他

１　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める学力検査の成績により行う。

２　応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したものと認められる者は、入学を取り消すものとする。

３　本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

＜参考＞東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱（第一次募集･分割前期募集）主な相違点

<table>
<tr><th colspan="3">項　　目</th><th>新　宿　山　吹</th><th>砂　　川</th><th>一　　橋</th><th>浅　　草</th><th>八 王 子 拓 真
（ 一 般 枠 ）</th></tr>
<tr><td colspan="3">出　　願　　方　　法</td><td>１～４部の各科、各部に志望の順位を付けて出願</td><td colspan="4">１～３部の各部に志望の順位を付けて出願</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願手続（出願に要する書類）</td><td colspan="2">中学校卒業見込みの者又は既卒者</td><td colspan="5">① 入学願書（様式４）（新宿山吹高校及び一橋高校は学校所定の様式）
※インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。
② 入学考査料（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）
③ 調査書（様式１０又は様式１０－２）（注１）
④ 自己ＰＲカード（様式１２）
⑤ 成績一覧表（卒業見込みの者のみ）
⑥ 住民票記載事項証明書（様式応３）(都内に住所を有する既卒者)(注２、３）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高等学校等中途退学者で高等学校での修得単位がある者</td><td>第１学年相当</td><td colspan="5">① 入学願書（様式４）（新宿山吹高校及び一橋高校は学校所定の様式）
※インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。
② 入学考査料（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）
③ 調査書（様式１０又は様式１０－２）（注１）
④ 自己ＰＲカード（様式１２）
⑤ 高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の用紙）
⑥ 住民票記載事項証明書（様式応３）(都内に住所を有する者)(注２、３）</td></tr>
<tr><td>第２学年相当以上</td><td colspan="5">① 入学願書（学校所定の様式）
※インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。
② 入学考査料（出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず紙の入学願収証書を裏面に貼り付けて提出する。）
③ 自己ＰＲカード（様式１２）
④ 高等学校の単位修得証明書・成績証明書（学校所定の用紙）
⑤ 住民票記載事項証明書（様式応３）(都内に住所を有する者)(注２、３）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">志願の変更</td><td colspan="2">中学校卒業見込みの者又は既卒者</td><td rowspan="2">志願変更をすることはできない。</td><td colspan="4" rowspan="2">入学願書提出後、１回に限り一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高高校の相互間、チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及び全全日制の応募資格を有する者に限る。）に、志願変更をすることができる。
面接を実施する全日制高校へ志願変更する場合、また、一橋高校、浅草高校、真高校（一般枠）及び砂川高校へ志願変更をする場合は、新たに自己ＰＲカーとともに提出する。また、全日制高校に志願変更をする場合は、入学考査料の再提出先の全日制高校の窓口において、現金で納付する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高等学校等中途退学者で高等学校での修得単位がある者</td><td>第１学年相当</td></tr>
<tr><td>第２学年相当以上</td><td colspan="5">志願変更をすることはできない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学力検査等の実施</td><td colspan="2">中学校卒業見込みの者又は既卒者</td><td rowspan="2">国語、数学、外国語(英語)及び面接</td><td rowspan="2">国語、数学、外国語(英語）、社会、理科及び面接</td><td colspan="3" rowspan="2">国語、数学、外国語(英語）及び面接</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高等学校等中途退学者で高等学校での修得単位がある者</td><td>第１学年相当</td></tr>
<tr><td>第２学年相当以上</td><td colspan="5">国語、数学、外国語（英語）及び面接</td></tr>
<tr><td colspan="3">選考（合格候補者の決定）</td><td colspan="2">(1) 各部（新宿山吹高校は科を含む。以下同じ。）の募集人員を合計した人員を、総合成績の順により決定する。
(2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第１志望とした者の中から合格候補者を決定する。
第１志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。
(3) (2)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中から、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。</td><td colspan="3">(1) 各部の募集人員に相当する人員を、部ごとにその部を第ちから総合成績の順により決定する。
(2) 第１志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を他なっていない受検者のうちから志望の順位に基づき、総合</td></tr>
</table>

（注１）　令和９年３月３１日現在、満２０歳以上の者については、調査書に代えて卒業証明書を提出する。

（注２）　都内の中学校を卒業見込みの者を除き、都外に住所を有し、入学日までに都内に転入することが確実な者は、転居を証明する書類を提出する。

（注３）　都内の中学校を卒業見込みの者を除き、都外に住所を有し、勤務先が都内にある場合は、住民票記載事項証明書に代えて、勤務先を証明する書類を提出する。

荻　　窪	六　郷　工　科	飛　　鳥	板　橋　有　徳	青　梅　総　合	東 久 留 米 総 合
	1科に限る。				
書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場					
書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場					
書により、納付書裏面 書を用いる場合は、領	第２学年相当以上の募集を行わない。				
校（一般枠）、砂川 日制高校（ただし、 荻窪高校、八王子拓 ドを作成し、調査書 差額（1,250円）を	志願変更をすることはできない。				
	第２学年相当以上の募集を行わない。				
国語、数学、外国語（英語）及び面接					
	第２学年相当以上の募集を行わない。				
１志望とした者のう の部の合格候補者と 成績の順に充足する。	当該都立高校の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定する。				

東京都立高等学校通信制課程入学者選抜実施要綱

令和９年度の東京都立高等学校通信制課程の入学者選抜は、東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則（平成５年東京都教育委員会規則第１号）に基づき、この東京都立高等学校通信制課程入学者選抜実施要綱（以下「本実施要綱」という。）の定めるところにより実施する。

なお、本実施要綱の対象となる通信制課程を設置する都立高等学校(以下「都立高校」という。)は、一橋高校、新宿山吹高校及び砂川高校である。

第　１　　通信制課程における選抜（前期選抜）

第１－１ 前期選抜日程

事　　項	日　　時
出　　願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和８年１２月１８日（金）から令和９年２月　４日（木）午後５時まで ※　入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和９年１月２９日（金）から２月　４日（木）まで（必着） ※　書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。
検　　査	令和９年２月２２日（月）　　集合　午前９時
合格者の発表	令和９年３月　１日（月）　　午前８時３０分（インターネット上の合否照会サイト(以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前９時３０分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和９年３月　１日（月）　　午前９時３０分 ～ 午後３時３０分 ３月　２日（火）　　午前９時　　～ 正午

（注１）　前期選抜は、１校に限り出願することができる。

（注２）　前期選抜は、第１学年相当のみとし、高等学校等中途退学者については、高等学校等における単位を取得していない者、又は高等学校等における修得単位数が当該都立高校で定める修得単位数以下で、かつ、修得単位を引き継がない者に限り出願することができる。

第１－２ 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第１－３ 応募資格

東京都立高等学校通信制課程に志願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全てに該当する者で、平成２４年４月１日以前に出生した者とする。ただし、通信制課程の前期選抜においては、入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、在京外国人生徒等対象の選抜（竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校）及び国際バカロレアコースの選抜における合格者、第一次募集・分割前期募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜（国際高校）、東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の選抜に出願する者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）並びに都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者の応募は認めない。

(1)　高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次のアからオまでのいずれかに該当する者

ア　令和９年３月に中学校を卒業する見込みの者

イ　中学校を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号。以下「施行規則」という。）第９５条に規定する次の(ｱ)から(ｵ)までのいずれかに該当する者

(ｱ)　外国において、学校教育における９年の課程を修了した者

(ｲ)　文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(ｳ)　文部科学大臣の指定した者

(ｴ)　就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和４１年文部省令第３６号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者

(ｵ)　その他高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

エ　日本国内において、外国人学校の教育により、日本の９年の義務教育相当の教育を受けた外国籍を有する者又は令和９年３月３１日までに修了する見込みの外国籍を有する者

オ　令和９年３月３１日までに、施行規則第９５条第１号に規定する外国において学校教育における９年の課程を修了する見込みの者又は同条第２号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了する見込みの者

(2)　次のア又はイのいずれかに該当する者

ア　都内に住所又は勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所又は勤務先を有することが確実な者

イ　入学日までに都内に住所又は勤務先を有することが確実で、入学後も引き続き都内に住所又は勤務先を有することが確実な者

(3)　当該都立高校が実施する面接指導（スクーリング）に対応（出席）可能な者

第1－4　出願手続

第１－４－１　中学校、義務教育学校、特別支援学校及び中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長の手続

都立高校の実施要綱第２－５－１を準用する。ただし、同項(2)ウを準用する場合において、成績一覧表は志願する都立高校の通信制課程に１部提出する。

なお、一度提出した成績一覧表は返却しない。

第１－４－２　志願者の手続

第１－４－２－１　出願に要する書類等

(1) 別表２－３　都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・通信制）（１００ページ）のとおり。

(2) インターネット出願では、志願者情報等を出願サイトに入力する。ただし、やむを得ない事情によりインターネット出願を行うことができない場合は、各学校所定の入学願書により出願することとする。

(3) **入学考査料は９５０円**とする（出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて提出する。）。

第１－４－２－２　提出方法

都立高校の実施要綱第２－５－２－２を準用する。

第１－４－３　受検票の交付

都立高校の実施要綱第２－５－３を準用する。

第1－5　学力検査等の実施

(1) 検査教科等

＜新宿山吹高校＞

国語、数学及び外国語（英語）を総合して７０分間で行う。

＜一橋高校及び砂川高校＞

国語、数学及び外国語（英語）を総合して６０分間で行う。

(2) 集合時刻及び時間割

集合時刻及び時間割は、各都立高校が定める。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第1－6 問題作成

都立高校の実施要綱第２－８(1)アからウ及び(4)に基づき、各都立高校が作成する。

第1－7 採点

都立高校の実施要綱第２－９を準用する。

第1－8 選考

選考の方法等については、別に定める。

第1－9 合格者の発表

都立高校の実施要綱第２－１１を準用する。

第1－10 入学手続（入学確約書の提出）

都立高校の実施要綱２－１２を準用する。ただし、入学料は５００円とする。

第 2 通信制課程における選抜（後期選抜）

第2－1 後期選抜日程

	出　　願	学 力 検 査	合 格 者 の 発 表	入 学 手 続
一橋	令和９年４月１日（木） ４月２日（金） 午前１０時～午後３時	令和９年４月４日（日） ・第１学年相当 集合　午前９時 ・第２学年相当以上 集合　午前１１時３０分	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 令和９年４月１０日（土） 午前９時～正午
新宿山吹	令和９年４月１日（木） ４月２日（金） 午前９時～午後３時	令和９年４月５日（月） ・第１学年相当 集合　午前８時４０分 ・第２学年相当以上 集合　午前１１時	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 令和９年４月１０日（土） 午前９時～正午
砂川	令和９年４月１日（木） ４月２日（金） 午前９時～午後３時	令和９年４月６日（火） ・第１学年相当 集合　午前８時４０分 ・第２学年相当以上 集合　午前１０時４０分	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	令和９年４月９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 令和９年４月１０日（土） 午前９時～正午

（注１）　検査日の異なるそれぞれの都立高校に出願することができる。また、都立高校の定時制課程にも出願することができる。

（注２）　第２学年相当以上の募集は、転学・編入学募集として実施する。

第2－2 募集人員

「令和９年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

第2－3 応募資格

東京都立高等学校通信制課程の後期選抜に志願することのできる者は、以下に該当する者とする。

(1) 第１学年相当

本実施要綱第１－３に定める応募資格を有する者､同資格を有する高等学校等中途退学者又は高等学校在籍中の者で、高等学校における修得単位数が当該都立高校で定める修得単位数以下の者

(2) 第２学年相当以上

本実施要綱第１－３に定める応募資格を有する高等学校等中途退学者又は高等学校在籍中の者で､在籍していた期間が１年以上、かつ、高等学校における修得単位数が当該都立高校で定める修得単位数以上の者

通信制課程の後期選抜においては、入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、分割後期募集・第二次募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者（入学手続を終えた者も含む。）、都立中高一貫教育校の高校・後期課程に進学・進級を予定している者並びに東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者の応募は認めない。

また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

第2－4 出願手続

(1) 志願者は、出願期間中に当該都立高校の校長（以下「都立高校長」という。）が別に定める書類（入学願書等）を提出する（都立高等学校入学者選抜出願書類一覧（学力検査に基づく選抜・通信制）（別表２－３を参照））。

なお、調査書は、生徒指導要録に記載された中学校第３学年の成績等に基づき作成する。

(2) **入学考査料９５０円**は、所定の納付書により、納付書に記載の納付場所で納付する。 ただし、営業時間終了等で金融機関等に納付できない場合は、入学願書提出の際に志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

なお、第二次募集については、出願時に志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

(3) 郵送による出願は受け付けない。ただし、島しょに在住する者が出願する場合は、 入学願書提出期限までに簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法で到着したものに限り受け付ける。

なお、郵送により出願する場合は、入学願書等提出書類に、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返送時の宛先として、志願者の住所･氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の郵券を貼り付けたもの）を同封すること。

第2－5 学力検査等の実施

(1) 検査教科等

＜新宿山吹高校＞

ア　第１学年相当

国語、数学及び外国語（英語）を総合して７０分間で行う。

イ　第２学年相当以上

現代の国語及び言語文化、数学Ⅰ及び外国語（英語コミュニケーションⅠ）程度の内容とし、総合して７０分間で行う。

＜一橋高校及び砂川高校＞

ア　第１学年相当

国語、数学及び外国語（英語）を総合して６０分間で行う。

イ　第２学年相当以上

現代の国語及び言語文化、数学Ⅰ及び外国語（英語コミュニケーションⅠ）程度の内容とし、総合して６０分間で行う。

(2) 集合時刻及び時間割

集合時刻及び時間割は、各都立高校が定める。

(3) 検査会場

受検票により指定する。

第2－6 問題作成

⑴ 第１学年相当の学力検査の問題作成

本実施要綱第１－６を準用する。

⑵ 第２学年相当以上の学力検査の問題作成

ア　出題の基本方針

(ｱ) 高等学校の教育課程に基づく学習の成果としての学力を検査することを基本とし、出題の範囲は高等学校学習指導要領により、標準授業時数で学習する範囲とする。

(ｲ) 出題の内容は、各教科とも高等学校学習指導要領に示されている教科の目標に照らして基本的な事項を選ぶとともに、一部の領域に偏ることのないようにする。

(ｳ) 単なる知識だけの検査に偏らないようにし、思考力、判断力、表現力などもみることができるようにする。

イ　検査問題は、各都立高校が作成する。

第2－7 採点

本実施要綱第１－７を準用する。

第2－8 選考

選考の方法等については、別に定める。

第2－9 合格者の発表

本実施要綱第１－９を準用する。

第2－10 入学手続（入学確約書の提出）

本実施要綱第１―１０を準用する。

第2－11 第二次募集

当該都立高校長が別に定める。

第　３　　本人得点の開示及び学力検査における答案の開示等

都立高校の実施要綱第５を準用する。この場合において、「第一次募集」とあるのは「通信制課程の前期選抜」と読み替えるものとする。

第　４　　その他

１　通信制課程の後期選抜において、複数の都立高校に合格した者は、合格した通信制課程の都立高校のうち１校に限り、入学手続をすることができる。

２　通信制課程に合格し、入学手続をした者は、他の都立高校の入学手続をすることができない。

３　施行規則第９５条第５号に規定する学力認定は、本実施要綱の定める学力検査の成績により行う。

４　応募資格に違反し、又は必要書類の重要事項の誤記、不備その他事実に反する記載により入学したと認められる者は、入学を取り消すものとする。

５　通信制課程の選抜については、追検査を実施しない。

６　本実施要綱に定めるもののほか、必要な事項は、都立高校の実施要綱の規定を準用する。

＜参考１＞

令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針

東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則第１３条の規定に基づき、令和９年度の東京都立高等学校（以下「都立高校」という。）の推薦に基づく選抜の実施方針を定める。

都立高校における推薦に基づく選抜は、以下の実施方針に基づき行うものとする。

第１　推薦に基づく選抜の種類

推薦に基づく選抜として、一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦及び理数等特別推薦を設ける。

第２　推薦に基づく選抜の目的

１　一般推薦

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

２　文化・スポーツ等特別推薦

各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。

３　理数等特別推薦

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

第３　対象

令和９年３月に都内の中学校及び義務教育学校を卒業する見込みで、かつ、志願する都立高校を第一志望とする生徒

なお、令和９年３月に都立中学校を卒業する見込みの生徒及び都立中等教育学校前期課程を修了する見込みの生徒については対象としない。

第４　実施の決定

各都立高校長は、推薦に基づく選抜（一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦及び理数等特別推薦）の実施の有無を決定する。

なお、文化・スポーツ等特別推薦及び理数等特別推薦については、学校経営計画にその実施を明確に位置付けていることを前提とする。

第５　募集人員の決定

各都立高校長は、第６に定める各学科の対象人員の枠内で、推薦に基づく選抜の募集人員を決定する。

第６　推薦に基づく選抜の対象人員枠等

１　全日制普通科（以下の各項に示した都立高校を除く。）においては、募集人員の２０％以内とする。

⑴ コースを置く都立高校のコースにおいては、募集人員の３０％以内とする。

⑵ エンカレッジスクールに指定された都立高校においては、募集人員の３０％以内とする。

２　全日制専門学科（以下に示した学科を除く。）においては、募集人員の３０％以内とする。

⑴ 農業に関する学科においては、募集人員の４０％以内とする。

⑵ 工業に関する学科においては、募集人員の４０％以内とする。

⑶ 商業に関する学科においては、募集人員の４０％以内とする。

⑷ 水産に関する学科においては、募集人員の４０％以内とする。

⑸ 理数に関する学科においては、募集人員の２０％以内とする。

⑹ 産業科においては、募集人員の４０％以内とする。

３　全日制総合学科においては、募集人員の３０％以内とする。

４　定時制及び通信制においては、原則として推薦に基づく選抜を実施しない。ただし、昼夜間定時制単位制高校（専門学科）においては、募集人員の３０％以内とする。

第７　文化・スポーツ等特別推薦の対象人員枠

推薦に基づく選抜の対象人員枠の中に内数として「文化・スポーツ等特別推薦」の特別枠を設ける。特別枠の人数は、各都立高校長が適切に定める。

第８　第６で示した推薦に基づく選抜の対象人員枠にかかわらず、東京都教育委員会が適当と認めた都立高校においては、一定の範囲内で、別途対象人員枠の拡大を行うことができる。

第９　検査の内容

１　一般推薦

⑴ 個人面接を全ての都立高校で実施する。集団討論については、必要と判断した都立高校において実施することができる。

⑵ 小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の中からいずれか一つ以上を全ての都立高校で実施する。

⑶ ⑵の実技検査は、普通科（コースを置く都立高校のコースに限る。）、専門学科及び総合学科において実施することができる。

２　文化・スポーツ等特別推薦

⑴ 個人面接又は集団面接及び実技検査を実施する。

⑵ ⑴に加えて、小論文又は作文、その他学校が設定する検査を行うことができる。

３　理数等特別推薦

調査書、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、小論文、個人面接を実施する。

第１０　選考の基本方針

１　一般推薦の選考の基本方針

⑴ 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む。）の結果、小論文又は作文の結果（小論文又は作文以外に、実技検査、その他学校が設定する検査を実施する場合はその結果を含む。）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料（自己ＰＲカードを含む。）により行う。

⑵ 全ての都立高校で、調査書における各教科の観点別学習状況の評価（全２７観点）又は評定（９教科）のどちらか一つを調査書点として点数化する。ただし、総合成績に占める調査書点の割合の上限は５０％とする。

⑶ 個人面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

⑷ 個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む。）の結果、小論文又は作文の結果（小論文又は作文以外に、実技検査、その他学校が設定する検査を実施する場合はその結果を含む。）については、各都立高校が適切に基準を定めて点数化する。

⑸ 各検査の評価の観点については、１０月１日以降の最初の学校説明会までに各都立高校のホームページで公表する。

⑹ 選考に当たっては、一般推薦書の〔推薦理由欄〕にも十分配慮する。

⑺ 選考のための順位を定めるに当たっては、総合成績に基づき、同順位が出ないように優先順位を設ける。ただし、総合成績が同点である場合は、都立高校長が必要とする資料（自己ＰＲカードを含む。）を用いて同順位が出ないよう配慮する。

⑻ 各都立高校における、個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む。）の結果、小論文又は作文の結果（小論文又は作文以外に、実技検査、その他学校が設定する検査を実施する場合はその結果を含む。）のそれぞれの得点分布を、推薦に基づく選抜の学力検査等得点表の交付開始日に合わせて、各都立高校のホームページで公表する。

２　文化・スポーツ等特別推薦の選考の基本方針

⑴ 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行う。

⑵ 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接又は集団面接の他、実技検査等を適宜組み合わせて選考資料として用いる。

⑶ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、各都立高校が適切に定める。

⑷ 個人面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。

⑸ 受検者のうち、各都立高校で定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定する。

⑹ 選考に当たっては、文化・スポーツ等特別推薦書の〔推薦理由欄〕にも十分配慮する。

⑺ 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないよう配慮する。

⑻ 志願者は、本人の希望に応じて、同一日に実施している当該校の一般推薦にも出願することができるものとする。

３　理数等特別推薦の選考の基本方針

⑴ 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、総合成績により行う。

⑵ 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問及び小論文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用いる。

⑶ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、一般推薦や特別推薦と同様に各都

立高校が適切に定める。

(4) 受検者のうち、各都立高校で定めた基準に達していると認められた者の中から入学許可予定者の候補者を決定する。

(5) 選考に当たっては、理数等特別推薦書（学校所定の様式）の〔推薦理由欄〕にも十分配慮する。

(6) 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないよう配慮する。

(7) 総合成績の順に決定し、一定の水準に達していると認められた者の中から入学許可予定者の候補者を決定する。

第１１　推薦に基づく選抜実施上の留意点

推薦に基づく選抜の実施に当たり、各都立高校は以下の１及び２に留意すること。

１　求める生徒像の明確化について

推薦に基づく選抜の趣旨を踏まえ、自校が求める生徒像について十分に検討を行った上で明確化し、受検者及びその保護者に示す。

２　入学した生徒の学習状況等の検証・検討及び自校の推薦選抜方法の改善について

今後の入学者選抜方法等の改善に向けて、各校が推薦選抜の目的に合致した生徒を選抜することができたかについては、入学後の学習状況、特別活動、課外活動等の活動状況など、様々な側面から生徒を評価し、検証を行う。また、その結果を基に、自校の選抜方法（検査内容及び検査方法等）や推薦枠について検証・検討を行い、選抜方法の改善を図る。

＜参考２＞

令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における連携型中高一貫教育に関わる選抜の実施方針

学校教育法施行規則第９０条第４項及び東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則第１３条に基づき、連携型中高一貫教育を実施している連携型都立高等学校（以下「連携型高校」という。）における入学者選抜の実施方針を定める。

連携型高校における連携型中高一貫教育に関わる選抜（以下「連携型入学者選抜」という。）は、以下の実施方針に基づき行うものとする。

第１　連携型高校と連携型区市町村立中学校（以下「連携型中学校」という。）を対象に入学者選抜の方法として、連携型入学者選抜を設ける。

第２　連携型入学者選抜の趣旨

１　東京都における連携型中高一貫教育の充実を図るために、連携型中学校から連携型高校への進学について選抜を実施する。

２　目的意識や意欲をもった生徒の入学により、連携型高校の個性化・特色化の一層の推進を図る。

第３　連携型入学者選抜の実施の決定

連携型高校の校長は、連携型入学者選抜の実施の有無を決定する。

第４　日程

推薦に基づく選抜と同日程で実施する。

第５　対象

令和６年４月１日に連携型中学校に入学し、令和９年３月３１日に当該連携型中学校を卒業する見込みの者で、連携する連携型高校に進学を希望し、当該連携型中学校の校長が出願を承認した者とする。ただし、令和６年４月２日以降に連携型中学校に転入した生徒については、当該連携型中学校の校長と当該連携型高校の校長が出願の資格について協議するものとする。

第６　募集人員の決定

１　連携型高校の校長は、連携型入学者選抜の募集人員を決定する。

２　連携型入学者選抜の募集人員は、当該連携型高校の募集人員の１０％以内とし、連携型中学校が複数ある場合については、連携型中学校ごとに募集人員を決定する。

第７　連携委員会

１　連携型高校は、連携型中学校と共同で連携委員会を設置する。委員長は当該連携型高校の校長とする。

２　連携委員会は、連携型中学校の校長による出願者の決定に先立ち、連携した教育活動を基に、出願の基準を定める。

第８　出願者の決定

１　出願者の決定に当たっては、これまでの連携した教育活動に対する活動実績や、連携型高校の特色を十分理解しているかなどを連携委員会で十分協議した上で連携型中学校の校長が決定する。

２　出願者となった者は、推薦に基づく選抜には出願できない。

第９　選考

第９－１　選考

⑴　連携型入学者選抜における選考は、連携型中高一貫教育校における教育の趣旨を十分に理解している生徒で、当該連携型高校で学習の継続を希望する生徒に対して、連携した教育活動への取組状況を基に、連携型高校における学習の継続についての適性等をみる。

⑵　選考は、各連携型高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、出願承認書、志願申告書、面接（小論文又は作文、実技検査を実施する連携型高校にあってはそれらを含む。）の結果、志望及び連携型高校の校長が必要とする資料により行う。

⑶　面接（小論文又は作文、実技検査を実施する連携型高校にあってはそれらを含む。）の結果については、各連携型高校が適切に基準を定めて、点数化する。

第９－２　合格者決定における留意事項

(1)　連携型入学者選抜の合格者の人員は、当該連携型高校があらかじめ定めた連携型入学者選抜の募集人員を超えてはならない。

(2)　合格者の人員が募集人員に満たない場合、その残りの人員は学力検査に基づく選抜の募集人員に加える。

第１０　その他

連携型高校は、本実施方針に基づき連携型入学者選抜に係る実施要項を定める。

令和９年度　連携型中高一貫教育に関わる選抜を実施する高等学校と中学校

高等学校	中学校
広尾高等学校	渋谷区立広尾中学校
永山高等学校	多摩市立諏訪中学校 多摩市立青陵中学校 多摩市立多摩永山中学校
芝商業高等学校	北区立飛鳥中学校 北区立十条富士見中学校
蔵前工科高等学校	台東区立浅草中学校

＜参考３＞

令和９年度東京都立総合芸術高等学校舞台表現科の入学者選抜における選抜の実施方針

東京都立高等学校の入学者の選抜方法に関する規則に基づき、東京都立総合芸術高等学校舞台表現科の入学者選抜は、以下の実施方針に基づき行うものとする。

第１　目的

東京都立総合芸術高等学校舞台表現科に設置している演劇専攻及び舞踊専攻の入学者選抜において、希望する受検者の表現力や適性をより一層的確に評価するとともに、入学後に安定した教育活動を行えるようにする。

第２　募集人員の決定

東京都立総合芸術高等学校長は、東京都教育委員会に協議の上、舞台表現科における募集人員のうち、各専攻の内訳について決定する。

第３　選考

(1) 選考は、当該校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行う。
(2) 選考に当たっては、実技検査を組み合わせて選考資料として用いる。
(3) 選考に当たっては、教育活動の特色などに基づいて適切な基準を定める。
(4) 個人面接に当たっては、自己ＰＲカードを面接資料として活用する。
(5) 選考のための順位を定めるに当たっては、同順位が出ないよう配慮する。

第４　合格候補者決定における留意事項

(1) 合格候補者数については、入学手続者数が第２に定めた募集人員に対して過不足のないよう、適切に決定する。
(2) 第２に定めた募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定し、これを合格候補者とする。

第５　その他

(1) 推薦に基づく選抜を実施する場合は、「令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針」による。
(2) 当該校は、本実施方針に基づき入学者選抜に係る実施要項を定める。

別表１

都 立 高 等 学 校 一 覧

この表は、令和９年度入学者選抜の募集予定校を所在地別で記載している。募集校等については、令和８年１０月頃に最終的な発表をする予定である。

◎印の高校は、昼夜間定時制で、昼間からも学べる高校である。

【全日制課程・定時制課程】

高校名	全日制 学科等	全日制 コース名又は科名	定時制 学科	定時制 科名	所在地	電話
◎ 一橋			普通	(単位制1～3部)	101-0031 千代田区東神田1-12-13	03(3862)6061
日比谷	普通				100-0014 千代田区永田町2-16-1	03(3581)0808
晴海総合	総合	(単位制)			104-0053 中央区晴海1-2-1	03(3531)5021
三田	普通				108-0073 港区三田1-4-46	03(3453)1991
芝商業	商業	ビジネス			105-0022 港区海岸1-8-25	03(3431)0760
◎ 六本木			総合	(単位制1～3部)	106-0032 港区六本木6-16-36	03(5411)7327
新宿	普通	(単位制)			160-0014 新宿区内藤町11-4	03(3354)7411
◎ 新宿山吹			普通	(単位制1～4部)	162-8612 新宿区山吹町81	03(5261)9771
			情報	(単位制2部・4部)		
戸山	普通				162-0052 新宿区戸山3-19-1	03(3202)4301
総合芸術	芸術	音楽 美術 舞台表現 (単位制)			162-0067 新宿区富久町22-1	03(3354)5288
竹早	普通				112-0002 文京区小石川4-2-1	03(3811)6961
向丘	普通				113-0023 文京区向丘1-11-18	03(3811)2022
工芸	工業	マシンクラフト	工業	マシンクラフト	113-0033 文京区本郷1-3-9	03(3814)8755
		アートクラフト		アートクラフト		
		インテリア デザイン		インテリア		
		グラフィックアーツ		グラフィックアーツ		
◎ 浅草			普通	(単位制1～3部)	111-0024 台東区今戸1-8-13	03(3874)3182
上野	普通				110-8717 台東区上野公園10-14	03(3821)3706
忍岡	普通	(単位制)			111-0053 台東区浅草橋5-1-24	03(3863)3131
	家庭	生活科学(単位制)				
蔵前工科	工業	機械 電気 建築 設備工業			111-0051 台東区蔵前1-3-57	03(3862)4488
墨田川	普通	(単位制)			131-0032 墨田区東向島3-34-14	03(3611)2125
日本橋	普通				131-0041 墨田区八広1-28-21	03(3617)1811
本所	普通				131-0033 墨田区向島3-37-25	03(3622)0344
橘	産業	産業	産業	産業	131-0043 墨田区立花4-29-7	03(3617)8311
城東	普通				136-0072 江東区大島3-22-1	03(3637)3561
東	普通				136-0074 江東区東砂7-19-24	03(3644)7176
深川	普通				135-0016 江東区東陽5-32-19	03(3649)2101
	コース	外国語				
科学技術	工業	科学技術			136-0072 江東区大島1-2-31	03(5609)0227
	理数	創造理数				
墨田工科	工業	機械 自動車 電気 建築	工業	総合技術	135-0004 江東区森下5-1-7	03(3631)4928
江東商業	商業	ビジネス			136-0071 江東区亀戸4-50-1	03(3685)1711
第三商業	商業	ビジネス	商業	商業	135-0044 江東区越中島3-3-1	03(3641)0380
◎ 大江戸			総合	(単位制1～3部)	135-0015 江東区千石3-2-11	03(5606)9500
大崎	普通		普通		142-0042 品川区豊町2-1-7	03(3786)3355
小山台	普通				142-0062 品川区小山3-3-32	03(3714)8155
八潮	普通				140-0002 品川区東品川3-27-22	03(3471)7384
駒場	普通				153-0044 目黒区大橋2-18-1	03(3466)2481
	体育	保健体育				
目黒	普通				153-0052 目黒区祐天寺2-7-15	03(3792)5541
国際	国際	国際			153-0041 目黒区駒場2-19-59	03(3468)6811
大森	普通		普通		144-0051 大田区西蒲田2-2-1	03(3753)3161
蒲田	普通				144-0053 大田区蒲田本町1-1-30	03(3737)1331
田園調布	普通				145-0076 大田区田園調布南27-1	03(3750)4346
美原	普通	(単位制)			143-0012 大田区大森東1-33-1	03(3764)3883
雪谷	普通				146-0085 大田区久が原1-14-1	03(3753)0115

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
六郷工科	工業	ものづくり工学(単位制)	普通	(単位制)	144-8506 大田区東六郷2-18-2	03(3737)6565
			工業	生産工学(単位制)		
大田桜台	商業	ビジネスコミュニケーション			143-0027 大田区中馬込3-11-10	03(6303)7980
つばさ総合	総合	(単位制)			144-8533 大田区本羽田3-11-5	03(5737)0151
桜町	普通				158-0097 世田谷区用賀2-4-1	03(3700)4330
千歳丘	普通				156-0055 世田谷区船橋3-18-1	03(3429)7271
深沢	普通	(単位制)			158-0081 世田谷区深沢7-3-14	03(3702)4145
松原	普通		普通		156-0045 世田谷区桜上水4-3-5	03(3303)5381
芦花	普通	(単位制)			157-0063 世田谷区粕谷3-8-1	03(5315)3322
園芸	農業	園芸 食品 動物	農業	園芸	158-8566 世田谷区深沢5-38-1	03(3705)2154
総合工科	工業	機械・自動車	工業	総合技術	157-0066 世田谷区成城9-25-1	03(3483)0204
		電気・情報デザイン				
		建築・都市工学				
◎ 世田谷泉			総合	(単位制1～3部)	157-0061 世田谷区北烏山9-22-1	03(3300)6131
世田谷総合	総合	(単位制)			157-0076 世田谷区岡本2-9-1	03(3700)4771
青山	普通				150-0001 渋谷区神宮前2-1-8	03(3404)7801
広尾	普通				150-0011 渋谷区東4-14-14	03(3400)1761
第一商業	商業	ビジネス			150-0035 渋谷区鉢山町8-1	03(3463)2606
鷺宮	普通				165-0033 中野区若宮3-46-8	03(3330)0101
武蔵丘	普通				165-0031 中野区上鷺宮2-14-1	03(3999)9308
中野工科	工業	食品サイエンス	工業	総合技術	165-0027 中野区野方3-5-5	03(3385)7445
◎ 稔ヶ丘			総合	(単位制1～3部)	165-0031 中野区上鷺宮5-11-1	03(3970)8655
◎ 荻窪			普通	(単位制1～3部)	167-0051 杉並区荻窪5-7-20	03(3392)6436
杉並	普通				166-0016 杉並区成田西4-15-15	03(3391)6530
豊多摩	普通				166-0016 杉並区成田西2-6-18	03(3393)1331
西	普通				168-0081 杉並区宮前4-21-32	03(3333)7771
農芸	農業	園芸科学 食品科学	農業	農芸	167-0035 杉並区今川3-25-1	03(3399)0191
		緑地環境				
杉並工科	工業	IT・環境			167-0023 杉並区上井草4-13-31	03(3394)2471
杉並総合	総合	(単位制)			168-0073 杉並区下高井戸5-17-1	03(3303)1003
豊島	普通		普通		171-0044 豊島区千早4-9-21	03(3958)0121
文京	普通				170-0001 豊島区西巣鴨1-1-5	03(3910)8231
千早	商業	ビジネスコミュニケーション			171-0044 豊島区千早3-46-21	03(5964)1721
飛鳥	普通	(単位制)	普通	(単位制)	114-8561 北区王子6-8-8	03(3913)5071
赤羽北桜	家庭	保育・栄養 調理			115-0056 北区西が丘3-14-20	03(5948)4390
	福祉	介護福祉				
王子総合	総合	(単位制)			114-0023 北区滝野川3-54-7	03(3576)0602
◎ 桐ヶ丘			総合	(単位制1～3部)	115-0052 北区赤羽北3-5-22	03(3906)2173
竹台	普通				116-0014 荒川区東日暮里5-14-1	03(3891)1515
荒川工科	工業	電気 電子 情報技術	工業	電気・電子	116-0003 荒川区南千住6-42-1	03(3802)1178
板橋	普通				173-0035 板橋区大谷口1-54-1	03(3973)3150
板橋有徳	普通	(単位制)	普通	(単位制)	175-0083 板橋区徳丸2-17-1	03(3937)6911
大山	普通				173-0037 板橋区小茂根5-18-1	03(3958)2121
北園	普通				173-0004 板橋区板橋4-14-1	03(3962)7885
高島	普通				175-0082 板橋区高島平3-7-1	03(3938)3125
北豊島工科	工業	都市防災技術			174-0062 板橋区富士見町28-1	03(3963)4331
井草	普通				177-0044 練馬区上石神井2-2-43	03(3920)0319
大泉桜	普通	(単位制)			178-0062 練馬区大泉町3-5-7	03(3978)1180
石神井	普通				177-0051 練馬区関町北4-32-48	03(3929)0831
田柄	普通				179-0072 練馬区光が丘2-3-1	03(3977)2555
練馬	普通				179-8908 練馬区春日町4-28-25	03(3990)8643
光丘	普通				179-0071 練馬区旭町2-1-35	03(3977)1501
練馬工科	工業	キャリア技術			179-8909 練馬区早宮2-9-18	03(3932)9251
第四商業	商業	ビジネス			176-0021 練馬区貫井3-45-19	03(3990)4221
青井	普通				120-0012 足立区青井1-7-35	03(3848)2781

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
足立	普通		普通		120-0011 足立区中央本町1-3-9	03(3889)2204
			商業	商業		
足立新田	普通				123-0865 足立区新田2-10-16	03(3914)4211
足立西	普通				123-0872 足立区江北5-7-1	03(3898)7020
足立東	普通				120-0001 足立区大谷田2-3-5	03(3620)5991
江北	普通				120-0014 足立区西綾瀬4-14-30	03(3880)3411
淵江	普通				121-0063 足立区東保木間2-10-1	03(3885)6971
足立工科	工業	総合技術			123-0841 足立区西新井4-30-1	03(3899)1196
◎ 小台橋			総合	(単位制1～3部)	120-8528 足立区小台2-1-31	03(3913)1111
葛飾野	普通				125-0061 葛飾区亀有1-7-1	03(3602)7131
南葛飾	普通		普通		124-0012 葛飾区立石6-4-1	03(3691)8476
農産	農業	園芸デザイン 食品	農業	農産	124-0002 葛飾区西亀有1-28-1	03(3602)2865
本所工科			工業	総合技術	125-0035 葛飾区南水元4-21-1	03(3607)4500
葛飾商業	商業	ビジネス			125-0051 葛飾区新宿3-14-1	03(3607)5178
葛飾総合	総合	(単位制)			125-0035 葛飾区南水元4-21-1	03(3607)3878
江戸川	普通		普通		132-0031 江戸川区松島2-38-1	03(3651)0297
葛西南	普通		普通		134-8555 江戸川区南葛西1-11-1	03(3687)4491
小岩	普通				133-0044 江戸川区本一色3-10-1	03(3651)2250
小松川	普通				132-0035 江戸川区平井1-27-10	03(3685)1010
篠崎	普通				133-0063 江戸川区東篠崎1-10-1	03(3678)9331
紅葉川	普通				134-8573 江戸川区臨海町2-1-1	03(3878)3021
葛西工科	工業	機械 電子 建築			132-0024 江戸川区一之江7-68-1	03(3653)4111
		デュアルシステム				
片倉	普通				192-0914 八王子市片倉町1643	042(635)3621
	コース	造形美術				
翔陽	普通	(単位制)			193-0944 八王子市館町1097-136	042(663)3318
八王子北	普通				193-0803 八王子市楢原町601	042(626)3787
◎ 八王子拓真			普通	一般枠(単位制1～3部)	193-0931 八王子市台町3-25-1	042(622)7563
				チャレンジ枠(単位制1･2部)		
八王子東	普通				192-8568 八王子市高倉町68-1	042(644)6996
富士森	普通				193-0824 八王子市長房町420-2	042(661)0444
松が谷	普通				192-0354 八王子市松が谷1772	042(676)1231
	コース	外国語				
八王子桑志	産業	デザイン分野 クラフト分野			193-0835 八王子市千人町4-8-1	042(663)5970
		システム情報分野				
		ビジネス情報分野				
◎ 砂川			普通	(単位制1～3部)	190-8583 立川市泉町935-4	042(537)4611
立川	普通				190-0022 立川市錦町2-13-5	042(524)8195
	理数	創造理数				
◎ 立川緑			総合	(単位制1～3部)	190-0022 立川市錦町6-3-1	042(529)3080
武蔵野北	普通				180-0011 武蔵野市八幡町2-3-10	0422(55)2071
多摩	普通				198-0088 青梅市裏宿町580	0428(23)2151
青梅総合	総合	(単位制)	総合	(単位制)	198-0041 青梅市勝沼1-60-1	0428(22)7604
府中	普通				183-0051 府中市栄町3-3-1	042(364)8411
府中西	普通				183-0036 府中市日新町4-6-7	042(365)5933
府中東	普通				183-0012 府中市押立町4-21	042(365)7611
農業	農業	都市園芸 食品科学	普通		183-0056 府中市寿町1-10-2	042(362)2211
		緑地計画	農業	食品化学		
	家庭	服飾 食物				
府中工科	工業	機械 工業技術 情報技術 電気			183-0005 府中市若松町2-19	042(362)7237
昭和	普通				196-0033 昭島市東町2-3-21	042(541)0222
拝島	普通				196-0002 昭島市拝島町4-13-1	042(543)1772
神代	普通		普通		182-0003 調布市若葉町1-46-1	03(3300)8261
調布北	普通				182-0011 調布市深大寺北町5-39-1	042(487)1860
調布南	普通				182-0025 調布市多摩川6-2-1	042(483)0765
小川	普通				194-0003 町田市小川2-1002-1	042(796)9301
成瀬	普通				194-0044 町田市成瀬7-4-1	042(725)1533
野津田	普通				195-0063 町田市野津田町2001	042(734)2311
	福祉	福祉				
	体育	体育				
町田	普通		普通		194-0021 町田市中町4-25-3	042(722)2201
山崎	普通				195-0074 町田市山崎町1453-1	042(792)2891

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
町田工科	工業	総合情報			194-0035 町田市忠生1-20-2	042(791)1035
町田総合	総合	(単位制)			194-0037 町田市木曽西3-5-1	042(791)7980
小金井北	普通				184-0003 小金井市緑町4-1-1	042(385)2611
小金井工科			工業	機械 電気・電子	184-8581 小金井市本町6-8-9	042(381)4141
多摩科学技術	工業	科学技術			184-8581 小金井市本町6-8-9	042(381)4164
小平	普通				187-0042 小平市仲町112	042(341)5410
	コース	外国語				
小平西	普通				187-0032 小平市小川町1-502-95	042(345)1411
小平南	普通				187-0022 小平市上水本町6-21-1	042(325)9331
日野	普通				191-0021 日野市石田1-190-1	042(581)7123
日野台	普通				191-0061 日野市大坂上4-16-1	042(582)2511
南平	普通				191-0041 日野市南平8-2-3	042(593)5121
東村山	普通				189-0011 東村山市恩多町4-26-1	042(392)1235
東村山西	普通				189-0024 東村山市富士見町5-4-41	042(395)9121
国分寺	普通	(単位制)			185-0004 国分寺市新町3-2-5	042(323)3371
国立	普通				186-0002 国立市東4-25-1	042(575)0126
第五商業	商業	ビジネス	商業	商業	186-0004 国立市中3-4	042(572)0132
福生	普通		普通		197-0005 福生市北田園2-11-3	042(552)5601
多摩工科	工業	機械 電気 環境化学			197-0003 福生市熊川215	042(551)3435
		デュアルシステム				
狛江	普通				201-0013 狛江市元和泉3-9-1	03(3489)2241
東大和	普通				207-0015 東大和市中央3-945	042(563)1741
東大和南	普通				207-0022 東大和市桜が丘3-44-8	042(565)7117
清瀬	普通				204-0022 清瀬市松山3-1-56	042(492)3500
久留米西	普通				203-0041 東久留米市野火止2-1-44	042(474)2661
東久留米総合	総合	(単位制)	総合	(単位制)	203-0052 東久留米市幸町5-8-46	042(471)2510
上水	普通	(単位制)			208-0013 武蔵村山市大南4-62-1	042(590)4580
武蔵村山	普通				208-0035 武蔵村山市中原1-7-1	042(560)1271
永山	普通				206-0025 多摩市永山5-22	042(374)9891
若葉総合	総合	(単位制)			206-0822 稲城市坂浜1434-3	042(350)0300
羽村	普通				205-0012 羽村市羽4152-1	042(555)6631
秋留台	普通				197-0812 あきる野市平沢153-4	042(559)6821
五日市	普通		普通		190-0164 あきる野市五日市894	042(596)0176
田無	普通				188-0013 西東京市向台町5-4-34	042(463)8511
保谷	普通				202-0005 西東京市住吉町5-8-23	042(422)3223
田無工科	工業	機械 建築 都市工学			188-0013 西東京市向台町1-9-1	042(464)2225
瑞穂農芸	農業	園芸科学 畜産科学 食品	併合	普通・農業	190-1211 西多摩郡瑞穂町石畑2027	042(557)0142
	家庭	生活デザイン				
大島	普通		普通		100-0101 大島町元町字八重の水127	04992(2)1431
	併合	農林・家政				
大島海洋国際	水産	海洋国際			100-0211 大島町差木地字下原996	04992(4)0385
新島	普通				100-0402 新島村本村4-10-1	04992(5)0091
神津	普通				100-0601 神津島村1620	04992(8)0706
三宅	普通				100-1211 三宅村坪田4586	04994(6)1136
	併合	農業・家政				
八丈	普通		普通		100-1401 八丈町大賀郷3020	04996(2)1181
	併合	園芸・家政				
小笠原	普通				100-2101 小笠原村父島字清瀬	04998(2)2346

【通信制課程】

学校名	学科	所在地	電話
一橋	普通	101-0031 千代田区東神田1-12-13	03(3862)6061
新宿山吹	普通	162-8612 新宿区山吹町81	03(5261)9771
砂川	普通	190-8583 立川市泉町935-4	042(537)4611

別表２－１

都立高等学校入学者選抜出願書類一覧
（学力検査に基づく選抜・全日制）

応募資格 ＼ 提出を要する書類等			入学願書（所定の用紙）＊1	入学考査料（所定の納付書）＊2	調査書（様式10）	スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）＊3	自己ＰＲカード（様式12）	成績証明書又はこれに代わるもの	成績一覧表（別送）（様式11）	住民票記載事項証明書（様式応３）	理由書（様式応７）	具申書（様式14）	自己申告書（様式13）	志願者一覧（様式32）＊4	その他必要な書類
入学日までに転居予定のない者	都内の中学校を卒業見込みの者又は既に卒業した者	卒業見込みの者	◎	◎	◎	◎	▲		◎			△	△	◎	
		卒業者	◎	◎	◎＊5	◆	▲			◎	●		△		応募資格審査取扱要項１に定める書類
	中学校卒業認定者		◎	◎		◆	▲			◎	●		△		中学校卒業程度認定証書
	高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（義務教育年限が満12歳までであった当時に義務教育を終え、その後相当年齢に達した者）		◎	◎		◆	▲			◎	●		△		出身小学校の修了証書
	国内の外国人学校において日本の９年の義務教育相当の教育を修了見込み又は既に修了した外国籍を有する者	修了見込みの者	◎	◎	◎	◆	▲			◎＊6	●		△		調査書が発行できない場合は、外国人学校の修了（見込み）証明書
		修了者	◎	◎	◎＊5	◆	▲			◎＊6	●		△		
	都内在住者で都外の中学校を卒業見込みの者又は都内在住者で中学校を既に卒業した者（都内在住者で外国において学校教育における９年の課程を修了した者を含む。）	卒業見込みの者	◎	◎	◎	◆	▲		○	◎		△	△		応募資格審査取扱要項１に定める書類
		卒業者	◎	◎	◎＊5	◆	▲	◇		◎	●		△		
入学日までに転居予定のある者	都内在住者で都内の中学校を卒業見込みの者	島しょの中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	◎	▲		◎				△		島しょからの転居に関する申立書(様式15)
		島しょへ転居予定の者	◎	◎	◎	◎	▲		◎				△		島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書(様式15-2)
	都外在住者で都内に転入することが確実な者	都立特別支援学校に在籍している者	◎	◎	◎	◆	▲		◎		●		△		特別支援学校長又は児童福祉施設の長の「意見書」（志願者の入学後の居住予定等について記載のあるもの）
		都外に所在する児童福祉施設に入所している東京都の措置児童	◎	◎	◎	◆	▲		◎		●		△		
		上記以外の者	◎	◎	◎	◆	▲		○		●		△		応募資格審査取扱要項３に定める書類
	海外で学校教育における９年の課程を修了後、入学日までに都内に転入することが確実な者	日本人学校卒業（見込み）者	◎	◎	◎＊5		▲		○		●		△		応募資格審査取扱要項４に定める書類
		現地校卒業（見込み）者	◎	◎			▲	◎＊5			●		△		

（注１）　上記の「転居」には、島しょ以外の都内での転居は含まない。

（注２）　◎は、必ず全員提出する。ただし、成績一覧表及びスピーキングテスト個人レポート（原本）は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校長に提出する。

なお、やむを得ない理由により中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）を受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに替えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。

○は、卒業見込みの者のみ提出する。ただし、中学校において成績一覧表が作成できない場合、提出する必要はない。また、卒業者については提出する必要はない。

＊1 は、第一次募集においては、出願サイトに志願者情報等を入力する。

＊2 は、第一次募集においては、出願サイト上での決済又は所定の納付書による。

＊3 は、第一次募集においてのみ提出する（エンカレッジスクールに指定された都立高校においては、提出する必要はない。）。

＊4 は、第一次募集においてのみ提出する。

＊5 は、令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。

なお、令和４年度から令和７年度までの卒業者については（様式10-2）により作成する。

＊6 は、住民票記載事項証明書（様式応３）に外国籍を有していることの証明が必要。住民票記載事項証明書に証明がない場合、外国籍を有していることを証明する公的機関発行の書類を併せて提出すること。

▲は、面接・面談実施校の志願者のみ提出する。

△は、該当する者のみ提出する。

◇は、外国において学校教育における９年の課程を修了した者のみ提出する。この場合、調査書を提出する必要はない。

●は、保護者が父母であり、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できない場合のみ提出する。

◆は、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）を本人の希望により受験した者のみ提出する。

（注３）　都内の中学校を卒業見込みの者で、入学者選抜における検査結果を都立高校から中学校へ提供することに同意する場合、出願サイト上で入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に受検者氏名が表示されるように登録するか、入学願書の所定の欄に志願者本人が自署する。

（注４）　児童福祉施設に入所している東京都の措置児童については、当該児童福祉施設の長からの「意見書」、都内の里親又は小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム事業）委託生徒については、「措置通知書」の写しの提出をもって、具申書とみなす。

（注５）　住民票記載事項証明書（様式応３）については、次のことに留意する。

(1) 志願者及び保護者について、令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したものであること。

(2) 志願者が成人の場合は、保護者について記載する必要はない。

別表２－２－１

都立高等学校入学者選抜出願書類一覧
（学力検査に基づく選抜・定時制）

応募資格 ＼ 提出を要する書類等			入学願書（所定の用紙）＊1	入学考査料（所定の納付書）＊2	調査書（様式10）	スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）＊3	卒業証明書	自己ＰＲカード（様式12）	成績一覧表（別送）（様式11）	住民票記載事項証明書（様式応３）	成人受検者特別措置申請書（様式９）	自己申告書（様式13）	志願者一覧（様式32）＊3	その他必要な書類
都内に住所を有する者	中学校卒業見込みの者		◎	◎	◎	◎		▲	◎	△		△	◎	都外の中学校を卒業見込みの者は住民票記載事項証明書（様式応３）が必要
	中学校卒業者	20歳未満	◎	◎	◎★	◆		▲		◎		△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎	◎★	◆		▲		◎	◎	△		
		20歳以上	◎	◎		◆	◎	▲		◎		△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎		◆	◎	▲		◎	◎	△		
都内に住所を有さない者	都内に転入することが確実な者	中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	◆		▲	○			△		転居先を証明する書類
		中学校卒業者 20歳未満	◎	◎	◎★	◆		▲				△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎	◎★	◆		▲		◎	◎	△		
		20歳以上	◎	◎		◆	◎	▲				△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎		◆	◎	▲			◎	△		
	現に都内に勤務先を有する者	中学校卒業者 20歳未満	◎	◎	◎★	◆		▲				△		勤務先を証明する書類
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎	◎★	◆		▲		◎	◎	△		
		20歳以上	◎	◎		◆	◎	▲				△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎		◆	◎	▲			◎	△		
	都内に勤務先を有することが確実な者	中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	◆		▲	○			△		勤務先を有することが確実であることを証明する書類
		中学校卒業者 20歳未満	◎	◎	◎★	◆		▲				△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎	◎★	◆		▲		◎	◎	△		
		20歳以上	◎	◎		◆	◎	▲				△		
		成人受検者特別措置希望者	◎	◎		◆	◎	▲			◎	△		

（注１）　◎は、必ず全員提出する。ただし、成績一覧表及び及びスピーキングテスト個人レポート（原本）は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校長に提出する。
　なお、やむを得ない理由により中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）を受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに替えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。
　また、★を付してある者のうち、令和４年度から令和７年度までに中学校を卒業した者については調査書（様式10-2）を用いる。
　＊1 は、第一次募集・分割前期募集においては、出願サイトに志願者情報等を入力する。
　＊2 は、第一次募集・分割前期募集においては、出願サイト上での決済又は所定の納付書による。
　＊3 は、第一次募集・分割前期募集においてのみ提出する。
　○は、中学校において成績一覧表が作成できない場合、提出する必要はない。
　▲は、面接実施校の志願者のみ提出する。
　△は、該当する者のみ提出する。
　◆は、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3)を本人の希望により受験した者のみ提出する。
（注２）　都内の中学校を卒業見込みの者で、入学者選抜における検査結果を都立高校から中学校へ提供することに同意する場合、出願サイト上で入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に受検者氏名が表示されるように登録するか、入学願書の所定の欄に志願者本人が自署する。
（注３）　令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。
　なお、令和４年度から令和７年度までの卒業者については（様式10-2）により作成する。
（注４）　住民票記載事項証明書（様式応３）については、次のことに留意する。
　(1) 志願者及び保護者について、令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したものであること。
　(2) 志願者が成人の場合は、保護者について記載する必要はない。
（注５）　第２学年相当以上に出願する者については、調査書を提出する必要はない。
（注６）　成人受検者特別措置は、定時制課程単位制高校を除く。

別表２－２－２

都立高等学校入学者選抜出願書類一覧
（チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠））

応募資格 ＼ 提出を要する書類等			入学願書（所定の用紙）＊1	入学考査料（所定の納付書による）＊2	志願申告書（所定の用紙）	卒業見込証明書（様式任意）	卒業証明書	単位修得証明書等	住民票記載事項証明書（様式応３）	自己申告書（様式13）	志願者一覧（様式32）＊3	その他必要な書類
都内に住所を有する者		中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	▲			▲	△	◎	
		中学校卒業者	◎	◎	◎		◎	△	◎	△		
		高等学校等中途退学者	◎	◎	◎			◎	◎	△		
都内に住所を有さない者	都内に転入することが確実な者	中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	▲				△		転居先を証明する書類
		中学校卒業者	◎	◎	◎		◎	△		△		
		高等学校等中途退学者	◎	◎	◎			◎		△		
	現に都内に勤務先を有する者	中学校卒業者	◎	◎	◎		◎	△		△		勤務先を証明する書類
		高等学校等中途退学者	◎	◎	◎			◎		△		
	都内に勤務先を有することが確実な者	中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎	▲				△		勤務先を有することが確実であることを証明する書類
		中学校卒業者	◎	◎	◎		◎	△		△		
		高等学校等中途退学者	◎	◎	◎			◎		△		

（注１）　◎は、必ず全員提出する。
▲は、都外の中学校を卒業見込みの者が提出する。
△は、該当する者のみ提出する。
＊1 は、第一次募集においては、出願サイトに志願者情報等を入力する。
＊2 は、第一次募集においては、出願サイト上での決済又は所定の納付書による。
＊3 は、第一次募集においてのみ提出する。

（注２）　都内の中学校を卒業見込みの者で、入学者選抜における検査結果を都立高校から中学校へ提供することに同意する場合、出願サイト上で入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に受検者氏名が表示されるように登録するか、入学願書の所定の欄に志願者本人が自署する。

（注３）　八王子拓真高校（チャレンジ枠）の入学願書は、都立高校共通願書を使用すること。

（注４）　調査書及び成績一覧表を提出する必要はない。

（注５）　高等学校等中途退学者で修得単位数がゼロの場合は、単位修得証明書の代わりに高等学校等に在学していたことを証明する書類を提出する。

（注６）　住民票記載事項証明書（様式応３）については、次のことに留意する。
(1) 志願者及び保護者について、令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したものであること。
(2) 志願者が成人の場合は、保護者について記載する必要はない。

別表２－３

都立高等学校入学者選抜出願書類一覧
（学力検査に基づく選抜・通信制）

応募資格 ＼ 提出を要する書類等			共通					都内に住所を有する者		都内に勤務地を有する者	都内に転居又は勤務予定の者（資格審査を要する者）	任意提出
			入学願書（各学校所定の用紙）	入学考査料（所定の納付書）	調査書（様式10）	成績証明書（各学校所定の用紙）	成績一覧表〔別送〕（様式11）	住民票記載事項証明書（様式応３）	志願者一覧（様式32）	勤務証明書	都内に転居又は勤務予定であることを証明する書類	自己申告書（様式13）
第１学年相当	前期	中学校卒業見込みの者	◎	◎	◎		○		◎		◎	該当者のみ任意提出
	後期	中学校卒業者	◎	◎	◎★			◎		◎	◎	
		中学校卒業予定者、中学校既卒者又は高等学校等１年未満中途退学者	◎	◎	◎★			◎		◎	◎	
		高等学校等中途退学者又は高等学校在籍中の者で、高等学校の修得単位数が新宿山吹高校は、0～18単位の者 一橋高校は、0～13単位の者 砂川高校は、0～13単位の者	◎	◎	◎★	◎		◎		◎	◎	
第２学年相当以上		高等学校等中途退学者又は高等学校在籍中の者で、高等学校の修得単位数が新宿山吹高校は、19単位以上の者 一橋高校は、14単位以上の者 砂川高校は、14単位以上の者	◎	◎		◎		◎		◎	◎	

（注１）　◎は、必ず全員提出する。ただし、★を付してある者のうち、令和４年度から令和７年度までに中学校を卒業した者については調査書（様式10-2）を用いる。
　○は、都内に住所を有する者は必ず提出する。ただし、成績一覧表は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校長に提出する。また、都外在住者で、都内に転入することが確実な者又は都内に勤務先を有することが確実な者で、中学校において成績一覧表を作成できない場合、提出する必要はない。
　学校によっては、この様式以外にも提出が必要となる書類があるので、出願する高校の募集案内を参照すること。
（注２）　入学願書（学校所定の用紙）は、前期選抜においては、出願サイトに志願者情報等を入力する。
（注３）　入学考査料は、前期選抜においては、出願サイト上での決済又は所定の納付書による。
（注４）　令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。
（注５）　住民票記載事項証明書（様式応３）については、次のことに留意する。
(1) 志願者及び保護者について、令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したものであること。
(2) 志願者が成人の場合は、保護者について記載する必要はない。

別表3

都立高等学校入学願書再提出先一覧

別表３－１（第一次募集・分割前期募集）

取下げ ＼ 再提出			全日制	定時制		
				定時制単位制		定時制単位制以外
				チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	グループＢ（注３）	
全日制			○	×	×	×
定時制	定時制単位制	チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	○	○	×	×
		グループＢ（注３）	×	×	×	×
	定時制単位制以外		×	×	×	×

別表３－２（分割後期募集・全日制第二次募集・チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）第二次募集）

取下げ ＼ 再提出		全日制（注４）	定時制単位制
			チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）
全日制		○	×
単位制定時制	チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	○	○

（注１）　チャレンジスクールとは、六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校及び立川緑高校をいう。
（注２）　グループＡとは、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)及び砂川高校をいう。
（注３）　グループＢとは、新宿山吹高校、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校をいう。
（注４）　大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校への再提出はできない（ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる。）。

＜各高校における別表4及び別表5の掲載ページ一覧＞

	高校名	課程	学科	掲載ページ 別表4	別表5	別表5 付表2
あ	青井	全	普通	109	－	－
	青山	全	普通	107	－	－
	赤羽北桜	全	家庭	120	－	－
			福祉	120	－	－
	秋留台	全	普通	113	－	－
	浅草	定	普通	132	－	－
			(在京)	134	－	－
	飛鳥	全	普通	114	166	204
			(在京)	126	－	－
		定	普通	132	－	－
	足立	全	普通	109	147	187
		定	普通	127	－	－
			商業	130	－	－
	足立工科	全	工業	117	－	－
	足立新田	全	普通	109	147	188
	足立西	全	普通	109	148	188
	足立東	全	普通	113	－	－
	荒川工科	全	工業	117	169	206
		定	工業	130	－	－
い	井草	全	普通	108	－	－
	板橋	全	普通	108	143	184
	板橋有徳	全	普通	114	166	204
		定	普通	132	－	－
	五日市	全	普通	112	－	－
		定	普通	128	－	－
う	上野	全	普通	106	137	178
え	江戸川	全	普通	109	149	190
		定	普通	127	－	－
	園芸	全	農業	115	－	－
		定	農業	129	－	－
お	王子総合	全	総合	124	173	209
	青梅総合	全	総合	124	174	210
		定	総合	134	－	－
	大泉桜	全	普通	114	166	*1 204
	大江戸	定	総合	133	－	－
	大崎	全	普通	106	139	179
		定	普通	127	－	－
	大島	全	普通	112	－	－
			併合	122	－	－
		定	普通	128	－	－
	大島海洋国際	全	水産	119	－	－
	大田桜台	全	商業	123	－	－
	大森	全	普通	107	140	180
		定	普通	127	－	－
	大山	全	普通	108	144	184
	小笠原	全	普通	112	－	－
	小川	全	普通	111	156	196
	荻窪	定	普通	132	－	－

＊1パーソナル・プレゼンテーションについてはP212に掲載しています。

	高校名	課程	学科	掲載ページ 別表4	別表5	別表5 付表2
お	荻窪	定	(在京)	134	－	－
	小台橋	定	総合	133	－	－
か	科学技術	全	理数	121	176	－
		全	工業	123	－	－
	葛西工科	全	工業	117	－	－
	葛西南	全	普通	109	150	190
		定	普通	127	－	－
	片倉	全	普通	109	152	192
			コース	113	－	－
	葛飾商業	全	商業	119	－	－
	葛飾総合	全	総合	124	173	210
	葛飾野	全	普通	109	149	189
	蒲田	全	普通	113	－	－
き	北園	全	普通	108	－	－
	北豊島工科	全	工業	117	－	－
	清瀬	全	普通	112	161	200
	桐ヶ丘	定	総合	133	－	－
く	国立	全	普通	111	－	－
	蔵前工科	全	工業	116	－	－
	久留米西	全	普通	112	162	201
こ	小岩	全	普通	109	150	191
	工芸	全	工業	116	－	－
		定	工業	129	－	－
	神津	全	普通	112	－	－
	江東商業	全	商業	119	－	－
	江北	全	普通	109	－	－
	小金井北	全	普通	111	－	－
	小金井工科	定	工業	130	－	－
	国際	全	国際	*2 122	－	－
			(帰国)	125	－	－
			(在京)	126	－	－
	国分寺	全	普通	114	－	－
	小平	全	普通	111	－	－
			コース	113	－	－
	小平西	全	普通	111	156	196
	小平南	全	普通	111	157	197
	狛江	全	普通	111	159	198
	小松川	全	普通	109	－	－
	駒場	全	普通	107	－	－
			体育	121	－	－
	小山台	全	普通	106	－	－
さ	鷺宮	全	普通	107	141	181
	桜町	全	普通	107	140	180
し	篠崎	全	普通	109	151	191
	忍岡	全	普通	114	－	－
			家庭	120	－	－
	芝商業	全	商業	119	170	207
	石神井	全	普通	108	145	186

＊2国際バカロレアコースについてはP122に掲載しています。

	高校名	課程	学科	掲載ページ		
				別表4	別表5	別表5付表2
し	上水	全	普通	114	167	204
	城東	全	普通	106	138	178
	翔陽	全	普通	114	－	－
	昭和	全	普通	110	－	－
	新宿	全	普通	114	－	－
	新宿山吹	定	普通	132	－	－
			情報	133	－	－
		通	普通	135	－	－
	神代	全	普通	110	－	－
		定	普通	128	－	－
す	杉並	全	普通	108	141	182
	杉並工科	全	工業	116	168	205
	杉並総合	全	総合	124	173	209
			(在京)	126	－	－
	砂川	定	普通	132	－	－
			(在京)	134	－	－
		通	普通	135	－	－
	墨田川	全	普通	114	165	203
	墨田工科	全	工業	116	167	205
		定	工業	129	－	－
せ	世田谷泉	定	総合	133	－	－
	世田谷総合	全	総合	124	172	209
そ	総合芸術	全	芸術	121	－	－
	総合工科	全	工業	116	168	205
		定	工業	129	－	－
た	第一商業	全	商業	119	－	－
	第五商業	全	商業	119	－	－
		定	商業	130	－	－
	第三商業	全	商業	119	－	－
		定	商業	130	－	－
	第四商業	全	商業	119	170	207
	高島	全	普通	108	144	185
	田柄	全	普通	108	－	－
			(在京)	126	－	－
	竹台	全	普通	108	－	－
			(在京)	126	－	－
	竹早	全	普通	106	－	－
			(帰国)	125	－	－
	立川	全	普通	110	－	－
		全	理数	121	176	－
	立川緑	定	総合	133	－	－
	橘	全	産業	123	－	－
		定	産業	131	－	－
	田無	全	普通	112	163	202
	田無工科	全	工業	117	170	207
	多摩	全	普通	110	－	－
	多摩科学技術	全	工業	123	－	－
	多摩工科	全	工業	117	169	206
ち	千歳丘	全	普通	107	140	181
	千早	全	商業	123	171	207
	調布北	全	普通	110	－	－

	高校名	課程	学科	掲載ページ		
				別表4	別表5	別表5付表2
ち	調布南	全	普通	110	－	－
つ	つばさ総合	全	総合	124	172	209
て	田園調布	全	普通	107	－	－
と	豊島	全	普通	108	142	183
		定	普通	127	－	－
	戸山	全	普通	106	－	－
	豊多摩	全	普通	108	142	182
な	中野工科	全	工業	118	－	－
		定	工業	130	－	－
	永山	全	普通	112	162	201
	成瀬	全	普通	111	－	－
に	新島	全	普通	112	－	－
	西	全	普通	108	－	－
	日本橋	全	普通	106	－	－
ね	練馬	全	普通	108	146	186
	練馬工科	全	工業	118	－	－
の	農業	全	農業	115	－	－
			家庭	120	－	－
		定	普通	128	－	－
			農業	129	－	－
	農芸	全	農業	115	－	－
		定	農業	129	－	－
	農産	全	農業	115	－	－
		定	農業	129	－	－
	野津田	全	普通	111	－	－
			福祉	120	－	－
			体育	121	－	－
は	拝島	全	普通	110	156	196
	八王子北	全	普通	110	152	193
	八王子桑志	全	産業	123	170	207
	八王子拓真	定	普通	*132	－	－
	八王子東	全	普通	110	－	－
	八丈	全	普通	112	－	－
			併合	122	－	－
		定	普通	128	－	－
	羽村	全	普通	112	162	202
	晴海総合	全	総合	124	171	208
ひ	東	全	普通	106	138	179
	東久留米総合	全	総合	124	175	210
		定	総合	134	－	－
	東村山	全	普通	113	165	203
	東村山西	全	普通	111	158	198
	東大和	全	普通	112	160	199
	東大和南	全	普通	112	161	200
	光丘	全	普通	109	146	187
			(引揚)	125	－	－
	一橋	定	普通	132	－	－
			(在京)	134	－	－
		通	普通	135	－	－
	日野	全	普通	111	158	197
	日野台	全	普通	111	－	－

＊チャレンジ枠についてはP133に掲載しています。

	高校名	課程	学科	掲載ページ		
				別表4	別表5	別表5 付表2
ひ	日野台	全	(帰国)	125	－	－
	日比谷	全	普通	106	－	－
	広尾	全	普通	107	140	181
ふ	深川	全	普通	106	138	179
			コース	113	164	203
			(引揚)	125	－	－
	深沢	全	普通	114	165	204
	富士森	全	普通	110	153	193
			(引揚)	125	－	－
	淵江	全	普通	109	148	189
	府中	全	普通	110	154	194
	府中工科	全	工業	117	169	206
	府中西	全	普通	110	155	195
			(在京)	126	－	－
	府中東	全	普通	110	155	195
	福生	全	普通	111	159	198
		定	普通	128	－	－
	文京	全	普通	108	143	183
ほ	保谷	全	普通	112	164	202
	本所	全	普通	106	137	178
	本所工科	定	工業	130	－	－
ま	町田	全	普通	111	－	－
		定	普通	128	－	－
	町田工科	全	工業	117	－	－
	町田総合	全	総合	124	174	210
	松が谷	全	普通	110	154	194
			コース	113	－	－
	松原	全	普通	107	－	－
		定	普通	127	－	－
み	瑞穂農芸	全	農業	115	－	－
			家庭	120	－	－
		定	併合	131	－	－
	三田	全	普通	106	－	－
			(帰国)	125	－	－
	南葛飾	全	普通	109	149	189
			(在京)	126	－	－
		定	普通	127	－	－
	南平	全	普通	111	－	－
	稔ヶ丘	定	総合	133	－	－
	美原	全	普通	114	165	203
	三宅	全	普通	112	－	－
			併合	122	－	－
む	向丘	全	普通	106	137	178
	武蔵丘	全	普通	107	141	181
	武蔵野北	全	普通	110	－	－
	武蔵村山	全	普通	112	162	201
め	目黒	全	普通	107	139	180

	高校名	課程	学科	掲載ページ		
				別表4	別表5	別表5 付表2
も	紅葉川	全	普通	109	151	192
や	八潮	全	普通	107	139	179
	山崎	全	普通	111	－	－
ゆ	雪谷	全	普通	107	140	180
ろ	芦花	全	普通	114	－	－
	六郷工科	全	工業	118	－	－
			(在京)	126	－	－
		定	普通	132	－	－
			工業	133	－	－
	六本木	定	総合	133	－	－
わ	若葉総合	全	総合	124	175	*211

＊パーソナル・プレゼンテーションについてはP212に掲載しています。

別表４　令和9年度入学者選抜実施方法一覧

＊　各学校の募集人員は、１０月頃に発表する予定です。

＜推薦に基づく選抜＞

１　観点別学習状況の評価を活用する学校の得点化の方法は、付表（P136及びP177）に掲載しています。

２　調査書点の満点は、各教科の観点別学習状況の評価を点数化した数値又は評定の満点（45点）を換算したものです。

調査書点の算出方法

（1）観点別学習状況の評価を用いる場合

$$\text{各受検者の調査書点} = \text{各受検者の観点別学習状況の評価の得点} \times \frac{\text{調査書点の満点}}{\text{観点別学習状況の評価の得点の満点}}$$

（2）評定を用いる場合

$$\text{各受検者の調査書点} = \text{各受検者の評定の得点} \times \frac{\text{調査書点の満点}}{\text{評定の満点（45点）}}$$

３　個人面接(集団討論を実施する学校は集団討論を含む。)、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査のそれぞれの結果を点数化したもの（個人面接等点、小論文・作文点、実技検査点、学校設定検査点）の満点は、各学校が適切に定めます。
　調査書点の満点については、総合成績に占める調査書点の割合の上限を50％とし、各学校が適切に定めます。

４　その他
(1) 文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦を実施する学校の選抜方法や実技検査内容については、別表５（P137～212）に掲載しています。
(2) 各学校の実技検査等の内容については、別表６（P213～222）に掲載しています。

＜学力検査に基づく選抜＞

１　調査書点の満点は、評定の満点を換算したものです。
　なお、評定の満点は、学力検査の教科が５教科の場合は65点、３教科の場合は75点となります。

調査書点の算出方法

$$\text{各受検者の調査書点} = \text{各受検者の評定の得点（※）} \times \frac{\text{調査書点の満点}}{\text{評定の満点}}$$

※　学力検査を実施する教科の評定を１倍、学力検査を実施しない教科の評定を２倍として算出したものです。

２　面接、小論文又は作文、実技検査を行う学校においては、面接、小論文又は作文、実技検査のそれぞれの結果を点数化したもの（面接点、小論文・作文点、実技検査点）の満点を適切に定めます。面接点、小論文・作文点、実技検査点を総合得点に加算し、総合成績とします。

３　面接の欄に記してある「個人」は個人面接、「集団」は集団面接で実施することを示しています。

４　分割後期募集・第二次募集の欄における網掛けは、分割後期募集を実施する学校です。

５　分割後期募集を実施する学校では、分割前期募集において欠員が生じた場合、その欠員分も含めて分割後期募集として実施します。

６　その他
　各学校の実技検査等の内容については、別表６（P213～222）に掲載しています。

1　都立高等学校・全日制課程

（1） 普通教育を主とする学科

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集									
	推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査書	満点							学力検査	調査書		学力調査書	満点				
	割合	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い		学力調査書	学力検査	調査書	YEAR3結果J ESAT	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い		学力調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
	(%)												学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科						
日比谷	20	－	－	○	450	200		小論文250	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
三田	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
戸山	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
竹早	20	－	－	○	500	250		小論文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
向丘	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
上野	20	○	－	○	500	150	－	小論文350	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
日本橋	20	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
本所	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
城東	20	○	－	○	400	200	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
東	20	○	－	○	360	160	－	小論文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
深川	20	○	－	○	450	270	－	作文180	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
大崎	20	○	－	○	450	250	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
小山台	20	－	－	○	300	200	－	小論文400	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集										
	推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
	割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
八潮	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
駒場	20	－	－	○	360	180	－	小論文360	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
目黒	20	○	－	○	450	150	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
大森	20	○	－	○	360	240	－	作文120	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
田園調布	20	－	－	○	375	125	－	小論文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
雪谷	20	○	－	○	300	100	－	小論文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	
桜町	20	○	－	○	600	400	－	小論文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
千歳丘	20	○	－	○	600	300	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
松原	20	－	－	○	500	200	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
青山	20	－	－	○	450	100	－	小論文500	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
広尾	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
鷺宮	20	○	－	○	500	300		作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
武蔵丘	20	○	－	○	500	200	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集										
	推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力調査書	満点							学力検査	調査書		学力調査書	満点					
	割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT－J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
杉並	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
豊多摩	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
西	20	－	－	○	360	240		作文300	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
豊島	20	○	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
文京	20	○	－	○	300	150	－	小論文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
竹台	20	－	－	○	450	200	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
板橋	20	○	－	○	450	200	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
大山	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
北園	20	－	－	○	450	150		小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	＊1	＊1	＊1	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	＊2	＊2	＊2	－	－	－	
高島	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
井草	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
石神井	20	○	－	○	400	200	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
田柄	20	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
練馬	20	○	－	○	450	360	－	作文90	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	

＊1　北園高校の第一次募集は、受検者ごとに７：３と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。
＊2　北園高校の第二次募集は、受検者ごとに６：４と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集										第二次募集									
	推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点				
	割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
光丘	20	○	－	○	300	150	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
青井	20	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
足立	20	○	－	○	450	240	－	作文240	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
足立新田	22	○	－	○	600	*1 400	－	作文200	－	－	*1 個人面接において２分間の「自己ＰＲ」を実施する。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
足立西	20	○	－	○	350	200	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
江北	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
淵江	20	○	－	○	500	*1 300	－	作文200	－	－	*1 個人面接において２分間の「自己ＰＲ」を実施する。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
葛飾野	20	○	－	○	450	200	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
南葛飾	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
江戸川	20	○	－	○	400	200	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
葛西南	20	○	－	○	300	150	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
小岩	20	○	－	○	300	200	－	作文100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
小松川	20	－	－	○	500	250	－	小論文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
篠崎	22	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
紅葉川	20	○	－	○	500	300	－	小論文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
片倉	22	○	－	○	450	350	－	作文100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－

*1　詳細は別表６(P218)を参照してください。

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集									
	推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学調	満点							学力検査	調査書		学調	満点					
	割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	学力検査：調査書	学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	学力検査：調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
八王子北	20	○	－	○	250	150	－	作文100	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	個人100	－	－
八王子東	20	－	－	○	500	100	－	小論文400	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
富士森	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
松が谷	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
立川	20	－	－	○	500	100	－	小論文400	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
武蔵野北	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理	１倍	２倍	＊1	＊1	＊1	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	＊2	＊2	＊2	－	－	－
多摩	20	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
府中	20	○	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
府中西	22	○	－	○	500	350	－	作文150	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
府中東	22	○	－	○	450	250	－	作文200	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
昭和	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
拝島	20	○	－	○	400	200	－	作文200	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
神代	20	－	－	○	450	150	－	作文300	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
調布北	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－
調布南	20	－	－	○	500	300		小論文200	－	－		国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－		国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－

＊1　武蔵野北高校の第一次募集は、受検者ごとに７：３と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。
＊2　武蔵野北高校の第二次募集は、受検者ごとに６：４と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集										第二次募集									
	推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点				
	割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
小川	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人150	－	－
成瀬	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
野津田	20	－	－	○	300	200	－	作文100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
町田	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
山崎	20	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	集団300	－	－
小金井北	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
小平	20	－	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
小平西	22	○	－	○	450	225	－	作文225	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
小平南	20	○	－	○	450	240	－	作文210	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
日野	22	○	－	○	600	250	－	作文350	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
日野台	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
南平	20	－	－	○	450	225	－	作文225	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
東村山西	20	○	－	○	450	200	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
国立	20	－	－	○	450	150	－	小論文300	－	－		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
福生	20	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
狛江	20	○	－	○	600	300	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－

学校名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集									
	推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
	割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
東大和	22	○	－	○	450	240	－	作文210	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
東大和南	22	○	－	○	450	250	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
清瀬	20	○	－	○	450	220	－	小論文230	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
久留米西	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
武蔵村山	20	○	－	○	300	150	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	
永山	20	○	－	○	450	225	－	作文225	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
羽村	20	○	－	○	500	*1 250	－	作文250	－	－	*1　個人面接の中で「ﾊﾟｰｿﾅﾙ･ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ」を行う。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
五日市	20	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
田無	20	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
保谷	20	○	－	○	500	200	－	小論文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
大島	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
新島	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
神津	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
三宅	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
八丈	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
小笠原	実施しない											国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	

*1　詳細は別表6(P218)を参照してください。

（2） 普通教育を主とする学科（コース）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集											
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査		調査書		学力：検査	満点								学力検査		調査書		学力：検査	満点						
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J 3年結果	面接	小論文・作文	実技検査			教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
深川	外国語	30	○	－	○	450	*1 270	－	作文 180	－	－	*1 個人面接の一部で、「英語による問答」を行う。	国数英社理	英２倍	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－			国数英	英２倍	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－		
片倉	造形美術	30	－	－	○	360	140	－	－	*2 500	－	*2 「鉛筆による素描」を行う。	国数英社理	－	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	*2 700			国数英	－	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	*2 600		
松が谷	外国語	30	－	－	○	500	300	－	作文 200	－	－		国数英社理	国英２倍	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－			国数英	国英２倍	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－		
小平	外国語	30	－	－	○	500	200	－	小論文 300	－	－		国数英社理	英２倍	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－			国数英	英１．６倍	１倍	２倍	６：４	600	400	個人 100	－	－		

*1　詳細は別表６(P218)を参照してください。
*2　詳細は別表６(P213)を参照してください。

（3） 普通教育を主とする学科（エンカレッジスクール）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集											
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査		調査書		学力：検査	満点								学力検査		調査書		学力：検査	満点						
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科		教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J 3年結果	面接	小論文・作文	実技検査			教科		教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
蒲田	普通科	30	－	○	－	300	*1 400	－	作文 300	－	－	*1 面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	実施しない		*2		－	－	*2 300	－	個人 *3 400	作文 300	－			実施しない		*2		－	－	*2 300	個人 *3 400	作文 300	－	
足立東	普通科	30	－	○	－	400	*1 400	－	作文 200	－	－	*1 面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	実施しない		*2		－	－	*2 400	－	個人 *4 400	作文 400	－			実施しない		*2		－	－	*2 400	個人 *4 400	作文 400	－	
東村山	普通科	30	○	○	－	600	*1 400	－	作文 400	－	－	*1 面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	実施しない		*2		－	－	*2 400	－	個人 *5 400	小論文 200	*5 200			実施しない		*2		－	－	*2 400	個人 *5 400	小論文 200	*5 200	
秋留台	普通科	30	－	○	－	300	*1 600	－	小論文 200	－	－	*1 面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	実施しない		*2		－	－	*2 400	－	個人 *6 500	小論文 300	－			実施しない		*2		－	－	*2 400	個人 *6 500	小論文 300	－	

*1　詳細は別表６(P218、219、221)を参照してください。
*2　調査書点は、観点別学習状況の評価を用いて得点化します。詳細は別表４付表(P136)を参照してください（第一次募集及び第二次募集においても、推薦に基づく選抜と同様に得点化します。）。
*3　蒲田高校は、第一次募集及び第二次募集において、面接の一部で自己ＰＲカードに則して２分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。詳細は別表６(P218)を参照してください。
*4　足立東高校は、第一次募集及び第二次募集において、面接の一部で１分以上１分３０秒以内の「自己ＰＲスピーチ」を行います。詳細は別表６(P219)を参照してください。
*5　東村山高校は、第一次募集及び第二次募集において、面接の一部で自己ＰＲカードに則して１分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。詳細は別表６(P221)を参照してください。
*6　秋留台高校は、第一次募集及び第二次募集において、面接の一部で２分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。詳細は別表６(P219)を参照してください。

（4） 普通教育を主とする学科（進学重視型単位制）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J 3YEAR結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
新宿	普通科単位制	10	—	—	○	450	180	—	小論文270	—	—		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—
墨田川	普通科単位制	20	○	—	○	200	100	—	小論文100	—	—		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—
国分寺	普通科単位制	20	—	—	○	400	150	—	小論文250	—	—		国数英社理（国数英は自校作成）	1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—

（5） 普通教育を主とする学科（単位制）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点							学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J 3YEAR結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
忍岡	普通科単位制	20	—	—	○	600	*1 300	—	作文300	—	—	*1 個人面接の最初に「自己PRタイム」を設ける。	国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—
美原	普通科単位制	20	○	—	○	500	300	—	作文200	—	—		国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	—	—
深沢	普通科単位制	20	○	—	○	500	300	—	作文200	—	—		国数英社理		1倍	2倍	*2	*2	*2	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	*3	*3	*3	個人300	—	—
芦花	普通科単位制	20	—	—	○	400	200	—	作文200	—	—		国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	—	—
飛鳥	普通科単位制	20	○	—	○	500	250	—	作文250	—	—		国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	—	—
板橋有徳	普通科単位制	20	○	—	○	450	200	—	作文250	—	—		国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—
大泉桜	普通科単位制	20	○	—	○	400	*1 300	—	作文200	—	—	*1 個人面接の一部で「自己PR」を行う。	国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	—	—
翔陽	普通科単位制	20	—	—	○	500	200	—	作文300	—	—		国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	—	—	—
上水	普通科単位制	20	○	—	○	360	*1 160	—	作文200	—	—	*1 個人面接の最初に「自己PRタイム」を設ける。	国数英社理		1倍	2倍	7：3	700	300	20	—	—	—		国数英		1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	—	—

*1　詳細は別表6(P219)を参照してください。
*2　深沢高校の第一次募集は、受検者ごとに７：３と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。
*3　深沢高校の第二次募集は、受検者ごとに６：４と１０：０のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用います。

（6） 専門教育を主とする学科

（6－1） 農業に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力：調査書検査	満点							学力検査	調査書		学力：調査書検査	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	ESAT-J 3YEAR結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
														学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科										学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科							
園芸	園芸	35	－	－	○	500	＊1 300	－	作文 200	－	－	＊1 個人面接の時間内に「自己PRタイム」を設ける。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－
	食品	35	－	－	○	500	＊1 300	－	作文 200	－	－																					
	動物	35	－	－	○	500	＊1 300	－	作文 200	－	－																					
農芸	園芸科学	35	－	－	○	450	360	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－
	食品科学	35	－	－	○	450	360	－	作文 100	－	－																					
	緑地環境	35	－	－	○	450	360	－	作文 100	－	－																					
農産	園芸デザイン	40	－	－	○	450	250	－	作文 200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
	食品	40	－	－	○	450	250	－	作文 200	－	－																					
農業	都市園芸	30	－	－	○	450	360	－	作文 150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－
	食品科学	30	－	－	○	450	360	－	作文 150	－	－																					
	緑地計画	30	－	－	○	450	360	－	作文 150	－	－																					
瑞穂農芸	園芸科学	30	－	－	○	450	300	－	作文 250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－
	畜産科学	30	－	－	○	450	300	－	作文 250	－	－																					
	食品	30	－	－	○	450	300	－	作文 250	－	－																					

＊1　詳細は別表6(P220)を参照してください。

（6－2） 工業に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集									
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		調査書の評定の扱い		満点							学力検査	調査書		調査書の評定の扱い		満点				
		割合	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科	学力検査：調査書	学力検査	調査書	ESAT-J／YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科	学力検査：調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査		
		(%)																															
工芸	マシンクラフト	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	集団300	－	－	
	アートクラフト	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－																						
	インテリア	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－																						
	デザイン	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－																						
	グラフィックアーツ	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－																						
蔵前工科	機械	40	－	－	○	500	300	－	－	*1 200	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
	電気	40	－	－	○	500	300	－	－	*1 200	－																						
	建築	40	－	－	○	500	300	－	－	*1 200	－																						
	設備工業	40	－	－	○	500	300	－	－	*1 200	－																						
墨田工科	機械	40	○	－	○	500	350	－	－	*1 150	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	
	自動車	40	○	－	○	500	350	－	－	*1 150	－																						
	電気	40	○	－	○	500	350	－	－	*1 150	－																						
	建築	40	○	－	○	500	350	－	－	*1 150	－																						
総合工科	機械・自動車	40	○	－	○	500	300	－	－	*1 300	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
	電気・情報デザイン	40	○	－	○	500	300	－	－	*1 300	－																						
	建築・都市工学	40	○	－	○	500	300	－	－	*1 300	－																						
杉並工科	IT・環境	40	○	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	

*1　詳細は別表6(P213)を参照してください。

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集									
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学調力：学検査	満点								学力検査	調査書		学調力：学検査	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
荒川工科	電気	40	○	－	○	450	400	－	－	*1 150	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
	電子	40	○	－	○	450	400	－	－	*1 150	－																						
	情報技術	40	○	－	○	450	400	－	－	*1 150	－																						
北豊島工科	都市防災技術	40	－	－	○	450	300	－	作文 150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
足立工科	総合技術	40	－	－	○	450	400	－	－	*1 350	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－	
葛西工科	機械	40	－	－	○	500	200	－	－	*2 300	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
	電子	40	－	－	○	500	200	－	－	*2 300	－																						
	建築	40	－	－	○	500	200	－	－	*2 300	－																						
	デュアルシステム	40	－	－	○	500	200	－	－	*2 300	－																						
府中工科	機械	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－	
	電気	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
	情報技術	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
	工業技術	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
町田工科	総合情報	40	－	－	○	500	300	－	－	*2 200	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－	
多摩工科	機械	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
	電気	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
	環境化学	40	○	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
	デュアルシステム	40	－	－	○	500	400	－	作文 100	－	－																						
田無工科	機械	40	○	－	○	400	300	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－	
	建築	40	○	－	○	400	300	－	作文 100	－	－																						
	都市工学	40	○	－	○	400	300	－	作文 100	－	－																						

*1　詳細は別表6(P213)を参照してください。
*2　詳細は別表6(P214)を参照してください。

（6－3） 工業に関する学科（エンカレッジスクール）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査	満点									学力検査	調査書			満点						
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い		学力検査：調査書	学力検査	調査書	YEAR3結果J	ESAT	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い		学力検査：調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
														学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科										学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
中野工科	食品サイエンス	40	－	○	－	400	*1 300	－	－	*2 300	－	*1 面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	実施しない	*3		－	－	*3 300	－	個人 *1 350	－	*2 350	実施しない	*3		－	－	*3 300	個人 *1 350	－	*2 350				
練馬工科	キャリア技術	40	－	○	－	400	*1 350	－	－	*2 250	－	*1 面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	実施しない	*3		－	－	*3 300	－	個人 *4 350	350	－	実施しない	*3		－	－	*3 300	個人 *4 350	350	－				

*1　詳細は別表6(P222)を参照してください。
*2　詳細は別表6(P222)を参照してください。
*3　調査書点は、観点別学習状況の評価を用いて得点化します。詳細は別表4付表(P136)を参照してください（第一次募集及び第二次募集においても、推薦に基づく選抜と同様に得点化します。）。
*4　詳細は別表6(P222)を参照してください。

（6－4） 工業に関する学科（単位制）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査	満点									学力検査	調査書			満点						
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い		学力検査：調査書	学力検査	調査書	YEAR3結果J	ESAT	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い		学力検査：調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
														学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科										学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
六郷工科	ものづくり工学	40	－	－	○	500	400	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－				

（6－5） 商業に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査検査書	満点								学力検査	調査書		学力調査検査書	満点						
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J/YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査					
芝商業	ビジネス	40	○	－	○	300	200	－	作文100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－				
江東商業	ビジネス	40	－	－	○	600	300	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－				
第三商業	ビジネス	40	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－				
第一商業	ビジネス	40	－	－	○	180	90	－	作文90	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－				
第四商業	ビジネス	40	○	－	○	500	250	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－				
葛飾商業	ビジネス	40	－	－	○	450	200	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人250	－	－				
第五商業	ビジネス	40	－	－	○	500	200	－	作文300	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－				

（6－6） 水産に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査		調査書		学力調査検査書	満点								学力検査		調査書		学力調査検査書	満点					
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J/YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査					
大島海洋国際	海洋国際	40	－	－	○	500	300	－	作文200	－	－		国数英社理	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	*1 個人300	－	－	国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－				

*1　大島海洋国際高校の第一次募集における面接は、2月22日（月）に行います。

（6－7） 家庭に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集											備考（選考における留意点）
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	ESAT-J／YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
農業	服飾	30	－	－	○	450	360	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	
	食物	30	－	－	○	450	360	－	作文150	－	－																							
瑞穂農芸	生活デザイン	30	－	－	○	450	300	－	作文250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
赤羽北桜	保育・栄養	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	
	調理	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－																							

（6－8） 家庭に関する学科（単位制）

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集											備考（選考における留意点）
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	ESAT-J／YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
忍岡	生活科学	30	－	－	○	600	*1 300	－	作文300	－	－	*1 個人面接の最初に「自己ＰＲタイム」を設ける。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	

*1　詳細は別表6(P220)を参照してください。

（6－9） 福祉に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集											備考（選考における留意点）
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							学力検査	調査書		学力調査：検査	満点							
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	ESAT-J／YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科	検査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
野津田	福祉	30	－	－	○	300	200	－	作文100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	
赤羽北桜	介護福祉	30	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	

（6－10） 理数に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集											
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点								学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
立川	創造理数	15	－	－	○	500	50	－	小論文200	－	口頭試問*1 250		国数英社理（国数英は自校作成）	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	
科学技術	創造理数	20	－	－	○	500	100	－	小論文200	－	口頭試問*1 200		国数英社理	数理1.5倍	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－		国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－	

☆　理数に関する学科の推薦に基づく選抜は、理数等特別推薦のみ実施します。

*1　口頭試問の詳細は別表６（P217）を参照してください。

（6－11） 芸術に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集											
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点								学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
総合芸術	美術	30	－	－	○	500	100	－	－	700	－		国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	－	－	*1,2 700		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	*2 700			
	舞台表現	30	－	－	○	500	100	－	－	600	－		国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	－	－	*1,2 600		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	*2 600			
	音楽	30	－	－	○	500	100	－	－	1000	－		国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	－	－	*1,2 1000		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	*2 1000			

*1　総合芸術高校の第一次募集における実技検査は、美術科・舞台表現科については2月22日(月)、音楽科については2月21日(日)及び22日(月)に行います。

*2　実技検査の詳細は別表６(P214～215）を参照してください。

（6－12） 体育に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集												第二次募集											
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点								学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							
		割合(%)	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	
駒場	保健体育	30	－	－	○	270	90	－	作文90	*1 600	－	*1　運動能力テスト	国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	－	－	運動能力テスト等*1 300		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	運動能力テスト等*1 300			
野津田	体育	30	－	－	○	300	300	－	－	*2 500	－	*2　運動技能等検査	国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	－	－	運動技能等検査*2 500		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	運動技能等検査*2 500			

*1　実技検査の詳細は別表６(P215）を参照してください。

*2　実技検査の詳細は別表６(P216）を参照してください。

（6－13） 国際関係に関する学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点								学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点					
															教科の評定の扱い												教科の評定の扱い									
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学校指定による傾斜配点	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	YEAR3結果J	ESAT	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学校指定による傾斜配点	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
国際	国際	30	－	－	○	500	*1 200	－	小論文 300	－	－	*1 個人面接で１分程度の「自己ＰＲ」を行う。	*2 国数英社理（英は自校作成）	英２倍	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－	－	国数英	－	１倍	２倍	６：４	600	400	個人 100	－	－

*2　国際高校の第一次募集における英語は、リスニング問題を含めて自校作成問題で実施します。検査時間は50分です。100点満点で採点した後に、２倍します。

学校名	検査等及び満点					備考（選考における留意点）
	英語能力検査運用	数学能力検査活用	小論文	個人面接	調査書	
国際（国際バカロレアコース）	*1 100	*2 100	200	200	*3 30	全ての検査の得点に基準を設け、一つでも基準に達しない場合は選考の対象としない。 *1　英語運用能力検査は、英語による授業に必要な力の有無（適・不適）の判定のみに使用し、得点は総合成績に含めない。 *2　数学活用能力検査は、数学や科学の授業に必要な力の有無（適・不適）の判定のみに使用し、得点は総合成績に含めない。

☆　推薦に基づく選抜は実施しません。

☆　応募資格はP46～50を参照してください。

☆　英語運用能力検査は自校作成で、リスニング問題を含めた筆記問題を60分で実施し、別途、スピーキングテストを10分で実施します。

☆　数学活用能力検査は自校作成で、検査時間を60分で実施します。

*3　現地校出身者及び外国籍を有する者のうち外国人学校等の出身者については、成績証明書等をもって調査書に代えます。
ただし、中学校に在学している者又は既に卒業した者については調査書を活用します。

（6－14） 併合科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点								学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点					
															教科の評定の扱い												教科の評定の扱い									
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	YEAR3結果J	ESAT	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
大島	併合（農林・家政）	実施しない											国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－	国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－				
三宅	併合（農業・家政）	実施しない											国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－	国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－				
八丈	併合（園芸・家政）	実施しない											国数英社理	１倍	２倍	７：３	700	300	20	－	－	－	国数英	１倍	２倍	６：４	600	400	－	－	－				

（6－15） 産業科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点									学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT－J YEAR3 結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
橘	産業	40	－	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
八王子桑志	産業	40	○	－	○	450	300	－	作文150	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－

（7） 専門教育を主とする学科（進学重視型）

（7－1） 科学技術科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点									学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT－J YEAR3 結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
科学技術	科学技術	40	－	－	○	500	200	－	－	*1 300	－		国数英社理	数理1.5倍	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
多摩科学技術	科学技術	30	—	－	○	500	300	－	－	*1 200	－		国数英社理	数理1.5倍	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－

*1　実技検査の詳細は別表６（P216）を参照してください。

（7－2） ビジネスコミュニケーション科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集													第二次募集										
		推薦枠		調査書の活用		満点							学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点									学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	備考（選考における留意点）	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT－J YEAR3 結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学校指定による傾斜配点	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
大田桜台	ビジネスコミュニケーション	40	－	○	－	650	500	－	作文150	－	－		国数英社理	国英社1.5倍	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
千早	ビジネスコミュニケーション	40	○	－	○	400	300	－	小論文100	－	－		国数英社理	国英1.5倍	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	－	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－

（8） 総合学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集										第二次募集									
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点				
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
晴海総合	総合学科	30	○	－	○	720	*1 480	－	作文 240	－	－	*1　個人面接の一部で3分程度の「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
つばさ総合	総合学科	30	○	－	○	400	200	－	－	*2 200	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－
世田谷総合	総合学科	30	○	－	○	500	300	－	作文 200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－
杉並総合	総合学科	30	○	－	○	225	150	－	作文 100	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
王子総合	総合学科	30	○	－	○	500	250	－	作文 250	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－
葛飾総合	総合学科	30	○	－	○	720	*1 540	－	作文 200	－	－	*1　個人面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－
青梅総合	総合学科	30	○	－	○	400	200	－	作文 200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－
町田総合	総合学科	30	○	－	○	500	300	－	作文 200	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－
東久留米総合	総合学科	32	○	－	○	900	400	－	作文 500	－	－		国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	－	－	－
若葉総合	総合学科	30	○	－	○	600	*1 300	－	作文 300	－	－	*1　個人面接の一部で「自己PR」を行う。	国数英社理	1倍	2倍	7：3	700	300	20	－	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 200	－	－

*1　詳細は別表6(P220～221)を参照してください。

*2　詳細は別表6(P216)を参照してください。

（9） 海外帰国生徒等対象

（9－1） 帰国生徒対象

学校名			学力検査 教科	満点 学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	備考（選考における留意点）
三田	４月入学		国数英（帰国生徒対象共通問題）	300	*1 100	個人 100	－	－	
	９月入学		－	－	*1 100	個人 100	*2 100	－	*2　帰国生徒対象共通問題
竹早	４月入学		国数英（帰国生徒対象共通問題）	300	*1 100	個人 100	－	－	
	９月入学		－	－	*1 100	個人 100	*2 100	－	*2　帰国生徒対象共通問題
日野台	４月入学		国数英（帰国生徒対象共通問題）	300	*1 100	個人 100	－	－	
	９月入学		－	－	*1 100	個人 100	*2 100	－	*2　帰国生徒対象共通問題
国際	４月入学	日本人学校出身者	国数英（帰国生徒対象共通問題）	300	*1 100	個人 100	－	－	
		現地校出身者	国数英（帰国生徒対象共通問題）	300	*1 100	個人 100	－	－	
	９月入学		－	－	*1 100	個人 200	*2 400	－	*2　帰国生徒対象共通問題

☆　4月入学生徒の選抜は、日本人学校出身者及び現地校出身者が対象です。9月入学生徒の選抜は、現地校出身者が対象です。
*1　現地校出身者については、現地校の成績証明書等をもって調査書に代えます。
　　なお、中学校に在学している者又は既に卒業した者については調査書を活用します。

（9－2） 引揚生徒対象

学校名	学力検査 教科	満点 学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	備考（選考における留意点）
深川	学力検査に代えて面接・作文を実施	－	90	個人 180	90	－	作文は３０分
光丘	学力検査に代えて面接・作文を実施	－	200	個人 100	100	－	作文は３０分
富士森	学力検査に代えて面接・作文を実施	－	200	個人 100	100	－	作文は４０分

(9－3) 在京外国人生徒等対象

学校名		学力検査	満点					備考 (選考における留意点)
		教科	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	
竹台	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
田柄	4月入学	－	－	*1 100	個人 400	200	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 400	200	－	
南葛飾	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
府中西	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
飛鳥	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
六郷工科	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
杉並総合	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
国際	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
	9月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	

*1　在京外国人生徒等については、出身校の成績証明書等をもって調査書に代えます。
　　なお、中学校に在学している者又は既に卒業した者については調査書を活用します。

2 都立高等学校・定時制課程

(1) 普通教育を主とする学科

学校名	第一次募集											第二次募集								
	学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点				
			教科の評定の扱い										教科の評定の扱い							
	教科	自校作成問題による選考	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J 3YEAR 結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
大崎	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
大森	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
松原	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
豊島	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
足立	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
南葛飾	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
江戸川	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
葛西南	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－

学校名	第一次募集											第二次募集									
	学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
			教科の評定の扱い										教科の評定の扱い								
	教科	自校作成問題による選考	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR3 結果	面接	小論文・作文	実技検査	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
農業	国数英－－	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	個人200	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
神代	国数英－－	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
町田	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
福生	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
五日市	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して50分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
大島	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
八丈	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－

（2） 専門教育を主とする学科

（2－1） 農業に関する学科

学校名	科名	第一次募集 学力検査 教科	第一次募集 学力検査 自校作成問題による選考	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第一次募集 学力検査：調査書	第一次募集 満点 学力検査	第一次募集 満点 調査書	第一次募集 満点 YEAR3結果J	第一次募集 満点 面接	第一次募集 満点 小論文・作文	第一次募集 満点 実技検査	第二次募集 学力検査 教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第二次募集 学力検査：調査書	第二次募集 満点 学力検査	第二次募集 満点 調査書	第二次募集 満点 面接	第二次募集 満点 小論文・作文	第二次募集 満点 実技検査
園芸	園芸	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
農芸	農芸	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
農産	農産	国数英－－	各教科25分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	－	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
農業	食品化学	国数英－－	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	個人200	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－

（2－2） 工業に関する学科

学校名	科名	第一次募集 学力検査 教科	第一次募集 学力検査 自校作成問題による選考	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第一次募集 学力検査：調査書	第一次募集 満点 学力検査	第一次募集 満点 調査書	第一次募集 満点 YEAR3結果J	第一次募集 満点 面接	第一次募集 満点 小論文・作文	第一次募集 満点 実技検査	第二次募集 学力検査 教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第二次募集 学力検査：調査書	第二次募集 満点 学力検査	第二次募集 満点 調査書	第二次募集 満点 面接	第二次募集 満点 小論文・作文	第二次募集 満点 実技検査
工芸	マシンクラフト アートクラフト インテリア グラフィックアーツ	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
墨田工科	総合技術	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
総合工科	総合技術	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－

学校名	科名	第一次募集 学力検査 教科	第一次募集 学力検査 自校作成問題による選考	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第一次募集 学力検査：調査書	第一次募集 満点 学力検査	第一次募集 満点 調査書	第一次募集 満点 YESAT3－結果J	第一次募集 満点 面接	第一次募集 満点 小論文・作文	第一次募集 満点 実技検査	第二次募集 学力検査 教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第二次募集 学力検査：調査書	第二次募集 満点 学力検査	第二次募集 満点 調査書	第二次募集 満点 面接	第二次募集 満点 小論文・作文	第二次募集 満点 実技検査
中野工科	総合技術	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
荒川工科	電気・電子	国数－社－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	－	集団200	－	－	国数社	1倍	2倍	6：4	600	400	集団200	－	－
本所工科	総合技術	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人100	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－
小金井工科	機械 電気・電子	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－

(2－3) 商業に関する学科

学校名	科名	第一次募集 学力検査 教科	第一次募集 学力検査 自校作成問題による選考	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第一次募集 学力検査：調査書	第一次募集 満点 学力検査	第一次募集 満点 調査書	第一次募集 満点 YESAT3－結果J	第一次募集 満点 面接	第一次募集 満点 小論文・作文	第一次募集 満点 実技検査	第二次募集 学力検査 教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第二次募集 学力検査：調査書	第二次募集 満点 学力検査	第二次募集 満点 調査書	第二次募集 満点 面接	第二次募集 満点 小論文・作文	第二次募集 満点 実技検査
第三商業	商業	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して50分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
足立	商業	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人200	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－
第五商業	商業	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人500	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人500	－	－

（2－4） 併合科

学校名	科名	第一次募集											第二次募集									
		学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
		教科	自校作成問題による選考	教科の評定の扱い			学力検査	調査	YEAR3（ESAT結果）	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査	面接	小論文・作文	実技検査
				学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科						
瑞穂農芸	併合（普通・農業）	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－

（2－5） 産業科

学校名	科名	第一次募集											第二次募集									
		学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
		教科	自校作成問題による選考	教科の評定の扱い			学力検査	調査	YEAR3（ESAT結果）	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査	面接	小論文・作文	実技検査
				学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科						
橘	産業	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－

（3） 単位制

（3－1） 普通教育を主とする学科

学校名	科名	分割前期募集												分割後期募集									
		分割募集	学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点						学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
			教科	自校作成問題による選考	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	YEAR3結果J	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
					学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科						
一橋	普通科 1部～3部	○	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人 300	－	－	国数英 （共通問題）	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－
浅草	普通科 1部～3部	○	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人 300	－	－	国数英 （共通問題）	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－
荻窪	普通科 1部～3部	○	国数英－－	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	個人 300	－	－	国数英 （共通問題）	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－
八王子拓真	普通科 （一般枠） 1部～3部	○	国数英－－	3教科を総合して50分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	－	集団 300	－	－	国数英 （自校作成） 3教科を総合して50分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	集団 300	－	－
砂川	普通科 1部～3部	○	国数英社理	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	集団 100	－	－	国数英 （共通問題）	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－

☆　入学者選抜日程は、全日制の第一次募集・第二次募集の日程と同じです。
☆　一橋高校の分割前期募集における面接は2月22日（月）に、分割後期募集における面接は3月10日（水）に行います。
☆　浅草高校の分割前期募集における面接は2月22日（月）に行います。
☆　八王子拓真高校（チャレンジ枠）については、P133に掲載しています。
☆　砂川高校の分割前期募集における面接は2月22日（月）に行います。
☆　第２学年相当以上の選抜については、個人面接を実施します。満点は、一橋高校が300点、浅草高校が200点、八王子拓真高校が500点、砂川高校が200点です。

学校名	科名	第一次募集					満点						第二次募集					満点				
		学力検査		調査書		学力検査：調査書							学力検査	調査書		学力検査：調査書						
		教科	自校作成問題による選考	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	YEAR3結果J	面接	小論文・作文	実技検査	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
				学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科						
新宿山吹	普通科 1部～4部	国数英－－	－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	集団 135	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	集団 135	－	－
六郷工科	普通科	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人 100	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－
飛鳥	普通科	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	集団 100	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	集団 100	－	－
板橋有徳	普通科	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人 300	－	－	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 300	－	－

（3－2） 専門教育を主とする学科

学校名	科名	推薦に基づく選抜											第一次募集											第二次募集									
		推薦枠		調査書の活用		満点						備考（選考における留意点）	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点							学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点					
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	観点別学習状況の評価	評定	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	ESAT-J YEAR 3 結果	面接	小論文・作文	実技検査		教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施する教科	教科の評定の扱い：学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査
新宿山吹	情報科 2・4部	30	－	－	○	450	400	－	作文 200	－	－		国数英－－	1倍	2倍	7：3	700	300	20	集団 135	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	集団 135	－	－
六郷工科	生産工学科	実施しない											国数英－－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人 100	－	－		国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人 100	－	－

（3－3） チャレンジスクール及びチャレンジ枠がある学校

学校名	科名	第一次募集						第二次募集					
		学力検査	調査書	満点：志願申告書	満点：面接	満点：作文	満点：実技検査	学力検査	調査書	満点：志願申告書	満点：面接	満点：作文	満点：実技検査
六本木	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	150	個人 600	500	－	実施しない	提出しない	150	個人 600	500	－
大江戸	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－
世田谷泉	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－
稔ヶ丘	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－
桐ヶ丘	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	500	－
小台橋	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－
立川緑	総合学科 （チャレンジスクール） 1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－	実施しない	提出しない	100	個人 600	600	－
八王子拓真	普通科 （チャレンジ枠） 1部・2部	実施しない	提出しない	100	個人 500	500	－	実施しない	提出しない	100	個人 500	500	－

☆　調査書・自己ＰＲカードの提出は必要ありませんが、志願申告書は必ず提出します。
☆　ESAT-J YEAR 3 結果は、選考には用いません。
☆　八王子拓真高校(一般枠)については、P132に掲載しています。

（3－4） 総合学科

学校名	科名	第一次募集 学力検査 教科	第一次募集 学力検査 自校作成問題による選考	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第一次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第一次募集 学力検査：調査書	第一次募集 満点 学力検査	第一次募集 満点 調査書	第一次募集 満点 YEAR3結果ESAT－J	第一次募集 満点 面接	第一次募集 満点 小論文・作文	第一次募集 満点 実技検査	第二次募集 学力検査 教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施する教科	第二次募集 調査書 教科の評定の扱い 学力検査を実施しない教科	第二次募集 学力検査：調査書	第二次募集 満点 学力検査	第二次募集 満点 調査書	第二次募集 満点 面接	第二次募集 満点 小論文・作文	第二次募集 満点 実技検査
青梅総合	総合学科	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－
東久留米総合	総合学科	国数英－－	－	1倍	2倍	6：4	600	400	20	個人300	－	－	国数英 3教科を総合して60分で実施	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－

（4） 在京外国人生徒等対象

学校名		学力検査 教科	満点 学力検査	満点 調査書	満点 面接	満点 作文	満点 実技検査	備考（選考における留意点）
一橋	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
浅草	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
荻窪	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	
砂川	4月入学	－	－	*1 100	個人 200	400	－	

*1　在京外国人生徒等については、出身校の成績証明書等をもって調査書に代えます。
　　なお、中学校に在学している者又は既に卒業した者については調査書を活用します。

3 都立高等学校・通信制課程

（第1学年相当）

学校名	前期選抜							後期選抜							第二次募集						
	学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点		学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点		学力検査		調査書		学力検査：調査書	満点	
			教科の評定の扱い							教科の評定の扱い							教科の評定の扱い				
	教科	自校作成問題による選考	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	教科	自校作成問題による選考	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書	教科	自校作成問題による選考	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科		学力検査	調査書
一橋	国数英－－	３教科を総合して60分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75	国数英	３教科を総合して60分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75	国数英	３教科を総合して45分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75
新宿山吹	国数英－－	３教科を総合して70分で実施	１倍	２倍	20：３	300	45	国数英	３教科を総合して70分で実施	１倍	２倍	20：３	300	45	国数英	３教科を総合して70分で実施	１倍	２倍	20：３	300	45
砂川	国数英－－	３教科を総合して60分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75	国数英	３教科を総合して60分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75	国数英	３教科を総合して60分で実施	１倍	２倍	８：１	600	75

別表４　付表

令和９年度推薦実施校における観点別学習状況の評価の活用方法一覧

国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）		
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

学校名	科名	推薦に基づく選抜									教科名	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			観点別学習状況の評価の満点	得点	重視している教科や観点
		推薦枠		満点						備考（選考における留意点）	観点	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ			
		割合（%）	文化・スポーツ等特別推薦の有無	調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文	実技検査	学校設定検査																																	
蒲田	普通科（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	30	－	300	*1 400	－	作文 300	－	－	*1　面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	A	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	243	全教科・全観点
											B	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
											C	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
足立東	普通科（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	30	－	400	*1 400	－	作文 200	－	－	*1　面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	A	13	13	18	13	13	18	13	13	18	13	13	18	13	13	19	13	13	19	13	13	19	13	13	19	13	13	18	400	観点Ⅲ（全教科）
											B	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13	10	10	13		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
東村山	普通科（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	30	○	600	*1 400	－	作文 400	－	－	*1　面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	A	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270	全教科・全観点
											B	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
秋留台	普通科（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	30	－	300	*1 600	－	小論文 200	－	－	*1　面接の一部で「自己ＰＲスピーチ」を行う。	A	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	180	観点Ⅲ（全教科）
											B	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
中野工科	食品サイエンス（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	40	－	400	*1 300	－	－	300	－	*1　面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	A	9	9	12	9	9	12	9	9	12	12	12	12	9	9	12	9	9	12	9	9	12	12	12	12	9	9	12	282	教科（理、技家） 観点Ⅲ（国、社、数、音、美、保体、外国語（英語）） 重視している教科や観点
											B	5	5	7	5	5	7	5	5	7	7	7	7	5	5	7	5	5	7	5	5	7	7	7	7	5	5	7		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
練馬工科	キャリア技術（ｴﾝｶﾚｯｼﾞｽｸｰﾙ）	40	－	400	*1 350	－	－	250	－	*1　面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。	A	7	7	10	7	7	10	7	7	10	7	7	10	7	7	10	10	10	10	7	7	10	10	10	10	7	7	10	228	教科（美、技家） 観点Ⅲ（国、社、数、理、音、保体、外国語（英語）） 重視している教科や観点
											B	5	5	7	5	5	7	5	5	7	5	5	7	5	5	7	7	7	7	5	5	7	7	7	7	5	5	7		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
大田桜台	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科	40	－	650	500	－	作文 150	－	－		A	15	15	25	12	12	21	6	6	13	6	6	13	6	6	13	6	6	13	6	6	13	6	6	13	20	20	35	325	教科（国・社・英） 全教科の観点Ⅲ（主体的に学習に取り組む態度） 重視している教科や観点
											B	10	10	12	8	8	10	4	4	7	4	4	7	4	4	7	4	4	7	4	4	7	4	4	7	10	10	14		
											C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

別表5-1

令和9年度文化・スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法等一覧

○観点別学習状況の評価の活用方法の詳細については、付表１（P177）に掲載しています。
○実技検査を実施する学校の実技検査の詳細については、付表２（P178～212）に掲載しています。

※　部活動は地域クラブ活動を含めるものとする。

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				観点別学習状況の評価	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
向丘	剣道	男女・４	以下の全てに当てはまる者 ○剣道二段と同等の優秀な技能をもつ者 ○入学後も本校剣道部に所属し、３年間継続して活動することができる者 ○礼儀規律を守ることができる者	－	○	400	個人200	－	400	－		○都大会ベスト８以上 ○関東大会出場
	バスケットボール	女・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でバスケットボール部等に３年間継続して所属し、高い技術・能力を有する者 ○入学後も本校バスケットボール部に所属し、３年間活動する強い意志がある者 ○礼儀・規律を守ることができる者									○シード権の獲得 ○東京都ベスト３２
	バレーボール	女・４	以下の全てに当てはまる者 ○女子バレーボール部、クラブチーム等に３年間所属し、都大会やヤングクラブ選手権にレギュラーとして出場、もしくはそれに準ずる競技力があると認められる者 ○本校に入学後、３年間部員として努力を続けられる者 ○礼儀、規律を守り、HR活動、学校行事等でリーダーシップを発揮する志のある者									○シード権の獲得 ○東京都ベスト１６
上野	バレーボール	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○入学後も本校の部活動に所属し、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者	－	○	500	集団150	－	350	－		○関東大会上位入賞 ○全日本バレーボール高等学校選手権大会東京都予選ベスト４
本所	バスケットボール	男女・５	○中学校でバスケットボール部等に所属して活躍し、各地区選抜選手に準ずる能力をもっている者 ○本校入学を強く希望し、入学後バスケットボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者	－	○	400	個人100	－	300	－		○東京都大会ベスト８ ○関東大会出場
	ハンドボール	男・３	○運動能力に優れ、中学校でハンドボール部等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後ハンドボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者									○東京都大会ベスト８ ○関東大会出場
	ローイング	男女・２	○運動能力に優れ、ローイング競技又は他競技で活躍した経験のある者 ○本校入学を強く希望し、入学後ローイング部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者	－	○	400	個人200	－	200	－		○全国大会入賞 ○関東大会優勝

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状観点の別評学価習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
城東	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者	－	○	400	集団200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会出場 ○春季関東地区高校野球大会出場 ○全国選抜野球大会出場
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○各種大会東京都予選ベスト８
	なぎなた	女・1	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○関東大会出場 ○全国高校総体出場 ○国民スポーツ大会出場 ○全国選抜大会出場
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○関東大会出場 ○各種大会東京都予選ベスト８
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○関東大会出場 ○各種大会東京都予選ベスト８
	バレーボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会レベルの実力のある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○関東大会出場 ○各種大会東京都予選ベスト８
	陸上競技	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○陸上競技の技術・能力に優れ、東京都大会レベルの実力がある者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立することができる者									○都大会入賞 ○関東大会出場 ○全国大会出場
東	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校３年間部活動又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後はサッカー部の活動に積極的に取り組み３年間継続して活動できる者 ○学業と両立することができる者	－	○	400	集団200	－	200	－		○全国高校サッカー選手権大会 東京都ベスト８
深川〔外国語コースは後掲〕	剣道	男女・3	○学業と部活動を両立するとともに、学校生活全般でリーダーとして力を発揮しようとする意志があり、また、他の生徒の模範となる者 ○入学後も剣道部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○都大会にレギュラーとして出場又は、それと同等の技能を有する者	－	○	450	個人150	－	300	－		○全国高校総体出場 ○全国選抜大会出場 ○関東大会出場 ○都大会優勝
	サッカー	男・4	○学業と部活動を両立するとともに、学校生活全般でリーダーとして力を発揮しようとする意志があり、また、他の生徒の模範となる者 ○東京都大会レベルの技能を有し、入学後も本校のサッカー部にて３年間活動を継続できる者									○各種大会東京都ベスト８

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
大崎	硬式野球	男・3	○野球の能力に優れ、野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学習活動と両立し、他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者	－	○	200	個人250	－	450	－		○東東京都大会ベスト１６ ○東京都春季大会ベスト３２ ○東京都秋季大会ベスト３２
	バスケットボール	男・6	部活動と学業を両立することができ、以下の全てに当てはまる者 ○都大会にレギュラー選手として出場したか、他の大会において同等の実力があると認められる者又は各地区選抜選手として選抜された者 ○入学後もバスケットボール部に所属し、３年間継続して活動する意欲のある者									○関東大会出場 ○東京都高体連主催男子バスケットボール大会ベスト８以上
八潮	合唱	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○合唱について興味・関心をもち、実際に部活動に参加することでその理念や技術の向上を目指そうと考えている者 ○学校生活全般において、他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者 ○入学後合唱部に所属し、３年間活動する意志がある者	－	○	500	個人200	－	300	－		○ＮＨＫコンクール、アンサンブルコンクールの出場及び入賞
	軟式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も野球部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○本校において学業と部活動を両立するとともに、リーダーとして力を発揮しようとする意志のある者 ○運動能力に優れ、中学校の該当部活動又はクラブチームで活躍した者									○東京都大会ベスト４ ○関東大会・全国大会出場
	和太鼓	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○和太鼓について興味・関心をもち、実際に部活動に参加することでその理念や作法・実技を身に付けたいと考えている者 ○学校生活全般において、他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者 ○入学後和太鼓部に所属し、３年間活動する意志がある者									○ジュニア・コンクール入賞（３位以内）
目黒	硬式野球	男・3	○中学校３年間、野球部又はクラブチームに所属した者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者 ○入学後３年間、部活動を継続する意思をもち、学業と部活動の両立ができる者	－	○	300	個人100	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト８以上 ○秋季東京都高等学校野球大会ベスト１６以上 ○春季東京都高等学校野球大会ベスト１６以上
	バスケットボール	男・3	○本校への入学を強く希望し、入学後バスケットボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者 ○試合にレギュラーとして出場している者 ○運動能力に優れ将来性のある者									○全国総合体育大会東京予選ベスト１６ ○東京都高等学校男子バスケットボール新人戦ベスト１６
		女・5	○中学校３年間、バスケットボール部又はクラブチームに所属した者 ○本校への入学を強く希望し、本校の指導方針・部活動方針に従い学校生活を送ることができる者 ○バスケットボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者 ○運動能力に優れ、チームの中心選手として活躍した者									○全国総合体育大会東京予選ベスト８ ○関東高等学校女子バスケットボール大会出場 ○東京都高等学校女子バスケットボール新人戦ベスト８

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習の観点	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
大森	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属して熱心に取り組んだ者 ○入学後、野球部に３年間所属し３年間熱心に活動する意志のある者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り、学業と部活動の両立ができる者	－	○	360	個人180	－	180	－		○東京都高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト８以上 ○東京都春季大会ベスト１６以上 ○東京都秋季大会ベスト１６以上
	ダンス	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○ダンスの経験があり、自分で振り付けを考えられる者 ○入学後、ダンス部に３年間所属し、他の部員を牽引する熱意のある者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り、学業と部活動の両立ができる者									○日本高校ダンス部選手権東京都大会スモールクラス優勝 ○日本高校ダンス部選手権全国大会８位入賞以上
雪谷	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校の野球部又はクラブチーム等で継続して活動し、中心選手として活躍した者 ○本校の野球部に所属し、活動を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者	－	○	400	個人200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト８以上
	チアリーディング	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中心選手として活躍できリーダーシップのとれる者 ○本校のチアリーディング部に所属し、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立できる者									○全日本高等学校チアリーディング選手権大会上位入賞 ○関東選手権大会優勝
桜町	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れた者 ○入学後３年間、硬式野球部に所属するとともに、競技や学業をとおして人格を磨き、他の生徒の模範となる者 ○中学校３年間、中学校の野球部または当該種目のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者	－	○	600	個人200	－	400	－		○西東京大会ベスト１６以上 ○秋季東京都大会ベスト１６以上
千歳丘	硬式野球	男・6	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れた者 ○入学後、野球部に所属し、３年間活動する意思のある者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り、学業と部活動の両立ができる者	－	○	600	個人200	－	400	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８ ○東京都秋季大会ブロック大会Ａ代表 ○東京都春季大会ベスト１６
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れた者 ○入学後、サッカー部に所属し、３年間活動する意志のある者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り、学業と部活動の両立ができる者									○全国高校サッカー選手権大会東京大会２次予選進出 ○高校総体東京都大会出場 ○東京都第６地区新人戦ベスト４
広尾	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校の部活動又はクラブチーム等で継続して活動していた者 ○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者	－	○	500	集団100	－	400	-		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト８以上
	バスケットボール	男・3	○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者で、以下の①又は②の条件に当てはまる者 ①運動能力に優れ、都大会出場レベルの実力のある者 ②各地区選抜選手として選抜された者又は同様の実績があると認められた者	ー	○	500	集団100	－	400	-		○各種大会・東京都ベスト１６以上
		女・3	○本校の部活動に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者で、以下の①又は②の条件に当てはまる者 ①運動能力に優れ、都大会出場レベルの実力のある者 ②各地区選抜選手として選抜された者又は同様の実績があると認められた者									○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
鷺宮	剣道	男女・４	以下の全てに当てはまる者 ○本校を強く志望する者で、入学後は剣道部に所属し３年間部活動を継続できる者 ○本校における学業と部活動の両立ができる者 ○有段者又はそれに準ずる者	－	○	450	個人100	－	350	－		○都大会ベスト８（団体・個人）
	硬式野球	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校３年間野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後は野球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○全国選手権予選東東京大会ベスト８ ○秋季都大会進出 ○春季都大会ベスト１６進出
	サッカー	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○本校を強く志望する者で、運動能力に優れ、入学後も本校サッカー部にて３年間部活動を継続できる者 ○本校における学業と部活動の両立ができる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、意欲・向上心を有する者									○全国高校サッカー選手権大会都ベスト８ ○全国総合体育大会都大会ベスト８ ○関東大会予選都ベスト８
	バスケットボール	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○本校を強く志望する者で、入学後はバスケットボール部に所属し、３年間部活動を継続できる者 ○本校における学業と部活動の両立ができ、学校行事等においても積極的に活動する者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、都大会レベルの実力のある者									○東京都ベスト１６以上
		女・２	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校３年間バスケットボール部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後は文武両道に努め、バスケットボール・学校生活に積極的に取り組み、３年間部活動を継続して活動できる者									○東京都ベスト３２以上
武蔵丘	硬式野球	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、硬式野球部に所属するとともに、競技を通して人格を磨き、学力の向上にも努力できる者 ○中学校３年間、中学校の野球部又は当該種目のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者	－	○	600	個人200	－	200	－		○夏季大会東東京大会ベスト１６以上 ○秋季大会本大会出場 ○学業と部活動を両立させ、人格を磨く。
	サッカー	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、サッカー部に所属するとともに、競技を通して人格を磨き、学力の向上にも努力できる者 ○中学校３年間、中学校のサッカー部又は当該種目のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者									○各種大会での都大会出場 ○学業と部活動を両立させ、人格を磨く。
杉並	硬式野球	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校３年間野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後は野球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者 ○本校の学習活動と両立することができる者	－	○	500	集団200	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８
	水泳	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○水泳の技術・能力に優れ、中学校３年間水泳部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後は水泳部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者 ○本校の学習活動と両立することができる者									○日本高等学校選手権に個人及びリレー種目に出場 ○国民スポーツ大会東京都代表選手

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
杉並（続き）	吹奏楽	男女・6	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間で、中学の吹奏楽部や地域の吹奏楽団等に所属して活躍した者 ○入学後も３年間吹奏楽部でリーダーシップを発揮し活躍を期待でき、自らの進路希望実現へ向けて、文武両道で努力できる者 ○杉並高校の特色を理解し、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者	－	○	500	集団200	－	300	－		○東京都高等学校吹奏楽連盟主催コンクール及びアンサンブルコンテストでの金賞受賞 ○東京都吹奏楽コンクール及び全日本吹奏楽コンクールでの金賞受賞 ○東京都高等学校文化連盟音楽部門への積極的な参加 ○地域社会行事への参加や高齢者福祉施設、近隣小中学校等との交流
豊多摩	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校入学後、部活動を３年間継続し、リーダーシップを発揮して学業と部活動を両立できる者	－	○	500	集団250	－	250	－		○全国高等学校サッカー選手権大会東京都ベスト８ 東京都サッカーリーグ戦Ｔ５リーグ昇格
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校入学後、部活動を３年間継続し、リーダーシップを発揮して学業と部活動を両立できる者									○東京都ベスト１６
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバレーボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校入学後、部活動を３年間継続し、リーダーシップを発揮して学業と部活動を両立できる者									○高体連主催公式戦にて東京都ベスト３２
	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチーム（硬式・軟式問わず）に所属し、活躍した者 ○本校入学後、硬式野球部を３年間継続し、リーダーシップを発揮して学業と部活動を両立できる者									○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８
	ハンドボール	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、小学校または中学校・クラブチームでハンドボール部等に所属し、活躍した者 ○本校入学後、部活動を３年間継続し、学業と部活動を両立できる者									○関東大会出場
豊島	サッカー	男・3	以降の全てに当てはまる者 ○本校サッカー部の活動を理解し賛同できる者 ○中学校サッカー部又はサッカークラブに所属している者 ○部活動だけではなく、学校行事等において主体性を発揮してリーダーとして活躍できる者 ○部活動だけではなく、学習面も真剣に取り組み一段高い進路実現を目指す者 ○基本的生活習慣が身に付いている者	－	○	500	集団100	－	400	－		○全国高校サッカー選手権大会東京都ベスト８ ○部員全員の一段高い進路実現 ○地域から応援される部活動になるための活動（月１回）
	柔道	男女・2	○初段又は同程度の技量をもつ者 ○入学後３年間、部活動を継続する強い意志をもち、生徒の模範となる生活を送り、学習との両立ができる者									○東京都大会ベスト１６以上（団体・個人）
	バスケットボール	男・2	○バスケットボールの技術に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後はバスケットボール部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○公式戦東京都ベスト８
		女・2	○バスケットボールの技術に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後はバスケットボール部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○関東大会出場（東京都ベスト８） ○新人大会ベスト１６以上 ○支部大会優勝

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
文京	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○本校の野球部に入部して、活動を３年間継続する者 ○本校の学業と部活動を両立することができる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属して活躍した者	－	○	300	集団100	－	200	－		○全ての都大会でベスト８以上 ○全国高等学校野球選手権大会出場
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校のバスケットボール部等で活躍した者 ○本校のバスケットボール部に入部して、活動を３年間継続する者 ○本校の学業と部活動を両立することができる者				個人100					○関東高等学校男子バスケットボール大会東京都予選ベスト１６以上（関東大会出場） ○全国高校総体東京都予選ベスト１６以上 ○支部を代表する選手になること
		女・3	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校のバスケットボール部等で活躍した者 ○本校のバスケットボール部に入部して、活動を３年間継続する者 ○本校の学業と部活動を両立することができる者									○関東高等学校女子バスケットボール大会東京都予選ベスト１６以上 ○全国高校総体東京都予選ベスト１６以上
	バレーボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○バレーボールの技術・能力に優れ、中学校のバレーボール部等で活躍した者 ○本校のバレーボール部に入部し、活動を３年間継続する者 ○本校の学業と部活動を両立することができる者									○東京都高体連主催公式戦ベスト１６以上
	陸上競技	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○陸上競技の技術・能力に優れ、中学校の陸上競技部等で活躍した者 ○本校の陸上競技部に入部し、活動を３年間継続する者 ○本校の学業と部活動を両立することができる者									○関東高校陸上競技大会出場 ○全国高校総体出場
板橋	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れている者 ○本校の硬式野球部に入部し、３年間向上心をもって活動できる者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者	－	○	450	個人150	－	300	－		○都大会ベスト８以上
	バスケットボール	女・5	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校等でバスケットボール部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校のバスケットボール部に入部し、３年間向上心をもって活動できる者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者									○関東大会、全国高校総体、新人大会、東京都予選ベスト１６以上
	陸上競技	男女・6	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、将来陸上競技において活躍が期待できる潜在能力を有する者（競技歴不問） ○本校の陸上競技部に入部し、３年間向上心をもって活動できる者 ○本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者									○関東高等学校陸上競技大会出場 ○全国高等学校陸上競技対校選手権大会出場 ○国民スポーツ大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
大山	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校３年間野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校への入学を強く希望し、入学後は硬式野球部に所属して３年間活動するとともに、学業と両立する意志のある者	－	○	300	個人300	－	400	－		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト６４ ○秋季大会３回戦
高島	剣道	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間剣道部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者	－	○	400	個人200	－	200	－		○関東高等学校剣道大会出場
	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間硬式野球部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○東京都大会東東京大会優勝 ○全国高等学校野球選手権大会出場
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間サッカー部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○各種東京都大会出場 ○各種東京都大会ベスト１６
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間バスケットボール部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○関東高等学校バスケットボール大会出場 ○東京都高等学校新人大会入賞 ○東京都高等学校総合体育大会入賞
		女・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間バスケットボール部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○関東高等学校バスケットボール大会出場 ○東京都高等学校新人大会入賞 ○東京都高等学校総合体育大会入賞
	バレーボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間バレーボール部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○東京都高体連主催大会ベスト４以上 ○関東高等学校女子バレーボール大会出場
	陸上競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も学習に力を入れ、高島高校においてリーダーシップが発揮できる者 ○入学後３年間陸上競技部に所属し、部活動の中心となって活躍できる者 ○高い目標をもち挑戦する意思のある者 ○都大会進出と同等以上の技術をもつ者									○関東、全国大会出場及び入賞 ○都大会総合入賞

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
石神井	サッカー	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・運動能力に優れ、中学時代の所属するチームでレギュラーとして活躍し、都大会出場又はそれと同等の能力のある者など、チームで活躍した者 ○本校入学後、サッカー部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者	－	○	450	集団150	－	300			○インターハイ東京都予選ベスト８以上 ○選手権大会東京都予選ベスト８以上 ○関東大会東京都予選ベスト８以上
	柔道	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○柔道の技術に優れ、中学時代の所属するチームで活躍し、都大会出場又はそれと同等の実績のある者 ○本校入学後、柔道部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者									○関東大会出場
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・運動能力に優れ、中学時代の所属するチームでレギュラーとして活躍し、都大会出場又はそれと同等の能力のある者など、チームで活躍した者 ○本校入学後、男子バスケットボール部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者									○インターハイ東京都予選ベス１６以上 ○関東大会東京都予選ベスト１６以上 ○新人大会東京都予選ベスト１６以上
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・運動能力に優れ、中学時代の所属するチームでレギュラーとして活躍し、都大会出場又はそれと同等の実績のある者 ○本校入学後、女子バスケットボール部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者									○インターハイ東京都予選ベス１６以上 ○関東大会東京都予選ベスト１６以上 ○新人大会東京都予選ベスト１６以上
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○バレーボールの技術・運動能力に優れ、中学時代の所属するチームでレギュラーとして活躍し、都大会出場又はそれと同等の実績のある者 ○本校入学後、女子バレーボール部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者									○インターハイ東京都予選ベスト６４
	ラグビー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○ラグビーに興味・関心があり、運動能力・体力に優れ、ラグビーを問わず、中学時に運動部活動又はスポーツ団体に３年間所属し、活躍した者 ○本校入学後、ラグビー部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようとする決意のある者 ○文武二道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組むことができる者									○東京都大会ベスト８ ○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別点学習評価	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
練馬	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後も野球部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○本校において学業と部活動を両立するとともに、リーダーとして力を発揮しようとする意志のある者 ○運動能力に優れ、中学校時代当該部活動又はクラブチームで活躍した者	－	○	450	集団150	－	300	－		○都大会ベスト４ ○全国高等学校野球選手権大会出場
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後もバスケットボール部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○本校において学業と部活動を両立するとともに、リーダーとして力を発揮しようとする意志のある者 ○運動能力に優れ、中学校時代当該部活動又はクラブチームで活躍した者									○関東高等学校男子バスケットボール大会出場（東京都ベスト８） ○全国高校総体東京都選手権大会ベスト１６ ○東京都新人大会ベスト３２（本大会出場）
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後もバスケットボール部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○本校において学業と部活動を両立するとともに、リーダーとして力を発揮しようとする意志のある者 ○運動能力に優れ、中学校時代当該部活動又はクラブチームで活躍した者									○関東高等学校女子バスケットボール大会出場（東京都ベスト５６） ○全国高校総体東京都選手権大会ベスト５６ ○東京都新人大会ベスト５６
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後もバレーボール部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○本校において学業と部活動を両立するとともに、リーダーとして力を発揮しようとする意志のある者 ○運動能力に優れ、中学校時代当該部活動又はクラブチームで活躍した者									○春季リーグ戦優勝 ○関東予選ベスト３２ ○総体予選ベスト３２ ○新人リーグ戦優勝 ○新人選手権ベスト３２ ○公立学校大会ブロックベスト８
光丘	剣道	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、本校剣道部の活動を継続するとともに、学業との両立が果たせる者 ○他の生徒の模範となり、リーダーシップがとれる者 ○継続的に剣道を実践している者	－	○	300	個人300	－	400	－		○関東大会出場 ○東京都大会ベスト８
	硬式野球	男・1	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、本校硬式野球部の活動を継続するとともに、学業との両立が果たせる者 ○野球に対する意欲と向上心が高い者									○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト３２ ○秋季大会２回戦
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、本校サッカー部の活動を継続するとともに、学業との両立が果たせる者 ○サッカーに対する意欲と向上心が高い者									○東京都大会ベスト８ ○地区選抜選手になることを目指す。
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○本校に入学後３年間、本校バスケットボール部の活動を継続するとともに、学業との両立が果たせる者 ○中学時代当該部活動又はクラブチームに継続して所属し、チームの中心となって役割を果たすとともに、活性化に深く貢献した者									○関東大会出場 ○東京都大会ベスト８

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評学価習点	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
足立	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、自信をもち、東京都大会にレギュラー選手として出場したレベル以上の実績のある者又は、この基準に達していない場合でも、それに相当する成績、技術に自信のある者 ○本校の部活動に所属し、指導方針に従い、積極的に活動を３年間継続するとともに、常に向上心をもって、部活動や学業に専念できる者 ○本校における学業と部活動を両立することができる者				集団200					○選手権大会都大会３回戦進出 ○新人戦都大会３回戦進出 ○総合体育大会都大会３回戦進出
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、自信をもち、東京都大会にレギュラー選手として出場したレベル以上の能力のある者又はこの基準に達していない場合でも、それに相当する能力、技術に自信のある者 ○各地区選抜選手として選抜された者又はそれに相当する技術を有する者 ○本校の部活動に所属し、活動を３年間継続するとともに、学業における努力を怠らない者	－	○	450		－	300	－		○東京都ベスト１６以上 ○関東大会出場
	陸上競技	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、自信をもち、東京都大会にレギュラー選手として出場したレベル以上の実績のある者又は、この基準に達していない場合でも、それに相当する成績、技術に自信のある者 ○本校の部活動に所属し、活動を３年間継続するとともに、学業における努力を怠らない者 ○本校における学業と部活動を両立することができる者				個人200					○支部大会男女総合３位以内 ○都大会出場人数を増やし、南関東大会出場 ○南関東大会入賞 ○関東新人大会入賞 ○全国大会出場
足立新田	硬式野球	男・8	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチーム等でレギュラーとして活躍し、東京都大会出場に相当する実力をもつ者 ○入学後も、本校の硬式野球部に所属し、３年間継続して部の中心として活動することができる者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者									○全国高等学校野球選手権大会出場
	相撲	男女・6	以下の全てに当てはまる者 ○都大会ベスト１６以上の者又はそれに相当する成績を収めたと認められる者 ○入学後は、本校の相撲部に所属し、３年間継続して部の中心として活動することができる者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者									○全国大会出場ベスト１６以上
	バレーボール	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチーム等で中心選手として活躍し、都大会に出場した者又はそれに相当する成績を収めたと認められる者 ○入学後も、本校の男子バレーボール部に所属し、３年間継続して部の中心として活動することができる者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者	－	－	－	個人500	－	300	－		○東京都大会ベスト８以上 ○関東大会連続出場
		女・3	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチーム等で中心選手として活躍し、都大会・ブロック大会等に出場した者又はそれに相当する成績を収めたと認められる者 ○入学後も、本校の女子バレーボール部に所属し、３年間継続して部の中心として活動することができる者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者									○東京都大会ベスト１６

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
足立新田（続き）	陸上競技	男女・7	以下の全てに当てはまる者 ○個人種目で都大会に出場した者又はそれと同等の能力をもっている者 ○入学後も、本校の陸上競技部に所属し、3年間継続して部の中心として活動することができる者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者	－	－	－	個人500	－	300	－		○インターハイ（全国高等学校総合体育大会）入賞 ○関東大会入賞
足立西	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校時代に部活動やクラブチーム等で継続的に活躍した者 ○本校の教育方針に従い学校生活を送ることができる者 ○本校の硬式野球部に参加し、3年間継続するとともに本校の学業と両立できる者	－	○	450	集団250	－	250	－		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会ベスト16以上
	吹奏楽	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校時代に部活動や外部団体等で継続的に活躍した者 ○本校の教育方針に従い学校生活を送ることができる者 ○本校の吹奏楽部に参加し、3年間継続するとともに本校の学業と両立できる者									○東京都高等学校吹奏楽コンクールA組金賞
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校時代に部活動やクラブチーム等で継続的に活躍した者 ○本校の教育方針に従い学校生活を送ることができる者 ○本校の女子バレーボール部に参加し、3年間継続するとともに本校の学業と両立できる者									○都大会ベスト32以上
淵江	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、自信を持ち東京都大会にレギュラー選手として出場したレベル以上の実績のある者。もしくは、それに相当する成績、技術に自信のある者 ○本校の部活動に所属し、活動を3年間継続するとともに、学業における努力を怠らない者 ○本校における学業と部活動を両立することができる者	－	○	500	個人300	－	200	－		○総体地区予選決勝進出 ○総体地区予選優勝 ○選手権大会1次トーナメント決勝進出

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
葛飾野	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、野球部又はクラブチームに所属した者 ○本校の指導方針・部活動方針に従い、学校生活を送ることができる者 ○入学後３年間、部活動を継続する強い意志をもち、学業と部活動の両立ができる者	－	○	500	集団200	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会東東京大会優勝
	サッカー	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・能力に優れている者 ○中学時代の所属チームで活躍した者 ○入学後３年間、部活動を継続する強い意志をもち、学業と部活動の両立ができる者									○東京都大会ベスト４
	柔道	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○初段又は同等の程度の技量を持つ者 ○中学時代に部活動、地域の道場やクラブなどで活躍してきた者 ○入学後３年間、部活動を継続する強い意志をもち、学業と部活動の両立ができる者									○東京都大会ベスト１６以上（団体・個人） ○関東高等学校柔道大会団体出場
南葛飾	サッカー	男・5	○中学時代の所属チームで３年間、活躍した者 ○入学後３年間、部活動を継続する意思をもち、学業との両立ができる者 ○サッカーの技能に優れリーダーシップを発揮できる者	－	○	500	個人200	－	400	－		○東京都ベスト８
江戸川	硬式野球	男・4	○運動能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチーム等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後硬式野球部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者	－	○	400	集団100	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会出場 ○選抜高等学校野球大会出場
	ソフトボール	女・3	○運動能力に優れ、中学校でソフトボール部等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後ソフトボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者				個人100					○高体連各大会ベスト４ ○都公立高校各大会優勝
	バスケットボール	女・3	○運動能力に優れ、中学校でバスケットボール部等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後バスケットボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者									○全国総合体育大会東京都予選ベスト８ ○関東高等学校女子バスケットボール大会出場 ○東京都高等学校女子バスケットボール新人戦ベスト８
	バレーボール	女・3	○運動能力に優れ、中学校でバレーボール部等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後バレーボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者									○関東大会出場
	ハンドボール	男・3	○運動能力に優れ、中学校でハンドボール部等に所属して活躍した者 ○本校入学を強く希望し、入学後ハンドボール部を３年間継続するとともに本校における学業と両立できる者									○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
葛西南	剣道	男女・5	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で剣道部又は地域剣友会に所属した者 ○有段者（初段）と同等の技能をもつ者 ○入学後、剣道部に所属し3年間活動するとともに、学業と部活動を両立できる者	－	○	200	個人100	－	400	－		○関東大会出場
小岩	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校野球部又は地域のクラブチーム（硬式・軟式）に3年間所属した者 ○本校の指導に従い、3年間硬式野球部に所属し活動を継続する強い意志をもつ者 ○学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても積極的に活動する者	－	○	500	個人250	－	250	－		○全国高等学校野球選手権大会出場 ○選抜高等学校野球大会出場
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会出場レベルの実力のある者 ○本校の指導に従い、3年間バスケットボール部に所属し活動を継続する強い意志をもつ者 ○学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても積極的に活動する者									○新人戦支部大会ベスト8以上 ○関東大会都予選・全国高校総体予選ベスト32
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、東京都大会出場レベルの実力のある者 ○本校の指導に従い、3年間バスケットボール部に所属し活動を継続する強い意志をもつ者 ○学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても積極的に活動する者									○新人大会、関東大会予選 全国高校総体予選ベスト16
	バドミントン	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、ブロック大会ベスト4程度の実力のある者 ○本校の指導に従い、3年間バドミントン部に所属し活動を継続する強い意志をもつ者 ○学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても積極的に活動する者									○関東大会出場 ○全国選抜大会・インターハイ出場
		女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、ブロック大会ベスト4程度の実力のある者 ○本校の指導に従い、3年間バドミントン部に所属し活動を継続する強い意志をもつ者 ○学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても積極的に活動する者									○関東大会出場 ○全国選抜大会・インターハイ出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
篠崎	剣道	男女・6	入学後も剣道部に所属し、３年間継続して活動する意志をもつ者で、以下の①、②のいずれかに当てはまる者 ①都大会個人戦・団体戦に出場し、上位１６位程度の実績を残した者、又はそれと同等の優秀な技能を有する者 ②ブロック大会個人戦・団体戦で上位８位程度の実績を残した者、又はそれと同等の優秀な技能を有する者	－	○	500	個人300	－	300	－		○東京都大会シード権獲得（男女） ○第１支部大会ベスト４以上（男女） ○墨東杯（第５・６地区都立高戦）優勝（男女）
	硬式野球	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術、能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○中学校の野球部顧問又はクラブチームの指導者からの推薦を受けられる人間性を有した者 ○入学後も硬式野球部に所属し、３年間継続して活動する意志をもつ者									○東京都春季・秋季大会ブロック優勝 ○東京都夏季大会ベスト８以上
	陸上競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○陸上競技の技術、能力に優れ、中学校で陸上競技部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後も陸上競技部に所属し、３年間継続して活動する意志をもつ者									○関東大会出場 ○全国大会出場 ○東京都大会入賞
	和太鼓	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○和太鼓演奏の経験を有し、合奏演奏の経験がある者、又はそれと同等の技能を有する者 ○入学後も和太鼓部に所属し、３年間継続して活動する意志をもつ者									○伝統曲、創作曲、レパートリーの堅持、拡大 ○高文連大会等への参加・入賞 ○地域での演奏活動
紅葉川	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の硬式野球部に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者	－	○	500	個人250	－	250	－		○全国高等学校野球選手権大会出場 ○全国選抜野球大会出場
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校のサッカー部に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者									○東京都大会出場 ○東京都大会一回戦突破 ○リバーサイドユースリーグ１部１位による地区トップリーグへの昇格
	陸上競技	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○陸上競技の技術・能力に優れ、中学校で陸上競技部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の陸上競技部に所属して、活動を３年間継続するとともに、本校の指導方針に従い、学校生活のルールを守り学業と部活動の両立ができる者									○関東大会出場 ○全国総合体育大会出場 ○東京都大会入賞

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
片倉	硬式野球	男・6	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れている者 ○中学時代、中心選手として活躍した者 ○本校を強く希望し、入学後は野球部に所属し、３年間継続して活動する者 ○野球部の活動とともに、本校における学業と両立することができる者	－	○	400	集団300	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会等の各種大会で ベスト４以上
	サッカー	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・能力に優れている者 ○本校を強く希望し、入学後はサッカー部に所属し、３年間継続して活動できる者 ○サッカー部の活動とともに、学校生活でリーダーシップを発揮し、かつ学業と両立することができる者									○全国高等学校サッカー選手権大会都大会ベスト１６ ○全国高校総体都大会ベスト１６ ○新人戦都大会ベスト１６ ○地区Ｔ４昇格
	吹奏楽	男女・１０	以下の全てに当てはまる者 ○本校を強く希望し、入学後は吹奏楽部に所属し、３年間活動する者 ○吹奏楽部の活動とともに、本校における学業と両立することができる者				個人300					○全国レベルの大会への継続的出場 ○小学校や中学校、地域社会との連携 ○東京都の各種事業への貢献
	卓球	男女・３	以下の全てに当てはまる者 ○卓球の技術・能力に優れ、中学校３年間卓球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後卓球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できると共に、本校における学習活動と両立することができる者 ○礼儀規律を守ることができる者									○高体連主催大会東京都ベスト８
八王子北	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、野球部又はクラブチーム等に所属し、精力的に活躍した者 ○入学後も本校硬式野球部に所属し、３年間活動する意欲のある者	－	○	400	個人150	－	250	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会常時ベスト８以上
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、サッカー部又はクラブチーム等に所属し、精力的に活躍した者 ○入学後も本校サッカー部に所属し、３年間活動する意欲のある者									○八王子市高校サッカー選手権大会 ベスト４ ○全国高校総体東京都支部予選優勝 都大会出場 ○全国高等学校サッカー選手権大会、 東京都地区予選優勝　都大会出場
	吹奏楽	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○吹奏楽を愛好し、集団演奏における協調性を有する者 ○中学校で吹奏楽部等を３年間継続した者で、かつ精力的に活躍した者 ○基礎的な演奏技能、読譜力を有し、入学後も本校の部活動に所属し、３年間活動する意欲がある者									○東京都高等学校吹奏楽連盟が主催するコンクール等において常に銀賞以上の成績
	バスケットボール	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、バスケットボール部又はクラブチーム等に所属し、精力的に活躍した者 ○入学後も本校バスケットボール部に所属し、３年間活動する意欲のある者									○男子：支部大会ベスト８、 都大会ベスト３２ ○女子：総体予選５４シード獲得

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
富士森	硬式野球	男・6	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、野球部又はクラブチームに所属し、意欲的に活動した者 ○本校の指導に従い、他の模範となる学校生活を送ることができる者 ○入学後、学習と部活動を両立することができ、学校行事等においても指導力を発揮できる者 ○入学後、３年間硬式野球部に所属し活動を継続する意志の強い者	－	○	500	集団200	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会優勝 ○甲子園出場
	サッカー	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校３年間サッカー部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の指導に従い、他の模範となる学校生活を送ることができる者 ○入学後、学習と部活動を両立することができ、学校行事等においても指導力を発揮できる者 ○入学後はサッカー部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者				個人200					○高体連主催大会において、東京都ベスト３２以上 ○ユースリーグにおいて、７地区１部に昇格
	吹奏楽	男女・5	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間吹奏楽部等に所属し、意欲的に活動した者 ○楽器演奏の技術・能力に優れている者 ○本校吹奏楽部の活動方針を深く学習・理解し、率先して実践しようとする意欲をもつ者 ○入学後吹奏楽部に所属し、３年間活動を続ける者 ○吹奏楽部において他の生徒の模範となる行動や指導力を発揮できる者 ○学習への意欲が旺盛である者 ○部活のみならず学校行事等においても指導力を発揮できる者				集団200					○東京都吹奏楽コンクール金賞受賞・都大会出場・全国大会出場
	バスケットボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校３年間、バスケットボール部又はクラブチーム等に所属し、活躍した者 ○本校の指導に従い、他の模範となる学校生活を送ることができる者 ○入学後、学習と部活動を両立することができ、学校行事等においても指導力を発揮できる者 ○入学後、３年間バスケットボール部に所属し活動を継続する意志の強い者				個人200					○全国高等学校バスケットボール大会 東京大会ベスト８以上 ○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
松が谷	剣道	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、剣道部又は剣道の道場等に所属し、意欲的に活動した者 ○特に剣道の能力・資質に優れた者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間剣道部に所属し、活動を継続する意志の強い者 ○入学後、学習と部活動を両立させ、学校生活で他の生徒の模範となり、行事等でもリーダーシップを発揮できる者	－	○	500	個人250	－	250	－		○男女関東大会出場 ○東京都ベスト８
	硬式野球	男・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、野球部又は野球のクラブチーム等に所属し、意欲的に活動した者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間硬式野球部に所属し、活動を継続する者 ○入学後、学習と部活動を両立させ、学校生活で他の生徒の模範となり、行事等でもリーダーシップを発揮できる者									○春季大会ベスト８ ○選手権大会ベスト８ ○秋季大会ベスト８
	サッカー	男・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、サッカー部又はクラブチーム等に所属し、意欲的に活動した者 ○サッカーの能力に特に優れた者、又はキャプテン（部長）・副キャプテン（副部長）等、リーダーとなってチームに貢献した者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間サッカー部に所属し、活動を継続する者 ○入学後、学習と部活動を両立させ、学校生活で他の生徒の模範となり、行事等でもリーダーシップを発揮できる者									○全国高等学校サッカー選手権大会 東京都予選　ベスト１６ ○全国高等学校総合体育大会 東京都予選　ベスト２０ ○高円宮杯ＪＦＡ Ｕ-１８サッカーリーグ東京　Ｔ５参入
	陸上競技	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校での陸上競技大会で活躍した者（種目は問わない。） ○陸上競技者としての素質を有する者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間陸上競技部に所属し、活動を継続する者 ○入学後、学習と部活動を両立させ、学校生活で他の生徒の模範となり、行事等でもリーダーシップを発揮できる者									○男女都大会入賞 ○関東大会出場 （個人種目、リレー種目） ○全国大会出場、上位入賞 ○都大会男女総合５位入賞
府中	バレーボール	女・４	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の３年間バレーボール部で顕著に活躍した者又は地域のクラブチームで顕著に活躍した者 ○入学後３年間女子バレーボール部に所属し、意欲的に学業と両立しながら活動できる者	－	○	500	個人100	－	400	－		○東京都ベスト８ ○関東大会出場
	ハンドボール	男女・３	以下の全てに当てはまる者 ○小学校又は中学校の部活動や地域スポーツクラブ等でハンドボールに取り組んだ者 ○本校ハンドボール部の活動を３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○東京都大会ベスト８以上 ○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評学価習点	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
府中西	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○本校入学を強く希望し、入学後野球部に３年間所属するとともに、本校における学業と両立できる者 ○運動能力に優れ、高校でも野球部に入り頑張りたいという強い意欲、高い志をもつ者	－	○	400	個人200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８ ○秋季東京都高等学校野球大会 ブロック優勝・本大会ベスト１６ ○春季東京都高等学校野球大会 ベスト１６
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○本校入学を強く希望し、入学後サッカー部に３年間所属するとともに、本校における学業と両立できる者 ○運動能力、リーダーシップに優れ、学校の部活動やクラブチームで活躍した者									○総体予選都１次予選進出（ベスト５６） ○選手権都２次大会進出（ベスト６３） ○関東大会都予選本大会進出（ベスト３０） ○地区ユースリーグ２部昇格
	ハンドボール	男女・6	以下の全てに当てはまる者 ○本校入学を強く希望し、入学後ハンドボール部に３年間所属するとともに、本校における学業と両立できる者 ○運動能力に優れ、学校の部活動や地区の活動で中心選手として活躍した者									○関東大会出場
	ラグビー	男・１０	以下の全てに当てはまる者 ○入学後、ラグビー部に所属し３年間継続して中心選手として活躍する強い意志をもつ者 ○ラグビーの技能・能力、または運動の能力に優れている者 ○学校生活のルールを守り、学業と部活動を両立できる者 ○部活動だけでなく、学年・クラスの中でもリーダーシップを取れる者				集団200					○全国大会東京都予選ベスト４ ○関東大会出場
府中東	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術、能力に優れている者 ○中学校で３年間野球部又はクラブチーム等に所属し、意欲的に活動した者 ○高校で３年間野球部での活動を継続し、学業と両立できる者	－	○	450	集団200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト１６ ○秋季・春季東京都高等学校野球大会 ベスト１６
	サッカー	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○所属する部活動顧問、クラブチーム監督がサッカーだけではなく人物として推薦できる者 ○入学後、３年間部活動を継続する意志をもち、学業との両立ができる者 ○入学後、クラスや学校のリーダーとして活躍できる者									○東京都ベスト8 ○高体連７地区選抜チームへの選出 ○各ユースリーグ優勝 ○Ｔリーグ昇格
	バスケットボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間バスケットボール部又はクラブチームに所属し、意欲的に活動した者 ○入学後、バスケットボール部で３年間継続して活動する意欲があり、学校生活を充実させ、学業と両立することができる者									○東京都ベスト１６
	バレーボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間バレーボール部又はクラブチームに所属し、意欲的に活動した者 ○入学後、バレーボール部に入部し、３年間活動し、学業との両立ができる者									○東京都ベスト１６ ○関東大会出場
	陸上競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、陸上競技部又はクラブチーム等で活躍した者 ○入学後、陸上競技部において指導方針を理解し、３年間継続して努力ができる者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者									○関東大会・関東新人大会出場 ○全国高校総体出場
	ボクシング	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○入学後、ボクシング部において指導方針を理解し、３年間継続して努力ができる者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者									○関東大会・関東選抜大会出場、入賞 ○全国高校総体出場、入賞 ○全国高校選抜大会出場、入賞 ○全日本女子ジュニア選手権大会出場、入賞

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
拝島	硬式野球	男・4	○野球の技術・能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の硬式野球部に所属して、活動を３年間継続するとともに、学校生活においてルールを守りリーダーシップを発揮し、学業と部活動の両立ができる者	－	○	400	個人200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト１６ 春季・秋季本大会出場
小川	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間硬式野球部に所属し、活動を継続する意志の強い者 ○入学後、学習と部活動を両立し、学校行事等においても指導力を発揮できる者 ○中学校で野球部又は野球クラブチーム等に所属し、意欲的に活動した者	－	○	450	個人250	－	300	－		○春季都大会ベスト８ ○西東京大会ベスト８ ○秋季都大会ベスト８
小平西	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○硬式野球又は軟式野球の経験者 ○野球技術及び運動能力に優れ、本校入学後野球部に３年間所属する意志のある者 ○学業と部活動を両立させようとする意欲の強い者	－	○	450	集団180	－	270	－		○夏季西東京大会ベスト８ ○秋季東京都大会ブロック代表 ○秋季東京都大会本大会出場
	吹奏楽	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で３年間、吹奏楽部（ブラスバンド部）等に所属し、意欲的に活動した者 ○本校吹奏楽部の活動方針を理解した上で、吹奏楽部に入部して活動を３年間継続し、部活動の運営面にも意欲のある者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者				個人180					○地域や校内での演奏活動を通して、協力して音楽を作り上げる楽しさを伝える。
	ソフトボール	女・6	以下の全てに当てはまる者 ○入学後ソフトボール部を３年間継続することができる者 ○原則として、ソフトボール又は野球経験者で、ソフトボール・野球技術及び運動能力に優れた者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都で優勝
	ラグビー	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○ラグビーに興味があり、高校でラグビー部に入り頑張りたいという強い意欲をもつ者 ○運動能力に優れ、本校入学後ラグビー部に所属し、学業と両立させようとする決意の強い者									○全国東京都予選ベスト４ ○関東大会出場
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後バスケットボール部を３年間継続できる者 ○バスケットボールの技能・能力に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の指導方針を理解し、学業・学校行事・部活動において、積極的に取り組むことができる者				集団180					○東京都ベスト１６ ○新人戦本大会出場
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○入学後サッカー部を３年間継続することができる者 ○サッカーの技能・能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○本校の指導方針を理解し、学業・学校行事・部活動において、積極的に取り組むことができる者				個人180					○関東大会東京都予選出場 ○全国高校総体東京都予選出場 ○全国高校サッカー選手権大会東京都二次予選出場 ○Ｔリーグ昇格

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評学価習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
小平南	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校時代、野球部又は地域のクラブチーム等（硬式・軟式）に所属し、各大会で中心的な役割を果たし活躍した者 ○本校入学後硬式野球部に３年間所属する意志がある者 ○本校において学業と部活動の両立ができる者	－	○	450	個人150	－	300	－		○全国高等学校野球選手権西東京大会ベスト８ ○秋季東京都高等学校野球大会ベスト１６
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○都大会レベルのサッカー部やクラブチーム等で中心的な役割を果たした者又はトレセン選抜や大会優秀選手 ○上記の基準に達していない場合でも、相応の技能や運動能力に優れている者 ○本校入学後サッカー部に３年間所属する意志がある者 ○本校において学業と部活動の両立ができる者									○高校総体都大会出場 ○高校選手権都大会出場 ○関東大会予選出場（新人戦地区大会ベスト２） ○Ｔリーグ昇格
	バスケットボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○中学校時代バスケットボール部又はクラブチーム等に所属し、運動能力に優れ、都大会レベルの実力のある者 ○本校入学後バスケットボール部に３年間所属する意志がある者 ○本校において学業と部活動の両立ができる者									○関東大会出場
	バスケットボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校時代バスケットボール部又はクラブチーム等に所属し、運動能力に優れ、都大会レベルの実力のある者 ○本校入学後バスケットボール部に３年間所属する意志がある者 ○本校において学業と部活動の両立ができる者									○東京都ベスト１６

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
日野	硬式野球	男・１０	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の技術及び基礎的運動能力に優れ、中学校の部活動又はクラブチーム等で継続して活動していた者 ○入学後３年間、部活動を継続し、中心となって活動する強い意志とリーダー性のある者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者	－	○	450	集団200	－	250	－		○全国高等学校野球選手権出場
	バスケットボール	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の技術及び基礎的運動能力に優れ、中学校の部活動又はクラブチーム等で継続して活動していた者 ○入学後３年間、部活動を継続し、中心となって活動する強い意志とリーダー性のある者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都ベスト８ ○関東大会出場
		女・４	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の技術及び基礎的運動能力に優れ、中学校の部活動又はクラブチーム等で継続して活動していた者 ○入学後３年間、部活動を継続し、中心となって活動する強い意志とリーダー性のある者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都ベスト８ ○関東大会出場
	バレーボール	女・３	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の技術及び基礎的運動能力に優れ、中学校の部活動又はクラブチーム等で継続して活動していた者 ○入学後３年間、部活動を継続し、中心となって活動する強い意志とリーダー性のある者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都ベスト８ ○都立大会優勝
東村山西	空手道	男女・３	以下の全てに当てはまる者 ○卒業まで空手を継続する意思が明確である者 ○ボランティア精神をもち、積極的に社会に役立とうとする者 ○組手・形ともに積極的に学ぼうとする者	－	○	450	集団200	－	250	－		○関東大会出場
	硬式野球	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で野球部又はクラブチーム等で３年間継続して所属し、積極的に活動した者 ○入学後、野球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動する意志がある者 ○学校生活のルール・規律を守り、学業と両立することができる者									○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８以上 ○東京都春季大会ベスト１６以上 （シード権獲得） ○東京都秋季大会ベスト１６以上
	サッカー	男・２	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でサッカー部又はクラブチーム等に３年間所属し、継続して積極的に活動した者 ○本校入学後、サッカー部の活動に積極的に取り組み、卒業まで継続して活動する明確な意思がある者 ○校則等の学校生活の規律を守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都高等学校総合体育大会 一次トーナメント進出 ○全国高校サッカー選手権大会 東京大会２次予選進出 ○地区新人選手権ベスト８

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の評価 観点別学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
福生	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で野球部又はクラブチーム（硬式・軟式）に所属し、活躍した者 ○入学後は本校の野球部に所属し、３年間活動する意志のある者 ○本校入学後、部活動並びに学校生活においてリーダーシップを発揮し、学業と部活動の両立ができる者	－	○	500	個人200	－	300	－		○全国高等学校野球選手権　西東京大会ベスト８以上 ○東京都秋季本大会ベスト１６以上 ○東京都春季本大会ベスト１６以上（シード校）
	サッカー	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でサッカー部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校入学後、サッカー部で３年間継続して活動し、中心選手として活躍する意志がある者 ○本校入学後、部活動並びに学校生活においてリーダーシップを発揮し、学業と部活動の両立ができる者									○東京都ベスト１６以上
	バスケットボール	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校男子バスケットボール部の活動方針を十分理解した上、入学後は男子バスケットボール部に所属し、３年間活動する意思がある者									○東京都ベスト３２以上
	美術	男女・1	以下の全てに当てはまる者 ○美術に興味・関心を持ち、中学校において部活動（美術部以外も可）や生徒会活動などで中心となって活躍した者 ○入学後は美術部に所属し、積極的に３年間継続して活動するとともに、本校の「巨大貼り絵」プロジェクトの中心となって行動する意志のある者 ○本校入学後、部活動並びに学校生活においてリーダーシップを発揮し、学業と部活動の両立ができる者								面接の一部で「自己ＰＲ」を行う。	○美術系上級学校（大学・短大・専門学校）進学希望者の現役合格 ○校外展（東京都高等学校文化連盟美術・工芸部門中央展や福生市プチギャラリー展）への出展 ○共同制作（巨大貼り絵）を通して地域交流・ボランティア活動
	陸上競技（中長距離）	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で陸上競技部又はクラブチームに所属し、中・長距離種目で活躍した者 ○本校陸上競技部の活動方針を十分に理解した上、入学後は陸上競技部に所属し３年間活動する意志がある者 ○本校入学後、部活動並びに学校生活においてリーダーシップを発揮し、学業と部活動の両立ができる者									○東京都高校総体関東大会出場 ○関東高校新人陸上選手権大会出場 ○東京都高校駅伝競走大会（男女共に３位以内入賞）メダル獲得
狛江	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の活動を中学校又は地域のクラブチームにおいて３年間継続して積極的に行った者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間野球部に所属し、中心選手として活動を継続する意思の強い者 ○入学後、学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても学年・クラスの中でリーダーシップを取れる者	－	○	600	集団200	－	400	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会又は春季・秋季東京都高等学校野球大会ベスト８
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○当該種目の活動を中学校又は地域のクラブチームにおいて３年間継続して積極的に行った者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間サッカー部に所属し、中心選手として活動を継続する意思の強い者 ○入学後、学習と部活動を両立させるのみでなく、学校行事等においても学年・クラスの中でリーダーシップを取れる者									○全国高校サッカー選手権大会東京都大会ベスト４進出 ○高円宮杯ＪＦＡＵ－１８サッカーリーグ東京２部昇格

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
東大和	硬式テニス	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でテニス部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者				個人200					○関東大会出場 ○東京都大会ベスト４以上 ○都立大会優勝
	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者				集団200					○全国高等学校野球選手権西東京大会ベスト８以上 ○東京都秋季大会ベスト８以上
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○東京都大会ベスト８以上
		女・4	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○全国大会出場 ○関東大会出場 ○東京都大会優勝
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者				個人200					○東京都大会ベスト８以上 ○関東大会出場
		女・1	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○東京都大会ベスト８以上 ○関東大会出場
	バレーボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバレーボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○東京都大会ベスト１６以上 ○関東大会出場 ○都立高校大会優勝
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でバレーボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○東京都大会ベスト１６以上 ○関東大会出場 ○都立高校大会優勝
	ハンドボール	男女・3	以下のいずれかに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校でハンドボール部またはクラブチームに所属し活躍し、本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ、学業と両立することができる者 ○本校のハンドボール部に入部し３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者									○関東大会出場
	陸上競技	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で陸上競技部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することができる者				集団200					○関東大会出場
				－	○	450		－	250	－		

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
東大和南	硬式野球	男・3	以下のいずれかに当てはまる者 ○中学校で野球部又はクラブチーム等で継続的に活動した者 ○チームの中心選手として活躍した者又は運動能力の優れた者 ○実績として都大会レベル以上の出場がある者 ○入学後は、本校部活動を３年間継続し、学業と両立させる者	－	○	500	集団200	－	200	－		○西東京大会ベスト４ ○都大会ベスト４
	サッカー	男・6	○サッカーの技術・能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後も本校のサッカー部に３年間所属して熱心に活動し、学業と両立させる者									○高体連公式戦都大会ベスト８ ○全国高校サッカー選手権大会出場 ○高円宮杯ＪＦＡ Ｕ－１８ サッカーリーグ戦昇格
	水泳	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で水泳部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○都大会及び同等の大会に出場し活躍する泳力をもち、運動能力の優れた者 ○入学後は、本校部活動を３年間継続し、学業と両立させる者									○東京都高等学校水泳競技選手権大会上位８位 ○関東大会出場 ○インターハイ出場
	バスケットボール	男・6	以下のいずれかに当てはまる者 ○中学校でバスケットボール部又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○入学後は、本校部活動を３年間継続し、学業と両立させる者									○東京都ベスト８ ○関東大会出場
		女・2	以下のいずれかに当てはまる者 ○中学校で継続的に活動した者 ○都大会レベル以上の優れた運動技能を有する者 ○入学後は、本校部活動を３年間継続し、学業と両立させる者									○東京都ベスト８ ○関東大会出場
	陸上競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で陸上競技部又はクラブチーム等に所属し、活躍した者 ○入学後は、本校部活動を３年間継続し、学業と両立させる者									○都総体、都新人入賞 ○関東大会出場及び入賞 ○全国高校総体（インターハイ）出場及び入賞
清瀬	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校時代に部活動やクラブチーム等で継続的に活動し、大会などで活躍した者 ○入学後本校硬式野球部に所属し、３年間活動を継続して学業と両立する意志のある者	－	○	500	集団200	－	300	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８ ○秋季大会ブロック代表本大会ベスト１６ ○春季大会本大会ベスト１６
	ソフトテニス	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○都大会に出場と同等の実力を有する者 ○入学後も本校ソフトテニス部に所属し、３年間活動を継続して学業と両立する意志のある者									○広域大会入賞 ○東京都大会優勝 ○全国高校総体出場 ○関東大会出場
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○都大会に出場と同等の実力を有する者 ○入学後も本校ソフトテニス部に所属し、３年間活動を継続して学業と両立する意志のある者									○広域大会入賞 ○東京都大会優勝 ○全国高校総体出場 ○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
久留米西	剣道	男女・２	以下の全てに当てはまる者 ○剣道の技術・能力に優れ、中学校で剣道部又は道場に所属して活躍し、剣道の段位を取得している者 ○入学後、剣道部に所属して、３年間継続して意欲的に活動する意志のある者 ○本校の指導方針を理解し、学校生活のルールを守り、学業と部活動の両立ができる者	－	○	300	個人300	－	400	－		○東京都高体連剣道大会ベスト８ ○関東大会出場
	硬式野球	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○中学校野球部または地域のクラブチームに所属し、３年間継続して積極的に活動した者 ○入学後硬式野球部の活動に意欲的に取り組み、３年間継続できる者 ○学校生活のルールを守り、学業と部活動を両立することができる者									○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８以上 ○東京都秋季大会　本大会出場 ○東京都春季大会　ベスト１６
武蔵村山	硬式野球	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチーム（軟式、硬式を問わず）に３年間所属し、活躍した者 ○入学後も３年間硬式野球部に所属し、学業面でも十分に成業が見込まれる者	－	○	300	個人200	－	200	－		○東京都高等学校野球秋季大会ブロック優勝、本大会出場 ○東京都高等学校野球春季大会本大会出場 ○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト８
	サッカー	男・４	以下の全てに当てはまる者 ○中学校のサッカー部又はクラブチームで継続して活動し、優秀な技能をもつ者 ○本校のサッカー部に所属し、３年間活動し、学業においても成業が見込まれる者									○全国高校総体東京都大会ベスト３２以上 ○全国高等学校サッカー選手権大会東京大会ベスト３２以上 ○第８地区新人選手権大会優勝
	バスケットボール	男・２	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・技能に優れた者 ○中学校で３年間男子バスケットボール部又はクラブチームに所属し、積極的に活動した者 ○入学後も３年間男子バスケットボール部に所属し、意欲的に活動を行うとともに、学業面においても十分に成業が見込まれる者									○東京都ベスト３２ ○新人戦本大会出場 ○各学年部員数１０名以上
永山	硬式野球	男・２	○野球の技術・能力に優れ、中学校３年間、部活動又はクラブチーム（軟式、硬式を問わず）に所属し、活躍した者 ○入学後は硬式野球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者	－	○	200	集団400	－	400	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト１６
	ソフトボール	女・２	○ソフトボールの技術・能力に優れ、中学校３年間、部活動又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○入学後はソフトボール部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○東京都ベスト８
	バレーボール	男・２	○バレーボールの技術・能力に優れ、中学校３年間、部活動又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○入学後はバレーボール部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○東京都ベスト１６
		女・２	○バレーボールの技術・能力に優れ、中学校３年間、部活動又はクラブチームに所属し、活躍した者 ○入学後はバレーボール部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○東京都ベスト１６
羽村	硬式野球	男・４	○野球で、中学校での活動又はクラブチーム等にて継続して取り組んでいた者 ○スポーツマンとしての基本的な知識・態度が身に付いており、運動能力に優れている者 ○入学後は、本校の指導方針を理解して守り、硬式野球部に所属して３年間活動し、学習及び学校行事などにも積極的に取り組む者	－	○	500	個人250	－	250	－		○全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト１６

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の評価 観点別学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
田無	硬式テニス	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○テニスの技能・能力に優れ、中学校でテニス部又はクラブチームで活躍し、運動能力に優れている者 ○本校の部活動でも３年間継続し、学校生活を充実させ学業と両立することのできる者	－	○	500	個人200	－	300	－		○関東大会出場 ○東京都大会個人ベスト１６以上 ○都立大会ベスト４以上
	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○野球における実技能力に優れ、かつ活動意欲・向上心のある者 ○本校での部活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者									○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８ ○秋季大会ブロック代表 本大会ベスト８ ○春季大会本大会ベスト８
	柔道	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、柔道について顕著に活躍した者 ○入学後は柔道部に所属し、３年間活動できる者 ○本校において学業と部活動を両立することができる者									○個人戦　都大会ベスト１６以上 ○団体戦　都大会ベスト８以上
	バレーボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○バレーボールにおける実技能力に優れ、かつ活動意欲・向上心のある者 ○入学後はバレーボール部に所属し、３年間活動する意志のある者 ○本校において学業と部活動の両立をすることができる者									○東京都ベスト１６ ○関東大会出場
	陸上競技	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○本校の陸上競技部で３年間活動する意欲があり、学業と部活動の両立ができる者 ○陸上の技能・能力に優れ、中学校で陸上部又はクラブチームで活躍し、運動能力に優れている者									○都大会複数入賞 ○関東大会出場 ○全国大会出場
	美術	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○美術に興味・関心を持ち、活動意欲・向上心のある者 ○入学後は美術部に所属して３年間活動する意志があり、共同制作や校外で展覧会等、本校の美術を通しての地域貢献に取り組む者 ○本校において学業と部活動を両立することができる者									○美術系上級学校（大学・専門学校）進学希望者の現役合格 ○校外展（東京都高等学校文化連盟美術・工芸部門中央展）への出展 ○共同制作（巨大貼り絵）を通しての地域貢献

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評学価習点	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
保谷	硬式野球	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○野球技術・運動能力・人間性に優れ、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者 ○部活動内はもちろん、学校生活の中においてもリーダーとなる資質を有する者				集団200					○春季大会、秋季大会ベスト１６以上 ○選手権大会西東京ベスト８以上
	サッカー	男・4	以下の全てに当てはまる者 ○サッカーの技術・運動能力に優れ、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○総体及び選手権大会東京都ベスト８以上 ○Ｔ４リーグ昇格
	ソフトボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○ソフトボール技術・運動能力に優れ、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者				個人200					○全国高校総体出場
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボール技術・運動能力に優れ、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者	―	○	500		―	300	―		○東京都ベスト８以上
	バスケットボール	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボール技術・運動能力に優れ、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○東京都ベスト８以上
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○春季大会、新人大会ベスト１６以上
	ハンドボール	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○ハンドボール技術・運動能力に優れ、中学校や小学校でハンドボール部またはクラブチームに所属し、入学後３年間、部活動を継続する意志の強い者 ○学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者									○関東大会出場
深川（外国語コース）	剣道	男女・1	○学業と部活動を両立するとともに、学校生活全般でリーダーとして力を発揮しようとする意志があり、また、他の生徒の模範となる者 ○入学後も剣道部に所属し、３年間活動を継続できる者 ○都大会にレギュラーとして出場又は、それと同等の技能を有する者	―	○	450	個人150	―	300	―		○全国高校総体出場 ○全国選抜大会出場 ○関東大会出場 ○都大会優勝
	サッカー	男・1	○学業と部活動を両立するとともに、学校生活全般でリーダーとして力を発揮しようとする意志があり、また、他の生徒の模範となる者 ○東京都大会レベルの技能を有し、入学後も本校のサッカー部にて３年間活動を継続できる者									○各種大会東京都ベスト８

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
東村山	バドミントン	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で当該部活動又は地域のクラブチームに３年間継続して所属し、中心的な役割を果たし、活躍した者 ○３年間バドミントン部に所属し、積極的に活動する意欲のある者	○	－	600	個人600	－	200	－		○東京都ベスト４ ○関東大会出場
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・運動能力に優れ、入学後３年間男子バスケットボール部に所属し、積極的に活動する意志の強い者 ○本校の指導方針を理解し、規律を守り、学業・行事・部活動等学校生活全般において、主体的・積極的に取り組む意欲がある者									○新人戦本大会出場 ○東京都ベスト３２
墨田川	剣道	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中体連もしくは道場等において市区町村レベルの大会に出場、または同等の技量をもち技能優秀なる者 ○入学後も本校の剣道部に所属し、「文武不岐」の精神にのっとり３年間活動し、学校生活全般でリーダーとして力を発揮しようとする意志のある者	－	○	200	集団50	－	150	－		○東京都大会ベスト８以上 ○全国・関東大会出場
	サッカー	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○中学校のサッカー部やクラブチームで活躍し、学習面でもまじめに取り組み、基本的な生活習慣が確立している者 ○入学後も本校のサッカー部に所属し、「文武不岐」の精神にのっとり、３年間、学校のリーダーとして活動する意志のある者				個人50					○都大会年間２回出場 ○都大会２回戦突破 ○都大会ベスト８
	柔道	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○初段又は同等の技量をもち中学校又は地域や社会における団体で中心選手として活躍し、学習面でも意欲的に取り組んできた者 ○入学後も３年間、本校の柔道部に所属し、「文武不岐」の精神にのっとり、本校生徒の模範となる学校生活を送る強い意志のある者									○都大会ベスト１６ ○国公立大会優勝
	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○入学後もバレーボール部に所属し、「文武不岐」の精神にのっとり、３年間意欲的に活動を継続する強い意志のある者 ○中学校のバレーボール部又はクラブチーム等で活躍し、勉学に対しても意欲的に取り組み、部活動と勉学を両立させる生活習慣が確立している者									○東京都高体連大会ベスト１６ ○東京都公立校大会ベスト８
美原	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でサッカー部に３年間継続して所属又はクラブチーム等に所属し、中心的な役割を果たした者 ○入学後、サッカー部に所属し３年間活動する強い意志がある者	－	○	300	個人100	－	300	－		○全国高校総体・全国サッカー選手権東京大会ベスト８ ○東京都サッカーリーグ（Ｔリーグ）昇格
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でバスケットボール部に３年間継続して所属又はクラブチーム等に所属し、中心的な役割を果たした者 ○入学後、バスケットボール部に所属し３年間活動する強い意志がある者									○新人戦ベスト１６以上 ○関東大会東京都予選ベスト８ ○関東大会出場 ○全国大会東京都予選ベスト８
深沢	バレーボール	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○バレーボールの技術・能力に優れ、中学校３年間バレーボール部又はクラブチーム等に所属し活躍した者 ○入学後は本校のバレーボール部に所属し活動に積極的に取り組み、３年間継続できる者	－	○	400	個人300	－	300	－		○関東大会出場 （春季大会１２位以上）

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の観点別学習評価	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
飛鳥	英語	男女・３	以下の全てに当てはまる者 ○調査書の英語の観点別評価の全ての観点が「A」である者 ○実用英語技能検定２級以上相当の能力を有する者 ○将来、英語を活用した職業に就く気持ちを強くもち、本校の指定した英語の科目を履修することにより国内外の大学への進学を目指す者 ○ディベート、スピーチコンテスト、英語論作文等の各種大会出場を目指す者 ○本校の指導方針に従い学校生活を送ることができる者	－	○	300	個人200	作文200	300	－		○四年制大学への進学 ○実用英語技能検定における上位級取得
	サッカー	女・５	以下の全てに当てはまる者 ○本校の指導方針に従い、部活動と学業を両立することができる者 ○入学後もサッカー部に所属して３年間活動する意志のある者 ○優れた技能と高い運動能力、リーダーシップを有する者 （ゴールキーパーを希望する者を含む。）			200			400			○東京都の大会２位以内 （関東大会出場の常連校） ○関東大会３位以内（全国大会出場） ○全国大会優勝
	バスケットボール	女・４	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の３年間、バスケットボール部もしくはバスケットボールのクラブチーム等に所属し、各大会で中心的な役割を果たして活躍した者 ○入学後もバスケットボール部に所属して、３年間活動する意志のある者 ○本校の指導方針に従い学校生活を送ることのできる者									○関東高等学校女子バスケットボール大会東京都予選ベスト８以上 （関東大会出場）
		男・２	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボールの技術・運動能力に優れ、中学時代の所属するチームでレギュラーとして活躍し、出場又はそれと同等の能力のある者などチームで活躍した者 ○本校入学後、男子バスケットボール部員として３年間活動し、リーダーシップを発揮しようと決意のある者 ○文武両道の両立を実践するため、学業において成果を出すことができ、学校行事等にも率先して取り組める者									○関東大会出場（東京都ベスト８） ○全国高校総体予選東京都ベスト８ ○新人戦支部大会ベスト８以上 ○新人戦本大会出場
板橋有徳	書道	男女・３	以下の全てに当てはまる者 ○本校を強く志望し、入学後は書道部に所属し、３年間継続して活動する意志のある者 ○本校における学業と部活動の両立ができる者 ○有段者又はそれに準ずる者	－	○	400	個人200	－	400	－		○全国大会入賞３大会以上
	ラグビー	男・３	以下の全てに当てはまる者 ○ラグビーに対して興味や関心があり、本校ラグビー部に入りたいという強い意欲・高い志がある者 ○本校における学業と部活動の両立ができる者 ○入学後は本校ラグビー部に所属して３年間継続して活動する強い意志のある者			300	個人400		300			○全国大会東京都予選ベスト８進出 ○全国７人制ラグビー大会東京都予選決勝トーナメント進出
大泉桜	美術	男女・２０	○デザイン・美術への関心が高く、入学後は美術の授業を選択し、その分野への進学を考えている者	－	○	400	個人200	－	400	－	面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。詳細はP212を参照すること	○美術系上級学校（大学、短大、有名専門学校）への進学を希望している者の現役合格 ○校外における卒業制作展に出展、高等学校文化連盟中央展や地域の展覧会に出展 ○ワークショップ等でボランティア活動に参加

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
上水	剣道	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○剣道二段と同等の優秀な技能をもつ者 ○入学後も部活動に所属し、3年間活動する意欲のある者 ○部活動と学業の両立ができる者	－	○	360	個人240	－	160	－	面接の一部に2分間の「自己PRタイム」を設ける。	○剣道三段の取得 ○関東剣道大会出場 ○東京都剣道大会ベスト8以上
	硬式野球	男・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で野球部又はクラブチーム等で継続して活動した者 ○入学後も硬式野球部に所属し、3年間活動する意欲のある者 ○部活動と学業の両立ができる者									○全国高校野球選手権大会西東京大会ベスト16 ○春季東京都高校野球大会本大会出場 ○秋季東京都高校野球大会本大会出場
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校バスケットボール部又はクラブチーム等で継続して活動した者 ○所属チームでレギュラーとして活躍した者 ○入学後も部活動に所属し、3年間活動する意欲のある者 ○部活動と学業の両立ができる者									○東京都ベスト16以上 ○支部を代表する選手を輩出
		女・3	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校バスケットボール部又はクラブチーム等で継続して活動した者 ○所属チームでレギュラーとして活躍した者 ○入学後も部活動に所属し、3年間活動する意欲のある者 ○部活動と学業の両立ができる者									○東京都ベスト8以上 ○関東高等学校女子バスケットボール大会出場
	陸上競技（中長距離）	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力に優れ、中学校で陸上部又はクラブチーム等で継続して活動した者 ○入学後も部活動に所属し、3年間活動する意欲のある者 ○部活動と学業の両立ができる者									○全国大会出場 ○関東高校駅伝出場
墨田工科	ものづくり	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○ものづくり分野に対して強い興味・関心があり、入学後も意欲的に取り組むことができる者 ○高校生として資格の取得に向けて積極的に取り組み、社会規範、校則を守ることができる者	－	○	350	個人350	－	300	－		○ジュニアマイスターゴールド ○各ものづくり分野におけるワークショップへの参加・協力 ○工業イベントへの積極的な参加・協力
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力・バスケットボール技術に優れ、入学後3年間部活動に全力で取り組むことができる者 ○高校生として文武両道を実践し社会規範、校則を守ることができる者									○支部大会ベスト8本大会出場 ○関東大会東京都予選ベスト32 ○全国大会東京都予選ベスト32
	硬式野球	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力、野球技術に優れ、入学後3年間部活動に全力で取り組むことができる者 ○高校生として文武両道を実践し社会規範、校則を守ることができる者									○全国高等学校野球選手権東東京大会ベスト8 ○秋季東京都高等学校野球大会ベスト16 ○春季東京都高等学校野球大会ベスト16
	ラグビー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○他競技での運動能力を有しラグビーに強い興味・関心・意欲を有している、又は運動能力・ラグビー技術を有しており、入学後3年間部活動に全力で取り組むことができる者 ○高校生として文武両道を実践し社会規範、校則を守ることができる者									○東京都春季大会ベスト16 ○全国大会東京予選ベスト8
	サッカー	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力、サッカー技術に優れ、入学後3年間部活動に全力で取り組むことができる者 ○高校生として文武両道を実践し社会規範、校則を守ることができる者									○東京都高等学校総合体育大会二次トーナメント出場 ○全国高校サッカー選手権大会東京大会ベスト16 ○新人戦ベスト16

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
総合工科	硬式野球	男・１０	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力・野球の技術に優れ、中学時代に野球部又はクラブチームに所属し中心選手として活躍した者 ○本校への入学を強く希望し、入学後は野球部に所属し、３年間活動を継続するとともに学業と両立する意志のある者	－	○	200	個人400	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８以上 ○秋季東京都高等学校野球大会 一次予選優勝・本大会ベスト１６以上 ○春季東京都高等学校野球大会 ベスト１６以上
杉並工科	硬式野球	男・３	○中学校時代に野球部又は地域クラブチームに３年間所属した者 ○本校入学後は硬式野球部に所属し、本校の指導方針及び部活動方針に従い３年間学業と両立することを決意する者 ○運動能力又は野球の技術に優れ生活態度が良好な者	－	○	100	個人200	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト３２ ○秋季東京都大会本大会出場 ○春季東京都大会本大会出場
	柔道	男女・３	○入学後は柔道部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者 ○柔道に対する意識を高くもち、入学後も一生懸命に取り組むことができる者									○東京都高等学校柔道大会ベスト８ ○関東高等学校柔道大会出場 ○第３支部大会優勝

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
荒川工科	硬式野球	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力、野球の技術に優れ、中学校の野球部や地域のクラブチーム等で熱心に活動した者 ○本校硬式野球部に所属し、3年間部活動を継続するとともに、学業と両立する強い意志のある者	－	○	500	個人350	－	150	－		○全国高等学校野球選手権大会東京大会ベスト16 ○春季東京都高等学校野球大会本大会出場 ○秋季東京都高等学校野球大会ブロック優勝
	バスケットボール	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○バスケットボール経験者であり、バスケットボールに対して強い興味・関心・向上心を持っている者 ○本校バスケットボール部に所属し、3年間部活動を継続するとともに、本校における学業と両立することができる者									○新人戦大会ベスト8 ○関東大会東京都予選ベスト16 ○全国大会東京都予選ベスト16
府中工科	硬式野球	男・7	以下の全てに当てはまる者 ○野球の技術・能力に優れ、中学校・地域などの活動において、継続して積極的に活動した者 ○本校を強く希望し、入学後は野球部に所属して3年間活動する意欲をもつとともに、学業と両立する強い意志のある者	－	○	200	個人400	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会出場 ○秋季東京都高等学校野球大会一次予選優勝・本大会ベスト16以上 ○春季東京都高等学校野球大会ベスト16以上
	卓球	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○卓球の技術・能力に優れ、中学校・地域などの活動において、継続して積極的に活動した者 ○本校を強く希望し、入学後は卓球部に所属して3年間活動する意欲をもつとともに、学業と両立する強い意志のある者									○東京都高等学校体育連盟主催大会 団体戦　ベスト8以上 ダブルス　ベスト8以上 個人戦　ベスト16以上
多摩工科（機械科・電気科・環境化学科）	剣道	男女・5	以下の全てに当てはまる者 ○本校の指導方針及び部活動方針に従い、3年間学業と両立することを決意する者 ○中学校で剣道部又は地域道場等に所属し、剣道と学業を両立させている者 ○剣道初段と同等の技能を有する者	－	○	100	個人200	－	200	－		○関東大会出場
	硬式野球	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○本校の指導方針及び部活動方針に従い、3年間学業と両立することを決意する者 ○中学校時代、野球部又は地域クラブチームに所属し、活躍してきた者 ○運動能力又は野球の技術に優れ生活態度が良好な者									○全国高等学校野球選手権大会出場 ○秋季東京都高等学校野球大会一次予選優勝・本大会ベスト16以上 ○春季東京都高等学校野球大会ベスト16以上
	卓球	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○本校の指導方針及び部活動方針に従い、3年間学業と両立することを決意する者 ○中学校時代、卓球部又はクラブチーム等に所属し、活躍してきた者 ○卓球の技術に優れ生活態度が良好な者									○高体連主催卓球大会団体ベスト16 ○国公立大会団体ベスト4

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
田無工科	硬式野球	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力、野球技術に優れ、入学後３年間野球部の活動に全力で取り組むことができる者 ○本校への入学を強く希望し、学業と部活動を両立する意思のある者 ○高校生として、社会規範、校則を守ることができる者	－	○	200	個人400	－	200	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８ ○秋季東京大会　本大会出場 ○春季東京大会　本大会出場
	柔道	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学３年間、柔道について顕著に活躍した者 ○入学後は柔道部に所属し、３年間活動できる者 ○本校において学業と部活動を両立することができる者									○個人戦　都大会ベスト１６以上 ○団体戦　都大会ベスト１６以上
芝商業	バスケットボール	男女・8	以下の全てに当てはまる者 ○中学校においてバスケットボール部又はクラブチーム等に所属し、活躍した者 ○本校の教育方針を理解し、３年間バスケットボール部に所属し、努力することができる者	－	○	300	個人100	－	200	－		○東京都大会ベスト８
	卓球	男女・5	以下の全てに当てはまる者 ○卓球に関する技能に優れている者 ○入学後３年間卓球部に所属し、継続して活動する強い意志と向上心のある者 ○中学時代に卓球部又はクラブチーム等に所属し、継続的に活動した者 ○本校の学業と部活動を両立することができる生徒									○関東大会出場 ○関東選抜大会出場 ○インターハイ出場 ○全国選抜大会出場 ○全日本選手権大会出場 ○東京都国公立大会優勝
第四商業	硬式野球	男・5	以下の全てに当てはまる者 ○運動能力・野球の技術に優れ、中学校で中心選手として活躍した者 ○本校の入学を強く希望し、入学後は野球部に所属し、３年間活動を継続するとともに、学業と両立する意志のある者	－	○	300	個人300	－	400	－		○全国高等学校野球選手権大会 西東京大会ベスト８以上 ○秋季東京都高等学校野球大会 ブロック優勝・本大会ベスト１６ ○春季東京都高等学校野球大会 ベスト１６
八王子桑志	自転車競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学時代に自転車競技部又はクラブチームに所属し、公式大会の上位入賞と同等の能力・技術・実力等を有する者、あるいは他競技経験者でその競技大会の都大会レベルと同等の能力・技術・実力等を有する者 ○入学後、３年間自転車競技部に所属し、意欲的に活動する意志があり、学校生活のルールを守り、部活動と学業を両立することができる者	－	○	450	個人200	－	250	－		○全国高等学校総合体育大会ベスト８入賞

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
千早	英語	男女・5	以下の全てに当てはまる者 ○実用英語技能検定準２級と同等以上の英語力を有している者 ○本校に入学後、実用英語技能検定２級以上の資格取得や、学校の内外で行われるスピーチコンテストへの参加など、英語関連の活動に積極的に挑戦する意欲のある者 ○本校に入学後、英語の選択科目を履修するなど、英語の授業に積極的に取り組むことのできる者 ○本校に入学後、リスペクトの精神を学び、学校生活で中心的役割を果たし、他者を思いやり社会に貢献することを目指す者	－	○	200	個人100	－	100	－		○スピーチコンテスト等での上位入賞 ○実用英語技能検定２級以上の合格
晴海総合	剣道	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○剣道部の活動を３年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○剣道二段と同等の優秀な技能をもつ者 ○都大会出場相当の実力がある者	－	○	720	個人240	－	250	－		○都大会ベスト１６以上 ○シード権の獲得 ○関東大会への出場
	サッカー	女・3	以下の全てに当てはまる者 ○サッカー部の活動を３年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校でサッカー部又はクラブチームに所属し活躍した者									○関東大会出場 ○全国大会出場
	吹奏楽	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○吹奏楽部の活動を３年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○中学校で２年以上吹奏楽部等に所属し、楽器演奏の技術に優れ、かつ部内のリーダーとして意欲的に活動した者									○東京都高等学校吹奏楽連盟主催コンクールＡ組及びアンサンブルコンテストでの金賞受賞、その上位大会への出場
	美術工芸	男女・2	○美術工芸部の活動をコンクール入賞を目指し３年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者									○東京都高等学校文化連盟主催中央展入賞、東京代表として全国大会出展 ○高校生国際美術展、学展、全日本学生美術展等のコンクール受賞 ○東京藝術大学又は主要５美術大学現役合格

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の評価 観点別学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
つばさ総合	バスケットボール	男女・4	以下のいずれかに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチームにおいて、積極的に活動し、本校入学後も必ず３年間バスケットボール部に所属し、学校生活、学校行事にも真面目に取り組める者 ○公式戦（区・市大会、ブロック大会、都大会等）で活躍できる実力をもつ者	－	○	500	個人100	－	300	－		○（男子）東京都ベスト８ 関東大会出場 ○（女子）東京都ベスト８ 関東大会出場
	美術・デザイン	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○美術（絵画）・デザイン（平面・立体）制作への意欲・関心が極めて高い者 ○本校卒業後、４年制美術大学への進学を希望している者 ○本校入学後、美術・デザイン系列に属し、系統的に美術専門科目を学習する計画の者 ○調査書の美術の評定が良好な者 ○本校入学後、美術部に入部し、活躍できる者 ○中学校において美術部員として１年以上活躍した、又は自主制作などに積極的に取り組んでいた者								個人面接では、中学時に独力で制作した美術作品を持参する。（作品数４点以内。大きさ６５×５０ｃｍ以内。内容は絵画、デザイン、デッサン、立体作品等。立体作品の場合は実物でなく写真を持参する。）	○代表的な４年制美術大学への進学 ○美術部参加の展覧会等への出品
	陸上競技	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校の部活動又はクラブチームにおいて、積極的に活動し、本校入学後も必ず３年間陸上競技部に所属し、学校生活、学校行事にも真面目に取り組める者 ○公式戦（区・市大会、ブロック大会、都大会等）で活躍できる実力をもつ者	－	○	500	集団100	－	300	－		○全国高校総体南関東大会進出 ○全国高校総体出場 ○東京都大会出場 ○国民スポーツ大会出場
世田谷総合	サッカー	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○集団生活において、リーダーシップを発揮できる者 ○中学校で当該部活動を経験している者又は校外クラブチーム等で経験している者で入学後も本校の当該部活動に所属し、３年間活動できる者 ○総合学科の特色を理解し、学業と両立することができる者	－	○	500	個人200	－	300	－	基礎体力や技術・チームワーク・意欲を総合して判断する。	○３大会（総体予選、選手権予選、新人戦）いずれかで東京都ベスト４又は高校リーグ１部リーグ優勝
	美術	男女・3	以下の全てに当てはまる者 ○学校行事等の制作活動に積極的に参加しリーダーシップを発揮できる者 ○美術大学進学を希望する者 ○総合学科の特色を理解し、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者									○東京都高等学校文化連盟主催「中央展」美術・工芸部門入賞 ○美術大学合格者２０名以上

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
杉並総合	サッカー	女・5	以下の全てに当てはまる者 ○集団生活において、リーダーシップを発揮できる者 ○中学校でサッカー部の活動を経験している者又は校外のクラブチーム等で経験している者で、チームの一員として顕著に活躍した者 ○入学後も、本校のサッカー部に所属し、３年間活動する者	－	○	225	個人275	－	500	－	基礎体力や技術・チームワーク・意欲を総合して判断する。	○３大会（総体予選、選手権予選、新人戦）のいずれかで都ベスト４又は東京都高体連リーグへの昇格
	吹奏楽	男女・4	以下の全てに当てはまる者 ○集団生活においてリーダーシップを発揮できる者 ○中学校の吹奏楽部もしくは外部団体の吹奏楽の活動を経験している者で、チームの一員として顕著に活躍した者 ○入学後も、本校の吹奏楽部に所属し、３年間活動する者								技術・チームワーク・意欲を総合して判断する。	○東京都高等学校吹奏楽連盟吹奏楽コンクールＡ組金賞 ○東京都高等学校吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト金賞
	バスケットボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○集団生活において、リーダーシップを発揮できる者 ○中学校でバスケットボール部の活動を経験している者又は校外のクラブチーム等で経験している者で、チームの一員として顕著に活躍した者 ○入学後も、本校のバスケットボール部に所属し、３年間活動する者								基礎体力や技術・チームワーク・意欲を総合して判断する。	○東京都ベスト８ ○関東大会出場
王子総合	美術	男女・2	○本校入学後、美術部に入部し、専門科目（美術）を履修し、コンクール入賞を目指し、部活動と学業の両立ができる者 ○美術、デザイン制作への関心が極めて高く、本校卒業後、４年制美術大学への進学を希望している者	－	○	500	個人200	－	300	－		○中央展への出展１００％ ○国際展への出展１００％
	硬式野球	男・2	○野球の技術・能力に優れ、中学校３年間野球部又はクラブチームに所属して活躍した者 ○入学後は野球部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○全国高等学校野球選手権大会東東京大会においてベスト８以上を目指す
	フェンシング	男女・2	○運動能力に優れ、中学校３年間運動部または外部団体等で活躍した者 ○入学後はフェンシング部の活動に積極的に取り組み、３年間継続して活動できる者									○全国大会個人ベスト８以上入賞 ○全国選抜大会団体ベスト４以上入賞
葛飾総合	バレーボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、部活動又は地域のクラブ等に継続して所属し、活躍した者 ○入学後もバレーボール部に所属し、３年間継続して活動する意欲のある者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者	－	○	500	個人200	－	300	－		○関東大会出場

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評学価習点	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
青梅総合	剣道	男女・6	以下の全てに当てはまる者 ○剣道の技術・能力に優れ、中学校で剣道部又は剣友会等に所属して活躍した者 ○入学後、剣道部において３年間意欲的に活動する意志のある者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の範となれる者	－	○	400	個人200	－	200	－		○都大会８位以上 ○三段の取得
	ソフトボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○小中学生時に学校又は地域のソフトボールクラブ等（少年野球を含む。）に所属して活躍した者 ○入学後、ソフトボール部において３年間意欲的に活動する者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の範となれる者									○東日本大会出場 ○東京都ベスト４以上 ○東京都公立大会優勝
	バスケットボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校時代に学校又は地域のバスケットボールクラブ等に所属して活躍した者 ○入学後、バスケットボール部において３年間意欲的に活動する者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の範となれる者									○東京都ベスト８
	バレーボール	女・4	以下の全てに当てはまる者 ○中学校３年間、バレーボール部又は地域クラブチーム等で活躍した者 ○学業と部活動を両立させながら、学校生活全般で他の生徒の範となれる者									○関東大会出場
町田総合	バドミントン	男・3	○入学後３年間、意欲的に部活動を継続するとともに、学業と両立することができる者 ○都大会、関東大会出場を目指し、高い志を持って部活動に取り組むことができる者	－	○	500	個人100	－	400	－		○関東大会ベスト１６以上 ○東京都大会ベスト４以上
		女・3	○入学後３年間、意欲的に部活動を継続するとともに、学業と両立することができる者 ○都大会、関東大会出場を目指し、高い志を持って部活動に取り組むことができる者									○関東大会ベスト１６以上 ○東京都大会ベスト４以上
	バスケットボール	男・2	○中学校で部活動またはクラブチームに所属し、学校生活・学業においても意欲的に活動した者 ○本校入学後は学業と部活動を両立し、３年間継続して活動する強い意思がある者									○東京都高等学校春季大会兼関東大会東京都予選ベスト８ ○東京都高等学校総合体育大会東京都予選ベスト８ ○新人戦支部大会優勝
		女・2	○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校３年間においてバスケットボール部またはクラブチーム等に所属し、顕著な活躍をした者 ○入学後はバスケットボール部に所属し、その活動に積極的に取り組み、３年間において学業と両立しながら継続して活動できる者									○東京都高等学校体育連盟バスケットボール女子専門部主管大会において東京都ベスト１６ ○西部地区育成センターＵ１６女子選手２名輩出
	陸上競技	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○陸上競技部又はクラブチーム等に所属し、東京都大会レベル以上の実力がある者 ○入学後、本校の指導に従い、３年間陸上競技部に所属し、活動を継続する者 ○入学後、学習と部活動を両立させ、学校生活で他の生徒の模範となり、行事等でもリーダーシップを発揮できる者									○東京都総合体育大会団体入賞 個人種目で関東・全国大会入賞

学校名（学科名等）	内容（種目等）	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
東久留米総合	サッカー	男・２２	以下の全てに当てはまる者 ○学校生活全般に関してリーダーシップを発揮できる者 ○サッカーの能力に優れ、東京都大会上位レベルの実力のある者 ○本校の部活動に参加して、活動を３年間継続するとともに、本校における学業と両立することができる者	－	○	900	個人300	－	600	－		○全国大会１回戦突破
若葉総合	サッカー	女・４	以下の全てに該当する者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校又は地域のサッカークラブ等に所属して活躍した者 ○本校女子サッカー部の活動方針を十分に理解している者 ○上記に加え、入学後、学業と両立するとともに、３年間活動を継続できる者	－	○	500	個人200	－	300	－	面接の一部で「自己ＰＲ」を行う。詳細はP212を参照すること	○東京都ベスト８
	バスケットボール	男・２	以下の全てに該当する者 ○バスケットボールの技術・能力に優れ、中学校のバスケットボール部又は地域のバスケットボールクラブ等に所属して活躍した者 ○本校バスケットボール部の活動方針を十分に理解している者 ○上記に加え、入学後、学業と両立するとともに、３年間活動を真摯に継続できる者								面接の一部で「自己ＰＲ」を行う。詳細はP212を参照すること	○新人戦ベスト３２ ○インターハイ予選ベスト３２ ○関東大会予選ベスト３２
	陸上競技	男女・４	以下の全てに該当する者 ○陸上競技の技術・能力に優れ、中学校の陸上競技部又は地域の陸上競技クラブ等に所属して活躍した者 ○本校陸上競技部の活動方針を十分に理解している者 ○上記に加え、入学後、学業と両立するとともに、３年間情熱をもって活動を継続できる者								面接の一部で「自己ＰＲ」を行う。詳細はP212を参照すること	○新人戦ベスト３２ ○インターハイ予選ベスト３２ ○関東大会予選ベスト３２

別表5-2

令和9年度理数等特別推薦の選抜方法等

○「理数等特別推薦」実施校における実技検査等については、別表６（P217）に掲載しています。

学校名	科名	人数	理数等特別推薦の基準	調査書の活用		満点					備考（選考における留意点）	今後3年間の数値目標等
				状況の別評価点学習	評定	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
立川	創造理数	男女・６	○入学後も意欲的に学習に取り組むことができる。 ○科学分野等に高い興味・関心をもち、研究活動などの創造的な活動に意欲的である。 ○外部の研究発表会などに積極的に参加することができる。	－	○	500	個人50	小論文200	－	口頭試問250		○科学オリンピック、各種発表会、各種学会での発表及び入賞
科学技術	創造理数	男女・８	○入学後も意欲的に学習に取り組むことができる。 ○科学分野等に広く興味・関心をもち、研究活動などの創造的な活動に意欲的である。 ○外部の研究発表会などに積極的に参加することができる。	－	○	500	個人100	小論文200	－	口頭試問200		○科学オリンピック出場 ○各種発表会、各種学会での発表

別表５　付表１　　令和９年度文化・スポーツ等特別推薦実施校における観点別学習状況の評価の活用方法一覧

評価の観点	国語 Ⅰ 知識・技能	国語 Ⅱ 思考・判断・表現	国語 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	社会 Ⅰ 知識・技能	社会 Ⅱ 思考・判断・表現	社会 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	数学 Ⅰ 知識・技能	数学 Ⅱ 思考・判断・表現	数学 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	理科 Ⅰ 知識・技能	理科 Ⅱ 思考・判断・表現	理科 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	音楽 Ⅰ 知識・技能	音楽 Ⅱ 思考・判断・表現	音楽 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	美術 Ⅰ 知識・技能	美術 Ⅱ 思考・判断・表現	美術 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	保健体育 Ⅰ 知識・技能	保健体育 Ⅱ 思考・判断・表現	保健体育 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	技術・家庭 Ⅰ 知識・技能	技術・家庭 Ⅱ 思考・判断・表現	技術・家庭 Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	外国語（英語） Ⅰ 知識・技能	外国語（英語） Ⅱ 思考・判断・表現	外国語（英語） Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
学校名	教科 / 観点	国語 Ⅰ	国語 Ⅱ	国語 Ⅲ	社会 Ⅰ	社会 Ⅱ	社会 Ⅲ	数学 Ⅰ	数学 Ⅱ	数学 Ⅲ	理科 Ⅰ	理科 Ⅱ	理科 Ⅲ	音楽 Ⅰ	音楽 Ⅱ	音楽 Ⅲ	美術 Ⅰ	美術 Ⅱ	美術 Ⅲ	保健体育 Ⅰ	保健体育 Ⅱ	保健体育 Ⅲ	技術・家庭 Ⅰ	技術・家庭 Ⅱ	技術・家庭 Ⅲ	外国語（英語） Ⅰ	外国語（英語） Ⅱ	外国語（英語） Ⅲ	評価の得点の満点	調査書点の満点
東村山	A	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270	600
	B	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

別表５　付表２　　文化・スポーツ等特別推薦の実技検査の内容等一覧

１　実技検査を実施する都立高等学校

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
向丘	剣道	男女	１月２７日（水）	剣道場	１　切り返し ２　基本打突 ３　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・剣道具一式
	バスケットボール	女		体育館	１　シュート ２　ボールハンドリング ３　オフェンス・ディフェンスの攻防		・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可） ・運動着
	バレーボール	女			１　各種対人パス ２　トス　二段トスを含む ３　スパイク ４　レシーブ ５　サーブ ※　アタッカー、セッター、リベロの専門性の高い技術を持った受検者は各検査内容の配点が異なる場合がある。		・バレーボールシューズ （体育館シューズも可） ・運動着 ・防寒着、水筒、タオル
上野	バレーボール	男	１月２７日（水）	体育館	１　パス ２　レシーブ ３　スパイク ４　サーブ ５　ゲーム形式		・運動着 ・体育館シューズ
本所	バスケットボール	男女	１月２７日（水）	グラウンド・体育館	１　５０ｍ走 ２　ハンドリング、ドリブル、シューティング ※　グラウンドの状態が悪い場合は検査内容を変更することがある。	雨天時 １　反復横跳び ２　左記と同じ	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ
	ハンドボール	男		グラウンド （雨天時：体育館）	１　５０ｍ走 ２　ハンドボール投げ ３　パス・キャッチ ４　フェイントシュート ５　ポジションシュート ６　ゴールキーパーは基本的なキーピング ※　グラウンドの状態が悪い場合は検査内容を変更することがある。	雨天時 １　反復横跳び ２　立ち幅跳び ３　左記と同じ ４　左記と同じ ５　左記６と同じ	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	ローイング	男女		グラウンド・体育館	１　５０ｍ走 ２　ローイングフォーム ３　ローイングエルゴメーターによる測定 ※　グラウンドの状態が悪い場合は検査内容を変更することがある。	雨天時 １　反復横跳び ２　左記と同じ ３　左記と同じ	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ
城東	硬式野球	男	１月２７日（水）	グラウンド （雨天時：体育館及びピロティー） ※　晴天でも、グラウンド状態が不良の場合は検査内容を変更することがある。 ※　雨天でも、グラウンド状態が良好の場合はグラウンドで実施することがある。	１　５０ｍ走 ２　キャッチボール ３　ノック ４　ティーバッティング ※　２、３、４はソフトボール（１号球）で実施	雨天時 １　反復横跳び ２　スローイング ３　キャッチング ４　ティーバッティング ※　２、３、４はソフトボール（１号球）で実施	・運動着 ・運動靴（屋外用）スパイク不可 （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館） ※　晴天でも、グラウンド状態が不良の場合は検査内容を変更することがある。 ※　雨天でも、グラウンド状態が良好の場合はグラウンドで実施することがある。	１　５０ｍ走 ２　ボールフィーリング（リフティング、ドリブル） ３　パス＆コントロール ４　ゲーム ※　ゴールキーパーは基本的な技術	雨天時 １　２０ｍ走 ２　ボールフィーリング ３　パス＆コントロール ４　ゲーム	・運動着 ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ・スパイク ・すね当て ・キーパーグローブ（ゴールキーパーのみ）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
城東（続き）	なぎなた	女	1月27日（水）	剣道場	○なぎなた基本動作 1　振り（上下振り） 2　体さばき 3　基本打突（面、すね、小手、胴） 4　左右面　（20秒間連続打突）		・運動着
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ミドルシュート又は3Pシュート 3　1対1、2対2、3対3		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
		女			1　ドリブルシュート 2　ミドルシュート又は3Pシュート 3　1対1、2対2、3対3		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
	バレーボール	女			1　アンダーハンドパス、オーバーハンドパス 2　スパイク 3　サーブ		・運動着 ・バレーボールシューズ（体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド（雨天時：体育館） ※　晴天でも、グラウンド状態が不良の場合は検査内容を変更することがある。 ※　雨天でも、グラウンド状態が良好の場合はグラウンドで実施することがある。	1　50m走 2　立ち五段跳び	雨天時 1　反復横跳び 2　立ち幅跳び	・運動着 ・運動靴（屋外用）スパイク不可（雨天時は体育館シューズ）
東	サッカー	男	1月26日（火）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　リフティング 2　ドリブル 3　パス 4　シュート ゴールキーパーは、 1　キャッチボール 2　セービング 3　キック 4　シュートストップ ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ボールフィーリング 2　パス 3　シュート ゴールキーパーは、 1　キャッチボール 2　セービング 3　シュートストップ	・サッカーのできる服装 ・すね当て ・サッカーのスパイク ・キーパーグローブ（ゴールキーパーのみ） ・ランニングシューズ ・体育館シューズ（雨天時）
深川〔外国語コースは後掲〕	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　切り返し 2　基本技 3　応じ技、返し技、出ばな技 4　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式 ・面マスクまたはフェイスシールド
	サッカー	男		グラウンド（雨天時：体育館等）	1　パス・キック 2　ボールポゼッション 3　シュート 4　50m走 5　ゴールキーパーはゴールキーピング 6　ゲーム ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 左記3、4以外を行う。	・サッカー用具一式（スパイク（運動靴でも可）、サッカーウェア（運動着でも可）、すね当て） ・体育館シューズ又はフットサルシューズ
大崎	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館等）	1　50m走 2　スローイング・遠投 3　ティーバッティング又はロングティーバッティング ※　2、3はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　反復横とび 2　バッティング（シャトルで実施） 3　捕球及びスローイング ※　3はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ジャンプシュート 2　ドリブルシュート 3　1対1、2対2等（人数により変更あり）		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズでも可）
八潮	合唱	男女	1月27日（水）	音楽室	○あらかじめ指定した課題曲Ⅰ（3曲）、課題曲Ⅱ（2曲）の中から、検査当日に学校が指定した1曲ずつ、計2曲を歌う。 ○課題曲は10月以降に発表する。		・なし

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
八潮（続き）	軟式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館）	○運動能力テスト 1　50m走 2　遠投 3　キャッチボール 4　トスバッティング ※　2、3、4は軟式野球ボールM球で実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することもある。	雨天時 1　30m走 2　キャッチボール 3　トスバッティング	・運動着（ユニフォームでも可） ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	和太鼓	男女		音楽室	○和太鼓のたたき方を実演する。		・自分の使用するバチ ・演奏用の運動着（学校制服でも可）
目黒	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時、体育館）	1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　ノック（ソフトボール） 4　ティーバッティング（ソフトボール）	雨天時 1　30m走 2　キャッチボール（ソフトボール） 3　バッティング（シャトル）	・運動着 ・グローブ ・運動靴（スパイク可能） ・体育館シューズ（雨天時）
	バスケットボール	男		グラウンド　及び　体育館	1　50m走 2　ドリブルシュート 3　シューティング 4　1対1 5　2対2　受検者数によって変更	雨天時 1　30m走 2　ドリブルシュート 3　シューティング 4　1対1 5　2対2 受検者数によって変更	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
		女		グラウンド　及び　体育館	1　50m走 2　ドリブルシュート 3　シューティング 4　1対1 5　2対2　受検者数によって変更	雨天時 1　30m走 2　ドリブルシュート 3　シューティング 4　1対1 5　2対2 受検者数によって変更	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
大森	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　50m走 2　キャッチボール 3　遠投 4　ロングティーバッティング ※　2・3・4はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　反復横跳び 2　キャッチボール 3　捕球及び送球 4　ティーバッティング ※　2・3はソフトボール、4はサンドボールで実施	・運動着 ・スパイク ・運動靴（屋外用）（雨天時は体育館シューズ） ・グローブ ※　必ず運動靴とスパイクと体育館シューズを持参すること
	ダンス	男女		剣道場	1　自分で選曲・振付を考えた作品を踊る（30秒～1分程度） 2　提示された振りを10分間で覚えて踊る 3　音楽に合わせて、即興で踊る		・運動着 ・体育館シューズ ・タオル ・飲み物
雪谷	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド（雨天時：体育館・屋内ブルペン） ※天候にかかわらず、グラウンドの状態が不良の場合はテニスコート等で実施する。	1　50m走 2　キャッチボール、スローイング 3　遠投 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には雨天時の検査内容を行う。	雨天時 1　反復横跳び 2　キャッチボール、スローイング 3　ティーバッティング ※　2、3はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	チアリーディング	女		体育館	1　垂直跳び 2　柔軟性（左右開脚・前後開脚等） 3　バランス 4　マット運動（倒立前転・トータッチジャンプ・パイクジャンプ等）		・運動着 ・体育館シューズ（体育館用）
桜町	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時、又はグラウンドコンディションが悪い場合は体育館で実施する。）	1　ベースランニング 2　キャッチボール（遠投） 3　ロングティー（置きティー使用） 4　ノック ※　2、3、4はソフトボールで実施	雨天時等 1　20mシャトルラン（2往復） 2　キャッチボール 3　ティーバッティング 4　ノック ※　2、3、4はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴(スパイク可) ・体育館シューズ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
千歳丘	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　スローイング 3　ノック 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施	雨天時 1　反復横跳び 2　捕球 3　スローイング 4　素振り ※　2、3は硬式テニスボールで実施	・運動着 ・運動靴（屋外用）スパイク不可 （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ ・野球用手袋
	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ドリブル・シュート 3　パス（ショート・ロング） 4　ミニゲーム	雨天時 1　反復横跳び 2　ドリブル 3　パス 4　ミニゲーム	・運動着 ・運動靴（屋外用）スパイク可 ※　雨天時は体育館シューズ（フットサルシューズ可） ・キーパー希望者はグローブ
広尾	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	○次の検査をソフトボール（1号球）で行う。 1　スローイング 2　守備検査 3　打撃検査 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 ○次の検査をソフトボール（1号球）で行う。 1　スローイング 2　守備検査 3　打撃検査 ただし、屋内で行える範囲で実施する。	・運動着（ユニフォーム可） ・運動靴（屋外用）（スパイク不可） ・（雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・グローブ
	バスケットボール	男		体育館	1　各種シュート（ゴール下、3Pシュート等） 2　ゲーム形式（人数に応じて）		・バスケットボールのできる服装 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
		女					
鷺宮	剣道	男女	1月26日（火）	武道場 （雨天時：小体育館）	1　切り返し 2　基本技 3　応じ技 4　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀（3尺7寸） ・剣道具一式 ・フェイスシールド ・面マスク（任意）
	硬式野球	男		グラウンド （グラウンド不良時：武道場又は多目的コート） （雨天時：武道場）	1　30m走 2　キャッチボール 3　トスバッティング 4　ノック 5　ティーバッティング ※　ボールは全てソフトボール2号球を使用 ※　晴天でも、グラウンドコンディション不良の場合には、検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　シャッフルテスト 2　キャッチボール 3　トスバッティング（硬式庭球使用） 4　ティーバッティング（室内用ボール使用）	・運動着 ・運動靴 ・グローブ ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男			1　50m走 2　パス、ドリブル及びシュート 3　ミニゲーム	雨天時 1　シャッフルテスト 2　左に同じ 3　左に同じ	・サッカー用具一式（スパイク、屋外用運動靴、屋内用フットサルシューズ又は体育館シューズ、すね当て、ウェア、パンツ） ※　ボールは本校で用意
	バスケットボール	男		体育館	1　シャトルラン 2　ドリブルシュート 3　ジャンプシュート 4　ゲーム形式		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
		女			1　ドリブル 2　ドリブルシュート 3　ジャンプシュート 4　基本的対人技能		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
武蔵丘	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：大体育館）	1　50m走 2　キャッチボール 3　遠投 4　トスバッティング・ティーバッティング 5　ノック ※　2、3、4、5はソフトボール1号球で行う。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　30m走 2　キャッチボール 3　トスバッティング・ティーバッテイング 4　ノック ※　2、3、4は室内球で行う。	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） ・体育館シューズ ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男			1　50m走 2　トラップ、パス、ドリブル、シュートなど基本的個人技能 3　人数に応じたゲーム ※　ゴールキーパーは、ゴールキーピング。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　30m走 2　左に同じ 3　左に同じ	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） ・体育館シューズ ・すね当て ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること

学校名 (学科名等)	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
杉並	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド テニスコート ハンドボールコート （雨天時） 体育館・武道場	1　50m走 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） 3　ノック（ソフトボールで実施） 4　バッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には、検査内容を変更することもある。	雨天時 1　立ち幅跳び 2　反復横跳び 3　キャッチボール（ソフトボールで実施） 4　バッティング（シャトルで実施）	・運動着 ・運動靴（アップシューズ） ※　スパイクは不可 ・体育館シューズ ※　必ず運動靴（アップシューズ）と体育館シューズの両方を持参すること ・グローブ
	水泳	男女		武道場	1　立ち幅跳び 2　ストリームラインジャンプ（マット） 3　反復横跳び 4　陸上シャドウスウィム		・運動着 ・体育館シューズ
	吹奏楽	男女		音楽室	○管楽器、打楽器、コントラバスによる課題曲と自由曲の個人演奏		・個人演奏で使用する楽器 （打楽器、コントラバスは本校で用意する。ただし、マレットは持参すること。） ・自由曲の楽譜（提出用２部）
豊多摩	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ボールコントロール （キック・トラップ・ドリブル・ヘディング） 3　シュート 4　ミニゲーム（3対3） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　シャトルラン 2　ボールコントロール 3　ミニゲーム	・運動着 ・スパイク ・すねあて（シンガード） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ずスパイクと体育館シューズの両方を持参すること。
	バスケットボール	男		体育館第２アリーナ	1　レイアップシュート 2　ミートシュート 3　1対1 4　2対1 5　3対3 ※　受検者数によって、検査内容を変更する場合がある。		・バスケットボールシューズ ・運動着 ・水分補給用水筒
	バレーボール	女		体育館第２アリーナ	1　基本的なパス（オーバーハンドパス・アンダーハンドパス） 2　サーブ 3　スパイク 4　トス（2段トスを含む） 5　サーブレシーブ 6　垂直飛び ※　受検者数によって、検査内容を変更する場合がある。		・体育館シューズ ・運動着 ・防寒着（必要に応じて） ・サポーター等（必要に応じて）
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　ベースランニング 2　キャッチボール 3　遠投 4　ノック 5　スタンドティーバッティング ※　ソフトボールを用いて行う。	雨天時 1　シャトルラン 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） ○捕球（テニスボールで実施） ○バッティング（プラスチックボールで実施）	・運動着（ユニフォーム） ・運動靴（スパイク可） ・グローブ ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず、運動靴と体育館シューズの両方を持参すること。
	ハンドボール	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　基本的なパス 3　シュート・キーピング 4　ゲーム形式 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合、受検者数によっては検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　シャトルラン 2　基本的なパス 3　シュート・キーピング 4　ゲーム形式	・シューズ ・体育館シューズ ・運動着 ・防寒着（必要に応じて） ・サポーター等（必要に応じて） ・水分補給用水筒

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
豊島	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　基本技術（ドリブル、パス） 2　個人・グループ戦術（認知・判断） 3　ゲーム	雨天時 ○左に同じ	・サッカーができる服装 ・雨天の場合は室内履き ・タオル
	柔道	男女		柔道場	1　礼法 2　基本動作「受け身」等 3　受検生同士の「かかり練習」、「約束練習」、「自由練習」		・柔道ができる服装（柔道着） ・柔道着の中に着るシャツ（女子）
	バスケットボール	男		体育館	1　反復横跳び、ランニングジャンプ 2　基本技術（ドリブル&シュート） （ミドルシュート、3Pシュート等） 3　試合に即したハーフコートオフェンスの動き 4　試合に即したオールコートオフェンスの動き		・運動ができる服装上下 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女			1　スキルテスト（シュート、ドリブル、パス） 2　シューティング 3　スプリントシャトルラン 4　レーンアジリティ 5　試合に即したハーフコートオフェンス・オールコートオフェンスの動き ※　受検者数に応じて変更あり。		・運動ができる服装上下 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
文京	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　ベースランニング 2　キャッチボール・遠投 3　ティーバッティング ※　2、3はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 1　キャッチボール （ソフトボールで実施） 2　折り返しダッシュ 3　ティーバッティング （シャトルで実施）	・運動着 ・グローブ ・運動靴（屋外用）（スパイク可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	○バスケットボール技能テスト 1　ゴール下左右4ｍシュート 2　バックボードパス 3　ジグザグドリブル ○フィットネステスト シャトルラン		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女			○バスケットボール技能テスト 1　ゴール下左右4ｍシュート 2　バックボードパス 3　ジグザグドリブル ○フィットネステスト シャトルラン		
	バレーボール	女		体育館	1　対人パス（アンダーハンドパス、オーバーハンドパス） 2　レシーブ 3　トス 4　スパイク 5　サーブ		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	○１００ｍ走及び１０００ｍ走から１種目選択 ○立ち五段跳び ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 ○立ち幅跳び ○メディシンボール投げ（男子3kg、女子2kg） ○エアロバイクテスト	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
板橋	硬式野球	男	1月27日（水）	校内グラウンド （雨天時：体育館又は剣道場）	1　柔軟体操 2　①投手投球 ②外野ノック ③内野ノック ※　①～③より一つ選択 （ソフトボールで実施） 3　ティーバッティング （ソフトボールで実施） 4　ベースランニング（６０ｍ）	雨天時 2　ネットスロー・壁当てスロー（ソフトボールで実施） 4　切り返しランニング（４０ｍ） 1・3　左記の内容	・運動着（ユニフォームでも可） ・グローブ ・スパイク ・ランニングシューズ ・体育館シューズ（荒天時） ※　必ずスパイク、ランニングシューズ、体育館シューズの全てを持参すること
	バスケットボール	女		体育館	1　ドリブルシュート 2　ミドルシュート又はスリーポイントシュート 3　ゴール下シュート 4　ゲーム形式の攻防		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		校内走路 投てき場 跳躍ピット （雨天時：剣道場及び剣道場前廊下）	1　３０ｍ走 2　シャトルラン５０ｍを６往復タイム測定 3　メディシンボール投げの測定 4　立三段跳距離測定 ※　１～４より一つ選択	雨天時 1　パワースレッドタイム測定 2　シャトルラン２０ｍを１５往復タイム測定 3　立幅跳距離測定 ※　１～３より一つ選択 ※　トレーニング用そりを押してタイム測定する。	・運動着 ・運動靴（屋外用） ※　１を選択する場合はスパイク（屋外用）も可（荒天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴又はスパイクと体育館シューズの両方を持参すること ※　スパイクのピンは全天候型７㎜以下にすること
大山	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　キャッチボール 2　ノック 3　バッティング ※　１、２、３とも、ソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には同じ検査内容を体育館で実施する場合がある。	雨天時 1　キャッチボール（ソフトボールで実施） 2　ノック（テニスボールで実施） 3　バッティング（ショートテニス用スポンジボールで実施）	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・グローブ ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること。

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
高島	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　切り返し 2　基本打突（面、小手、胴、小手面） 3　応じ技（面に対する技・小手に対する技） 4　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　１１０m走 2　キャッチボール、遠投 3　ノック 4　バッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　反復横跳び 2　立ち幅跳び 3　メディシンボール両手前投げ及び後ろ投げ 4　シャトルラン	・ユニフォーム（運動着も可） ・グローブ ・運動靴（屋外用）、スパイク ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館））	1　１５００m走 2　対人パス・キック・ヘディング ゴールキーパーはゴールキーピング 3　ミニゲーム ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　シャトルラン 2　パス・キック 3　ヘディング 4　ミニゲーム	・サッカーウエア（上下、ストッキング） ・スパイクシューズ （運動靴（屋外用）も可） ・体育館シューズ（雨天時） ・すね当て ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　１対１又は２対２（受検者数に応じて人数を増やすことがある。） 4　シャトルラン		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女			1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　１対１又は２対２（受検者数に応じて人数を増やすことがある。） 4　シャトルラン		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バレーボール	女			1　オーバーハンドパス 2　アンダーハンドパス 3　スパイク（セッター希望者以外） 4　サーブ 5　トス（セッター希望者のみ）		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	1　５０m走 2　次のうちから1種目選択 ・１０mバウンディング ・砲丸両手伸身前投げ及び後ろ投げ （男子４kg、女子２．７２kg） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　反復横跳び 2　立ち幅跳び 3　メディシンボール 両手前投げ及び後ろ投げ 4　シャトルラン	・運動着 ・スパイクシューズ （運動靴（屋外用）も可） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ずスパイクシューズ（運動靴）と体育館シューズの両方を持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
石神井	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館又は柔剣道場）	1　短距離走（ターンやステップワークを含む。） 2　パス＆コントロール（対人形式） 3　ゲーム形式(受検者数によって変更あり） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　２０ｍシャトルラン 2　左の２に同じ 3　左の３に同じ	・サッカーウェア上下、ストッキング、スパイクシューズ、すね当て、グローブ（ゴールキーパーのみ）（運動着も可） ・アップシューズ（屋外用）（運動靴（屋外用）も可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	柔道	男女		柔道場	1　受身 2　打ち込み		・柔道着
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　２０ｍシャトルラン		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女		体育館	1　走力テスト 2　ハンドリング・ドリブル 3　シューティング		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バレーボール	女		体育館	○　サーブ、パスなどの基本技術及びポジション別テスト		・運動できる服装 ・体育館シューズ
	ラグビー	男		グラウンド （雨天時：体育館又は柔剣道場）	1　ランニング 2　ラグビー基本技能テスト ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ランニング 2　ラグビー基本技能テスト	・運動着 ・運動靴（屋外用、スパイクシューズ不可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
練馬	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：雨天練習場）	運動能力テスト 1　５０ｍ走 2　ソフトボール投げ 3　キャッチボール 4　トスバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施	雨天時 1　３０ｍ走 2 3　左に同じ 4	・運動着 ・運動靴（屋外用）（雨天時も同様）
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ミドルシュート 3　１対１ 4　２対１		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女					
	バレーボール	女			1　対人パス（アンダーハンドパス、オーバーハンドパス） 2　サーブとサーブカット 3　セッターはトス、アタッカーはスパイク		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
光丘	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　素振り（前進後退正面素振り） 2　基礎打ち（面、出ばな小手、面返し胴） 3　地稽古 4　切り返し		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・剣道具 ・フェイスシールド
	硬式野球	男		グラウンド（雨天時：体育館及び多目的室）	1　５０m走 2　ソフトボール投げ 3　ソフトボールでの実技 4　ソフトボールによるキャッチボール、ノック 5　ティーバッティング ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　シャトルラン 2　左に同じ 3　左に同じ 4　ティーバッティング	・運動着 ・運動靴（スパイク） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・グラブ
	サッカー	男			1　５０m走 2　パス（ショート・ロング） キーパーはパントキックも含む 3　ドリブル 4　シュート　キーパーはセービング 5　ゲーム形式 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　シャトルラン 2　パス（ショート・ミドル） 3　左に同じ 4　リフティング 5　左に同じ ※　キーパーのみキャッチング	・運動着 ・すね当て ・運動靴（スパイク） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・キーパーはキーパーグローブ
	バスケットボール	男		体育館	1　フットワーク 2　ハンドリング 3　ドリブルシュート 4　ジャンプシュート 5　１対１ 6　２対２ 7　３対３等		・運動着 ・体育館シューズ
足立	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館・武道場）	1　ステップワーク 2　ボールコントロール・シュート		・運動着 ・運動靴(屋外用) ・スパイク ・体育館シューズ ※　必ず運動靴、スパイク、体育館シューズの全てを持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブル 2　ショット 3　その他のバスケットボールにおける基本技術		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド（雨天時：体育館・武道場）	1　５０m走 2　専門種目のトライアル（１種目選択） ①立ち五段跳び ②メディシンボール両手前投げ・後ろ投げ ③１０００m走 ※　グラウンドコンディション不良時には検査内容を変更する。（右記参照） 3　その他、陸上競技における基本技術	雨天時 雨天・グラウンドコンディション不良時 1　反復横跳び 2　立ち幅跳び 3　メディシンボール両手前投げ・後ろ投げ 4　シャトルラン	・運動着 ・アップシューズ(運動靴（屋外用）も可) ・スパイク ・体育館シューズ ※　必ずアップシューズ、スパイク、体育館シューズの全てを持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
足立新田	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	○運動能力テスト 1　50m走 2　反復横跳び ○基本技能テスト（ソフトボールで実施） 1　スローイング 2　キャッチング 3　ノック 4　ティーバッティング ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 ○運動能力テスト 反復横跳び ○基本技能テスト 1　スローイング 2　キャッチング （ソフトボールで実施） 3　素振り 4　ティーバッティング （テニスボールで実施）	・運動着 ・運動靴(屋外用) （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ
	相撲	男女		土俵	1　四股30回程度 2　運び足5本程度	天候（寒さ等）により、内容を変更することもある。	・まわし ・タオル ・運動着
	バレーボール	男		体育館	1　パス 2　2段トス 3　スパイク 4　サーブ 5　サーブレシーブ	雨天時 ※　屋外種目との調整のため内容を変更することもある。	・運動着 ・体育館シューズ （バレーボールシューズ可） ・汗ふきタオル
		女			1　パス 2　スパイク 3　サーブ 4　サーブレシーブ	雨天時 ※　屋外種目との調整のため内容を変更することもある。	・運動着 ・体育館シューズ （バレーボールシューズ可） ・汗ふきタオル
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	1　立ち五段跳び 2　60m走又は20mシャトルラン	雨天時 1　立ち五段跳び 2　立ち幅跳び又は20mシャトルラン	・運動着 ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） （全天候用スパイクの使用可）
足立西	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド・体育館 （雨天時：体育館）	1　ノック 2　ロングティーバッティング 3　キャッチボール ※　ソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ティーバッティング 2　キャッチボール 3　捕球及び送球 ※　ソフトボールで実施	・運動着 ・グローブ ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ・野球用スパイク ※　必ず運動靴（屋外用）、体育館シューズ、野球用スパイクを全て持参すること
	吹奏楽	男女		音楽室	○下記の①②どちらか一つを選択する ①管楽器・コントラバス 1　チューニング 2　音階演奏 3　課題曲 ②打楽器 1　チューニング 2　基礎打ち（スネアドラム） 3　課題曲 ※詳細は10月以降ホームページに掲載する。		・個人演奏で使用する楽器 ・課題曲の楽譜（各自で準備）
	バレーボール	女		体育館	○運動能力テスト 1　9m3往復走 2　ブロックジャンプ ○基本技能テスト（いずれも5号球で行う。） 1　スパイク 2　アンダーハンドパス（直上含む） 3　オーバーハンドパス（直上含む） 4　サーブ		・運動着 ・体育館シューズ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
淵江	サッカー	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時又はグラウンド不良時：体育館等）	＜フィールドプレーヤー＞ ○基本技術（キック、パス、トラップ、シュート） ○ゲーム（戦術理解・トランディション） ○ステップワーク ＜ゴールキーパー＞ ○基本技術（キャッチング、セービング、スローイング、ロングキック） ○ゲーム（ポジショニング、コーチング） ○ステップワーク ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 ○体育館またはテニスコートで同様の内容を行う	・運動着 ・アップシューズ ・スパイク ・シンガード ・室内用シューズ（雨天時） ・ゴールキーパー希望者は、キーパーグローブ
葛飾野	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時又はグラウンド不良時：体育館等）	1　50m走 2　キャッチボール（遠投含む） 3　ノック 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 1　立ち幅跳び 2　キャッチボール（ソフトボール） 3　バッティング（シャトルで実施）	・運動着 ・グローブ ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ（屋内用） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男			1　パス 2　シュート 3　スモールサイドゲーム ※　晴天でもグラウンド不良の場合には、検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 1　パス 2　ポゼッションゲーム 3　スモールサイドゲーム	・運動着 ・スパイク ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ（屋内用） ・すね当て ・ゴールキーパーの場合はキーパー用具 ※　必ずスパイクと運動靴と体育館シューズを持参すること
	柔道	男女		柔道場	1　受け身 2　固め技・投げ技の基本動作 3　約束練習・自由練習		・柔道着
南葛飾	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　パス 3　シュート 4　ポゼッショントレーニング 5　ゲーム ※　晴天時でもグラウンド不良の場合には、検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 ○30m走 ○パス ○シュート（フットサルゴール） ○ポゼッショントレーニング ○ミニゲーム	・スパイク ・すね当て ・練習着 ・体育館シューズ（雨天時） ・キーパーはキーパーグローブ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
江戸川	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　キャッチボール（遠投を含む） 2　バッティング 3　ノック ※　1、2、3はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　キャッチボール 2　バットスイング 3　ゴロ捕球 ※　1、3はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・スパイク ・グローブ ・体育館用シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴、スパイク、体育館用シューズを全て持参すること。
	ソフトボール	女			1　50m走 2　キャッチボール、フィールディング、バッティング、ピッチング ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　キャッチボール 2　バットスイング 3　ゴロ捕球（ソフトボールで実施）	・運動着 ・グローブ ・スパイク（運動靴（屋外用）も可） ・体育館用シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館用シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	女		体育館	1　基本技能テスト ドリブル、シュート、パス、フットワークなど 2　対人スキル 1対1、2対1など（受検者数に応じた内容を実施）		・運動着 ・体育館用シューズ
	バレーボール	女			1　パス（レシーブ、トス） 2　サーブレシーブ 3　スパイクレシーブ 4　サーブ 5　スパイク		・運動着 ・体育館用シューズ
	ハンドボール	男		グラウンド（雨天時：体育館）	1　50m走 2　ハンドボール投げ 3　パス、キャッチ 4　フェイントからのシュート 5　ポジションシュート（ゴールキーパーは、基本的なキーピング） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　30mジグザグ走 2　立ち幅跳び 3　反復横跳び 4　パス、キャッチ 5　フェイントからのシュート（ゴールキーパーは、基本的なキーピング）	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館用シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館用シューズの両方を持参すること
葛西南	剣道	男女	1月26日（火）	剣道場	○基本的運動能力に関するもの ○剣道に関するもの 1　切り返し 2　基本技 ・正面打ち（大小） ・小手・面打ち（大小） ・小手・胴打ち（大） 3　立ち合い		・剣道着、袴 ・剣道具一式 ・竹刀 ・面手拭い ・面シールド ・剣道用マスク（任意）

学校名 (学科名等)	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
小岩	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド・体育館・ 武道場 （雨天時:体育館・武道場）	1　50m走 2　キャッチボール 3　ノック 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施 ※　グラウンド不良の場合は雨天時の内容を体育館又は武道場で行う。	雨天時 1　立ち幅跳び 2　キャッチボール 3　ティーバッティング	・運動着 ・体育館シューズ ・グローブ ・運動靴（屋外用、スパイク不可）
	バスケットボール	男		体育館・武道場	1　折り返し走 2　ドリブル・ジャンプシュート（ステップシュート） 3　ツーメン・1対1 4　2対2など（人数により変更あり）		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女					
	バドミントン	男			1　基本ストローク（スマッシュ、ドライブ、クリア、カット、ヘアピン、プッシュ） 2　シングルスゲーム		・運動着 ・ラケット ・バドミントンシューズ （体育館シューズも可）
		女					
篠崎	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	○剣道の基本的技能の検査		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式 ・飛沫飛散防止のためのシールド、面マスクは任意とする。
	硬式野球	男		グラウンド 雨天時：体育館	1　ノック 2　バッティング 3　ベースランニング ※　1、2はソフトボール3号で実施	雨天時 1　バッティング 2　ダッシュ ※　1はソフトボール3号で実施	・運動着（ユニフォーム一式、ジャージ） ・グローブ ・運動靴（屋外用、体育館シューズ） ・スパイク
	陸上競技	男女		グラウンド 雨天時：体育館	1　50m走 2　専門種目のトライアル（1種目選択） ①立ち五段跳び ②メディシンボール両手前投げ・後ろ投げ ③1000m走	雨天時 1　30m走 2　立ち五段跳び 3　20mシャトルラン もしくはメディシンボール投げ	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・スパイクシューズ（雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	和太鼓	男女		視聴覚室	1　1分間テンポ150で8分(はちぶ）の打ち込み 2　課題曲1曲(約1分間）の演奏 ※　課題曲は10月以降にホームページで発表する。 3　太鼓の演奏を含む自己PR（10分以内） ※　使用できる太鼓は、長胴太鼓（1尺5寸）＜平置台、斜め台＞、締太鼓（3丁掛）＜立奏台＞ ※　CD・MD等による伴奏は使用できない。		・演奏しやすい服装。ただし、更衣に時間のかかる衣装は不可 ・バチ ・3で太鼓以外の物（例えば篠笛やチャッパ、チャンチキ等）を使用する場合は持参すること。ただし、1人で手持ちで持ち運べる物に限る。

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
紅葉川	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　27m走 2　キャッチボール 3　ノック 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボール使用 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　27m走 2　キャッチボール 3　ゴロ処理 4　ティーバッティング ※　2、3、4はソフトボール使用	・運動着又はユニフォーム ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男			＜フィールドプレイヤー・ゴールキーパー共通＞ 1　立ち五段跳び 2　30m走 3　パス 4　シュート・シュートブロック ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 ＜フィールドプレイヤー・ゴールキーパー共通＞ 1　立ち五段跳び 2　30m走 3　パス 4　シュート・シュートブロック	・サッカーウエア又は運動着 ・すね当て ・スパイクシューズ （雨天時は体育館シューズ） ・ランニングシューズ ・キーパーグローブ （キーパーのみ） ※　必ずスパイクシューズとランニングシューズと体育館シューズの3点を持参すること
	陸上競技	男女			1　50m走又は1000m走 2　立ち五段跳び ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　立ち幅跳び又は20mシャトルラン 2　立ち五段跳び	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・スパイクシューズ （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
片倉	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　キャッチ・スローイング 2　ノック 3　バッティング ※　ソフトボール使用（1号球使用）	雨天時 1　キャッチ・スローイング 2　ノック 3　バッティング ※　1、2はソフトボールで実施 ※　3は室内用の柔らかいボールで実施	・運動着（ユニフォームでも可） ・グローブ ・運動靴（屋外用） （スパイク不可） （雨天時は体育館シューズ）
	サッカー	男		グラウンド（雨天時：体育館）	1　パス＆コントロール ※　ゴールキーパーはゴールキーピング 2　ボールキープ 3　ドリブル 4　ゲーム形式	雨天時 1　パス＆コントロール 2　ボールキープ 3　ドリブル 4　ゲーム形式	・運動着 ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ・スパイク ・すね当て
	吹奏楽	男女		視聴覚室 音楽室	○任意の管楽器、打楽器（マリンバ、スネアドラム）、コントラバスの演奏 （詳細は、10月以降、本校ホームページに掲載予定）		・演奏楽器
	卓球	男女		トレーニングルーム	1　基礎打ち 2　サーブ・レシーブ 3　フットワーク 4　ゲーム形式		・運動着上下(白色でないもの, 卓球ユニフォーム可) ・体育館シューズ(卓球シューズ可) ・ラケット ・安全ピン4つ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
八王子北	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　キャッチボール 3　遠投 4　フィールディング 5　ティーバッティング （ソフトボールで実施） ※　晴天でもグラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　反復横跳び 2　素振り 3　ティーバッティング （シャトルで実施） 4　キャッチボール フィールディング （ソフトボールで実施）	・運動着 ・グローブ ・ウォーミングアップシューズ （運動靴（屋外用）も可） ・体育館シューズ
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　短距離走 2　ドリブル 3　シュート ※　ゴールキーパーはゴールキーピング 4　一対一 5　ミニゲーム ※　晴天でもグラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　短距離走 2　ドリブル 3　シュート ※　ゴールキーパーはゴールキーピング 4　一対一 5　ミニゲーム	・運動着 ・スパイク ・ウォーミングアップシューズ （運動靴（屋外用）も可） ・すね当て ・体育館シューズ
	吹奏楽	男女		音楽室	管楽器 1　Ｂ　ｄｕｒ（変ロ長調）、Ｅｓ　ｄｕｒ（変ホ長調）、Ｆ　ｄｕｒ（ヘ長調）のロングトーン （テンポ６０で８拍。調性は当日指定） 2　Ｂ　ｄｕｒ（変ロ長調）、Ｅｓ　ｄｕｒ（変ホ長調）、Ｆ　ｄｕｒ（ヘ長調）の音階 （テンポ：四分音符＝９６で八分音符、木管楽器は２オクターブ、金管楽器は１オクターブ。 レガート、スタッカート、マルカートのいずれかで演奏。調性及び奏法は当日指定） 3　任意の自由曲（伴奏はなし） 打楽器 1　小太鼓によるリズム打ち及びロール打ち（テンポ：四分音符＝１２０） 2　マリンバによるＢ　ｄｕｒ（変ロ長調）、Ｅｓ　ｄｕｒ（変ホ長調）、Ｆ　ｄｕｒ（ヘ長調）の音階。（テンポ：四分音符＝９６で八分音符による２オクターブ。調性は当日指定） （管楽器・打楽器とも課題曲は、出願時に楽譜を配布する。）	・演奏楽器 （小太鼓、マリンバは貸し出し可。 スティック及びマレットは持参。）
	バスケットボール	男女		体育館	○レイアップ、バックシュート、ジャンプシュート、３Ｐシュート ○ハーフコート１on１ ○オールコート複数での対人プレー（人数に応じて最大５on５）		・運動できる服装 ・シューズ ・飲み物、タオルなど
富士森	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　ウォーミングアップ 2　50m走 3　ソフトボール投げ 4　キャッチボール（ソフトボールで実施） 5　フィールディング（ソフトボールで実施） 6　ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ウォーミングアップ 2　反復横跳び 3　ハンドボール投げ 4　キャッチボール 5　ティーバッティング （４、５はソフトボールで実施）	・ユニフォーム又はトレーニングウェア ・アップシューズ （運動靴(屋外用)も可） ・グローブ ・体育館シューズ ※　必ずアップシューズと体育館シューズの両方を持参すること ※　必要ならば防寒具(グラウンドコート等)
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　パス・コントロール 3　シュート （ゴールキーパーはゴールキーピング） 4　ゲーム （ゴールキーパーはキーパーのポジションで行う） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　シャトルラン 2　ボールリフティング 3　パス・コントロール 4　ゲーム	・運動着 ・スパイクシューズ ・ランニングシューズ（５０m走） ・体育館シューズ ・すね当て ・キーパーグローブ （ゴールキーパーのみ） ※　必ず上記３種類のシューズを持参すること
	吹奏楽	男女		多目的ホール	○課題曲・自由曲の演奏 （詳細は、１０月以降、本校ホームページにて掲載する。）		・演奏楽器（借用の必要な大型打楽器などは事前に相談のこと） ・楽器演奏に必要なもの ・自由曲の楽譜（２部）
	バスケットボール	女		体育館	1　ウォーミングアップ 2　シャトルラン 3　パス 4　ドリブルシュート 5　ジャンプシュート 6　ハーフコートの攻防他		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
松が谷	剣道	男女	1月26日（火）	剣道場	1　素振り　①正面　②跳躍 2　切り返し 3　基本打ち　①面　②小手・面　③小手・胴 4　応じ技　①面に対する技　②小手に対する技 5　互角稽古		・剣道着・袴（はかま） ・竹刀 ・剣道具一式
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　ソフトボール投げ 2　50m走 3　キャッチボール（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　バスケットボール投げ 2　20m走 3　キャッチボール （ソフトボールで実施）	・運動着 ・運動靴（屋外用） ※　雨天時は体育館シューズを使用するので、判断がつかない場合には、必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男		グラウンド （雨天時・グラウンド不良時：体育館）	1　50m走 2　ロングキック 3　パス＆コントロール 4　ゲーム形式 5　ゴールキーピング（ゴールキーパー希望者）	雨天時 晴天時に準じる。	・運動着 ・運動靴（屋外用） ※　雨天時は体育館シューズを使用するので、判断がつかない場合には、必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・サッカーシューズ（スパイク） ・すね当て ・水（水分補給用） ・ゴールキーパー希望者は、キーパーグローブ
	陸上競技	男女		全天候舗装トラック、グラウンド又はコンクリート製走路（雨天時：体育館）	1　全員共通：50m走 2　種目別（下記の種目から1種目を選択） ・短距離：100m走 ・長距離　男子：1500m走 女子：1000m走 ・ハードル：50mハードル ・跳躍：走高跳・走幅跳から1種目 ・投てき：砲丸投・円盤投・やり投げから1種目 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 ○コントロールテスト （下記の種目から3種目を選択） ・15mダッシュ ・立五段跳び ・メディシンボール投げ ・シャトルラン	・運動着 ・運動靴（屋外用）又はスパイク （スパイクの場合は、全天候舗装トラック用と土用の2種類） ※　雨天時は体育館シューズを使用するので、判断がつかない場合には、上記の靴と体育館シューズの両方を持参すること
府中	バレーボール	女	1月27日（水）	体育館	1　オーバーハンドパス 2　アンダーハンドパス 3　サーブ 4　スパイク 5　トス（2段トスも含む。） 6　サーブレシーブ 7　対人レシーブ ※　アタッカー、セッター、リベロの専門性の高い技術をもった受検者は各検査内容の配点が異なる場合がある。		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可） ・防寒着（必要に応じて） ・エルボー（必要に応じて） ・ニーパッド（必要に応じて）
	ハンドボール	男女			1　パス 2　各種シュート　又は　キーピング 3　攻防（1対1・2対2等　又は　キーピング）		・運動着 ・体育館シューズ ・防寒着（必要に応じて） ・テーピング、両面テープ（使用しない場合は必要ない。）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
府中西	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館、テニスコート）	1　50m走 2　遠投 ・キャッチボール ・トスバッティング ソフトボール1号球で行う。 3　スイング	雨天時 1　ランニングスキル 2　20m走 3　キャッチボール 4　スイング	・運動着（ユニフォーム） ・運動靴（スパイク不可） ・体育館シューズ
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　ランニングスキル 2　ボールフィーリング 3　対人（1対1等） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ランニングスキル 2　ボールフィーリング 3　対人（1対1等）	・サッカーのできる運動着 ・レガース ・運動靴 ・体育館シューズ
	ハンドボール	男女		体育館	1　ランニングスキル ・シャトルラン ・20m走 2　個人スキル ・シュート又はキーピング ・フェイント技術		・運動着（防寒着も持ち込み可） ・体育館シューズ ・タオル
	ラグビー	男		グラウンド （雨天時：武道場）	1　ランニングスキル 2　コンタクトスキル ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ランニングスキル 2　コンタクトスキル	・運動着 ・運動靴 ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・防寒着 ※　ラグビー経験者は、マウスピース、ヘッドキャップ、スパイクを持参すること
府中東	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：武道場）	1　送球検査（ソフトボール使用） 2　スイング検査 3　立ち幅跳び		・運動着 ・グローブ ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・防寒着
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：武道場）	1　ドリブル 2　キック 3　短距離走 4　対人プレー		・運動着 ・すね当て ・サッカーシューズ ・アップシューズ（屋外用） ・体育館シューズ ※　必ずサッカーシューズ、アップシューズ（屋外用）、体育館シューズを全て持参すること ・防寒着
	バスケットボール	女		体育館	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　セットシュート 4　対人プレー		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズでも可） ・防寒着
	バレーボール	女		体育館	1　パス・トス 2　スパイク 3　サーブ 4　レシーブ 5　垂直跳び		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズでも可） ・防寒着
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	1　立幅跳 2　腹筋 3　選択種目(走、障害、跳、投より選択) ※　晴天時でもグラウンド状況不良の場合は、内容を変更する場合がある。		・運動着 ・アップシューズ ・スパイクシューズ ・スローシューズ(投擲選択者のみ) ・体育館シューズ ・防寒着
	ボクシング	男女		グラウンド及び武道場 （雨天時：武道場）	1　反復横跳び 2　立ち幅跳び 3　男子1500m走／女子1000m走 4　50m走 ※　雨天時、3と4は20mシャトルランに変更する。		・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ・防寒着

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
拝島	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　30m走 2　キャッチボール（ソフトボール） 3　バッティング（シャトル）	・運動着 ・グローブ ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
小川	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　ソフトボール投げ 2　50m走 3　ソフトボール打ち（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ウレタンボール打ち（下投げのトス） 2　反復横跳び 3　キャッチボール（ソフトボールで実施）	・運動着 ・運動靴（屋外用）スパイク希望（雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・グローブ（バットは学校で用意） ・防寒着（必要に応じて）
小平西	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （当日の天候にかかわらず、グラウンドの状態によっては、体育館・テニスコート・ハンドボールコート等に変更することがある。）	1　ソフトボール投げ 2　50m走 3　フィールディング（守備） 4　ティーバッティング（打撃） ※　3、4はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20m走 2　ソフトボールによるネットスロー 3　フィールディング（守備） 4　ティーバッティング（打撃） ※　3、4はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（スパイク不可） ・グローブ ・体育館シューズ（体育館使用時用） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	吹奏楽	男女		音楽室	○管楽器 1　ロングトーン 2　スケール…B　dur（変ロ長調） F　dur（ヘ長調） Es　dur（変ホ長調） （1～2オクターブ、テンポ・リズム・ダイナミクス・開始音域は当日楽譜を提示し指定） 3　自由曲（2分程度　完結している曲を選択すること） ○打楽器 1　スネアドラムで基本リズム、ロール 2　マリンバ又はシロフォンでスケール B　dur（変ロ長調） F　dur（ヘ長調）、 Es　dur（変ホ長調） （2オクターブ、テンポ・リズム・ダイナミクスは当日楽譜を提示し指定）		・演奏楽器、自由曲の楽譜（提出用2部） （譜面準備の都合上、演奏楽器・打楽器・大型楽器については事前に問い合わせること）
	ソフトボール	女		グラウンド （当日の天候にかかわらず、グラウンドの状態によっては、体育館・テニスコート・ハンドボールコート等に変更することがある。）	1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　バッティング又はピッチング 4　フィールディング（守備） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20m走 2　ネットスロー、バッティング又はピッチング 3　フィールディング（守備）	・運動着 ・運動靴（屋外用）（アップシューズ） ・体育館シューズ（体育館使用時用） ・グローブ（上記のほか、バット・スパイクも持参可） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	ラグビー	男女		グラウンド （当日の天候にかかわらず、グラウンドの状態によっては、体育館・テニスコート・ハンドボールコート等に変更することがある。）	1　50m走 2　ステップ・パススキル 3　キャッチングスキル ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20m走 2　ステップ・パススキル 3　キャッチングスキル	・運動着 ・運動靴 ・体育館シューズ（体育館使用時用） ・（上記のほか、スパイクも持参可。） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　シャトルラン 4　リングジャンプ（ジャンプ能力の測定）		・運動着（必要に応じて防寒着） ・バスケットボールシューズ（体育館シューズも可）
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館又は柔剣道場）	1　走力テスト 2　基本的な技術テスト 3　ゲーム形式 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　走力テスト 2　基本的な技術テスト 3　ゲーム形式	・サッカーウェア上下 ・ストッキング ・スパイク ・すね当て ・グローブ（キーパーのみ） ・アップシューズ（屋外用） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
小平南	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　フィールディング 4　バッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施 ※　晴天時でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。 ※　使用球は1号球とする。	雨天時 1　反復横跳び 2　ソフトボール投げ 3　フィールディング 4　バッティング ※　2、3はソフトボールで行う。	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク不可） （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　走力 2　キック・ヘディング・ドリブル等の基本技術 3　パス＆コントロール 4　シュート	雨天時 1　走力 2　キック・ヘディング・ドリブル等の基本技術	・サッカーウエア一式、すね当て、スパイク、グローブ（ゴールキーパーのみ） ・アップシューズ （運動靴（屋外用）も可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ボールハンドリング 2　ドリブル 3　パス 4　リバウンド 5　シュート		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バスケットボール	女			1　シュート 2　パス 3　ドリブル 4　攻防（受検者数によって「1on1」～「3on3」）		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
日野	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　シャトルラン（切り返しダッシュ） 2　ソフトボール投げ 3　フィールディング 4　バッティング ※　晴天の場合でも、グラウンド不良の場合には検査会場を変更する可能性がある。 ※　2～4はソフトボール2号球で行う。	雨天時 1　シャトルラン （切り返しダッシュ） 2　キャッチボール 3　フィールディング ※　2と3はソフトボール2号球で行う	・運動着 ・運動靴（屋外用） （スパイクは不可） ・体育館シューズ ・グローブの持参は可
	バスケットボール	男		体育館	1　シャトルラン（クォーターダッシュ） 2　垂直跳び 3　各種シューティング（ドリブルシュート含む） 4　オフェンス・ディフェンスの技能		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バスケットボール	女			1　垂直跳び 2　各種シューティング（ドリブルシュート含む） 3　オフェンス・ディフェンスの技能		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バレーボール	女			1　9m3往復ダッシュ 2　垂直跳び 3　パス・トス・レシーブ 4　スパイク・サーブ		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
東村山西	空手道	男女	1月27日（水）	剣道場 （雨天時：体育館・剣道場）	1　基礎体力テスト 2　空手道の基本動作（突き・蹴り） 3　得意形二つ	雨天時でも同じ	・運動着又は空手道着
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館・剣道場）	1　基礎体力テスト 2　投球・捕球動作 3　ソフトボール投げ 4　ソフトボール打ち 5　ノック（ソフトボールにて実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　30m走 2　投球・捕球動作 3　立ち幅跳び 4　スイング	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・グローブ ・スパイク ・バッティンググローブ
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ボールフィーリング（リフティング、ドリブル） 3　パス＆コントロール 4　シュート ゴールキーパーはゴールキーピング 5　ゲーム形式（受験者数によって変更有） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20m走 2　ボールフィーリング（リフティング、ドリブル） 3　パス＆コントロール 4　シュート ゴールキーパーはゴールキーピング 5　ゲーム形式 （受験者数によって変更有）	・運動着 ・すね当て ・キーパー用具（キーパーのみ） ・運動靴（スパイク） ・体育館シューズ（雨天用） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
福生	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館・武道場）	1　運動能力テスト（塁間走・遠投） 2　守備力テスト（ソフトボールで実施） 3　打撃力テスト（スイングスピード計測・ロングティー） ※　雨天でなくても、グラウンド不良のために検査内容を変更する可能性がある。	雨天時 1　運動能力テスト（短距離走・反復横跳び・上体起こし・立ち幅跳び） 2　守備力テスト（キャッチボール） 3　打撃力テスト（スイングスピード計測）	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ（雨天時） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男		グラウンド （雨天時：体育館・武道場）	1　短距離走、アジリティ 2　リフティング・ドリブル等のボールスキル 3　各種シュート 4　ゲーム形式 ※　雨天でなくても、グラウンド不良のために検査内容を変更する可能性がある。	雨天時 1　短距離走、アジリティ 2　リフティング・ドリブル等のボールスキル 3　各種シュート 4　ゲーム形式	・サッカーウェア ・スパイク ・アップシューズ （運動靴（屋外用）も可） ・体育館シューズ（雨天時） ・すね当て （ゴールキーパーはキーパーグローブ） ※　必ずアップシューズと体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　ゲーム形式（受検者数により1on1～5on5） 4　垂直跳び		・運動着 ・シューズ
	美術	男女		教室	○鉛筆によるデッサン（B3版画用紙を使用） ※　画用紙と画版は本校で用意 ○実技検査は率直な描写力、堅実な写生能力を評価する。 ○個人面接の一部で「自己PR」を実施する。「自己PR」は個人面接のうち2分以内で、自己制作の作品（又はその写し）を持参して、そのPRを行う。		・鉛筆（H～4B程度） ・消しゴム（練り消しゴム可） ・自己PRに必要な作品・資料
	陸上競技（中長距離）	男女		テニスコート （雨天時：体育館・武道場）	1　ウォーミングアップ 2　シャトルラン ※　雨天でなくても、グラウンド不良のために検査内容を変更する可能性がある。	雨天時 1　ウォーミングアップ 2　シャトルラン	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
狛江	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） 3　ノック（ソフトボールで実施） 4　遠投（ソフトボールで実施） 5　ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　30m走 2　投球・捕球 （ソフトボールで実施） 3　バッティング （シャトルで実施）	・運動着（ユニフォームも可） ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ・グローブ ・スパイク ※　必ず運動靴とスパイクと体育館シューズを持参すること
	サッカー	男			1　短距離走（ステップワークを含む） 2　パス＆コントロール（対人形式） 3　ゲーム（受検者数によって変更あり） ※　ゴールキーパーは基本的な技術 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20mシャトルラン 2　パス＆コントロール （対人形式） 3　ゲーム （受検者数によって変更あり）	・運動着 ・運動靴 ・スパイク ・すね当て ※　キーパーグローブ （ゴールキーパーのみ） ※　必ず運動靴とスパイクと体育館シューズを持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
東大和	硬式テニス	女	1月26日（火） 1月27日（水）	テニスコート （砂入り人工芝） グラウンド （雨天：体育館・武道場）	1　サーブ 2　ストローク 3　ボレー＆スマッシュ 4　ゲーム形式 5　ダッシュ走	雨天時 基本技能のテストを実施	・運動着 ・ラケット ・テニスシューズ （雨天時は体育館シューズ）
	硬式野球	男			1　ベースランニング 2　ノック＋スローイング 3　バッティング ※　ソフトボールにて実施	雨天時 体育館で基礎体力・基本技術のテストを実施	・ユニフォーム ・グローブ ・運動靴 ・スパイクシューズ （雨天時は体育館シューズ）
	サッカー	男			1　５０ｍ走 2　ロングキック 3　４対２のボール回し 4　５対５の攻防 5　ゲーム	雨天時 体育館で基礎体力・基本技術のテストを実施	・運動着又はユニフォーム ・運動靴（ウォーミングアップ用） ・スパイク ・すね当て （雨天時は体育館シューズ）
		女			1　５０ｍ走 2　ロングキック 3　シュート （ゴールキーパーは、シュートストップ） 4　ゲーム	雨天時 体育館で基礎体力・基本技術のテストを実施	・運動着又はユニフォーム ・運動靴（ウォーミングアップ用） ・スパイク ・すね当て （雨天時は体育館シューズ）
	バスケットボール	男		体育館・武道場	1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　リバウンドシュート 4　３対３の攻防（受検者数によって変更有り）		・運動着 ・体育館シューズ
		女					
	バレーボール	男			1　オーバーパス 2　アンダーパス 3　対人パス 4　スパイク 5　サーブ		・運動着 ・体育館シューズ
		女					
	ハンドボール	男女		テニスコート （砂入り人工芝） グラウンド （雨天：体育館・武道場）	1　遠投、５０ｍ走 2　パス、シュート 3　１対１、２対２の攻防 4　パスゲーム（受検者数によって変更有り） ※　ゴールキーパーの場合、キーピングの検査も実施する。	雨天時 体育館で基礎体力・基本技術のテストを実施	・運動着 ・シューズ（外用、体育館用）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天：体育館・武道場）	受検者の専門種目による。 ○短距離　スタートダッシュ練習（３０ｍ～５０ｍ程度）、５０ｍのタイム測定、スプリントドリルなどの補助運動 ○ハードル　５台程度（５０～６０ｍ）のハードル練習、３歩、５歩ハードリングなどの補助運動 ○中・長距離　８００ｍ走のタイム測定、６０ｍ程度の快調走 ○投てき　砲丸投、円盤投、やり投など各種目投てき ○跳躍　短～中助走による跳躍（走り高跳び）、バウンディングなどの補助運動 ※　短距離、跳躍、ハードル種目は大会で行うような全力での記録測定は行わない。	雨天時 体育館で基礎体力テストを実施 ※　グラウンドコンディション不良時 ８００ｍ走に関しては校内のロードを使用して行う。	・運動着 ・運動靴 ・スパイクシューズ （雨天時は体育館シューズ） ・中・長距離はロード用シューズ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
東大和南	硬式野球	男	1月26日（火） 1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館又はテニスコート等）	1　50m走 2　キャッチボール 3　遠投 4　ノック 5　ティーバッティング ※　2、3、4、5はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　20m走 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） 3　ティーバッティング（シャトルで実施）	・ユニホーム（運動着） ・帽子 ・運動靴 ・スパイク（雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズとスパイクを持参すること ・グローブ
	サッカー	男			1　パス・コントロール・シュート 2　ゴールキーパーは、キャッチング・ダイビング 3　ゲーム ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　パス・コントロール・シュート 2　ゴールキーパーは、キャッチング・ダイビング 3　ゲーム	・スパイクシューズ（運動靴（屋外用）でも可） ・体育館シューズ ・サッカーのできる服装（ゴールキーパーはダイビングのできる服装を用意する。） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	陸上競技	男女			1　50m走（全員共通、スパイク不使用） 2　種目別（下記の種目から1種目選択、スパイクやスローイングシューズ使用可） ・短距離：200m走 ・中長距離：1000m走 ・ハードル：50mハードル走 ・跳躍：走高跳・走幅跳（短助走跳躍） ・投てき：砲丸投・円盤投・ジャベリックスロー ※　ウォーミングアップは指定の時間内で各自が行う。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 体育館等室内で基礎体力テスト（コントロールテスト）を行う（全員共通） 1　立ち幅跳び 2　シャトルラン 3　メディシンボール投げ 4　上体起こし 5　変形ダッシュ	・ランニングシューズ ・スパイクシューズ（持っている人のみ持参。種目別で使用する場合は短めな土用のピンを用意する） ・体育館シューズ（雨天時用） ・運動着、陸上競技のしやすい服装（各種目ができる服装を用意する） ※　晴天でも必ずランニングシューズと体育館シューズの両方を持参すること
	水泳	男女		体育館	1　長座体前屈 2　立ち幅跳び 3　上体起こし 4　腕立て伏せ 5　シャトルラン 6　シャドウスイム（自由形を含む2種目）		・体育館シューズ ・運動着
	バスケットボール	男女			1　ドリブルシュート 2　ジャンプシュート 3　3対3（受検者数に応じて変更あり） 4　垂直飛び		・体育館シューズ ・バスケットボールのできる服装
清瀬	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　ベースランニング 2　ソフトボール投げ 3　キャッチボール 4　バッティング 5　ノック ※　3、4、5はソフトボールで実施 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　ベースランニング方式走 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） 3　バッティング（シャトルで実施）	・運動着 ・運動靴（屋外用） ※　屋外用と体育館シューズ両方を持参すること ・グローブ
	ソフトテニス	男女		テニスコート （雨天時：体育館）	1　フォアストローク 2　バックストローク 3　ストローク　又は　ボレー・スマッシュ 4　サーブ		・テニスウェア ・テニスシューズ（運動靴（屋外用）も可） ※　屋外用と体育館シューズ両方を持参すること ・ラケット

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
久留米西	剣道	男女	1月26日（火）	剣道場	1　素振り 2　足さばき 3　基本技 4　試合形式		・剣道具一式（剣道着、防具、竹刀等） ・竹刀の長さは三尺七寸又は三尺八寸のものとする。
	硬式野球	男		グラウンド（雨天時：体育館）	1　５０m走 2　ソフトボール投げ 3　キャッチボール・トスバッティング 4　ノック 5　ティーバッティング （3、4、5はソフトボール（１号球）で実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　３０m走 2　キャッチボール 3　ノック （2、3はセーフティボールで実施） 4　バッティング （シャトルで実施）	・運動着（ユニフォーム可） ・グローブ ・運動靴 ・スパイク ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
武蔵村山	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド（雨天時：体育館）	1　５０m走 2　キャッチボール（ソフトボールで実施） 3　ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　２０m走 2　キャッチボール （ソフトボールで実施） 3　バッティング （シャトルで実施）	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	サッカー	男			1　５０m走 2　シュート（ゴールキーパーはゴールキーピング） 3　ゲーム（ゴールキーパーはキーパーのポジションで行う。） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　２０m走 2　左に同じ 3　左に同じ	・運動着 ・運動靴（スパイク） ・体育館シューズ（雨天時） ・すね当て ・ゴールキーパーはキーパーグローブ ※　必ず運動靴（スパイク）と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ドリブルワークからドリブルシュート 2　ゴール下からシュート、ジャンプシュート 3　１対１の攻防 4　ゲーム形式の検査（※受検者数によって変更あり） 5　垂直跳び		・運動着 ・体育館シューズ （バスケットシューズ）
永山	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド（雨天時：体育館および武道場）	1　５０m走 2　キャッチボール・遠投 3　ノック 4　ティーバッティング及びロングティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　反復横とび 2　バッティング（シャトルで実施） 3　捕球及びスローイング ※　3はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（スパイクも可） ・グローブ ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること。
	ソフトボール	女		グラウンド（雨天時：体育館および武道場）	1　５０m走 2　キャッチボール・遠投 3　ノック 4　ティーバッティング及びロングティーバッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　反復横とび 2　バッティング（シャトルで実施） 3　捕球及びスローイング ※　3はソフトボールで実施	・運動着 ・運動靴（スパイクも可） ・グローブ ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること。
	バレーボール	男		体育館	1　オーバーハンドパス 2　アンダーハンドパス 3　対人レシーブ 4　スパイク 5　サーブ		・運動着 ・体育館シューズ （バレー用シューズでも可） ・サポーター（必要であれば）
		女		体育館	1　オーバーハンドパス 2　アンダーハンドパス 3　対人レシーブ 4　スパイク 5　サーブ		・運動着 ・体育館シューズ （バレー用シューズでも可） ・サポーター（必要であれば）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
羽村	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 1　シャトルラン 2　バッティング （シャトルで実施）	・運動着 ・運動靴（スパイクは不可） ・体育館シューズ（雨天時） ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
田無	硬式テニス	男	1月27日（水）	テニスコート （雨天時：体育館）	1　サービス 2　ストローク 3　ボレー・スマッシュ 4　フットワーク 5　ラリー形式	雨天時 1サービス 2ストローク 3ボレー・スマッシュ 4フットワーク	・運動着 ・テニスシューズ （雨天時は体育館シューズ） ・テニスラケット ※　必ずテニスシューズと体育館シューズの両方を持参すること
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：トレーニング室）	1　ウォーミングアップ 2　50m走 3　キャッチボール 4　遠投 5　ノック 6　ティーバッティング ※　3、4、5、6はソフトボールで実施	雨天時 1　ウォーミングアップ 2　30m走 3　キャッチボール 4　ノック 5　シャトルバッティング ※　3、4はソフトボールで実施	・運動着（ユニフォームも可） ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ・グローブ
	柔道	男女		柔道場	1　礼法 2　受け身 3　投げ技・固め技の基本動作 4　かかり練習・約束練習・自由練習		・柔道着
	バレーボール	女		体育館	1　オーバーハンドパス 2　アンダーハンドパス 3　スパイク（セッターの場合はトス） 4　サーブ		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：トレーニング室）	○全員共通 50m走（全天候走路でスパイク可） ○種目別選択 1～3の中から1種目選択 1　1000m走 2　立ち5段跳び 3　砲丸両手伸長前投げ・後ろ投げ （男子4kg、女子2．72kg）	雨天時 1　立ち幅跳び 2　メディシンボール投げ 3　シャトルラン	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	美術	男女		教室	○鉛筆によるデッサン（B3版画用紙を使用） ※　画用紙と画板は本校で用意 ○実技検査は率直な描写力、堅実な写生力を評価する。 ○個人面接の一部で「自己PR」を実施する。「自己PR」は個人面接のうち2分以内で、自己制作の作品（又はその写し）を持参して、そのPRを行う。		・鉛筆（2B～4B程度） ・消しゴム（練り消しゴム可） ・自己PRに必要な作品・資料
保谷	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時又はグラウンド状況不良の場合は他の体育施設）	1　50m走 2　遠投 3　守備 4　バッティング ※　2、3、4はソフトボールで実施	雨天時 1　27m走 2　守備 3　バッティング ※　2、3はソフトボールで実施	・ユニフォーム一式 ・運動靴 ・体育館シューズ ・スパイク ・グローブ
	サッカー	男			1　50m走 2　ロングキック 3　ボールコントロール ※　ゴールキーパーはゴールキーピング 4　ゲーム形式	雨天時 1　27m走 2 3　左に同じ 4	・運動着 ・体育館シューズ ・サッカーシューズ（スパイク） ・トレーニングシューズ ・すね当て
	ソフトボール	女			1　50m走 2　ソフトボール投げ 3　バッティング 4　フィールディング又はピッチング	雨天時 1　18m走 2 3　左に同じ 4	・運動着 ・体育館シューズ ・運動靴（屋外用） ・スパイク ・グローブ ・バット

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
保谷（続き）	バスケットボール	男	1月27日（水）	体育館	1　基本実技テスト（ドリブル、パス、シュート） 2　対人形式テスト（1対1、2対2など人数に応じて）		・運動着 ・体育館シューズ
		女			1　シャトルラン 2　ランニングシュート 3　ジャンプシュート 4　ゲーム形式での攻防(人数に応じて)		・運動着 ・体育館シューズ
	バレーボール	女			1　垂直跳び 2　アンダーハンドパス、オーバーハンドパス 3　各種レシーブ 4　ポジション別（トス・スパイクなど） 5　サーブ		・運動着 ・体育館シューズ
	ハンドボール	男女		グラウンド、球技コート（雨天時又はグラウンド状況不良の場合は他の体育施設）	1　50m走 2　パス、キャッチ 3　シュート（ゴールキーパーはセービング） 4　攻防（1対1・2対2等、ゴールキーパーはセービング）	雨天時 1　27m走 2 3 4　左に同じ	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ
深川（外国語コース）	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　切り返し 2　基本技 3　応じ技、返し技、出ばな技 4　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式 ・面マスクまたはフェイスシールド
	サッカー	男		グラウンド（雨天時：体育館等）	1　パス・キック 2　ボールポゼッション 3　シュート 4　50m走 5　ゴールキーパーはゴールキーピング 6　ゲーム ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 左記3、4以外を行う。	・サッカー用具一式 （スパイク（運動靴でも可）、サッカーウェア（運動着でも可）、すね当て） ・体育館シューズ又はフットサルシューズ
東村山	バドミントン	男女	1月26日（火）	体育館	○基本ストローク （プッシュ、クリアー、スマッシュ、ヘアピン、ドライブ、ドロップ） ○コンビネーションスキル		・運動着 ・運動靴（体育館シューズ） ・バドミントン専用用具一式 （シャトルを除く）
	バスケットボール	男			1　ドリブルワーク 2　シュートドリル　3種 3　攻防（2対2、3対3など） 4　20mシャトルラン		・運動着 ・体育館シューズ （バスケットシューズ）
墨田川	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　切り返し 2　基本打ち 3　技 4　打ち込み 5　試合稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式 ・面に装着するマウスシールド ・面マスク（必要とする者は持参すること）
	サッカー	男		第1グラウンド（雨天時：第2グラウンド又は屋内体育施設）	1　50m走 2　ドリブル 3　キック・シュート 4　ゴール前の攻防 5　ゴールキーパーは、キック・シュートキャッチ	雨天時 1　20m走 2 3 4 5　左に同じ	・ゲームができる服装 ※ゴールキーパーはキーパーができる服装 ・スパイク又はトレーニングシューズ （雨天時はトレーニングシューズ及び体育館シューズ） ・すね当て
	柔道	男女		柔道場	1　礼法　受身 2　固め技（入り方、応じ方） 3　投げ技（打ち込み練習、約束練習）		・柔道着（背中にゼッケン付き） ・女子は、下に白のTシャツを着、髪の長い者は、ゴムで留めること
	バレーボール	女		体育館	1　基本的パス（オーバーハンド、アンダーハンド）とその応用 2　スパイクまたはトス 3　サーブ		・運動着 （バレーボールにふさわしいもの） ・体育館シューズ
美原	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：体育館）	○ボールコントロール（リフティングなど） ○ドリブル ○シュート 受検者がゴールキーパーの場合はゴールキーピング		・運動着（体操着でも可） ・サッカー用シューズ （校庭用、体育館用両方を用意） ・すね当て
	バスケットボール	男		体育館	○シュート（レイアップ、ミドル、3ポイント） ○基礎技能（リバウンド、ダッシュなど） ○1対1		・運動着（体操着でも可） ・バスケットボールシューズ （体育館シューズでも可）

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
深沢	バレーボール	男	１月２６日（火）	体育館	１　オーバーハンドパス ２　アンダーハンドパス ３　サーブ ４　スパイク又はトス		・運動着 ・体育館シューズ ・サポーター等（使用希望者のみ） ・防寒具
飛鳥	英語	男女	１月２６日（火） １月２７日（水）	教室	○英語による問答		・なし
	サッカー	女		グラウンド・フットサルコート（人工芝） （雨天時：トレーニングルーム等）	１　５０ｍ走 ２　リフティング ３　ドリブル ４　パス ５　シュート ６　ゲーム形式（人数に応じて） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 １　２０ｍ往復走 ２３４５６　左に同じ	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・スパイク ・体育館シューズ ・すね当て ・ゴールキーパーはキーパーグローブ ※　必ず運動靴（屋外用）、スパイク、体育館シューズの全てを持参すること
	バスケットボール	男		体育館	１　反復横跳び ２　２０ｍシャトルラン ３　基本技術(ドリブル＆シュート、ミドルシュート、３ポイントシュート等) ４　１対１ ５　２対２ ６　３対３(受検者数に応じて変更あり)		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
		女			１　ハーフラインへのパスからドリブルシュート（左右） ２　ボールを与え、得意なプレーを４プレー ３　３対３でのオールコートでのゲーム		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
板橋有徳	書道	男女	１月２７日（水）	教室	１　漢字（臨書） ２　仮名（臨書） ３　漢字仮名混じり（自運） ※　全て半紙		・大筆 ・小筆 （半紙、墨液、すずり、下敷きは本校で用意する。）
	ラグビー	男		グラウンド （雨天時：体育館）	１　ランニングスキル、コンタクトスキル ２　ラグビーにおける基本技能 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 １　ランニングスキル、コンタクトスキル ２　ラグビーにおける基本技能	・運動着 ・運動靴（屋外用・屋内用） ※　屋外用はスパイク可
大泉桜	美術	男女	１月２６日（火）	教室	○鉛筆によるデッサン（素描）を行う〔検査時間：１時間３０分〕。 ※　画用紙（Ａ３判）と画板は学校で用意する。 ○実技検査は、構図・形・明暗・質感・表現の５観点から、総合的に判断する。		・鉛筆（Ｈ～４Ｂ程度） ・消しゴム（練り消しゴム可） ・上履き
上水	剣道	男女	１月２７日（水）	剣道場	１　切り返し ２　基本動作 ３　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀（３尺７寸） ・剣道具一式 ・マウスシールド
	硬式野球	男		グラウンド （グラウンド不良時：テニスコート） （雨天時：体育館）	○次の検査をソフトボール（１号球）で行う。 １　スローイング ２　守備検査 ３　打撃検査 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 ○次の検査をソフトボール（１号球）で行う。 １　スローイング ２　守備検査 ３　打撃検査 ただし、屋内で行える範囲で実施する	・運動着（ユニフォーム可） ・運動靴（屋外用）（スパイク不可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること ・グローブ
	バスケットボール	男		体育館	１　シュート・パス・ドリブル（３種類の基本） ２　攻防（１対１又は２対２）		・運動着 ・バスケットボールシューズ
		女					
	陸上競技（中長距離）	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	①　５０ｍ走 ②　１０００ｍ走 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 体育館で基礎体力テストを実施する。	・運動着 ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
墨田工科	ものづくり	女	1月27日（水）	普通教室	○中学校時代のものづくり分野（美術・技術家庭等）における活動についてプレゼンテーション及び内容についての質疑応答（１０分程度）		・プレゼンテーションで使用する成果物（作品等）
	バスケットボール	男		体育館	1　ダッシュラン 2　ジグザグドリブル 3　ジャンプシュート及びドリブルジャンプシュート 4　１対１又は２対２		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズでも可） ・タオル
	硬式野球	男		グラウンド（雨天時：体育館）	1　５０ｍ走 2　ソフトボール投げ	雨天時 1　２０ｍシャトルラン 2　立ち三段跳び	・運動着 ・運動靴（屋外用）（雨天時は、体育館シューズ）
	ラグビー	男		柔剣道場	1　反復横跳び 2　立ち幅跳び 3　握力測定		・運動着 ・体育館シューズ
	サッカー	男		グラウンド（雨天時：体育館）	1　５０ｍ走 2　パス（ショート、ロング）＆コントロール 3　ドリブル＆シュート／ゴールキーピング（ゴールキーパー希望者）	雨天時 1　２０ｍシャトルラン ２～３は晴天時と同様	・運動着 ・スパイクシューズ（雨天時は、フットサルシューズもしくは体育館シューズ） ・ゴールキーパーはキーパーグローブ
総合工科	硬式野球	男	1月26日（火）	体育館	1　ハンドボール投げ 2　シャトルラン（１５ｍ×２往復のタイム測定） 3　反復横跳び		・運動着 ・体育館シューズ
杉並工科	硬式野球	男	1月27日（水）	グラウンド（雨天時：トレーニングルーム）	○５０ｍ走 ○キャッチボール（ソフトボールで実施） ○ティーバッティング（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 ○短距離走 ○ティーバッティング ○フィールディング	・ユニフォーム ・スパイクと運動靴 ・グローブ ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	柔道	男女		柔道場	1　受身 2　かかり（打込み）練習 3　投込み練習 4　試合（乱取り練習）		・柔道着

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
荒川工科	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：体育館）	○運動能力テスト 1　30m走 2　ベースランニング ○基本技能テスト（ソフトボールで実施） 1　キャッチングとスローイング 2　ノック 3　ティーバッティング ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　15m往復 2　羽打ち 3　キャッチングとスローイング 4　ノック	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） ・雨天時は体育館シューズ ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　ダッシュラン 2　ジグザグドリブル 3　ジャンプシュート 4　ドリブルジャンプシュート		・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズでも可） ・タオル
府中工科	硬式野球	男	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　50m走 2　スイングスピード測定 3　ノック （ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 1　25m走 2　スイングスピード測定 3　ネットスロー （ソフトボールで実施）	・運動着（ユニホーム不可、中学校で指定のものが望ましい。） ・グローブ ・運動靴（屋外用） ・スパイク（希望者のみ） ・体育館シューズ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	卓球	男女		体育館 （雨天時：剣道場）	1　打ち返し 2　反復横跳び 3　打ち合い		・運動着（ユニホーム不可、中学校で指定のものが望ましい。） ・ラケット ・体育館シューズ
多摩工科（機械科・電気科・環境化学科）	剣道	男女	1月27日（水）	武道場	1　素振り 2　切り返し 3　基本技 4　互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館又はテニスコート等）	1　50m走 2　守備検査 3　打撃検査 ※　ボールは全てソフトボール2号球を使用する。 ※　晴天でも、グラウンド不良の場合は、検査内容及び会場を変更することがある。	雨天時 1　20mシャトルラン 2　打撃検査 3　守備検査 ※　ボールはテニスボール（守備）、バドミントンシャトル（打撃）を使用	・運動着（ユニフォーム可） ・運動靴（屋外用）（スパイク不可） ・グローブ ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	卓球	男女		体育館	1　基礎打ち 2　サーブ・レシーブ 3　フットワーク 4　ゲーム形式		・ラケット ・体育館シューズ（卓球シューズ可） ・運動着（上下・体操着・ユニフォーム・ジャージ・防寒着等）

学校名 (学科名等)	内容（種目等）		実技検査			
			検査日	検査会場	検査内容	持参するもの
田無工科	硬式野球	男	１月２７日（水）	体育館	１　反復横跳び ２　ハンドボール投げ ３　シャトルラン	・運動着 ・体育館シューズ
	柔道	男		柔道場	１　礼法 ２　受け身 ３　投げ技・固め技の基本動作 ４　かかり練習・約束練習・自由練習	・柔道着
芝商業	バスケットボール	男女	１月２７日（水）	体育館	１　各ポジションからの得意なオフェンス５パターン ２　１対１ ３　２対２（または３対３）	・運動着 ・バスケットボールシューズ（体育館シューズ可）
	卓球	男女		武道場	１　次の基本打法を検査する。（Ｆ：フォアハンド　Ｂ：バックハンド） （１）Ｆロング、ドライブ、ツッツキ（カット）、ブロック （２）Ｂロング、ドライブ、ツッツキ（カット）、ブロック （３）下回転ショートサービス、他任意のサービス ２　オールラウンドテストにより全般的な競技能力を検査する。	・ラケット ・卓球シューズ ・卓球ウェア上下 ・防寒用のジャージ上下 ・水筒（水分補給用）
第四商業	硬式野球	男	１月２７日（水）	グラウンド （雨天時：体育館及び武道場）	○５０ｍ走 ○ソフトボールバッティング ○ソフトボールフィールディング ○ベースランニング 雨天時 ○２５ｍ走 ○ソフトボール　バッティング ○ソフトボール　フィールディング ○反復横跳び	・運動着 ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ） ・スパイク ・グローブ ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
八王子桑志	自転車競技	男女	１月２６日（火）	自転車競技部　練習場	○運動能力テスト（トレーニングマシンによる測定） ・脚力の測定 ・ペダリングスキルの測定 ○シャトルラン	・自転車競技ウェア（上下）又は運動着 ・体育館シューズ ※　上記のほか、自転車競技用シューズ（クリート付）及びペダルも持参可
千早	英語	男女	１月２７日（水）	教室	○英語による問答	・なし

学校名 (学科名等)	内容（種目等）		実技検査			
			検査日	検査会場	検査内容	持参するもの
晴海総合	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	1　素振り 2　基本打ち、技の応用 3　地稽古	・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・防具一式 ・フェイスシールド
	サッカー	女		グラウンド （雨天時：体育館）	1　＜インステップキック・インフロントキックによるロング　キックパス＞（３０m程度） 2　＜ヘディング＞１０～２０m程度離れた距離からキック又はスローしたボールをヘディングする。 ゴールキーパーはハイボールキャッチを行う。 3　＜ボールコントロール①＞リフティングドリブル。ゴールキーパーはキーパーとしての基礎技術（正面キャッチ・セービング） 4　＜ボールコントロール②＞キック又はスローされたボールを、胸・もも・足のインサイド等でコントロールする。 5　＜ドリブル＞置かれたコーンの間をジグザグドリブルをする。	・サッカーができる服装 （かなり冷えることが予想されるので、ベンチコート等の防寒着を持参することが望ましい。） ・すね当て ・運動靴（屋外用） （雨天時は体育館シューズ）
	吹奏楽	男女		音楽室	○管楽器 1　スケール 調性：F-dur、B-dur、Es-dur、As-dur、C-durのうちから二つを当日指定する。 四分音符＝１２０程度のテンポで、１オクターブ以上。 2　任意の自由曲（伴奏なし、３分程度） ○打楽器 1　基礎演奏 スネアドラム。シングル・ストロークで四分音符＝１２０程度のテンポで、四分音符・八分音符・十六分音符・三連符及びロールを演奏する。 2　任意の自由曲（伴奏なし・３分程度） スネアドラム・鍵盤楽器・ティンパニより一つ選択する。 （詳細は、１０月以降、本校ホームページにて掲載する。）	・演奏する楽器（打楽器・コントラバス以外は貸出不可。貸出楽器を使用する場合は出願時に申し出ること。） ・自由曲の楽譜（出願時に２部提出する。当日、演奏の際に必要な場合は持参すること。）
	美術工芸	男女		美術室	○鉛筆デッサン 自分の手と与えられたモチーフを関連を持たせてポーズを決め、９０分で描写する。モチーフは当日指定する。モチーフの特長に興味を持ち、自由にポーズする。構成力・描写力・表現力の３観点から素描の技量を判断する。	・準備する用具 鉛筆、消し具 ・面接用 中学生で作成した自己作品（３点以内）、志望理由書

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
つばさ総合	バスケットボール	男女	1月27日（水）	体育館	○ハンドリング、シュート、ディフェンス、シャトルラン、対人技術		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	美術・デザイン	男女		美術室	○鉛筆素描（デッサン）Ｂ３画用紙（検査時間：２時間） ※　画用紙と画板等は本校で用意する。		・各種濃度鉛筆 ・消しゴム ・練りゴム ・カッター（鉛筆削り用） ※　面接には、中学時に独力で制作した美術作品を持参すること。（作品数４点以内。大きさ６５×５０ｃｍ以内。内容は絵画、デザイン、デッサン、立体作品等。立体作品の場合は実物ではなく写真を持参すること。）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館）	○全員共通 ・１００ｍ走 ○種目別選択 １～３の中から１種目選択 １　１０００ｍ走 ２　３０ｍバウンディング（歩数の測定） ３　メディシンボール前投げ、後投げ （男子３ｋｇ、女子２ｋｇ）	雨天時 体育館で基礎体力テストを実施する。	・運動着 ・運動靴（屋外用）（全天候型スパイク可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
世田谷総合	サッカー	女	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	１　５０ｍ走 ２　リフティング ３　ドリブル（コーンの間をジグザクドリブル） ４　ロングキック ５　シュート（ゴールキーパーはセービング、キャッチング） ６　ゲーム形式（応募人数に合わせて形式を設定する）	雨天時 １　３０ｍ走 ２　リフティング ３　ドリブル ４　シュート ５　ゲーム形式	・運動着（防寒着） ・運動靴（スパイク） ・すね当て ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	美術	男女		美術室等	○鉛筆素描（静物デッサン）四つ切画用紙（検査時間２時間） ※　画用紙と画板は学校で用意する ○個人面接の一部で「自己ＰＲ」を実施する。 ○「自己ＰＲ」とは、持参したポートフォリオを用いて中学生の時の美術の活動を紹介するもの。		・鉛筆素描に必要な道具（各種鉛筆、消しゴム、練りゴム、カッターなど） ・面接で使うポートフォリオ
杉並総合	サッカー	女	1月26日（火）	グラウンド （雨天時：体育館）	１　５０ｍ走 ２　１０ｍ走×５ ３　リフティング ４　シュート（ゴールキーパーはセービング、キャッチング） ５　ロングキック ６　ゲーム（受検者数によりゲーム形式に近い形への変更の場合あり） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 １　シャトルラン ２　リフティング ３　３０ｍ走 ４　１０ｍ走×５ ５　シュート ６　ミニゲーム（受検者数によりゲーム形式に近い形への変更の場合あり）	・運動着 ・サッカーシューズ ・すね当て ・ゴールキーパーはキーパーグローブ ・防寒着 ・体育館シューズ（雨天時） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること
	吹奏楽	男女		音楽室	○任意の自由曲演奏（クラシック曲、伴奏はなし） 自由曲は５分程度を目安とする。暗譜の必要はない。 また、独奏楽器のための楽曲を原則とする。		・演奏楽器 ・自由曲楽譜 （自由曲楽譜については、使用する楽器名を明記し、中学校を通じて出願に要する書類と同封し、本校に送付する。）
	バスケットボール	女		体育館	１　シュート ２　ドリブル ３　パス ４　１対１、２対１、３対２、３対３、５対５など		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
王子総合	美術	男女	1月26日（火）	デッサン室	○鉛筆による素描（デッサン）		・鉛筆（Ｈ～４Ｂ程度） ・鉛筆削りまたはカッターナイフ ・練消しゴム ・自身が制作した作品３点以内 （ジャンル不問）
	硬式野球	男		グラウンド （雨天時：体育館）	１　ベース・ランニング ２　ロングティー ３　遠投（ソフトボールで実施） ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更する場合がある。	雨天時 １　１０ｍシャトルラン ダッシュ ２　キャッチボール （ソフトボールで実施） ３　シャトルバッティング （バドミントンのシャトルで実施）	・運動着 ・体育館シューズ ・スパイク ・グローブ又はミット ・運動靴（屋外用） ※　必ず体育館シューズ、スパイク、運動靴（屋外用）の３種類を持参すること
	フェンシング	男女		小体育館	１　反復横跳び ２　ビジョンテスト（周辺視野） ３　片足立ち幅 ４　フェンシングの基本的なフットワーク（マルシェ、ロンパ等）		・運動着 ・屋内競技用シューズ

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
葛飾総合	バレーボール	女	1月27日（水）	体育館	1　レセプション 2　ディグ 3　トス 4　スパイク		・運動着 ・バレーボールシューズ （体育館シューズでも可） ・防寒具
青梅総合	剣道	男女	1月27日（水）	剣道場	○基本 1　切り返し 2　仕掛け技 3　応じ技 ○互角稽古		・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・剣道具一式
	ソフトボール	女		グラウンド （雨天時又はグラウンド状況不良の場合は、ピロティー及び他の体育施設等に変更することがある）	1　ベースランニング 2　遠投 3　フィールディング 4　選択して行うもの（どちらか選択） ・バッティング ・ピッチング ※　晴天でも、グラウンド不良の場合には検査内容を変更することがある。	雨天時 1　フットワーク 2　スローイング 3　フィールディング 4　選択種目の技術チェック	・運動着 ・グローブ又はミット ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ ・必要に応じてスパイク又はアップシューズ ・バット（自由） ※　必ず運動靴と体育館シューズを持参すること
	バスケットボール	女		体育館	1　シャトルラン 2　パス 3　シュート 4　リバウンド技能 5　ディフェンスフットワーク（オフェンスのドリブル技能も評価対象） 6　対人ゲーム		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	バレーボール	女			1　基本的なパス （オーバーハンドパスとアンダーハンドパス、対人レシーブ） 2　サーブ 3　選択して行うもの （以下の３種目から１種目選択） ・スパイク ・トス ・レシーブ 4　運動能力テスト （９ｍ３往復走、遠投、垂直跳び）		・運動着 ・バレーボールシューズ ・必要に応じてサポーター
町田総合	バドミントン	男女	1月27日（水）	体育館	○シャトルラン ○敏捷性の確認（シャトル置き、二重跳び） ○基本ストローク（ドロップ、ドロップレシーブ、スマッシュ、スマッシュレシーブ） ○シングルスゲーム		・ラケット ・バドミントンシューズ （体育館履きでも可） ・運動着 ・縄跳び ・水分補給できるもの ※　防寒対策をしてくること
	バスケットボール	男			○２０ｍシャトルラン ○ドリブル（クロスオーバー・インサイドアウト・レッグスルー・ビハインドバック・ヘジテーション等） ○レイアップシュート（アンダーハンド・オーバーハンド・リバース等） ○対人（１VS１・２VS２等） ※　ただし、受検者数に応じて人数を増やすことがある。		・バスケットシューズ （体育館シューズでも可） ・運動着 ・水分補給ができるもの ※　防寒対策をしてくること
		女			○基礎体力　シャトルラン ○スキル　レイアップシュート、５箇所スポットシュート、ジグザグドリブル ○実践形式　1on1（ハーフコート）、3on3（オールコート） ※　受検者数によって変更有		・バスケットシューズ （体育館シューズでも可） ・運動着 ・水分補給ができるもの ※　防寒対策をしてくること
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：サブアリーナ等）	1　５０m走 2　専門種目（1種目選択） ①短距離走　２００ｍ ②長距離走　男子１５００ｍ　女子１０００ｍ ③ハードル　５０㎝（男女別中学規格） ④跳躍(走高跳・棒高跳・走幅跳)から１種目選択 ⑤投てき（砲丸投・円盤投）から１種目選択	雨天時 1　３０m走 2　専門種目（１種目選択） ①短距離　ミニハードル ②長距離　シャトルラン ③ハードル　３０㎝ ④跳躍　立ち五段跳び ⑤投てき メディシンボール投げ	・運動着 ・運動靴（屋外用） ・スパイクシューズ ・水分補給ができるもの ※　防寒対策をしてくること ※　雨天時は体育館シューズ
東久留米総合	サッカー	男	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　フィールドテスト ・３０ｍ走　・キック 2　技能テスト ・パス＆コントロール、シュート ※　ゴールキーパーはセービング等 ※　１・２の順番は、受検番号によって異なる場合がある。当日連絡する。	雨天時 1　フィールドテスト ・３０ｍ走 2　技能テスト ・パス＆コントロール ※　ゴールキーパーはセービング等 ※　１・２の順番は、受検番号によって異なる場合がある。当日連絡する。	・サッカーに適した運動着 ・運動靴（屋外用） ・体育館シューズ

学校名 (学科名等)	内容（種目等）		実技検査				
			検査日	検査会場	検査内容		持参するもの
若葉総合	サッカー	女	1月27日（水）	グラウンド （雨天時：体育館）	1　走力テスト 2　パス（ロングキック、ショートパス） 3　ドリブル（コーン間を抜く） ※　ゴールキーパーはキャッチ・セービング 4　シュート ※　ゴールキーパーはシュートストップ 5　ミニゲーム（受検人員が規定の人数を満たさない場合には実施しない。）	雨天時 1　走力テスト 2　パス （ロングキック、ショートパス） 3　ドリブル ※　ゴールキーパーはキャッチ 4　シュート 5　ミニゲーム（受検人員が規定の人数を満たさない場合には実施しない。）	・運動着 ・サッカーシューズ ・すね当て ・ゴールキーパーはキーパーグローブ ・体育館シューズ（雨天時使用） ※　サッカーシューズと体育館シューズの両方を持参すること
	バスケットボール	男		体育館	1　フットワーク 2　ドリブルワーク 3　パスワーク 4　ドリブルシュート 5　ジャンプシュート 6　ランニングシュート 7　ミニゲーム（受検人員が規定の人数を満たさない場合には実施しない。）		・運動着 ・バスケットボールシューズ （体育館シューズも可）
	陸上競技	男女		グラウンド （雨天時：体育館 又はテニスコート等）	1　ハードルドリル 2　MB（フロント・バック） 3　立ち五段跳び 4　３０m加速走 5　選択して行うもの （以下の２種目から１種目選択） ・４０秒走 ・１０００m走 ※　晴天時でもグラウンド不良の場合は場所及び検査内容を変更することがある。	雨天時 1　立ち幅跳び 立ち五段跳び 2　体幹 3　ハードルドリル 4　ラダードリル 5　MB（フロント・バック）	・運動着 ・運動靴（屋外用）（スパイク可） （雨天時は体育館シューズ） ※　必ず運動靴と体育館シューズの両方を持参すること

２　面接の一部でパーソナル・プレゼンテーションを実施する都立高等学校

学校名（学科名等）	内容（種目等）		実技検査			
			検査日	検査会場	検査内容	持参するもの
大泉桜	美術	男女	１月２６日（火） １月２７日（水）	教室	○個人面接（１０分程度）を実施する。面接において自己ＰＲの時間を設け、デザイン・美術分野について２分程度のスピーチを行う。 デザイン・美術に関する作品（自己制作）又は資料を提示してＰＲすること	・デザイン・美術に関する作品（自己制作）又は資料
若葉総合	サッカー	女	１月２７日（水）	教室	○個人面接の一部で「自己ＰＲ」を実施します。 ○「自己ＰＲ」とは、発表形式で自分の優れた点や個性を表現することです。時間は１人２分以内です。 ○作品や楽器の持込みは可能ですが、それによる時間の延長はありません。 ○その他、「自己ＰＲ」に必要とするものを含め、準備は受検者が時間内に行ってください。また、危険を伴うものや、他の受検会場の迷惑になるようなものは避けてください。	
	バスケットボール	男				
	陸上競技	男女				

別表6　　実 技 検 査 等 の 内 容

○「文化・スポーツ等特別推薦」実施校における実技検査等については、別表５ 付表２（P178～212）に掲載しています。
○　集合時刻及び検査会場等については、受検票により指定します。

１ 実技検査を実施する都立高等学校

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検 査 日 時	検　査　内　容	検査に必要なもの	備　考
1	片倉（造形美術コース）	推薦	１月２７日（水） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○「鉛筆による素描」（１２０分） 検査用紙Ｆ８判	○鉛筆（２Ｈ～６Ｂ程度） ○消しゴム（練り消しゴム可） ○目玉クリップ（２個） ○鉛筆削り（電動不可） もしくはカッターナイフ	
		一次	２月２２日（月） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○「鉛筆による素描」（１２０分） 検査用紙Ｆ６判		
		二次	３月９日（火） 学力検査終了後	○「鉛筆による素描」（５０分） 検査用紙Ｆ４判		
2	蔵前工科 （機械科、電気科、建築科、設備工業科）	推薦	１月２６日（火） 10:00～11:00	○「円に内接する正多角形の頂点を線で結ぶ」	○シャープペンシル （芯　ＨＢ　０．５mm） ○消しゴム ○三角定規（一組、１０ｃｍ以上の目盛り付き） ○直定規（１５ｃｍ以上の目盛り付き、角度の目盛りのないもの） ○コンパス	
3	墨田工科 （機械科、自動車科、電気科、建築科）	推薦	１月２６日（火） 10:40～11:40	○ものづくりに関する基礎数値問題 ○定規を使用した作図	○筆記用具 ※　その他、作図に必要なものは本校で用意する	
4	総合工科 （機械・自動車科、電気・情報デザイン科、建築・都市工学科）	推薦	１月２６日（火） 9:00～9:50	（１）指示書及び参考図を見て、工作用紙に展開図を作図する。 （２）上記で作図した展開図を切り取り、立体模型を製作する。	○筆記用具 ○30cm程度の直定規(角度の目盛りのないもの)1本 ○カッターナイフ1本（替え刃を用意しても可） ※　その他、作図及び製作に必要な用具は本校で用意する。	
5	荒川工科 （電気科、電子科、情報技術科）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○参考図を見て、検査用紙に作図する。作業の正確さやバランス良くまとめる力を評価する。	○シャープペンシル （芯　ＨＢ　０．５mm） ○消しゴム ※　その他、作図に必要な用具は本校で用意する。	
6	足立工科 （総合技術科）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○工業技術者としての適性を知るために実施。課題は「作図」（５０分）	○鉛筆又はシャープペンシル （ＨＢ程度のもの） ○消しゴム ※　コンパス、直線定規は本校で用意する。	

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
7	葛西工科 （機械科、電子科、建築科、 デュアルシステム科）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○「定規とコンパスを使った作図」	○鉛筆 （ＨＢ程度のもの２～３本） 又はシャープペンシル （ＨＢ程度のもの） ○消しゴム ○直定規 ○三角定規一式 ○コンパス	
8	町田工科 （総合情報科）	推薦	１月２６日（火） 9:00～16:00	○「タイピング」 所定の時間内で指定された文書をキーボードで入力する。 ローマ字入力を基本とする。	なし	
9	総合芸術 （美術科）	推薦	１月２６日（火） 8:30～12:00	○「鉛筆による素描」（３時間） 検査用紙　画用紙（５４．４ｃｍ×３８．４ｃｍ）	○鉛筆（２Ｈ～４Ｂ程度） ○消し具 ○ナイフ ○ガーゼ ※　検査用紙、画板は本校で用意する。	美術科の専攻 ○絵画（日本画） ○絵画（油彩画） ○彫刻 ○デザイン ○映像
		一次	２月２２日（月） 8:30～14:00	○「水彩による静物着彩」（４時間） 検査用紙　画用紙（５７ｃｍ×４４ｃｍ）	○鉛筆（２Ｈ～４Ｂ程度） ○消し具 ○ナイフ ○ガーゼ ○水彩用具一式 （アクリル絵の具　可） ○筆洗バケツ ○パレット（紙、プラスチック、金属製のいずれか） ○雑巾（タオル、ウエス等） ※　検査用紙、画板、イーゼルは本校で用意する。	
		二次	３月９日（火） 学力検査終了後	○「鉛筆による素描」（２時間３０分） 検査用紙　画用紙（５４．４ｃｍ×３８．４ｃｍ）	○鉛筆（２Ｈ～４Ｂ程度） ○消し具 ○ナイフ ○ガーゼ ※　検査用紙、画板は本校で用意する。	
10	総合芸術 （舞台表現科）	推薦	１月２６日（火） 8:30～17:00	（推薦・一次・二次　共通） ○専攻実技（専攻により内容が異なる。） ア　演劇専攻 ①言葉と身体による表現 ②台本による表現（発声を含む。） イ　舞踊専攻 ①バー、センター及び走る・跳ぶ・転がる等の要素を含む運動 ②音楽による表現	（推薦・一次・二次　共通） ○（演劇専攻） 体操着 ○（舞踊専攻） レオタード又は体操着、バレエシューズ（トゥシューズ、ジャズシューズでも可）	※推薦、一次、二次とも、演劇専攻、舞踊専攻のうち一つを選択して出願する。
		一次	２月２２日（月） 8:30～17:00			
		二次	３月９日（火） 学力検査終了後			

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
11	総合芸術 （音楽科）	推薦	１月２６日（火） 8:30～17:00 １月２７日（水） 8:30～17:00	(推薦・一次・二次　共通) （１）旋律及び和声の聴き取り（全専攻共通） （２）新曲の視唱（全専攻共通） （３）専攻実技（各専攻により内容が異なる。） ア　鍵盤楽器専攻 ①課題曲 ②任意の１曲 イ　管楽器専攻・弦楽器専攻 ①課題曲 ②任意の１曲 ③ピアノ演奏 ウ　打楽器専攻 ①課題曲 ②任意の１曲 ③ピアノ演奏 エ　声楽専攻 ①課題曲 ②イタリア古典歌曲（原語） ③ピアノ演奏 オ　作曲専攻 ①和声課題 ②ピアノ演奏 カ　楽理専攻 ①楽理に関する小論文を含む学力検査 ②ピアノ演奏 ※専攻実技の演奏は、当日楽譜が提示されるものを除いて、課題曲、任意の１曲ともに暗譜とする。 ※課題曲・ピアノ演奏は、課題曲集を参照のこと。	【検査に必要なもの】(推薦・一次・二次　共通) ○筆記用具 ○楽器（必要な場合） ※　マリンバ、ピアノは本校で用意する。 ※　不明な点は事前に学校まで問い合わせてください。 【備考】 音楽科の専攻 ○器楽（鍵盤楽器） ピアノ ○器楽（管楽器） フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ ○器楽（弦楽器） ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス ○器楽（打楽器） 小太鼓・マリンバ ○声楽 ○作曲 ○楽理 ※　推薦、一次、二次とも、一つの専攻（楽器等）を選択して出願する。 ※　課題曲等は、１０月及び１１月の学校説明会において提示して説明する。 ※　サクソフォーン専攻は、アルトサクソフォーンで受検する。 ※　打楽器専攻は、小太鼓又はマリンバで受検する。 ※　声楽専攻の伴奏者は、本校で用意する。 (推薦・一次　共通) 出願の際、中学校から「専攻実技曲目票」、「楽譜のコピー」を送付。	
		一次	２月２１日（日） 学力検査終了後 ２月２２日（月） 8:30～17:00			
		二次	３月９日（火） 学力検査終了後			
12	駒場 （保健体育科）	推薦	１月２６日（火） 作文検査終了後	○運動能力テスト（次の①～⑧より１種目選択） ①陸上競技（男女）　②水泳（男女）　③体操競技（男女） ④柔道（男女）　⑤剣道（男女）　⑥サッカー（男） ⑦バレーボール（女）⑧バスケットボール（男女）	○選択した種目に必要な用具	本校所定の体育調書を出願時に提出すること。用紙は、令和８年１２月１日（火）以降、本校ホームページからダウンロード又は経営企画室にて受け取ること。
		一次	２月２２日（月） 入学願書受付時に集合時間を指定します。	○基礎体力テスト（全員が次の４種目を受検する） ①ジグザグ走　②立幅跳　③上体起こし　④シャトルラン ○運動能力テスト（次の①～⑧の中から１種目選択） ①陸上競技（男女）　②水泳（男女）　③体操競技（男女） ④柔道（男女）　⑤剣道（男女）　⑥サッカー（男） ⑦バレーボール（女）⑧バスケットボール（男女）	○体育館シューズ ○選択した種目に必要な用具	本校所定の体育調書を出願時に提出すること。用紙は、令和９年１月１９日（火）以降、本校ホームページからダウンロード又は経営企画室にて受け取ること。
		二次	３月９日（火） 学力検査終了後	○基礎体力テスト（全員が次の４種目を受検する） ①ジグザグ走　②立幅跳　③上体起こし　④シャトルラン ○運動能力テスト（次の①～⑧の中から１種目選択） ①陸上競技（男女）　②水泳（男女）　③体操競技（男女） ④柔道（男女）　⑤剣道（男女）　⑥サッカー（男） ⑦バレーボール（女）⑧バスケットボール（男女）	○体育館シューズ ○選択した種目に必要な用具	一次に準じる。

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
13	野津田 （体育科）	推薦	１月２６日（火） 個人面接終了後	（推薦・一次・二次　共通） （１）共通検査（全員受検） ①３分間シャトルランニング （２）運動技能検査（次の①～④の中から１種目選択） ①陸上競技 （男：１５００ｍ走・砲丸投げ・走り高跳び・１００ｍ走・ハンドボール投げから１種目選択） （女：１０００ｍ走・砲丸投げ・走り高跳び・１００ｍ走・ハンドボール投げから１種目選択） ②サッカー（男子のみ） ③バスケットボール（男女） ④バレーボール（女子のみ）	○運動靴 ○体育館シューズ ○運動着 ○選択した専門科目に必要な用具	本校所定の体育調書を出願時に提出すること。用紙は令和８年１０月２８日（水）以降、本校経営企画室にて受け取るか、又は本校ホームページからダウンロードすること。
		一次	２月２１日（日） ３教科終了後			
		二次	３月９日（火） 学力検査・個人面接終了後			
14	科学技術 （科学技術科）	推薦	１月２６日（火） 受検者により集合時刻が異なります。	○「プレゼンテーション実技」を実施する。 「プレゼンテーション実技」では、作成したプレゼンテーションシートを活用して発表を行う。 ①プレゼンテーションシートの作成　３０分 理科や数学又は科学技術に関する内容でプレゼンテーションシートを作成する。 紙のサイズはＡ３判１枚で、本校が用意した文房具（サインペン（赤・黒）、マジック（赤・黒）、黒鉛筆（HB）、赤鉛筆、消しゴム、直線定規（30cm））を使う。 ②発表　１人４分以内 作成したプレゼンテーションシートを使って発表を行う。その後、それに関する質疑応答を行う。演技や歌唱等を行うことはできない。	なし	日本語により発表をすること。 プレゼンテーションは理科、数学、科学技術に関するもの以外は不可とする。
15	多摩科学技術 （科学技術科）	推薦	１月２６日（火） 受検者により集合時刻が異なります。	○「プレゼンテーション実技」を実施する。 ①発表　１人４分以内 中学校の授業や課外活動、日常生活における興味・関心があることについてテーマを一つ決め、事前に作成したプレゼンテーションシート（自作、手書き）を使って発表を行う。 ②その後、発表に関する質疑応答を行う。 プレゼンテーションシート以外の物品などの持ち込みや使用は不可。 演技や歌唱などを行うことはできない。	○プレゼンテーションシート プレゼンテーションシートについては、以下の点に注意して作成すること ・Ａ３判画用紙 ([420±5]×[297±5]mm) 白　片面を使用。 ・テーマをひとつ決めて、タイトルをつける。 ・手書きのもの。 ・写真・資料などの貼りつけは不可。 ・使用する文具・色の制限はありません。	
16	つばさ総合 （総合学科）	推薦	１月２６日（火） ９：００～１０：００	○絵や図形、キーワードなどの素材が示される。その中から１点を選び、それに関連するテーマを設定し、表現する（発想・表現検査）。 ○表現形式は、次の①又は②のどちらかとする。 ①全てを文章で表現する。 ②文章と、文章以外の表現方法（絵・図形・記号・図面など）を組み合わせて表現する。 ○以下のものを当日配布する。 ・検査用紙（Ａ３判用紙） ・提示素材（絵・図形など） ・下書き用紙	○鉛筆 ○消しゴム ※　必要と考えられる場合は以下のものを持参してもよい。 ・１５ｃｍ程度の直定規（三角定規及び分度器は不可） ・コンパス ・描画用の鉛筆（色鉛筆は不可）	「文章以外の表現方法」のみの表現形式は認めない。 受検者が選択した素材や表現形式により、合否の判定に有利不利は生じない。

２ 口頭試問を実施する都立高等学校

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
17	立川 （創造理数科）	推薦	１月２７日（水） 受検者により集合時刻が異なります。	○科学分野等の研究に関するレポート（以下「研究レポート」とする。）についての口頭試問を実施する。 はじめに３分程度、研究レポートについて説明する。 その後、研究レポートに関する質疑応答を実施する。 ○研究レポート（Ａ４判２枚以内、様式任意）について 出願時に提出する（研究レポートは点数化しない。）。 （１）Ａ４判の用紙は、レポート用紙、コピー用紙等を利用する。両面不可。 （２）手書き、パソコン等の作成方法については特に指定しない。 （３）次の６項目を設定し、作成する。 ①研究のテーマ ②研究の背景・目的 ③研究の方法 ④研究の結果 ⑤研究の考察 ⑥今後の展望	○出願時に提出した研究レポートのコピーを持参してもよい。	
18	科学技術 （創造理数科）	推薦	１月２６日（火） 受検者により集合時刻が異なります。	○科学分野等の研究に関するレポート（以下「研究レポート」とする。）についての口頭試問を実施する。 はじめに５分程度、研究レポートについて説明する。 その後、研究レポートに関する質疑応答を実施する。 ○研究レポート（Ａ４判２枚以内、様式任意）について 出願時に提出する（研究レポートは点数化しない。）。 （１）Ａ４判の用紙は、レポート用紙、コピー用紙等を利用する。両面不可。 （２）手書き、パソコン等の作成方法については特に指定しない。 （３）次の６項目を設定し、作成する。 ①研究のテーマ ②研究の背景・目的 ③研究の方法 ④研究の結果 ⑤研究の考察 ⑥今後の展望	○出願時に提出した研究レポートのコピー	

３　面接（英語による問答）を実施する都立高等学校

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
19	深川 （外国語コース）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○一般的な面接の他に英語による問答を行います。（約８分程度） 英語による問答では、受検者は中学校学習指導要領（英語）に準拠した１００語程度の英文を読み、その後、英語による簡単な問答を行います。	なし	受検者の英語に対する特性や関心等をみるために行うものです。

４　面接（パーソナル・プレゼンテーション等）を実施する都立高等学校

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
20	足立新田 （普通科）	推薦	１月２６日（火）	○個人面接において、「自己ＰＲタイム」として受検者が「自己ＰＲカード」に記載した内容のうちで、特に強調したい一項目についてその内容をＰＲする時間を設けます。「自己ＰＲタイム」の時間は２分以内にしてください。 ○「自己ＰＲカード」等を見ながら答えることはできませんので、あらかじめ何をＰＲするのかよく考えて、面接に臨んでください。 なお、演技・実技・演奏・作品の提示を行うことはできません。	なし	
21	淵江 （普通科）	推薦	１月２７日（水）	○個人面接において、「自己ＰＲタイム」として受検者が「自己ＰＲカード」に記載した内容のうちで、特に強調したい一項目についてその内容をＰＲする時間を設けます。「自己ＰＲタイム」の時間は２分以内にしてください。 ○「自己ＰＲカード」等を見ながら答えることはできませんので、あらかじめ何をＰＲするのかよく考えて、面接に臨んでください。 なお、演技・実技・演奏・作品の提示を行うことはできません。	なし	
22	羽村 （普通科）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時間を指示します。 受検者により集合時間が異なります。	○面接の中で、受検者自らの言葉で、志望動機や中学校時代の活動内容について口頭で表現する「自己表現スピーチ」を行います。 ・表現時間は１人１分程度です。 ・楽器・道具・模造紙に書いた図やグラフなどは使用できません。 （スピーチの例） ①志望動機や志望理由に関すること 羽村高校に入学して、どのような学校生活を送ろうと考えているのか。 ②学習活動に関すること 興味・関心のある教科や学習活動の具体的成果について 「総合的な学習の時間」の学習内容と具体的成果について ③特別活動に関すること 部活動や委員会、生徒会活動などの状況や具体的な成果について ④学校行事に関すること 学校行事における活動の状況や具体的成果について ⑤その他の活動に関すること 学校外で行った活動や具体的成果について ⑥自己ＰＲに関すること 自分が興味・関心をもつ事柄や、特技・資格などについて	なし	
23	蒲田 （普通科） エンカレッジスクール	推薦	１月２６日（火） １月２７日（水）	○面接は、推薦・一次・二次で実施します。 面接の一部で自己ＰＲカードに則して２分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。 ○作文は、推薦・一次・二次で実施します。 ５０分で５００字程度の内容です。	○筆記用具	面接では、自己ＰＲスピーチ原稿及び物品を持ち込むことはできません。
		一次	２月２１日（日） ２月２２日（月）			
		二次	３月９日（火）			

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
24	足立東 （普通科） エンカレッジスクール	推薦	○作文 １月２６日（火） ○個人面接 １月２７日（水）	○面接は、推薦・一次・二次で実施します。 面接の一部で１分以上１分３０秒以内の「自己ＰＲスピーチ」を行います。	○筆記用具	「自己ＰＲスピーチ」は、日本語で行うこととします。 また、原稿を持ち込むことはできません。
		一次	○作文 ２月２１日（日） ○個人面接 ２月２２日（月）			
		二次	○作文・個人面接 ３月９日（火）			
25	秋留台 （普通科） エンカレッジスクール	推薦	○小論文 １月２６日（火） ○面接 １月２７日（水）	○面接の一部で２分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。 ○小論文は、推薦・一次・二次で実施します。	○筆記用具	面接には物品を持ち込むことはできません。 「自己ＰＲスピーチ」では原稿を読むことはできません。
		一次	○小論文 ２月２１日（日） ○面接 ２月２２日（月）			
		二次	○小論文、面接 ３月９日（火）			
26	忍岡 （普通科単位制）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○個人面接の最初に、「自己ＰＲタイム」として、受検者が「自己ＰＲカード」に記載した内容のうちで、特に強調したい一項目についてその内容をＰＲする時間を設けます。 ○「自己ＰＲタイム」の時間は２分間です。 ○「自己ＰＲカード」等を見ながら答えることはできませんので、あらかじめ何をＰＲするのかよく考えて、面接に臨んでください。 なお、演技・実技・演奏・作品の提示を行うことはできません。	なし	
27	大泉桜 （普通科単位制）	推薦	１月２６日（火）	○個人面接（１０分程度）において、自己ＰＲの時間を設け、自分の目標や得意な分野について２分程度のスピーチを行います。 ○次の項目を含めてＰＲしても構いません。 （１）デザイン・美術に関する作品（自己制作）の提示 （２）パソコン等で作成した作品（自己制作）の提示 （３）興味、関心のある教科や学習活動に関する成果の提示 （４）部活動や生徒会活動等に関する具体的な成果の提示 （５）手話を交えた演技もしくは自己紹介 （６）ボランティア活動等で実演した経験のある、無伴奏による身体表現 （手拍子程度でリズムをとることは可） ※　全体を通じ、楽器や音響機器による演奏や音出しはできません。	なし	
28	上水 （普通科単位制）	推薦	１月２６日（火） １月２７日（水）	○面接時間の始めに「自己ＰＲタイム」を設けます。受検者の長所・興味・関心・意欲・特技などを話してください。 ○ＰＲ時間は一人２分程度です。 ○道具・楽器等の使用はできません。	なし	

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
29	園芸 （園芸科・食品科・ 動物科）	推薦	１月２７日（水）	○個人面接の後半１分間に「自己ＰＲタイム」を設けます。 ①特にテーマを指定しません。自分のことを自由に話してください。 ②メモなどを見ながら話すことはできません。あらかじめ話す内容をよく考えて面接に臨んでください。 ③楽器、道具、表などは使用できません。 ④例として、次のようなことがありますが、特にとらわれることなく自由に考えてください。 ・志望の動機に関すること ・教科の学習活動に関すること ・特別活動やその他に関すること ・高校生活や進路に関すること ・自己に関すること	なし	
30	忍岡 （単位制生活科学科）	推薦	１月２６日（火） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○個人面接の最初に、「自己ＰＲタイム」として、受検者が「自己ＰＲカード」に記載した内容のうちで、特に強調したい一項目についてその内容をＰＲする時間を設けます。 ○「自己ＰＲタイム」の時間は２分間です。 ○「自己ＰＲカード」等を見ながら答えることはできませんので、あらかじめ何をＰＲするのかよく考えて、面接に臨んでください。 なお、演技・実技・演奏・作品の提示を行うことはできません。	なし	
31	晴海総合 （総合学科）	推薦	１月２６日（火） 受検票発行時に集合時刻を指定します。	○「パーソナルプレゼンテーション（自己表現）」とは、発表を通して、自己の個性や能力を表現することです。 ○１人３分間です。 ○必要な準備は、受検者本人が行ってください。 ○用具の貸出しはありません。 ○ＰＣ等を含む通信機器・電子機器は一切使用できません。 （例） ①教科の学習活動に関すること ・興味・関心がある教科の学習活動に関する具体的成果の発表を通した自己表現 ・芸術や体育の分野における特技の発表を通した自己表現 ②特別活動等に関すること ・部活動等で得た具体的成果の発表を通した自己表現 ・委員会活動、生徒会活動で得た具体的成果の発表を通した自己表現 ③その他の活動に関すること ・ボランティア活動等、校外での活動経験の発表を通した自己表現	○受検者が必要とするもので、自分自身で用意できるものについては、通信機器・電子機器を除き持ち込みを認めます。ただし、持ち込んだ作品自体や楽器などを利用した場合の作品の完成度や演奏自体を評価するものではありません。	

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
32	葛飾総合 （総合学科）	推薦	１月２６日（火）	○面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」（３分間）を実施します。 ○「パーソナル・プレゼンテーション」とは、発表等を通して、自分の個性や能力を表現することです。 ○危険を伴うもの、他の受検者の迷惑になるようなものは避けてください。	○必要な物は、各自で用意してください。ただし、持ち込んだ作品等をそれ自体だけで評価するものではありません。 ○用具の貸出しはありません。	
33	若葉総合 （総合学科）	推薦	１月２６日（火） 受検者により集合時刻が異なります。	○個人面接の一部で「自己ＰＲ」を実施します。 ○「自己ＰＲ」とは、発表形式で自分の優れた点や個性を表現することです。 時間は１人２分以内です。 ○作品や楽器の持込みは可能ですが、それによる時間の延長はありません。 ○ＰＣ等の通信機器は使用できません。 ○その他、「自己ＰＲ」に必要とするものを含め、準備は受検者が時間内に行ってください。 また、危険を伴うものや、他の受検会場の迷惑になるようなものは避けてください。	なし	

５　実技検査と面接（パーソナル・プレゼンテーション）の両方を実施する都立高等学校

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
34	東村山 （普通科） エンカレッジスクール	推薦	○作文 １月２６日（火） ○個人面接 １月２７日（水） 入学願書受付時に集合時刻を指定します。	○面接は、推薦・一次・二次で実施します。 ○面接の一部で自己ＰＲカードに則して１分程度の「自己ＰＲスピーチ」を行います。 ○実技検査は一次・二次で実施します。文書を読み、その内容についていくつかの設問に答える検査を行います（検査時間は３０分程度）。 ○小論文は、一次・二次で実施します。	○筆記用具	面接には物品を持ち込むことはできません。 「自己ＰＲスピーチ」では原稿を読むことはできません。
		一次	○小論文・実技検査 ２月２１日（日） ○個人面接 ２月２２日（月） 入学願書受付時及び実技検査終了後に集合時刻を指定します。			
		二次	○小論文・実技検査・個人面接 ３月９日（火） 入学願書受付時及び実技検査終了後に集合時刻を指定します。			

Ｎｏ	学校名（学科名等）	募集区分	検　査　日　時	検　　査　　内　　容	検査に必要なもの	備　　考
35	中野工科 （食品サイエンス科） エンカレッジスクール	推薦	１月２６日（火） 9:00～16:30	（面接及び実技検査は、推薦・一次・二次　共通で実施します。） ○面接の最初に２分から３分の「パーソナル・プレゼンテーション」を行います。 「パーソナル・プレゼンテーション」では、受検者の長所・意欲・関心・特技等を口頭で発表してもらいます。 なお、面接では、原稿・作品・道具・賞状等の持込みは一切できません。 ○実技検査では、指示に従って簡単な作業を行います。その作業過程に対する取組姿勢や意欲、正確性などを総合的に判断します。	○鉛筆（ＨＢ～２Ｂ） ○消しゴム ○直線定規	集合時間に関しては、受検票に記載します。
		一次	２月２１日（日） 9:00～16:30			
		二次	３月９日（火） 9:00～16:30			
36	練馬工科 （キャリア技術科） エンカレッジスクール	推薦	○実技検査 １月２６日（火） ○個人面接 １月２７日（水）	○実技検査では、簡単な作業や描写を行い、作業の正確さやまとめる力等を評価します。 ○面接の中で２分から３分程度の「パーソナル・プレゼンテーション」を行います。 「パーソナル・プレゼンテーション」では、受検者の長所・意欲・特技等を口頭で発表してもらいます。 なお、面接では、原稿・作品・道具・賞状等の持込みはできません。	○鉛筆（ＨＢ～２Ｂ） ○消しゴム ○コンパス ※　鉛筆、消しゴム及びコンパス以外の必要なものは本校で用意します。	
		一次	○作文 ２月２１日（日） ○個人面接 ２月２２日（月）	○作文検査は、６００字程度５０分で実施します。 ○面接の中で２分から３分程度の「パーソナル・プレゼンテーション」を行います。 「パーソナル・プレゼンテーション」では、受検者の長所・意欲・特技等を口頭で発表してもらいます。 なお、面接では、原稿・作品・道具・賞状等の持込みはできません。	○筆記用具 ○消しゴム	
		二次	○作文・個人面接 ３月９日（火）			

別表７

令和９年度第一次募集・分割前期募集等における学力検査問題を自校で作成する高校一覧

１　全日制

高　校　名	実　施　教　科
日比谷　戸山　青山　西 八王子東　立川　国立 新宿　墨田川　国分寺	自校で作成した学力検査問題３教科（国語、数学、英語）及び都立高校共通問題２教科（社会、理科）で行う。
国際	自校で作成した学力検査問題１教科（英語）及び都立高校共通問題４教科（国語、数学、社会、理科）で行う。

２　定時制

高　校　名	実　施　教　科
農産	自校で作成した学力検査問題３教科（国語、数学、英語）を、各２５分で行う。
八王子拓真（一般枠）	自校で作成した学力検査問題３教科（国語、数学、英語）を、総合して５０分で行う。

※ 通信制については、各学校が検査問題を作成する。詳細は別表４（Ｐ135）を参照すること。

別表８

令和７年度以前の中学校卒業者である受検者を対象として面談を実施する高校一覧

	第一次募集	第二次募集
普通科	桜 町　松 原　光 丘　大泉桜 葛西南　富士森　松が谷　多 摩 小 川　山 崎　小平西　久留米西 永 山　田 無　松が谷（コース）	桜 町　松 原　光 丘　淵 江 田 無　葛西南　松が谷　多 摩 山 崎　久留米西　松が谷（コース）
専門学科	芝 商 業　江東商業　第四商業 工 芸	
総合学科	つばさ総合　世田谷総合　杉並総合 町田総合　東久留米総合	東久留米総合

別表９－１　令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（全日制課程）

区分等＼項目			入学願書受付	志願変更		学力検査等	合格者の発表	入学手続
				入学願書取下げ	入学願書再提出			
推薦に基づく選抜			【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から 1月１８日（月）午後５時まで 【書類提出期間】 1月　８日（金）から 1月１８日（月）まで （郵送、各高校必着）			1月２６日(火) 1月２７日(水)	２月　２日(火) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月　２日（火） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月　３日（水） 午前９時～正午
学力検査に基づく選抜	第一次募集		【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 1月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）	２月１０日(水) 午前９時～ 午後３時	２月１２日(金) 午前９時～ 正午	２月２１日(日) 集合 午前８時３０分	３月　１日(月) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	３月　１日（月） 午前９時３０分～午後３時３０分 ３月　２日（火） 午前９時～正午
	第二次募集		３月　４日（木） 午前９時～午後３時	３月　５日(金) 午前９時～ 午後３時	３月　８日(月) 午前９時～ 正午	３月　９日(火) 集合 午前８時３０分	３月１２日(金) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 正午 (校内掲示)	３月１２日（金） 正午～午後３時 ３月１５日（月） 午前９時～正午
国際バカロレアコース			【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から 1月１８日（月）午後５時まで 【書類提出期間】 1月　８日（金）から 1月１８日（月）まで （郵送、各高校必着）			1月２６日(火) 1月２７日(水) 集合 午前８時３０分	２月　２日(火) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月　２日（火） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月　３日（水） 午前９時～正午
海外帰国生徒等関係	海外帰国生徒対象	４月入学	【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 1月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）	２月１０日(水) 午前９時～ 午後３時	２月１２日(金) 午前９時～ 正午	２月１５日(月) 集合 午前８時３０分	２月１７日(水) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月１７日（水） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月１８日（木） 午前９時～正午
		９月入学	７月　１日（木） 午前９時～午後３時 ７月　２日（金） 午前９時～正午			７月　８日(木) 集合 午前８時３０分	７月１３日(火) 午前９時	７月１３日（火） 午前９時～午後３時 ７月１４日（水） 午前９時～正午
	引揚生徒対象		２月　４日（木） 午前９時～午後３時 ２月　５日（金） 午前９時～正午	２月１０日(水) 午前９時～ 午後３時	２月１２日(金) 午前９時～ 正午	２月１５日(月) 集合 午前８時３０分	２月１７日(水) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月１７日（水） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月１８日（木） 午前９時～正午
	在京外国人生徒等対象	４月入学 竹台 田柄 南葛飾 府中西 飛鳥 六郷工科 杉並総合	１月２０日（水） 午前９時～午後３時 １月２１日（木） 午前９時～正午			１月２６日(火)	２月　２日(火) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月　２日（火） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月　３日（水） 午前９時～正午
		４月入学 国際	【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 1月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）			２月１５日(月)	２月１７日(水) 午前８時３０分 (合否照会サイト上で発表) 午前９時３０分 (校内掲示)	２月１７日（水） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月１８日（木） 午前９時～正午
		９月入学 竹台 田柄 南葛飾 府中西 飛鳥 国際	７月　１日（木） 午前９時～午後３時 ７月　２日（金） 午前９時～正午			７月　８日(木)	７月１３日(火) 午前９時	７月１３日（火） 午前９時～午後３時 ７月１４日（水） 午前９時～正午
保護者の転勤等に伴う４月入学者募集		前期日程	４月　１日（木） 午前９時～午後３時			４月　２日(金)	４月　２日(金)	４月　２日（金） ４月　５日（月）
		後期日程	４月　５日（月） 午前９時～午後３時			４月　６日(火)	４月　６日(火)	４月　６日（火） ４月　７日（水）

別表９－２ 令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（定時制課程）

項目		入学願書受付	学力検査等	合格者の発表	入学手続
定時制	第一次募集	【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 １月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）	２月２１日(日) 集合 午前８時３０分	３月　１日(月) 午前８時３０分 （合否照会サイト上で発表） 午後４時 （校内掲示）	３月　１日（月） ３月　２日（火） 午後４時～午後８時
	第二次募集	３月２５日（木） 午後３時～午後７時	３月２６日(金) 集合 各学校が定める	３月２９日(月) 午前８時３０分 （合否照会サイト上で発表） 午後３時 （校内掲示）	３月２９日（月） ３月３０日（火） 午後３時～午後７時

チャレンジスクール及び八王子拓真（チャレンジ枠）	第一次募集	日程は、志願変更を含めて、全日制第一次募集(別表９－１）と同じ
	第二次募集	日程は、志願変更を含めて、全日制第二次募集(別表９－１）と同じ

新宿山吹	推薦に基づく選抜 （情報科２・４部）		【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から １月１８日（月）午後５時まで 【書類提出期間】 １月　８日（金）から １月１８日（月）まで （郵送、各高校必着）	１月２６日(火) 集合 午前８時３０分	２月　２日(火) 午前８時３０分 （合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分 （校内掲示）	２月　２日（火） 午前９時３０分～午後３時３０分 ２月　３日（水） 午前９時～正午
	学力検査に基づく選抜	第一次募集	【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 １月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）	２月２１日(日) 集合 午前８時３０分	３月　１日(月) 午前８時３０分 （合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分 （校内掲示）	３月　１日（月） 午前9時30分～午後8時 ３月　２日（火） 午前9時～午後5時
		第二次募集	日程は、定時制第二次募集と同じ			

一橋・浅草・荻窪・八王子拓真（一般枠）・砂川	学力検査に基づく選抜	分割前期募集	日程は、志願変更を含めて、全日制第一次募集(別表９－１）と同じ
		分割後期募集	日程は、志願変更を含めて、全日制第二次募集(別表９－１）と同じ

（注）　第２学年相当以上の学力検査等は、２月１９日(金)に行う。

在京外国人生徒等対象	一橋 浅草 荻窪 砂川	日程は、全日制在京外国人生徒等対象（竹台、田柄、南葛飾、府中西、飛鳥、六郷工科及び杉並総合）(別表９－１）と同じ

別表９－３ 令和９年度都立高等学校入学者選抜日程（通信制課程）

項　　目		入学願書受付	学力検査等	合格者の発表	入学手続
前　　期		【出願情報入力期間】 １２月１８日（金）から ２月　４日（木）午後５時まで 【書類提出期間】 １月２９日（金）から ２月　４日（木）まで （郵送、各高校必着）	２月２２日(月) 集合　午前９時	３月　１日(月) 午前８時３０分 （合否照会サイト上で発表） 午前９時３０分 （校内掲示）	３月　１日(月) 午前９時３０分～午後３時３０分 ３月　２日(火) 午前９時～正午
後　期	一　橋	４月　１日（木） ４月　２日（金） 午前１０時～午後３時	４月　４日（日） ・第１学年相当 集合　午前９時 ・第２学年相当以上 集合　午前１１時３０分	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 ４月１０日（土） 午前９時～正午
	新宿山吹	４月　１日（木） ４月　２日（金） 午前９時～午後３時	４月　５日（月） ・第１学年相当 集合　午前８時４０分 ・第２学年相当以上 集合　午前１１時	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 ４月１０日（土） 午前９時～正午
	砂　川	４月　１日（木） ４月　２日（金） 午前９時～午後３時	４月　６日（火） ・第１学年相当 集合　午前８時４０分 ・第２学年相当以上 集合　午前１０時４０分	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前８時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表） ・第２学年相当以上 午後０時３０分 （校内の掲示及び合否照会サイト上で発表）	４月　９日（金） ・第１学年相当 午前９時～正午 ・第２学年相当以上 午後１時～午後３時 ４月１０日（土） 午前９時～正午

（注）　前期選抜は第１学年相当の募集のみで実施する。

別表10

都内公立中学校等学校番号等一覧

1　中学校

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
301010	千代田区	麹町	コウジマチ	102-0093	平河町2-5-1	03-3263-4321
301060	〃	神田一橋	カンダヒトツバシ	101-0003	一ツ橋2-6-14	03-3265-5961
301060	〃	(神田一橋・通信制)	カンダヒトツバシツウシンセイ	101-0003	一ツ橋2-6-14	03-3265-5961
302030	中央区	晴海	ハルミ	104-0053	晴海1-5-3	03-3531-6308
302040	〃	日本橋	ニホンバシ	103-0007	日本橋浜町2-59-1	03-3663-4411
302050	〃	銀座	ギンザ	104-0061	銀座8-19-15	03-3545-8011
302060	〃	佃	ツクダ	104-0051	佃2-3-2	03-3531-7214
302070	〃	晴海西	ハルミニシ	104-0053	晴海5-3-5	03-5560-1270
303010	港区	御成門	オナリモン	105-0003	西新橋3-25-30	03-3436-3568
303040	〃	白金の丘	シロカネノオカ	108-0072	白金4-1-12	03-3441-5361
303050	〃	高松	タカマツ	108-0074	高輪1-16-25	03-3441-6239
303060	〃	港南	コウナン	108-0075	港南4-3-3	03-3471-0238
303080	〃	高陵	コウリョウ	106-0031	西麻布4-14-8	03-3409-7687
303100	〃	赤坂	アカサカ	107-0052	赤坂9-2-3	03-3402-9306
303110	〃	青山	アオヤマ	107-0061	北青山1-1-9	03-3404-7522
303120	〃	港陽	コウヨウ	135-0091	台場1-1-5	03-5500-2575
303130	〃	六本木	ロッポンギ	106-0032	六本木6-8-16	03-3404-8855
303140	〃	三田	ミタ	108-0073	三田4-13-13	03-5441-7348
304010	新宿区	牛込第一	ウシゴメダイイチ	162-0853	北山伏町4-1	03-3266-1605
304020	〃	牛込第二	ウシゴメダイニ	162-0044	喜久井町20	03-3205-9671
304030	〃	牛込第三	ウシゴメダイサン	162-0062	市谷加賀町1-3-1	03-3266-1606
304080	〃	落合	オチアイ	161-0033	下落合2-24-6	03-3565-0701
304090	〃	落合第二	オチアイダイニ	161-0031	西落合1-6-5	03-3565-0702
304160	〃	西新宿	ニシシンジュク	160-0023	西新宿8-2-44	03-5330-0661
304170	〃	四谷	ヨツヤ	160-0004	四谷1-12	03-3358-3771
304180	〃	西早稲田	ニシワセダ	162-0052	戸山3-20-2	03-3205-9674
304190	〃	新宿	シンジュク	160-0022	新宿6-15-22	03-3357-6191
304200	〃	新宿西戸山	シンジュクニシトヤマ	169-0073	百人町4-3-1	03-3227-2110
305010	文京区	第一	ダイイチ	112-0002	小石川5-8-9	03-3811-7271
305030	〃	第三	ダイサン	112-0003	春日1-9-31	03-3814-2544
305060	〃	第六	ダイロク	113-0023	向丘1-2-2	03-3814-6666
305080	〃	第八	ダイハチ	113-0022	千駄木2-19-22	03-3821-7128
305090	〃	第九	ダイク	113-0021	本駒込3-28-9	03-3821-7178
305100	〃	第十	ダイジュウ	112-0011	千石2-40-17	03-3944-0371
305110	〃	文林	ブンリン	113-0022	千駄木5-25-10	03-3827-7671
305120	〃	茗台	メイダイ	112-0003	春日2-9-5	03-3811-2969
305130	〃	本郷台	ホンゴウダイ	113-0033	本郷2-38-23	03-3811-2571
305140	〃	音羽	オトワ	112-0012	大塚1-9-24	03-3947-2771
306040	台東区	上野	ウエノ	110-0002	上野桜木1-14-55	03-3828-5458
306050	〃	忍岡	シノブガオカ	110-0007	上野公園18-20	03-3828-7241
306090	〃	駒形	コマガタ	110-0014	北上野2-15-1	03-3844-2089
306120	〃	浅草	アサクサ	111-0051	蔵前1-3-4	03-3866-5169
306130	〃	御徒町台東	オカチマチタイトウ	110-0016	台東4-13-16	03-3831-3787
306140	〃	柏葉	ハクヨウ	110-0004	下谷3-1-29	03-3876-3341
306150	〃	桜橋	サクラバシ	111-0024	今戸2-1-8	03-3876-2277
307010	墨田区	墨田	スミダ	131-0033	向島4-25-22	03-3625-0351
307020	〃	本所	ホンジョ	130-0005	東駒形3-1-10	03-3625-0355
307030	〃	両国	リョウゴク	130-0015	横網1-8-1	03-3625-0361
307040	〃	竪川	タテカワ	130-0014	亀沢4-11-15	03-3625-0365
307050	〃	錦糸	キンシ	130-0011	石原4-33-14	03-3625-0375
307070	〃	吾嬬第二	アヅマダイニ	131-0041	八広4-4-4	03-3617-2180
307100	〃	寺島	テラジマ	131-0041	八広1-17-15	03-3617-0537
307140	〃	文花	ブンカ	131-0044	文花1-22-7	03-3617-0264
307150	〃	桜堤	サクラツツミ	131-0034	堤通2-19-1	03-3616-5630
307160	〃	吾嬬立花	アヅマタチバナ	131-0043	立花5-48-2	03-3616-2271
308010	江東区	深川第一	フカガワダイイチ	135-0004	森下4-9-22	03-3631-3241
308020	〃	深川第二	フカガワダイニ	136-0076	冬木22-10	03-3641-2877
308030	〃	深川第三	フカガワダイサン	135-0044	越中島3-7-1	03-3641-5948
308040	〃	深川第四	フカガワダイヨン	135-0015	千石1-12-12	03-3644-3077
308050	〃	深川第五	フカガワダイゴ	135-0061	豊洲4-11-18	03-3531-7785
308060	〃	深川第六	フカガワダイロク	135-0023	平野3-6-13	03-3642-4868
308070	〃	深川第七	フカガワダイナナ	135-0001	毛利1-14-1	03-3631-5990

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
308080	江東区	深川第八	フカガワダイハチ	135-0043	塩浜2-21-14	03-3647-0581
308090	〃	亀戸	カメイド	136-0071	亀戸9-2-2	03-3681-0246
308100	〃	第二亀戸	ダイニカメイド	136-0071	亀戸4-51-1	03-3681-7906
308110	〃	第三亀戸	ダイサンカメイド	136-0071	亀戸1-12-10	03-3684-4320
308120	〃	大島	オオジマ	136-0072	大島8-12-22	03-3684-4321
308130	〃	第二大島	ダイニオオジマ	136-0072	大島3-27-18	03-3685-1681
308150	〃	砂町	スナマチ	136-0073	北砂6-16-28	03-3644-3096
308160	〃	第二砂町	ダイニスナマチ	136-0074	東砂8-10-9	03-3646-4464
308170	〃	第三砂町	ダイサンスナマチ	136-0076	南砂3-10-3	03-3646-4477
308180	〃	第四砂町	ダイヨンスナマチ	136-0073	北砂5-20-17	03-3644-0569
308190	〃	辰巳	タツミ	135-0053	辰巳1-10-57	03-3521-8581
308200	〃	南砂	ミナミスナ	136-0076	南砂2-3-20	03-3649-2152
308220	〃	第二南砂	ダイニミナミスナ	136-0076	南砂1-2-18	03-3699-1591
308230	〃	東陽	トウヨウ	135-0016	東陽2-1-8	03-3645-2381
308240	〃	大島西	オオジマニシ	136-0072	大島4-1-23	03-3636-4591
308250	〃	有明	アリアケ	135-0063	有明2-10-1	03-3527-8261
309010	品川区	東海	トウカイ	140-0002	東品川3-30-15	03-3471-6951
309040	〃	大崎	オオサキ	141-0033	西品川3-10-6	03-3491-6623
309050	〃	浜川	ハマカワ	140-0011	東大井3-18-34	03-3761-1014
309070	〃	鈴ケ森	スズガモリ	140-0013	南大井2-3-14	03-3765-2849
309080	〃	冨士見台	フジミダイ	140-0015	西大井5-5-14	03-3772-0900
309090	〃	荏原第一	エバラダイイチ	142-0063	荏原1-24-30	03-3785-1680
309130	〃	荏原第五	エバラダイゴ	142-0064	旗の台5-11-13	03-3781-5643
309140	〃	荏原第六	エバラダイロク	142-0062	小山5-20-19	03-3781-7776
309150	〃	戸越台	トゴシダイ	142-0041	戸越1-15-23	03-3781-6250
310010	目黒区	第一	ダイイチ	153-0044	大橋2-11-1	03-3466-6158
310100	〃	第十	ダイジュウ	152-0023	八雲5-2-1	03-3718-6406
310120	〃	東山	ヒガシヤマ	153-0043	東山1-24-31	03-3711-8794
310130	〃	目黒中央	メグロチュウオウ	153-0065	中町2-37-38	03-3711-8394
310140	〃	大鳥	オオトリ	153-0064	下目黒3-23-18	03-3714-3694
310150	〃	目黒南	メグロミナミ	152-0003	碑文谷1-1-33	03-3714-3794
310160	〃	目黒西	メグロニシ	152-0003	碑文谷4-19-25	03-3714-4594
311010	大田区	大森第一	オオモリダイイチ	143-0013	大森南5-6-5	03-3744-3501
311020	〃	大森第二	オオモリダイニ	143-0016	大森北6-18-1	03-3762-6456
311030	〃	大森第八	オオモリダイハチ	143-0015	大森西2-21-1	03-3762-6656
311040	〃	馬込	マゴメ	143-0026	西馬込2-35-6	03-3773-3985
311050	〃	馬込東	マゴメヒガシ	143-0025	南馬込2-26-30	03-3773-3988
311060	〃	貝塚	カイヅカ	143-0027	中馬込3-13-1	03-3773-3991
311070	〃	大森第四	オオモリダイヨン	146-0082	池上1-15-1	03-3753-7500
311080	〃	大森第三	オオモリダイサン	143-0024	中央4-12-8	03-3773-3995
311090	〃	東調布	ヒガシチョウフ	145-0076	田園調布南29-15	03-3750-4275
311100	〃	田園調布	デンエンチョウフ	145-0071	田園調布2-60-1	03-3721-4241
311110	〃	大森第七	オオモリダイナナ	146-0084	南久が原1-3-1	03-3752-4278
311120	〃	雪谷	ユキガヤ	145-0066	南雪谷5-1-1	03-3726-3121
311130	〃	大森第十	オオモリダイジュウ	146-0081	仲池上2-13-1	03-3752-4245
311140	〃	大森第六	オオモリダイロク	145-0063	南千束1-33-1	03-3726-7155
311150	〃	石川台	イシカワダイ	145-0061	石川町2-23-1	03-3726-7148
311160	〃	羽田	ハネダ	144-0033	東糀谷6-10-12	03-3744-3351
311170	〃	糀谷	コウジヤ	144-0034	西糀谷3-6-23	03-3744-2661
311180	〃	出雲	イズモ	144-0044	本羽田3-4-15	03-3744-2331
311190	〃	六郷	ロクゴウ	144-0055	仲六郷3-11-11	03-3732-9338
311200	〃	志茂田	シモダ	144-0056	西六郷1-4-10	03-3732-9318
311210	〃	南六郷	ミナミロクゴウ	144-0045	南六郷3-2-1	03-3732-9351
311220	〃	矢口	ヤグチ	146-0092	下丸子2-23-1	03-3759-9331
311230	〃	御園	ミソノ	144-0051	西蒲田8-5-1	03-3732-9328
311240	〃	蓮沼	ハスヌマ	144-0051	西蒲田2-3-1	03-3753-2125
311250	〃	安方	ヤスカタ	146-0094	東矢口2-1-1	03-3759-9335
311260	〃	東蒲	トウホ	144-0031	東蒲田2-38-1	03-3732-9321
311270	〃	蒲田	カマタ	144-0052	蒲田1-12-5	03-3732-9315
311280	〃	大森東	オオモリヒガシ	143-0012	大森東4-1-1	03-3762-3191
312020	世田谷区	太子堂	タイシドウ	154-0004	太子堂3-27-17	03-3413-0810
312030	〃	桜丘	サクラガオカ	156-0054	桜丘2-1-39	03-3429-6203
312040	〃	松沢	マツザワ	156-0045	桜上水4-5-2	03-3303-7381
312050	〃	駒沢	コマザワ	154-0012	駒沢2-39-25	03-3422-7401
312060	〃	北沢	キタザワ	155-0031	北沢5-12-3	03-3468-2501
312070	〃	緑丘	ミドリガオカ	156-0045	桜上水3-19-12	03-3303-7332
312080	〃	駒留	コマドメ	154-0002	下馬4-18-1	03-3424-3070
312090	〃	梅丘	ウメガオカ	156-0043	松原6-5-11	03-3322-7491

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
312100	世田谷区	桜木	サクラギ	156-0053	桜1-48-15	03-3420-0149
312120	〃	富士	フジ	155-0032	代沢1-23-17	03-3414-5174
312150	〃	弦巻	ツルマキ	154-0016	弦巻1-42-22	03-3428-8381
312160	〃	奥沢	オクサワ	158-0083	奥沢1-42-1	03-3726-2561
312170	〃	八幡	ヤハタ	158-0082	等々力6-4-1	03-3701-2161
312180	〃	玉川	タマガワ	158-0091	中町4-21-1	03-3701-7128
312190	〃	瀬田	セタ	158-0095	瀬田2-17-1	03-3700-6900
312200	〃	深沢	フカサワ	154-0014	新町1-26-29	03-3703-0158
312210	〃	尾山台	オヤマダイ	158-0086	尾山台3-27-23	03-3701-1171
312220	〃	用賀	ヨウガ	158-0098	上用賀5-15-1	03-3700-5600
312230	〃	東深沢	ヒガシフカサワ	158-0081	深沢4-18-28	03-3703-0151
312240	〃	砧	キヌタ	157-0066	成城1-10-1	03-3417-2367
312250	〃	烏山	カラスヤマ	157-0062	南烏山4-26-1	03-3300-6361
312260	〃	千歳	チトセ	157-0071	千歳台6-15-1	03-3300-7361
312270	〃	芦花	ロカ	157-0063	粕谷2-22-2	03-3302-2571
312290	〃	上祖師谷	カミソシガヤ	157-0065	上祖師谷7-10-1	03-3308-9683
312300	〃	砧南	キヌタミナミ	157-0077	鎌田3-13-20	03-3417-6791
312310	〃	喜多見	キタミ	157-0067	喜多見4-20-1	03-3417-4971
312330	〃	三宿	ミシュク	154-0004	太子堂1-3-43	03-3413-4511
312340	〃	世田谷	セタガヤ	154-0022	梅丘3-8-1	03-3420-7173
312350	〃	船橋希望	フナバシキボウ	156-0055	船橋4-20-1	03-3484-3741
312360	〃	北沢学園	キタザワガクエン	155-0031	北沢4-32-20	03-6416-8659
313010	渋谷区	広尾	ヒロオ	150-0001	神宮前5-53-18	03-3400-2440
313020	〃	鉢山	ハチヤマ	150-0032	鶯谷町9-1	03-3463-1583
313030	〃	上原	ウエハラ	151-0064	上原3-41-2	03-3460-0666
313040	〃	代々木	ヨヨギ	151-0066	西原1-40-34	03-3466-0181
313060	〃	笹塚	ササヅカ	151-0073	笹塚3-10-1	03-3376-3364
313070	〃	松濤	ショウトウ	150-0001	神宮前5-53-18	03-3469-2451
313080	〃	渋谷本町学園	シブヤホンマチガクエン	151-0071	本町4-3-1	03-3373-3201
313100	〃	原宿外苑	ハラジュクガイエン	150-0001	神宮前1-24-6	03-3402-7526
314020	中野区	第二	ダイニ	164-0012	本町5-25-1	03-3382-7151
314050	〃	第五	ダイゴ	164-0002	上高田4-28-1	03-3389-2341
314070	〃	第七	ダイナナ	164-0002	上高田5-35-3	03-3389-4171
314140	〃	北中野	キタナカノ	165-0031	上鷺宮5-7-1	03-3999-3415
314150	〃	緑野	ミドリノ	165-0021	丸山1-1-19	03-3386-5423
314160	〃	南中野	ミナミナカノ	164-0014	南台5-22-17	03-3381-7277
314170	〃	中野	ナカノ	164-0001	中野4-12-3	03-3389-1471
314180	〃	中野東	ナカノヒガシ	164-0011	中央1-41-4	03-3362-5236
314190	〃	明和	メイワ	165-0033	若宮3-53-16	03-3330-5325
315020	杉並区	高南	コウナン	166-0012	和田3-40-10	03-3313-1361
315030	〃	杉森	スギノモリ	166-0001	阿佐谷北5-45-24	03-3330-3431
315040	〃	阿佐ヶ谷	アサガヤ	166-0004	阿佐谷南1-17-3	03-3314-2261
315050	〃	東田	ヒガシタ	166-0015	成田東3-19-17	03-3313-1461
315060	〃	松渓	ショウケイ	167-0051	荻窪2-3-1	03-3392-7328
315070	〃	天沼	アマヌマ	167-0031	本天沼3-10-20	03-3390-0161
315080	〃	東原	ヒガシハラ	167-0022	下井草1-28-5	03-3390-0148
315090	〃	中瀬	ナカセ	167-0022	下井草4-3-29	03-3399-2196
315100	〃	井荻	イオギ	167-0035	今川2-13-24	03-3399-0148
315110	〃	井草	イグサ	167-0023	上井草3-20-11	03-3390-3144
315120	〃	荻窪	オギクボ	167-0041	善福寺1-8-3	03-3399-0196
315130	〃	神明	シンメイ	167-0052	南荻窪2-37-28	03-3333-7428
315140	〃	宮前	ミヤマエ	168-0081	宮前2-12-1	03-3333-8728
315150	〃	富士見丘	フジミガオカ	168-0082	久我山2-20-1	03-3333-8928
315160	〃	高井戸	タカイド	168-0072	高井戸東1-28-1	03-3302-1762
315170	〃	向陽	コウヨウ	168-0073	下高井戸3-24-1	03-3302-2989
315180	〃	松ノ木	マツノキ	166-0014	松ノ木1-4-1	03-3313-1561
315190	〃	大宮	オオミヤ	166-0013	堀ノ内1-16-38	03-3313-2161
315200	〃	泉南	センナン	166-0013	堀ノ内1-3-1	03-3313-2361
315210	〃	和田	ワダ	166-0012	和田2-21-8	03-3383-2428
315230	〃	西宮	ニシミヤ	168-0081	宮前5-1-25	03-3333-8828
315240	〃	和泉	イズミ	168-0063	和泉2-17-14	03-3322-7671
315250	〃	高円寺	コウエンジ	166-0002	高円寺北1-4-11	03-3389-1581
316010	豊島区	駒込	コマゴメ	170-0003	駒込4-5-1	03-3918-2105
316030	〃	西巣鴨	ニシスガモ	170-0005	南大塚3-18-1	03-3986-0661
316050	〃	池袋	イケブクロ	170-0011	池袋本町1-43-1	03-3986-5435
316110	〃	千川	センカワ	171-0044	千早2-39-16	03-5995-6150
316140	〃	千登世橋	チトセバシ	171-0031	目白1-1-1	03-3987-6285

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
316150	豊島区	巣鴨北	スガモキタ	170-0001	西巣鴨3-17-1	03-3918-2144
316160	〃	明豊	メイホウ	171-0051	長崎5-31-29	03-3956-8174
316170	〃	西池袋	ニシイケブクロ	171-0021	西池袋4-7-1	03-3986-5427
317050	北区	堀船	ホリフナ	114-0002	王子5-2-8	03-3911-8817
317070	〃	稲付	イナツケ	115-0055	赤羽西6-1-4	03-3900-6211
317120	〃	浮間	ウキマ	115-0051	浮間4-29-32	03-3967-0226
317170	〃	飛鳥	アスカ	114-0024	西ケ原3-5-12	03-3910-6175
317210	〃	王子桜	オウジサクラ	114-0002	王子2-7-1	03-5902-3155
317220	〃	桐ケ丘	キリガオカ	115-0054	桐ケ丘2-6-11	03-5963-3811
317230	〃	明桜	メイオウ	114-0002	王子6-3-23	03-5959-0031
317240	〃	十条富士見	ジュウジョウフジミ	114-0033	十条台1-9-33	03-5924-2401
317250	〃	田端	タバタ	114-0014	田端4-17-1	03-5814-7151
317260	〃	滝野川紅葉	タキノガワコウヨウ	114-0023	滝野川5-55-8	03-5907-5020
317270	〃	赤羽岩淵	アカバネイワブチ	115-0045	赤羽2-6-18	03-5249-4071
318010	荒川区	第一	ダイイチ	116-0002	荒川1-30-1	03-3891-8354
318030	〃	第三	ダイサン	116-0003	南千住8-10-1	03-3801-5808
318040	〃	第四	ダイヨン	116-0002	荒川6-57-1	03-3895-7334
318050	〃	第五	ダイゴ	116-0001	町屋1-37-16	03-3895-1283
318070	〃	第七	ダイシチ	116-0011	西尾久4-30-28	03-3894-6623
318090	〃	第九	ダイキュウ	116-0012	東尾久2-23-5	03-3892-7834
318140	〃	尾久八幡	オグハチマン	116-0011	西尾久3-14-1	03-3893-7776
318160	〃	南千住第二	ミナミセンジュダイニ	116-0003	南千住7-25-1	03-3891-8532
318170	〃	原	ハラ	116-0001	町屋5-12-6	03-3895-6495
318180	〃	諏訪台	スワダイ	116-0013	西日暮里2-36-8	03-3891-6115
319010	板橋区	板橋第一	イタバシダイイチ	173-0014	大山東町50-1	03-3962-5315
319020	〃	板橋第二	イタバシダイニ	173-0034	幸町26-1	03-3956-8121
319030	〃	板橋第三	イタバシダイサン	173-0013	氷川町22-3	03-3962-8865
319050	〃	板橋第五	イタバシダイゴ	173-0004	板橋4-49-3	03-3962-7755
319060	〃	加賀	カガ	173-0003	加賀2-19-1	03-3962-6331
319070	〃	志村第一	シムラダイイチ	174-0061	大原町33-1	03-3960-8786
319080	〃	志村第二	シムラダイニ	174-0051	小豆沢1-21-1	03-3969-3363
319090	〃	志村第三	シムラダイサン	174-0043	坂下2-21-1	03-3966-9176
319100	〃	志村第四	シムラダイヨン	174-0056	志村3-15-1	03-3966-9426
319110	〃	西台	ニシダイ	175-0082	高島平1-4-1	03-3934-4501
319120	〃	中台	ナカダイ	174-0064	中台1-56-23	03-3932-6357
319130	〃	上板橋第一	カミイタバシダイイチ	173-0037	小茂根1-2-1	03-3956-8126
319140	〃	上板橋第二	カミイタバシダイニ	173-0036	向原3-1-12	03-3956-8136
319150	〃	上板橋第三	カミイタバシダイサン	174-0071	常盤台3-30-1	03-3960-2312
319160	〃	桜川	サクラガワ	174-0075	桜川1-2-1	03-3932-6355
319180	〃	赤塚第一	アカツカダイイチ	175-0083	徳丸4-13-1	03-3932-5314
319190	〃	赤塚第二	アカツカダイニ	175-0094	成増3-18-1	03-3939-0247
319200	〃	赤塚第三	アカツカダイサン	175-0092	赤塚7-27-15	03-3930-3535
319210	〃	高島第二	タカシマダイニ	175-0082	高島平2-24-1	03-3936-1591
319220	〃	高島第一	タカシマダイイチ	175-0082	高島平8-26-1	03-3936-1171
319230	〃	高島第三	タカシマダイサン	175-0082	高島平4-22-1	03-3938-2551
319240	〃	志村第五	シムラダイゴ	174-0043	坂下2-1-20	03-3969-8421
320010	練馬区	旭丘	アサヒガオカ	176-0005	旭丘2-40-1	03-3957-3133
320020	〃	豊玉	トヨタマ	176-0014	豊玉南2-1-20	03-3994-1451
320030	〃	豊玉第二	トヨタマダイニ	176-0012	豊玉北2-24-5	03-3993-4212
320040	〃	中村	ナカムラ	176-0025	中村南1-32-21	03-3990-4436
320050	〃	開進第一	カイシンダイイチ	179-0085	早宮1-16-50	03-3993-2417
320060	〃	開進第二	カイシンダイニ	176-0001	練馬2-27-28	03-3993-1348
320070	〃	開進第三	カイシンダイサン	176-0002	桜台3-28-1	03-3993-4265
320080	〃	開進第四	カイシンダイヨン	176-0003	羽沢3-24-1	03-3993-1481
320090	〃	北町	キタマチ	179-0081	北町3-1-34	03-3932-7231
320100	〃	練馬	ネリマ	179-0075	高松1-24-1	03-3990-5451
320110	〃	貫井	ヌクイ	176-0021	貫井2-14-13	03-3990-6412
320120	〃	田柄	タガラ	179-0073	田柄3-3-1	03-3990-4403
320130	〃	豊渓	ホウケイ	179-0071	旭町3-5-10	03-3939-0245
320140	〃	石神井	シャクジイ	177-0045	石神井台1-32-1	03-3997-3131
320150	〃	石神井南	シャクジイミナミ	177-0042	下石神井2-7-23	03-3997-3315
320160	〃	石神井東	シャクジイヒガシ	177-0033	高野台1-8-34	03-3996-2157
320170	〃	石神井西	シャクジイニシ	177-0053	関町南3-10-3	03-3920-1034
320180	〃	上石神井	カミシャクジイ	177-0044	上石神井4-15-27	03-3920-1126
320190	〃	大泉	オオイズミ	178-0063	東大泉4-27-35	03-3924-0771
320200	〃	大泉学園	オオイズミガクエン	178-0061	大泉学園町4-17-32	03-3925-4492

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
320210	練馬区	大泉第二	オオイズミダイニ	178-0063	東大泉6-21-1	03-3922-0165
320220	〃	八坂	ヤサカ	179-0076	土支田4-47-21	03-3924-0399
320230	〃	練馬東	ネリマヒガシ	179-0074	春日町2-14-22	03-3998-0231
320240	〃	大泉西	オオイズミニシ	178-0065	西大泉3-19-27	03-3921-7101
320250	〃	関	セキ	177-0051	関町北4-34-23	03-3929-0048
320260	〃	谷原	ヤワラ	177-0032	谷原4-10-5	03-3995-8036
320270	〃	三原台	ミハラダイ	177-0031	三原台3-13-41	03-3925-9564
320280	〃	大泉北	オオイズミキタ	178-0062	大泉町5-4-32	03-3925-9230
320290	〃	南が丘	ミナミガオカ	177-0035	南田中4-8-23	03-3904-5782
320300	〃	大泉学園桜	オオイズミガクエンサクラ	178-0061	大泉学園町9-2-1	03-3924-1126
320310	〃	光が丘第一	ヒカリガオカダイイチ	179-0072	光が丘6-5-1	03-3976-5871
320330	〃	光が丘第二	ヒカリガオカダイニ	179-0072	光が丘7-1-1	03-3976-9202
320340	〃	光が丘第三	ヒカリガオカダイサン	179-0072	光が丘3-2-1	03-3977-3521
321010	足立区	第一	ダイイチ	120-0037	千住河原町4-7	03-3888-5426
321040	〃	第四	ダイヨン	121-0816	梅島1-2-33	03-3887-6891
321050	〃	第五	ダイゴ	123-0845	西新井本町2-3-1	03-3898-7391
321060	〃	第六	ダイロク	123-0856	本木西町16-1	03-3898-7491
321070	〃	第七	ダイナナ	123-0852	関原3-32-14	03-3887-7691
321090	〃	第九	ダイキュウ	123-0851	梅田6-32-1	03-3887-7791
321100	〃	第十	ダイジュウ	121-0816	梅島3-23-3	03-3887-7891
321110	〃	第十一	ダイジュウイチ	120-0013	弘道1-38-15	03-3887-8191
321120	〃	第十二	ダイジュウニ	120-0001	大谷田1-37-1	03-3605-2734
321130	〃	第十三	ダイジュウサン	121-0057	神明南1-16-1	03-3605-4711
321140	〃	第十四	ダイジュウヨン	121-0822	西竹の塚1-8-1	03-3899-1191
321170	〃	江南	コウナン	120-0047	宮城1-8-4	03-3911-6413
321180	〃	新田	シンデン	123-0865	新田3-34-2	03-3913-6665
321210	〃	東島根	ヒガシシマネ	121-0076	平野1-27-2	03-3884-1331
321220	〃	渕江	フチエ	121-0064	保木間3-6-6	03-3885-0039
321230	〃	竹の塚	タケノツカ	121-0812	西保木間4-12-13	03-3883-1251
321240	〃	東綾瀬	ヒガシアヤセ	120-0005	綾瀬3-23-14	03-3605-6565
321250	〃	花畑	ハナハタ	121-0061	花畑1-31-1	03-3884-0731
321260	〃	蒲原	カバラ	120-0003	東和3-17-15	03-3605-8335
321270	〃	青井	アオイ	121-0012	青井4-19-1	03-3880-2231
321280	〃	西新井	ニシアライ	123-0841	西新井7-22-1	03-3890-8167
321290	〃	入谷	イリヤ	121-0836	入谷3-6-1	03-3855-3196
321310	〃	伊興	イコウ	121-0823	伊興5-17-1	03-3855-2361
321320	〃	花畑北	ハナハタキタ	121-0061	花畑6-12-35	03-3859-5031
321330	〃	谷中	ヤナカ	120-0006	谷中3-14-1	03-3620-6662
321340	〃	花保	ハナホ	121-0062	南花畑2-41-1	03-3859-8011
321350	〃	栗島	クリシマ	121-0011	中央本町5-23-1	03-3852-1011
321360	〃	扇	オウギ	123-0873	扇3-18-14	03-3856-1421
321370	〃	加賀	カガ	123-0861	加賀2-25-22	03-3857-1121
321380	〃	入谷南	イリヤミナミ	121-0836	入谷1-24-1	03-3897-9919
321390	〃	六月	ロクガツ	121-0814	六月1-30-1	03-3859-1072
321400	〃	千寿青葉	センジュアオバ	120-0043	千住宮元町27-6	03-3888-7456
321410	〃	千寿桜堤	センジュサクラヅツミ	120-0022	柳原2-49-1	03-3888-5081
321420	〃	鹿浜菜の花	シカハマナノハナ	123-0872	江北7-17-11	03-3899-1504
321430	〃	江北桜	コウホクサクラ	123-0872	江北1-17-1	03-3854-1191
322010	葛飾区	本田	ホンデン	124-0013	東立石4-7-1	03-3692-4900
322020	〃	金町	カナマチ	125-0035	南水元3-1-1	03-3607-2575
322030	〃	水元	ミズモト	125-0032	水元3-20-1	03-3607-4296
322040	〃	新宿	ニイジュク	125-0051	新宿3-20-10	03-3607-6201
322050	〃	奥戸	オクド	124-0021	細田1-6-1	03-3650-1326
322060	〃	綾瀬	アヤセ	124-0001	小菅2-12-1	03-3602-9125
322070	〃	上平井	カミヒライ	124-0023	東新小岩4-2-1	03-3692-8114
322080	〃	中川	ナカガワ	124-0014	東四つ木1-3-1	03-3692-4260
322090	〃	桜道	サクラミチ	125-0052	柴又4-3-1	03-3659-4371
322100	〃	堀切	ホリキリ	124-0006	堀切1-36-1	03-3693-0206
322110	〃	双葉	フタバ	124-0003	お花茶屋1-10-1	03-3602-2144
322120	〃	大道	ダイドウ	124-0011	四つ木5-22-1	03-3693-3350
322130	〃	四ツ木	ヨツギ	124-0011	四つ木4-22-1	03-3693-4644
322140	〃	小松	コマツ	124-0024	新小岩4-30-1	03-3653-1436
322150	〃	亀有	カメアリ	125-0061	亀有1-23-1	03-3690-4567
322160	〃	立石	タテイシ	124-0012	立石6-3-1	03-3693-7343
322170	〃	常盤	トキワ	125-0042	金町2-11-1	03-3607-1122
322180	〃	一之台	イチノダイ	125-0002	西亀有4-1-1	03-3605-5230
322190	〃	青戸	アオト	125-0062	青戸5-10-1	03-3601-8327

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
322200	葛飾区	青葉	アオバ	124-0006	堀切8-12-1	03-3602-9591
322210	〃	高砂	タカサゴ	125-0054	高砂3-30-1	03-3658-5194
322220	〃	東金町	ヒガシカナマチ	125-0041	東金町5-3-1	03-3609-0444
322230	〃	葛美	カツミ	125-0032	水元2-17-1	03-3627-1401
322240	〃	新小岩	シンコイワ	124-0025	西新小岩2-1-2	03-3695-2541
323020	江戸川区	小松川第二	コマツガワダイニ	132-0034	小松川2-10-2	03-3685-4900
323040	〃	松江第一	マツエダイイチ	132-0025	松江5-5-1	03-3652-0197
323050	〃	松江第二	マツエダイニ	132-0031	松島2-3-1	03-3651-2546
323060	〃	松江第三	マツエダイサン	132-0021	中央1-20-1	03-3651-0043
323070	〃	松江第四	マツエダイヨン	132-0023	西一之江1-16-1	03-3652-7591
323080	〃	松江第五	マツエダイゴ	132-0024	一之江6-18-1	03-3652-7946
323090	〃	葛西	カサイ	134-0083	中葛西2-4-3	03-3680-3486
323100	〃	葛西第二	カサイダイニ	134-0082	宇喜田町1085	03-3680-5146
323110	〃	瑞江	ミズエ	134-0013	江戸川4-16	03-3651-2210
323120	〃	瑞江第二	ミズエダイニ	132-0011	瑞江4-54-1	03-3670-1301
323130	〃	鹿本	シカモト	133-0043	松本1-36-1	03-3651-0817
323140	〃	篠崎	シノザキ	133-0061	篠崎町5-12-19	03-3679-3001
323150	〃	小岩第一	コイワダイイチ	133-0052	東小岩3-10-8	03-3659-7291
323160	〃	小岩第二	コイワダイニ	133-0052	東小岩1-6-10	03-3657-1916
323170	〃	小岩第三	コイワダイサン	133-0051	北小岩8-19-1	03-3657-1958
323180	〃	小岩第四	コイワダイヨン	133-0057	西小岩3-9-18	03-3659-9471
323190	〃	小岩第五	コイワダイゴ	133-0073	鹿骨5-27-1	03-3679-6375
323200	〃	上一色	カミイッシキ	133-0041	上一色1-8-11	03-3653-5407
323210	〃	瑞江第三	ミズエダイサン	132-0014	東瑞江1-38-33	03-3678-1495
323220	〃	葛西第三	カサイダイサン	134-0083	中葛西6-6-13	03-3687-8021
323230	〃	松江第六	マツエダイロク	132-0025	松江7-16-18	03-3656-6711
323240	〃	篠崎第二	シノザキダイニ	133-0064	下篠崎町14-1	03-3677-9531
323250	〃	春江	ハルエ	132-0003	春江町2-47-1	03-3678-9241
323260	〃	二之江	ニノエ	134-0003	春江町5-3-1	03-3686-2281
323270	〃	鹿骨	シシボネ	133-0073	鹿骨2-12-1	03-3678-5166
323280	〃	南葛西	ミナミカサイ	134-0085	南葛西5-12-1	03-3675-0317
323290	〃	西葛西	ニシカサイ	134-0088	西葛西5-10-18	03-3686-7874
323300	〃	東葛西	ヒガシカサイ	134-0084	東葛西6-40-1	03-3675-4761
323310	〃	清新第一	セイシンダイイチ	134-0087	清新町1-5-14	03-3878-1281
323320	〃	南葛西第二	ミナミカサイダイニ	134-0085	南葛西5-3-1	03-3878-3651
323330	〃	清新第二	セイシンダイニ	134-0087	清新町2-1-2	03-3877-6631
323340	〃	小松川	コマツガワ	132-0035	平井3-20-1	03-3683-8013
331010	八王子市	第一	ダイイチ	192-0032	石川町2957-1	042-642-1894
331020	〃	第二	ダイニ	192-0041	中野上町4-28-1	042-624-2135
331040	〃	第四	ダイヨン	192-0051	元本郷町2-21-1	042-622-7227
331050	〃	第五	ダイゴ	192-0046	明神町4-19-1	042-642-1633
331060	〃	第六	ダイロク	192-0902	上野町97	042-622-9131
331070	〃	第七	ダイナナ	193-0832	散田町2-2-1	042-661-1545
331080	〃	横山	ヨコヤマ	193-0832	散田町5-22-36	042-661-0257
331090	〃	長房	ナガフサ	193-0824	長房町1041-1	042-664-1480
331100	〃	館	タテ	193-0944	館町1097-15	042-664-8200
331110	〃	元八王子	モトハチオウジ	193-0816	大楽寺町415	042-624-3201
331120	〃	恩方	オンガタ	192-0156	上恩方町11	042-651-3652
331130	〃	川口	カワグチ	193-0801	川口町2555	042-654-2485
331140	〃	加住	カスミ	192-0004	加住町1-191	042-691-0362
331150	〃	由井	ユイ	192-0914	片倉町553	042-642-2148
331160	〃	打越	ウチコシ	192-0911	打越町349-1	042-645-3046
331170	〃	浅川	アサカワ	193-0845	初沢町1370	042-661-0148
331180	〃	由木	ユギ	192-0372	下柚木2-34-2	042-676-8120
331190	〃	四谷	ヨツヤ	193-0813	四谷町555	042-626-0961
331200	〃	楢原	ナラハラ	193-0803	楢原町1235	042-626-1205
331210	〃	松が谷	マツガヤ	192-0354	松が谷23	042-676-3345
331220	〃	椚田	クヌギダ	193-0942	椚田町172	042-665-3473
331230	〃	ひよどり山	ヒヨドリヤマ	192-0043	暁町3-1-1	042-625-6431
331240	〃	横川	ヨコカワ	193-0823	横川町364	042-624-3261
331250	〃	中山	ナカヤマ	192-0374	中山1158-1	042-635-0521
331260	〃	甲ノ原	コウノハラ	192-0015	中野町2639-2	042-623-4281
331270	〃	石川	イシカワ	192-0023	久保山町2-55	042-691-6881
331280	〃	城山	シロヤマ	193-0821	川町792-2	042-665-7256
331290	〃	南大沢	ミナミオオサワ	192-0364	南大沢3-7	042-676-5211
331300	〃	陵南	リョウナン	193-0834	東浅川町553-9	042-665-4711

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
331310	八王子市	宮上	ミヤカミ	192-0364	南大沢5-5	042-676-5571
331320	〃	別所	ベッショ	192-0363	別所2-28	042-676-6635
331330	〃	上柚木	カミユギ	192-0373	上柚木3-17	042-678-2580
331340	〃	松木	マツギ	192-0363	別所1-34-1	042-678-2588
331350	〃	みなみ野	ミナミノ	192-0916	みなみ野6-14-2	042-636-0061
331360	〃	鑓水	ヤリミズ	192-0375	鑓水2-67	042-675-7331
331370	〃	七国	ナナクニ	192-0919	七国6-41-1	042-637-0773
331380	〃	高尾山学園中学部	タカオサンガクエンチュウガクブ	193-0944	館町1097-30	042-666-9325
332010	立川市	立川第一	タチカワダイイチ	190-0023	柴崎町1-3-4	042-523-4328
332020	〃	立川第二	タチカワダイニ	190-0012	曙町3-29-46	042-523-4338
332030	〃	立川第三	タチカワダイサン	190-0021	羽衣町3-25-6	042-523-4348
332040	〃	立川第四	タチカワダイヨン	190-0002	幸町5-49-1	042-536-2411
332050	〃	立川第五	タチカワダイゴ	190-0032	上砂町3-27-1	042-536-2511
332060	〃	立川第六	タチカワダイロク	190-0015	泉町786-16	042-537-3195
332070	〃	立川第七	タチカワダイナナ	190-0034	西砂町6-28-3	042-531-0511
332080	〃	立川第八	タチカワダイハチ	190-0013	富士見町7-24-1	042-526-2007
332090	〃	立川第九	タチカワダイキュウ	190-0001	若葉町3-19-5	042-535-1415
333010	武蔵野市	第一	ダイイチ	180-0006	中町3-9-5	0422-51-8041
333020	〃	第二	ダイニ	180-0021	桜堤1-7-31	0422-52-2148
333030	〃	第三	ダイサン	180-0002	吉祥寺東町1-23-8	0422-22-1426
333040	〃	第四	ダイヨン	180-0001	吉祥寺北町5-11-41	0422-51-7675
333050	〃	第五	ダイゴ	180-0014	関前2-10-20	0422-52-0421
333060	〃	第六	ダイロク	180-0022	境3-20-10	0422-53-6311
334010	三鷹市	第一	ダイイチ	181-0013	下連雀9-10-1	0422-44-5371
334020	〃	第二	ダイニ	181-0014	野崎3-14-1	0422-31-6372
334030	〃	第三	ダイサン	181-0002	牟礼4-13-8	0422-44-6181
334040	〃	第四	ダイヨン	181-0012	上連雀4-18-7	0422-43-9141
334050	〃	第五	ダイゴ	181-0004	新川1-7-20	0422-45-3201
334060	〃	第六	ダイロク	181-0004	新川2-12-17	0422-49-1833
334070	〃	第七	ダイナナ	181-0015	大沢2-11-12	0422-31-1118
335010	青梅市	第一	ダイイチ	198-0088	裏宿町615	0428-22-7281
335020	〃	第二	ダイニ	198-0043	千ヶ瀬町2-155	0428-22-7284
335030	〃	第三	ダイサン	198-0014	大門2-301	0428-31-7286
335040	〃	西	ニシ	198-0063	梅郷6-1460-1	0428-76-0114
335060	〃	第六	ダイロク	198-0003	小曾木4-2040	0428-74-5344
335070	〃	第七	ダイシチ	198-0001	成木4-544-2	0428-74-5217
335080	〃	霞台	カスミダイ	198-0031	師岡町4-6-1	0428-24-1141
335090	〃	吹上	フキアゲ	198-0015	吹上1	0428-24-1880
335100	〃	新町	シンマチ	198-0024	新町5-20-1	0428-31-0411
335110	〃	泉	イズミ	198-0024	新町1-37	0428-31-2297
335120	〃	東	ヒガシ	198-0024	新町3-72-1	0428-31-8451
336010	府中市	府中第一	フチュウダイイチ	183-0054	幸町1-22	042-361-9301
336020	〃	府中第二	フチュウダイニ	183-0004	紅葉丘1-23	042-361-9302
336030	〃	府中第三	フチュウダイサン	183-0027	本町4-16	042-361-9303
336040	〃	府中第四	フチュウダイヨン	183-0045	美好町2-13	042-363-9124
336050	〃	府中第五	フチュウダイゴ	183-0052	新町2-44-20	042-361-9305
336060	〃	府中第六	フチュウダイロク	183-0012	押立町1-2	042-361-7146
336070	〃	府中第七	フチュウダイナナ	183-0042	武蔵台2-4	042-322-0557
336080	〃	府中第八	フチュウダイハチ	183-0035	四谷1-2827	042-364-1881
336090	〃	府中第九	フチュウダイキュウ	183-0013	小柳町2-49	042-367-0320
336100	〃	府中第十	フチュウダイジュウ	183-0031	西府町4-21	042-576-7227
336110	〃	浅間	センゲン	183-0001	浅間町1-1	042-360-0031
337010	昭島市	昭和	ショウワ	196-0033	東町2-6-22	042-541-0065
337020	〃	清泉	セイセン	196-0024	宮沢町1-9-1	042-541-0762
337030	〃	拝島	ハイジマ	196-0004	緑町2-2-12	042-541-1040
337040	〃	多摩辺	タマベ	196-0002	拝島町4-6-30	042-545-5501
337050	〃	福島	フクジマ	196-0031	福島町3-20-1	042-541-2940
337060	〃	瑞雲	ズイウン	196-0012	つつじが丘2-2-6	042-544-6511
338010	調布市	調布	チョウフ	182-0033	富士見町4-17-1	042-482-0275
338020	〃	神代	ジンダイ	182-0016	佐須町5-26-1	042-482-0171
338030	〃	第三	ダイサン	182-0023	染地3-2-7	042-482-0293
338040	〃	第四	ダイヨン	182-0003	若葉町3-15-1	03-3308-1175
338050	〃	第五	ダイゴ	182-0035	上石原3-27-1	042-484-1311
338060	〃	第六	ダイロク	182-0022	国領町3-8-23	042-485-5276
338070	〃	第七	ダイナナ	182-0015	八雲台2-16-1	042-487-4521
338080	〃	第八	ダイハチ	182-0002	仙川町2-15-2	03-3309-4131

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
339010	町田市	町田第一	マチダダイイチ	194-0021	中町1-27-5	042-722-2420
339020	〃	町田第二	マチダダイニ	194-0031	南大谷1-9-1	042-722-1101
339030	〃	町田第三	マチダダイサン	194-0032	本町田1853	042-722-6095
339040	〃	南	ミナミ	194-0012	金森3-27-1	042-796-2248
339050	〃	薬師	ヤクシ	195-0072	金井1-20-1	042-725-5002
339060	〃	鶴川	ツルカワ	195-0064	小野路町1905-1	042-735-2405
339070	〃	忠生	タダオ	194-0035	忠生3-14-1	042-791-0821
339080	〃	堺	サカイ	194-0211	相原町752	042-771-2348
339090	〃	鶴川第二	ツルカワダイニ	195-0061	鶴川6-4	042-734-4343
339100	〃	南大谷	ミナミオオヤ	194-0031	南大谷6-17-1	042-723-5567
339120	〃	つくし野	ツクシノ	194-0002	南つくし野2-14-2	042-795-0323
339130	〃	成瀬台	ナルセダイ	194-0043	成瀬台2-5-1	042-728-6030
339140	〃	山崎	ヤマサキ	195-0074	山崎町1445	042-793-1021
339150	〃	真光寺	シンコウジ	195-0057	真光寺3-8-1	042-734-4605
339160	〃	南成瀬	ミナミナルセ	194-0045	南成瀬7-7-1	042-729-3441
339170	〃	武蔵岡	ムサシオカ	194-0211	相原町3765-3	042-782-9155
339180	〃	木曽	キソ	194-0037	木曽西2-4-9	042-792-3081
339190	〃	小山田	オヤマダ	194-0204	小山田桜台1-12	042-797-4545
339200	〃	金井	カナイ	195-0072	金井6-15-1	042-734-0259
339210	〃	小山	オヤマ	194-0215	小山ヶ丘1-2-4	042-798-1251
340010	小金井市	小金井第一	コガネイダイイチ	184-0005	桜町2-3-15	042-383-1161
340020	〃	小金井第二	コガネイダイニ	184-0012	中町1-8-25	042-383-1162
340030	〃	東	ヒガシ	184-0011	東町1-5-33	042-383-1163
340040	〃	緑	ミドリ	184-0003	緑町2-11-47	042-383-1164
340050	〃	南	ミナミ	184-0014	貫井南町1-26-1	042-383-1105
341010	小平市	小平第一	コダイラダイイチ	187-0042	仲町506	042-341-0048
341020	〃	小平第二	コダイラダイニ	187-0031	小川東町1-17-1	042-341-0244
341030	〃	小平第三	コダイラダイサン	187-0011	鈴木町1-311	042-341-0575
341040	〃	小平第四	コダイラダイヨン	187-0045	学園西町1-3-1	042-341-4344
341050	〃	小平第五	コダイラダイゴ	187-0032	小川町1-798	042-341-6795
341060	〃	小平第六	コダイラダイロク	187-0001	大沼町6-4-1	042-341-6796
341070	〃	上水	ジョウスイ	187-0021	上水南町1-7-1	042-323-8611
341080	〃	花小金井南	ハナコガネイミナミ	187-0003	花小金井南町1-9-1	042-465-0451
342010	日野市	日野第一	ヒノダイイチ	191-0011	日野本町7-7-7	042-581-0009
342020	〃	日野第二	ヒノダイニ	191-0062	多摩平4-5-2	042-581-0056
342030	〃	七生	ナナオ	191-0041	南平6-7-1	042-591-0174
342040	〃	日野第三	ヒノダイサン	191-0042	程久保650	042-591-2228
342050	〃	日野第四	ヒノダイヨン	191-0065	旭が丘2-42	042-583-3905
342060	〃	三沢	ミサワ	191-0032	三沢1-17-4	042-592-5017
342070	〃	大坂上	オオサカウエ	191-0061	大坂上4-17-1	042-583-9755
342080	〃	平山	ヒラヤマ	191-0043	平山4-21-3	042-593-3015
343010	東村山市	東村山第一	ヒガシムラヤマダイイチ	189-0024	富士見町1-5-2	042-391-9111
343020	〃	東村山第二	ヒガシムラヤマダイニ	189-0003	久米川町2-4-1	042-391-9112
343030	〃	東村山第三	ヒガシムラヤマダイサン	189-0012	萩山町5-2-1	042-391-9113
343031	〃	東村山第三萩山分校	ヒガシムラヤマダイサン ハギヤマブンコウ	189-0012	萩山町1-37-1	042-341-6639
343040	〃	東村山第四	ヒガシムラヤマダイヨン	189-0022	野口町3-24-1	042-391-9114
343050	〃	東村山第五	ヒガシムラヤマダイゴ	189-0011	恩多町4-38-1	042-391-9115
343060	〃	東村山第六	ヒガシムラヤマダイロク	189-0001	秋津町2-29-14	042-391-9116
343070	〃	東村山第七	ヒガシムラヤマダイナナ	189-0023	美住町2-23-1	042-391-9117
344010	国分寺市	第一	ダイイチ	185-0002	東戸倉2-6	042-322-0641
344020	〃	第二	ダイニ	185-0011	本多1-2-17	042-322-0642
344030	〃	第三	ダイサン	185-0036	高木町2-11	042-572-7143
344040	〃	第四	ダイヨン	185-0023	西元町3-10-7	042-324-3811
344050	〃	第五	ダイゴ	185-0005	並木町2-15	042-325-3735
345010	国立市	国立第一	クニタチダイイチ	186-0002	東4-24-1	042-572-1187
345020	〃	国立第二	クニタチダイニ	186-0003	富士見台3-30	042-572-2187
345030	〃	国立第三	クニタチダイサン	186-0011	谷保1348-1	042-576-3638
348010	福生市	福生第一	フッサダイイチ	197-0003	熊川845	042-551-0321
348011	〃	牛浜もくせい	ウシハマモクセイ	197-0024	牛浜162	042-551-4811
348020	〃	福生第二	フッサダイニ	197-0012	加美平1-22-1	042-551-1970
348030	〃	福生第三	フッサダイサン	197-0004	南田園3-1-1	042-551-9301
349010	狛江市	狛江第一	コマエダイイチ	201-0003	和泉本町2-15-1	03-3480-0121
349020	〃	狛江第二	コマエダイニ	201-0015	猪方2-7-1	03-3480-8891
349030	〃	狛江第三	コマエダイサン	201-0013	元和泉1-23-1	03-3489-5416
349040	〃	狛江第四	コマエダイヨン	201-0002	東野川4-1-1	03-3480-9691
350010	東大和市	第一	ダイイチ	207-0031	奈良橋3-530	042-561-2326
350020	〃	第二	ダイニ	207-0014	南街3-60-4	042-561-2328

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
350030	東大和市	第三	ダイサン	207-0016	仲原2-7	042-564-5411
350040	〃	第四	ダイヨン	207-0021	立野2-6-2	042-564-8511
350050	〃	第五	ダイゴ	207-0033	芋窪5-1119	042-561-0050
351010	清瀬市	清瀬	キヨセ	204-0003	中里5-624	042-493-6311
351020	〃	清瀬第二	キヨセダイニ	204-0024	梅園2-9-15	042-493-6312
351030	〃	清瀬第三	キヨセダイサン	204-0002	旭が丘1-262	042-493-6313
351040	〃	清瀬第四	キヨセダイヨン	204-0004	野塩3-2-3	042-493-6314
351050	〃	清瀬第五	キヨセダイゴ	204-0012	中清戸3-258-1	042-492-6315
352010	東久留米市	久留米	クルメ	203-0052	幸町5-9-11	042-471-0030
352020	〃	東	ヒガシ	203-0001	上の原2-1-40	042-471-2765
352030	〃	西	ニシ	203-0033	滝山2-3-23	042-471-4400
352040	〃	南	ミナミ	203-0021	学園町2-1-23	042-421-9573
352050	〃	大門	ダイモン	203-0011	大門町2-13-8	042-474-1753
352060	〃	下里	シモザト	203-0043	下里3-21-1	042-473-7115
352070	〃	中央	チュウオウ	203-0054	中央町5-7-65	042-473-8881
353010	武蔵村山市	第一	ダイイチ	208-0004	本町2-76-1	042-560-1761
353020	〃	第二	ダイニ	208-0012	緑が丘1460	042-561-1762
353030	〃	第三	ダイサン	208-0002	神明4-117-1	042-564-3001
353040	〃	第四	ダイヨン	208-0013	大南2-79-1	042-564-4341
353050	〃	第五	ダイゴ	208-0034	残堀5-55	042-560-3155
354010	多摩市	多摩	タマ	206-0011	関戸3-19-1	042-375-7023
354030	〃	東愛宕	ヒガシアタゴ	206-0041	愛宕1-52	042-374-9781
354050	〃	和田	ワダ	206-0001	和田234	042-371-4531
354060	〃	諏訪	スワ	206-0024	諏訪5-12-1	042-371-8534
354110	〃	聖ヶ丘	ヒジリガオカ	206-0022	聖ヶ丘2-17	042-374-0685
354120	〃	鶴牧	ツルマキ	206-0034	鶴牧6-5-1	042-337-4020
354130	〃	多摩永山	タマナガヤマ	206-0025	永山2-7-1	042-371-3701
354140	〃	落合	オチアイ	206-0033	落合4-14	042-372-1861
354150	〃	青陵	セイリョウ	206-0012	貝取2-9-1	042-376-2211
355010	稲城市	稲城第一	イナギダイイチ	206-0804	百村23	042-377-9011
355020	〃	稲城第二	イナギダイニ	206-0822	坂浜5-1-1	042-331-3640
355030	〃	稲城第三	イナギダイサン	206-0812	矢野口3043	042-377-7151
355040	〃	稲城第四	イナギダイヨン	206-0811	押立1768	042-377-2451
355050	〃	稲城第五	イナギダイゴ	206-0803	向陽台3-1-1	042-378-6121
355060	〃	稲城第六	イナギダイロク	206-0824	若葉台3-11	042-331-7222
357010	羽村市	羽村第一	ハムラダイイチ	205-0015	羽中3-6-33	042-554-2012
357020	〃	羽村第二	ハムラダイニ	205-0013	富士見平1-16	042-554-2041
357030	〃	羽村第三	ハムラダイサン	205-0021	川崎697-1	042-555-5131
358010	あきる野市	秋多	アキタ	197-0814	二宮334	042-558-1124
358020	〃	東	ヒガシ	197-0812	平沢200	042-558-1125
358030	〃	西	ニシ	197-0832	上代継190	042-558-6260
358040	〃	御堂	ミドウ	197-0802	草花3322	042-559-6211
358050	〃	増戸	マスコ	190-0142	伊奈1181	042-596-0241
358060	〃	五日市	イツカイチ	190-0164	五日市400	042-596-0173
359010	西東京市	田無第一	タナシダイイチ	188-0012	南町6-9-37	042-462-2811
359020	〃	田無第二	タナシダイニ	188-0003	北原町2-9-1	042-462-2812
359030	〃	田無第三	タナシダイサン	188-0004	西原町3-4-1	042-462-2814
359040	〃	田無第四	タナシダイヨン	188-0013	向台町2-14-9	042-465-6113
359050	〃	保谷	ホウヤ	202-0015	保谷町1-17-4	042-463-2551
359060	〃	ひばりが丘	ヒバリガオカ	202-0001	ひばりが丘3-2-42	042-439-5550
359070	〃	青嵐	セイラン	202-0003	北町2-13-17	042-422-3615
359080	〃	柳沢	ヤギサワ	202-0022	柳沢3-8-22	042-463-5014
359090	〃	明保	メイホウ	202-0012	東町1-1-24	042-421-3611
362010	瑞穂町	瑞穂	ミズホ	190-1211	石畑1961-1	042-557-0070
362020	〃	瑞穂第二	ミズホダイニ	190-1221	箱根ケ崎1172	042-557-5501
364010	日の出町	大久野	オオグノ	190-0181	大久野1559	042-597-0352
364020	〃	平井	ヒライ	190-0182	平井2654	042-597-0021
366010	檜原村	檜原	ヒノハラ	190-0214	本宿575	042-598-0007
367040	奥多摩町	奥多摩	オクタマ	198-0212	氷川760	0428-83-2156
371010	大島町	第一	ダイイチ	100-0101	元町字小清水	04992-2-2366
371020	〃	第二	ダイニ	100-0102	岡田字長坂113	04992-2-8033
371030	〃	第三	ダイサン	100-0211	差木地字沖の根	04992-4-0183
373010	新島村	新島	ニイジマ	100-0402	本村4-10-12	04992-5-0045
373020	〃	式根島	シキネジマ	100-0511	式根島166	04992-7-0017
374010	神津島村	神津	コウヅ	100-0601	神津島村1741	04992-8-0585
375040	三宅村	三宅	ミヤケ	100-1102	伊豆470	04994-2-0049
376010	御蔵島村	御蔵島	ミクラジマ	100-1301	御蔵島村	04994-8-2231
377010	八丈町	富士	フジ	100-1511	三根4655-1	04996-2-0244

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
377020	八丈町	大賀郷	オオカゴウ	100-1401	大賀郷3073	04996-2-0127
377030	〃	三原	ミハラ	100-1623	中之郷2474	04996-7-0057
378010	青ヶ島村	青ヶ島	アオガシマ	100-1701	青ヶ島村無番地	04996-9-0122
379010	小笠原村	小笠原	オガサワラ	100-2101	父島字宮之浜道	04998-2-2502
400010	東京都	白鷗高等学校附属	ハクオウコウトウガッコウフゾク	111-0041	台東区元浅草1-6-22	03-3843-5678
400030	〃	両国高等学校附属	リョウゴクコウトウガッコウフゾク	130-0022	墨田区江東橋1-7-14	03-3631-1878
400040	〃	武蔵高等学校附属	ムサシコウトウガッコウフゾク	180-0022	武蔵野市境4-13-28	0422-51-4554
400050	〃	富士高等学校附属	フジコウトウガッコウフゾク	164-0013	中野区弥生町5-21-1	03-3382-0601
400060	〃	大泉高等学校附属	オオイズミコウトウガッコウフゾク	178-0063	練馬区東大泉5-3-1	03-3924-0318

2　義務教育学校

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
508010	江東区	有明西学園	アリアケニシガクエン	135-0063	有明1-7-13	03-3527-6403
509010	品川区	日野学園	ヒノガクエン	141-0022	東五反田2-11-1	03-3441-3209
509020	〃	伊藤学園	イトウガクエン	140-0014	大井5-1-37	03-3771-3374
509030	〃	八潮学園	ヤシオガクエン	140-0003	八潮5-11-2	03-3799-1641
509040	〃	荏原平塚学園	エバラヒラツカガクエン	142-0051	平塚3-16-26	03-3782-7770
509050	〃	品川学園	シナガワガクエン	140-0001	北品川3-9-30	03-3474-2671
509060	〃	豊葉の杜学園	ホウヨウノモリガクエン	142-0043	二葉1-3-40	03-3782-2930
517010	北区	都の北学園	ミヤコノキタガクエン	115-0043	神谷2-30-1	03-3902-2461
531010	八王子市	いずみの森	イズミノモリ	192-0904	子安町2-18-1	042-642-4206
572010	利島村	利島小中学校	トシマショウチュウガッコウ	100-0301	利島村87	04992-9-0021
579010	小笠原村	母島小中学校	ハハジマショウチュウガッコウ	100-2211	母島字元地	04998-3-2181

3　中等教育学校

学校番号	設置者	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
450010	東京都	桜修館	オウシュウカン	152-0023	目黒区八雲1-1-2	03-3723-9966
450020	〃	小石川	コイシカワ	113-0021	文京区本駒込2-29-29	03-3946-7171
450030	〃	立川国際	タチカワコクサイ	190-0012	立川市曙町3-29-37	042-524-3903
450040	〃	南多摩	ミナミタマ	192-8562	八王子市明神町4-20-1	042-656-7030
450050	〃	三鷹	ミタカ	181-0004	三鷹市新川6-21-21	0422-46-4181
450100	千代田区	九段	クダン	102-0073	九段北2-2-1	03-3263-7190

4　特別支援学校

学校番号	設置種別	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
610020	都立（視覚障害）	葛飾盲学校	カツシカモウガッコウ	124-0006	葛飾区堀切7-31-5	03-3604-6435
610040	都立（視覚障害）	八王子盲学校	ハチオウジモウガッコウ	193-0931	八王子市台町3-19-22	042-623-3278
812390	都立（視覚障害）	久我山青光学園	クガヤマセイコウガクエン	157-0061	世田谷区北烏山4-37-1	03-3300-6235
710100	都立（聴覚障害）	葛飾ろう学校	カツシカロウガッコウ	124-0002	葛飾区西亀有2-58-1	03-3606-0121
710110	都立（聴覚障害）	中央ろう学校	チュウオウロウガッコウ	168-0073	杉並区下高井戸2-22-10	03-5301-3034
710120	都立（聴覚障害）	立川学園	タチカワガクエン	190-0003	立川市栄町1-15-7	042-523-1358
811030	都立（肢体不自由）	小平特別支援学校	コダイラトクベツシエンガッコウ	187-0035	小平市小川西町2-33-1	042-342-1671
811040	都立（肢体不自由）	北特別支援学校	キタトクベツシエンガッコウ	114-0033	北区十条台1-1-1	03-3906-2321
811050	都立（肢体不自由）	城南特別支援学校	ジョウナントクベツシエンガッコウ	144-0046	大田区東六郷2-18-19	03-3734-6308
811070	都立（肢体不自由）	村山特別支援学校	ムラヤマトクベツシエンガッコウ	208-0011	武蔵村山市緑が丘1460-1	042-564-2781
812080	都立（肢体不自由）	町田の丘学園	マチダノオカガクエン	195-0063	町田市野津田町2003	042-737-0570
811100	都立（肢体不自由）	八王子東特別支援学校	ハチオウジヒガシトクベツシエンガッコウ	192-0032	八王子市石川町3246-1	042-646-8120
811110	都立（肢体不自由）	大泉特別支援学校	オオイズミトクベツシエンガッコウ	178-0061	練馬区大泉学園町9-3-1	03-3921-1381
811120	都立（肢体不自由）	多摩桜の丘学園	タマサクラノオカガクエン	206-0022	多摩市聖ヶ丘1-17-1	042-374-8111
811130	都立（肢体不自由）	墨東特別支援学校	ボクトウトクベツシエンガッコウ	135-0003	江東区猿江2-16-18	03-3634-8431
811140	都立（肢体不自由）	あきる野学園	アキルノガクエン	197-0832	あきる野市上代継123-1	042-558-0222
812340	都立（肢体不自由）	永福学園	エイフクガクエン	168-0064	杉並区永福1-7-28	03-3323-1380
812370	都立（肢体不自由）	青峰学園	セイホウガクエン	198-0014	青梅市大門3-12	0428-32-3811
811170	都立（肢体不自由）	府中けやきの森学園	フチュウケヤキノモリガクエン	183-0003	府中市朝日町3-14-1	042-367-2511
812440	都立（肢体不自由）	志村学園	シムラガクエン	174-0045	板橋区西台1-41-10	03-3931-2323
811190	都立（肢体不自由）	鹿本学園	シカモトガクエン	133-0044	江戸川区本一色2-24-11	03-3653-7355
812480	都立（肢体不自由）	水元小合学園	ミズモトコアイガクエン	125-0032	葛飾区水元1-24-1	03-5699-0141
811210	都立（肢体不自由）	光明学園	コウメイガクエン	156-0043	世田谷区松原6-38-27	03-3323-8421
811220	都立（肢体不自由）	花畑学園	ハナハタガクエン	121-0062	足立区南花畑5-24-49	03-3883-7200
812020	都立（知的障害）	王子特別支援学校	オウジトクベツシエンガッコウ	114-0033	北区十条台1-8-41	03-3909-8777
812030	都立（知的障害）	八王子特別支援学校	ハチオウジトクベツシエンガッコウ	193-0931	八王子市台町3-5-1	042-621-5500
812060	都立（知的障害）	七生特別支援学校	ナナオトクベツシエンガッコウ	191-0042	日野市程久保843	042-591-1095
812080	都立（知的障害）	町田の丘学園	マチダノオカガクエン	195-0063	町田市野津田町2003	042-737-0570
812090	都立（知的障害）	高島特別支援学校	タカシマトクベツシエンガッコウ	175-0082	板橋区高島平3-7-2	03-3938-0415
812100	都立（知的障害）	矢口特別支援学校	ヤグチトクベツシエンガッコウ	146-0093	大田区矢口1-26-10	03-3759-6715
812110	都立（知的障害）	羽村特別支援学校	ハムラトクベツシエンガッコウ	205-0011	羽村市五ノ神319-1	042-554-0829
812130	都立（知的障害）	調布特別支援学校	チョウフトクベツシエンガッコウ	182-0021	調布市調布ケ丘1-1-2	042-487-7221

学校番号	設置種別	学校名（フリガナ）		郵便番号	住所	電話番号
812140	都立（知的障害）	小金井特別支援学校	コガネイトクベツシエンガッコウ	184-0005	小金井市桜町2-1-14	042-384-6881
812150	都立（知的障害）	水元特別支援学校	ミズモトトクベツシエンガッコウ	125-0031	葛飾区西水元5-2-1	03-3600-1871
812170	都立（知的障害）	墨田特別支援学校	スミダトクベツシエンガッコウ	131-0041	墨田区八広5-10-2	03-3619-4851
812190	都立（知的障害）	中野特別支援学校	ナカノトクベツシエンガッコウ	164-0014	中野区南台3-46-20	03-3384-7741
812210	都立（知的障害）	清瀬特別支援学校	キヨセトクベツシエンガッコウ	204-0022	清瀬市中里4-788-1	042-494-0511
812240	都立（知的障害）	石神井特別支援学校	シャクジイトクベツシエンガッコウ	177-0045	練馬区石神井台8-20-35	03-3929-0012
811140	都立（知的障害）	あきる野学園	アキルノガクエン	197-0832	あきる野市上代継123-1	042-558-0222
811120	都立（知的障害）	多摩桜の丘学園	タマサクラノオカガクエン	206-0022	多摩市聖ヶ丘1-17-1	042-374-8111
812390	都立（知的障害）	久我山青光学園	クガヤマセイコウガクエン	157-0061	世田谷区北烏山4-37-1	03-3300-6235
812400	都立（知的障害）	品川特別支援学校	シナガワトクベツシエンガッコウ	140-0004	品川区南品川6-15-20	03-5460-1160
811170	都立（知的障害）	府中けやきの森学園	フチュウケヤキノモリガクエン	183-0003	府中市朝日町3-14-1	042-367-2511
812450	都立（知的障害）	武蔵台学園	ムサシダイガクエン	183-0042	府中市武蔵台2-8-28	042-576-7491
812460	都立（知的障害）	青山特別支援学校	アオヤマトクベツシエンガッコウ	107-0062	港区南青山2-33-77	03-3478-5061
811190	都立（知的障害）	鹿本学園	シカモトガクエン	133-0044	江戸川区本一色2-24-11	03-3653-7355
812490	都立（知的障害）	城東特別支援学校	ジョウトウトクベツシエンガッコウ	136-0072	江東区大島6-7-3	03-3683-6230
812510	都立（知的障害）	臨海青海特別支援学校	リンカイアオミトクベツシエンガッコウ	135-0064	江東区青海2-5-1	03-3529-5700
811220	都立（知的障害）	花畑学園	ハナハタガクエン	121-0062	足立区南花畑5-24-49	03-3883-7200
812530	都立（知的障害）	八王子西特別支援学校	ハチオウジニシトクベツシエンガッコウ	193-0834	八王子市東浅川町546-1	042-666-5600
710120	都立（知的障害）	立川学園	タチカワガクエン	190-0003	立川市栄町1-15-7	042-523-1358
812450	都立（病弱）	武蔵台学園	ムサシダイガクエン	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-312-8135
811210	都立（病弱）	光明学園	コウメイガクエン	156-0043	世田谷区松原6-38-27	03-3323-8421
811030	都立（病弱）	小平特別支援学校	コダイラトクベツシエンガッコウ	187-0035	小平市小川西町2-33-1	042-342-1671
811040	都立（病弱）	北特別支援学校	キタトクベツシエンガッコウ	114-0033	北区十条台1-1-1	03-3906-2321
811130	都立（病弱）	墨東特別支援学校	ボクトウトクベツシエンガッコウ	135-0003	江東区猿江2-16-18	03-3634-8431
821010	区立（肢体不自由）	新宿区立新宿養護学校	シンジュククリツシンジュクヨウゴガッコウ	160-0023	新宿区西新宿4-20-11	03-5351-1233
822010	区立（知的障害）	杉並区立済美養護学校	スギナミクリツセイビヨウゴガッコウ	166-0013	杉並区堀ノ内1-19-25	03-3313-0561

※複数の障害教育部門を併置している学校については、学校番号を統一している。

別表11

令和9年度選抜成績一覧表調査委員会一覧

委員会番号	区市町村名等	調査会場	調査予定日	調査委員長職・氏名	調査委員長所属校住所・電話番号
1	千代田区	千代田区立 神田一橋中学校	1月7日	千代田区立神田一橋中学校長 堀　越　勉	〒101-0003 千代田区一ツ橋2－6－14 03(3265)5961
2	中央区	中央区立 銀座中学校	1月6日	中央区立佃中学校長 平　野　雅　仁	〒104-0051 中央区佃2－3－2 03(3531)7214
3	港区	港区教育センター	1月7日	港区立青山中学校長 佐々木　希久子	〒107-0061 港区北青山1－1－9 03(3404)7522
4	新宿区	新宿区立 教育センター	1月7日	新宿区立牛込第一中学校長 畔　柳　徹　朗	〒162-0853 新宿区北山伏町4－1 03(3266)1605
5	文京区	文京区民センター	1月6日	文京区立第三中学校長 鈴　木　政　宏	〒112-0003 文京区春日1－9－31 03(3814)2544
6	台東区	台東区役所	1月6日	台東区立忍岡中学校長 金　栄　晃　弘	〒110-0007 台東区上野公園18－20 03(3828)7241
7	墨田区	墨田区立 吾嬬立花中学校	1月6日	墨田区立吾嬬立花中学校長 河　野　敏　也	〒131-0043 墨田区立花5－48－2 03(3616)2271
8	江東区	江東区 教育センター	1月6日	江東区立深川第一中学校長 小　山　千　景	〒135-0004 江東区森下4－9－22 03(3631)3241
9	品川区	五反田文化センター	1月7日	品川区立冨士見台中学校長 石　黒　　晋	〒140-0015 品川区西大井5－5－14 03(3772)0900
10	目黒区	目黒区立 東山中学校	1月7日	目黒区立東山中学校長 西　田　友　幸	〒153-0043 目黒区東山1－24－31 03(3711)8794
11	大田区	池上会館	1月7日	大田区立大森第三中学校長 阿　部　仁　明	〒143-0024 大田区中央4－12－8 03(3773)3995
12	世田谷区	世田谷区立 世田谷中学校	1月6日	世田谷区立桜丘中学校長 山　本　　武	〒156-0054 世田谷区桜丘2－1－39 03(3429)6203
13	渋谷区	渋谷区立 松濤中学校	1月7日	渋谷区立松濤中学校長 中　村　哲　也	〒150-0001 渋谷区神宮前5−53−18 03(3469)2451
14	中野区	中野区立 第五中学校	1月7日	中野区立第五中学校長 佐　藤　　彰	〒164-0002 中野区上高田4－28－1 03(3389)2341
15	杉並区	杉並区立 阿佐ヶ谷中学校	1月6日	杉並区立松ノ木中学校長 田　中　太　介	〒166-0014 杉並区松ノ木1－4－1 03(3313)1561
16	豊島区	豊島区立 巣鴨北中学校	1月7日	豊島区立巣鴨北中学校長 鎌　田　智　義	〒170-0001 豊島区西巣鴨3－17－1 03(3918)2144
17	北区	北区立 明桜中学校	1月6日	北区立明桜中学校長 山　根　　純	〒114-0002 北区王子6－3－23 03(5959)0031
18	荒川区	荒川区立 教育センター	1月6日	荒川区立第七中学校長 佐　藤　正　敏	〒116-0011 荒川区西尾久4－30－28 03(3894)6623
19	板橋区	板橋区 教育支援センター	1月6日	板橋区立高島第三中学校長 百　瀬　一　郎	〒175-0082 板橋区高島平4－22－1 03(3938)2551
20	練馬区	練馬区立 開進第二中学校	1月7日	練馬区立中村中学校長 井　上　春　好	〒176-0025 練馬区中村南1－32－21 03(3990)4436
21	足立区	こども支援センター げんき	1月6日	足立区立花保中学校長 村　田　雅　也	〒121-0062 足立区南花畑2－41－1 03(3859)8011
22	葛飾区	葛飾区立 総合教育センター	1月5日	葛飾区立葛美中学校長 杉　田　善　明	〒125-0032 葛飾区水元2－17－1 03(3627)1401
23	江戸川区	グリーンパレス	1月6日	江戸川区立松江第六中学校長 小野満　　賢	〒132-0025 江戸川区松江7－16－18 03(3656)6711
24	八王子市	八王子市 教育センター	1月5日	八王子市立恩方中学校長 植　田　恭　正	〒192-0156 八王子市上恩方町11 042(651)3652
25	立川市	立川市役所	1月6日	立川市立立川第三中学校長 敦　澤　雅　規	〒190-0021 立川市羽衣町3－25－6 042(523)4348
26	武蔵野市	武蔵野市役所	1月7日	武蔵野市立第一中学校長 中　嶋　建一郎	〒180-0006 武蔵野市中町3－9－5 0422(51)8041
27	三鷹市	三鷹市 教育センター	1月5日	三鷹市立第一中学校長 宮　城　洋　之	〒181-0013 三鷹市下連雀9－10－1 0422(44)5371
28	青梅市	青梅市役所	1月6日	青梅市立第六中学校長 岩　崎　浩　示	〒198-0003 青梅市小曾木4－2040 0428(74)5344
29	府中市	府中市 教育センター	1月6日	府中市立府中第七中学校長 菅　原　尚　志	〒183-0042 府中市武蔵台2－4 042(322)0557

委員会番号	区市町村名等	調査会場	調査予定日	調査委員長職・氏名	調査委員長所属校住所・電話番号
30	昭島市	昭島市役所	1月5日	昭島市立拝島中学校長 乙 幡 英 剛	〒196-0004 昭島市緑町2－2－12 042(541)1040
31	調布市	調布市教育会館	1月6日	調布市立第五中学校長 中 谷 愛	〒182-0035 調布市上石原3－27－1 042(484)1311
32	町田市	町田市役所	1月7日	町田市立町田第三中学校長 鈴 木 英 顕	〒194-0032 町田市本町田1853 042(722)6095
33	小金井市	小金井市立 第二中学校	1月6日	小金井市立小金井第二中学校長 清 水 裕 径	〒184-0012 小金井市中町1－8−25 042(383)1162
34	小平市	小平市役所本庁舎	1月6日	小平市立上水中学校長 栗 林 昭 彦	〒187-0021 小平市上水南町1－7－1 042(323)8611
35	日野市	日野市役所	1月7日	日野市立七生中学校長 吉 川 泰 弘	〒191-0041 日野市南平6－7−1 042(591)0174
36	東村山市	東村山市役所	1月6日	東村山市立東村山第七中学校長 飛 永 直 子	〒189-0023 東村山市美住町2－23－1 042(391)9117
37	国分寺市	国分寺市役所	1月5日	国分寺市立第二中学校長 榎 本 圭 志	〒185-0011 国分寺市本多1－2－17 042(322)0642
38	国立市	国立市役所	1月6日	国立市立国立第二中学校長 黒 田 宏 一	〒186-0003 国立市富士見台3－30 042(572)2187
39	福生市	福生市役所	1月6日	福生市立福生第二中学校長 平 井 貞 昭	〒197-0012 福生市加美平1－22－1 042(551)1970
40	狛江市	狛江市防災センター	1月6日	狛江市立狛江第四中学校長 工 藤 聡	〒201-0002 狛江市東野川4－1－1 03(3480)9691
41	東大和市	東大和市役所	1月6日	東大和市立第二中学校長 大 島 清 和	〒207-0014 東大和市南街3－60－4 042(561)2328
42	清瀬市	清瀬市役所	1月8日	清瀬市立清瀬第三中学校長 井 上 隆	〒204-0002 清瀬市旭が丘1－262 042(493)6313
43	東久留米市	東久留米市役所	1月6日	東久留米市立下里中学校長 梶 原 孝 恒	〒203-0043 東久留米市下里3－21－1 042(473)7115
44	武蔵村山市	武蔵村山市 市民総合センター	1月7日	武蔵村山市立第四中学校長 福 泉 宏 介	〒208-0013 武蔵村山市大南2－79－1 042(564)4341
45	多摩市	多摩市立 鶴牧中学校	1月6日	多摩市立鶴牧中学校長 森 田 剛	〒206-0034 多摩市鶴牧6－5－1 042(337)4020
46	稲城市	マスヤビル	1月7日	稲城市立稲城第四中学校長 橘 太 造	〒206-0811 稲城市押立1768 042(377)2451
47	羽村市	羽村市役所	1月7日	羽村市立羽村第三中学校長 木 田 兼 治	〒205-0021 羽村市川崎697－1 042(555)5131
48	あきる野市	あきる野市役所	1月6日	あきる野市立増戸中学校長 脇 本 達 也	〒190-0142 あきる野市伊奈1181 042(596)0241
49	西東京市	西東京市役所 田無第二庁舎	1月7日	西東京市立田無第三中学校長 大 久 保 順 子	〒188-0004 西東京市西原町3－4－1 042(462)2814
50	西多摩郡	奥多摩町役場	1月6日	奥多摩町立奥多摩中学校長 原 善 哉	〒198-0212 西多摩郡奥多摩町氷川760 0428(83)2156
51	大島町	大島町立 第一中学校	1月8日	大島町立第二中学校長 牧 野 英 一	〒100-0102 大島町岡田字長坂113 04992(2)8033
52	利島村・新島村	東京都教職員研修 センター	1月6日	新島村立新島中学校長 古 見 佳 一	〒100-0402 新島村本村4－10－12 04992(5)0045
53	神津島村	東京都教職員研修 センター	1月6日	神津島村立神津中学校長 川 元 泰 史	〒100-0601 神津島村1741 04992(8)0585
54	三宅村・御蔵島村	三宅支庁	1月6日	三宅村立三宅中学校長 中 坪 崇 敏	〒100-1102 三宅島三宅村伊豆470 04994(2)0049
55	八丈町・青ヶ島村	八丈支庁	1月6日	八丈町立大賀郷中学校長 野 田 博 之	〒100-1401 八丈町大賀郷3073 04996(2)0127
56	小笠原村	小笠原村立 母島小中学校	1月5日	小笠原村立小笠原中学校長 武 内 亮	〒100-2101 小笠原村父島字宮之浜道 04998(2)2502
57	都立中学校・ 中等教育学校	都庁内会議室	1月5日	東京都立武蔵高等学校附属中学校長 堀 江 敏 彦	〒180-0022 武蔵野市境4－13－28 0422(51)4554
58	私立中学校等	都庁内会議室	1月6日	都立学校教育部入学選抜担当課長 桑 原 正 樹	〒163-8001 新宿区西新宿2－8－1 03(5320)6745

別表12

令和9年度選抜用評定等確認表の区市町村別送付先一覧

区市町村名等	郵便番号・電話番号・住所・職名・氏名
千代田区	〒101-0003　03(3265)5961 千代田区一ツ橋2－6－14 千代田区立神田一橋中学校長 堀　越　勉
中央区	〒104-0051　03(3531)7214 中央区佃2－3－2 中央区立佃中学校長 平　野　雅　仁
港区	〒107-0061　03(3404)7522 港区北青山1－1－9 港区立青山中学校長 佐々木　希久子
新宿区	〒162-0853　03(3266)1605 新宿区北山伏町4－1 新宿区立牛込第一中学校長 畔　柳　徹　朗
文京区	〒112-0003　03(3814)2544 文京区春日1－9－31 文京区立第三中学校長 鈴　木　政　宏
台東区	〒110-0007　03(3828)7241 台東区上野公園18－20 台東区立忍岡中学校長 金　栄　晃　弘
墨田区	〒131-0043　03(3616)2271 墨田区立花5－48－2 墨田区立吾嬬立花中学校長 河　野　敏　也
江東区	〒135-0004　03(3631)3241 江東区森下4－9－22 江東区立深川第一中学校長 小　山　千　景
品川区	〒140-0015　03(3772)0900 品川区西大井5－5－14 品川区立冨士見台中学校長 石　黒　　晋
目黒区	〒153-0043　03(3711)8794 目黒区東山1－24－31 目黒区立東山中学校長 西　田　友　幸
大田区	〒143-0024　03(3773)3995 大田区中央4－12－8 大田区立大森第三中学校長 阿　部　仁　明
世田谷区	〒156-0054　03(3429)6203 世田谷区桜丘2－1－39 世田谷区立桜丘中学校長 山　本　　武
渋谷区	〒150-0001　03(3469)2451 渋谷区神宮前5−53−18 渋谷区立松濤中学校長 中　村　哲　也
中野区	〒164-0002　03(3389)2341 中野区上高田4－28－1 中野区立第五中学校長 佐　藤　　彰

区市町村名等	郵便番号・電話番号・住所・職名・氏名
杉並区	〒166-0014　03(3313)1561 杉並区松ノ木1－4－1 杉並区立松ノ木中学校長 田　中　太　介
豊島区	〒170-0001　03(3918)2144 豊島区西巣鴨3－17－1 豊島区立巣鴨北中学校長 鎌　田　智　義
北区	〒114-0002　03(5959)0031 北区王子6－3－23 北区立明桜中学校長 山　根　　純
荒川区	〒116-0011　03(3894)6623 荒川区西尾久4－30－28 荒川区立第七中学校長 佐　藤　正　敏
板橋区	〒175-0082　03(3938)2551 板橋区高島平4－22－1 板橋区立高島第三中学校長 百　瀬　一　郎
練馬区	〒176-0025　03(3990)4436 練馬区中村南1－32－21 練馬区立中村中学校長 井　上　春　好
足立区	〒121-0062　03(3859)8011 足立区南花畑2－41－1 足立区立花保中学校長 村　田　雅　也
葛飾区	〒125-0032　03(3627)1401 葛飾区水元2－17－1 葛飾区立葛美中学校長 杉　田　善　明
江戸川区	〒132-0025　03(3656)6711 江戸川区松江7－16－18 江戸川区立松江第六中学校長 小野満　　賢
八王子市	〒192-0156　042(651)3652 八王子市上恩方町11 八王子市立恩方中学校長 植　田　恭　正
立川市	〒190-0021　042(523)4348 立川市羽衣町3－25－6 立川市立立川第三中学校長 敦　澤　雅　規
武蔵野市	〒180-0006　0422(51)8041 武蔵野市中町3－9－5 武蔵野市立第一中学校長 中　嶋　建一郎
三鷹市	〒181-0013　0422(44)5371 三鷹市下連雀9－10－1 三鷹市立第一中学校長 宮　城　洋　之
青梅市	〒198-0003　0428(74)5344 青梅市小曾木4－2040 青梅市立第六中学校長 岩　崎　浩　示

区市町村名等	郵便番号・電話番号・住所・職名・氏名
府中市	〒183-0042　042(322)0557 府中市武蔵台2－4 府中市立府中第七中学校長 菅 原 尚 志
昭島市	〒196-0004　042(541)1040 昭島市緑町2－2－12 昭島市立拝島中学校長 乙 幡 英 剛
調布市	〒182-0035　042(484)1311 調布市上石原3－27－1 調布市立第五中学校長 中 谷 愛
町田市	〒194-0032　042(722)6095 町田市本町田1853 町田市立町田第三中学校長 鈴 木 英 顕
小金井市	〒184-0012　042(383)1162 小金井市中町1－8−25 小金井市立小金井第二中学校長 清 水 裕 径
小平市	〒187-0021　042(323)8611 小平市上水南町1－7－1 小平市立上水中学校長 栗 林 昭 彦
日野市	〒191-0041　042(591)0174 日野市南平6－7−1 日野市立七生中学校長 吉 川 泰 弘
東村山市	〒189-0023　042(391)9117 東村山市美住町2－23－1 東村山市立東村山第七中学校長 飛 永 直 子
国分寺市	〒185-0011　042(322)0642 国分寺市本多1－2－17 国分寺市立第二中学校長 榎 本 圭 志
国立市	〒186-0003　042(572)2187 国立市富士見台3－30 国立市立国立第二中学校長 黒 田 宏 一
福生市	〒197-0012　042(551)1970 福生市加美平1－22－1 福生市立福生第二中学校長 平 井 貞 昭
狛江市	〒201-0002　03(3480)9691 狛江市東野川4－1－1 狛江市立狛江第四中学校長 工 藤 聡
東大和市	〒207-0014　042(561)2328 東大和市南街3－60－4 東大和市立第二中学校長 大 島 清 和
清瀬市	〒204-0002　042(493)6313 清瀬市旭が丘1－262 清瀬市立清瀬第三中学校長 井 上 隆
東久留米市	〒203-0043　042(473)7115 東久留米市下里3－21－1 東久留米市立下里中学校長 梶 原 孝 恒

区市町村名等	郵便番号・電話番号・住所・職名・氏名
武蔵村山市	〒208-0013　042(564)4341 武蔵村山市大南2－79－1 武蔵村山市立第四中学校長 福 泉 宏 介
多摩市	〒206-0034　042(337)4020 多摩市鶴牧6－5－1 多摩市立鶴牧中学校長 森 田 剛
稲城市	〒206-0811　042(377)2451 稲城市押立1768 稲城市立稲城第四中学校長 橘 太 造
羽村市	〒205-0021　042(555)5131 羽村市川崎697－1 羽村市立羽村第三中学校長 木 田 兼 治
あきる野市	〒190-0142　042(596)0241 あきる野市伊奈1181 あきる野市立増戸中学校長 脇 本 達 也
西東京市	〒188-0004　042(462)2814 西東京市西原町3－4－1 西東京市立田無第三中学校長 大久保 順子
西多摩郡	〒198-0212　0428(83)2156 西多摩郡奥多摩町氷川760 奥多摩町立奥多摩中学校長 原 善 哉
大島町	〒100-0102　04992(2)8033 大島町岡田字長坂113 大島町立第二中学校長 牧 野 英 一
利島村及び新島村	〒100-0402　04992(5)0045 新島村本村4－10－12 新島村立新島中学校長 古 見 佳 一
神津島村	〒100-0601　04992(8)0585 神津島村1741 神津島村立神津中学校長 川 元 泰 史
三宅村及び御蔵島村	〒100-1102　04994(2)0049 三宅島三宅村伊豆470 三宅村立三宅中学校長 中 坪 崇 敏
八丈町及び青ヶ島村	〒100-1401　04996(2)0127 八丈町大賀郷3073 八丈町立大賀郷中学校長 野 田 博 之
小笠原村	〒100-2101　04998(2)2502 小笠原村父島字宮之浜道 小笠原村立小笠原中学校長 武 内 亮
都立中学校・中等教育学校	〒180-0022　0422(51)4554 武蔵野市境4－13－28 都立武蔵高等学校附属中学校長 堀 江 敏 彦

別表 13

追検査実施方法一覧

本別表は、各学校が追検査を実施する際の実施方法をまとめたものです。各学校は、本別表に基づき選考を実施します。

1　学校設定検査は、社会・理科の内容を含む検査とし、検査方法としては、個人面接、小論文又は作文、学力検査の中から、学校設定検査を実施する各学校が適切に定めます。

2　学校設定検査、面接、小論文又は作文、実技検査を行う学校においては、学校設定検査、面接、小論文又は作文、実技検査のそれぞれの結果を点数化したもの（学校設定検査点、面接点、小論文・作文点、実技検査点）の満点を適切に定めます。

3　調査書点の満点は、評定の満点を換算したものです。

なお、評定の満点は、原則として、学力検査（国語・数学・英語）に加え学校設定検査を実施する場合は 65 点、学力検査（国語・数学・英語）３教科のみの場合は 75 点となります。

調査書点の算出方法

$$\text{各受検者の調査書点} = \text{各受検者の評定の得点（※）} \times \frac{\text{調査書点の満点}}{\text{評定の満点}}$$

※　学力検査及び学校設定検査を実施する教科の評定を１倍、学力検査及び学校設定検査を実施しない教科の評定を２倍として算出したものです。

4　学力検査の得点及び学校設定検査点と調査書点の合計を総合得点とします。学力検査の得点と調査書点との比率が７：３の学校で、学校設定検査を実施する場合、総合得点は、学力検査の得点に学校設定検査点を加えた点数を、700 点満点に換算します。

5　総合得点に、面接点、小論文・作文点、実技検査点を加算した得点を、総合成績とします。

6　面接の欄に記してある「個人」は個人面接を実施することを示しています。

7　その他

各学校の学力検査以外の検査の内容については、別表 14（P260～271）に掲載しています。

1 都立高等学校・全日制課程

(1) 普通教育を主とする学科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		調査書：学力検査及び学校設定検査	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接 社・理の内容を含む	小論文・作文 社・理の内容を含む	学力検査 社・理の内容を含む	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
日比谷	国数英	個人150	小論文250	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
三田	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
戸山	国数英	個人100	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
竹早	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
向丘	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	
上野	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
日本橋	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	—	—	1300	3月9日	
本所	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	
城東	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	
東	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
深川	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
大崎	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
小山台	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
八潮	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	—	—	1300	3月9日	
駒場	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
目黒	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
大森	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	—	—	1300	3月9日	
田園調布	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
雪谷	国数英	個人100	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
桜町	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
千歳丘	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
松原	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	
青山	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—	1000	3月9日	
広尾	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	
鷺宮	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—	1200	3月9日	
武蔵丘	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—	1100	3月9日	

学校名	追検査																
	学力検査及び学校設定検査					調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査				教科の評定の扱い			学力検査及び学校設定検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科											
杉並	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
豊多摩	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	作文300	－	1500	3月9日			
豊島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
文京	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
竹台	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
板橋	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
大山	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
北園	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	*1	*1	*1	個人300	－	－	1300	3月9日	*1 受検者ごとに7：3と10：0のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる。		
高島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
井草	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
石神井	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
田柄	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
練馬	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
光丘	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
青井	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
足立	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人120	－	－	1120	3月9日			
足立新田	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
足立西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人50	－	－	1050	3月9日			
江北	国数英	個人200	－	－	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	－	－	－	1000	3月9日			
淵江	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
葛飾野	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
南葛飾	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
江戸川	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
葛西南	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
小岩	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
小松川	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
篠崎	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
紅葉川	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日			
片倉	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			
八王子北	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
八王子東	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日			
富士森	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日			

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学調	満点					総合成績の満点	実施日	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い		学力検査及び学校設定検査：調査書	学力検査及び学校設定検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
松が谷	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人50	－	－	1050	3月9日	
立川	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
武蔵野北	国数英	個人100	－	－	国数英社理	音美体技・家	*1	*1	*1	－	－	－	1000	3月9日	*1 受検者ごとに7：3と10：0のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる。
多摩	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
府中	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
府中西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
府中東	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
昭和	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
拝島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
神代	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人50	－	－	1050	3月9日	
調布北	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
調布南	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
小川	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人150	－	－	1150	3月9日	
成瀬	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
野津田	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
町田	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
山崎	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	
小金井北	国数英	個人200	－	－	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	－	－	－	1000	3月9日	
小平	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
小平西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
小平南	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人150	－	－	1150	3月9日	
日野	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
日野台	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
南平	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
東村山西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
国立	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
福生	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査の調査	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
狛江	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
東大和	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
東大和南	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
清瀬	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
久留米西	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
武蔵村山	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
永山	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
羽村	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
五日市	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
田無	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
保谷	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
大島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
新島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
神津	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
三宅	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
八丈	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
小笠原	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		

（2） 普通教育を主とする学科（コース）

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査の調査	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
深川（外国語）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		学力検査について、英語を2倍とする。
片倉（造形美術）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	－	－	素描700	1700	3月9日		
松が谷（外国語）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人50	－	－	1050	3月9日		
小平（外国語）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		学力検査について、英語を1.6倍とする。

（3） 普通教育を主とする学科（エンカレッジスクール）

学校名	追検査													備考
	学力検査及び学校設定検査		調査書	学力検査及び学校設定検査：調査書	満点						総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査		
	学力検査	学校設定検査	教科の評定の扱い		学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査					
蒲田	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	—	—	300	個人400	作文300	—		1000	3月9日		
足立東	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	—	—	400	個人400	作文400	—		1200	3月9日		
東村山	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	—	—	400	個人400	小論文200	200		1200	3月9日		
秋留台	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	—	—	400	個人500	小論文300	—		1200	3月9日		

（4） 普通教育を主とする学科（進学重視型単位制）

学校名	追検査														備考
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点						総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接 社・理の内容を含む	小論文・作文 社・理の内容を含む	学力検査 社・理の内容を含む	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
新宿	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—		1000	3月9日	
墨田川	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—		1000	3月9日	
国分寺	国数英	個人200	—	—	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	—	—	—		1000	3月9日	

（5） 普通教育を主とする学科（単位制）

学校名	追検査														備考
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点						総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接 社・理の内容を含む	小論文・作文 社・理の内容を含む	学力検査 社・理の内容を含む	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
忍岡	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	—	—		1100	3月9日	
美原	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
深沢	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	*1	*1	*1	個人200	—	—		1200	3月9日	*1 受検者ごとに7：3と10：0のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を当該受検者の選考に用いる。
芦花	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
飛鳥	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
板橋有徳	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
大泉桜	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
翔陽	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	
上水	国数英	—	—	—	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	—	—		1200	3月9日	

（6） 専門教育を主とする学科

（6－1） 農業に関する学科

学校名	追検査															備考
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調書	満点					総合成績の満点	実施	学力検査以外の検査の日	
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
園芸	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
農芸	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
農産	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
農業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
瑞穂農芸	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		

（6－2） 工業に関する学科

学校名	追検査															備考
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調書	満点					総合成績の満点	実施	学力検査以外の検査の日	
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
工芸	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人150	－	－	1150	3月9日		
蔵前工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
墨田工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
総合工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
杉並工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
荒川工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
北豊島工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
足立工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		
葛西工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
府中工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
町田工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
多摩工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
田無工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		

（6－3） 工業に関する学科（エンカレッジスクール）

学校名	追検査												
	学力検査及び学校設定検査		調査書	学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査	教科の評定の扱い		学力検査及び学校設定検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
中野工科	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	－	－	300	個人350	－	350	1000	3月9日		
練馬工科	実施しない		観点別学習状況の評価を用いて得点化（第一次募集と同様に得点化する）	－	－	300	個人350	作文350	－	1000	3月9日		

（6－4） 工業に関する学科（単位制）

学校名	追検査													
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学力検査及び学校設定検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
六郷工科	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		

（6－5） 商業に関する学科

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
芝商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
江東商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	
第三商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
第一商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
第四商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
葛飾商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
第五商業	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	

（6－6） 水産に関する学科

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
大島海洋国際	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	大島海洋国際高等学校で実施する。

（6－7） 家庭に関する学科

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
農業（服飾）（食物）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
瑞穂農芸（生活デザイン）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	
赤羽北桜（保育・栄養）（調理）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	

（6－8） 家庭に関する学科（単位制）

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
忍岡（生活科学）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		

（6－9） 福祉に関する学科

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
野津田（福祉）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
赤羽北桜（介護福祉）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日		

（6－10） 理数に関する学科

学校名	追検査															
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
立川（創造理数）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		
科学技術（創造理数）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		学力検査の数学については、2倍とする。

（6－11） 芸術に関する学科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
総合芸術（美術）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	6：4	600	400	－	－	700	1700	3月9日	
総合芸術（舞台表現）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	6：4	600	400	－	－	600	1600	3月9日	
総合芸術（音楽）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	6：4	600	400	－	－	1000	2000	3月9日	

（6－12） 体育に関する学科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
駒場（保健体育）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	6：4	600	400	－	－	300	1300	3月9日	
野津田（体育）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	6：4	600	400	個人200	－	500	1700	3月9日	

（6－13） 国際関係に関する学科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
国際	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	

（6－14） 併合科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日の学力検査以外の検査	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
大島	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
三宅	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
八丈（併合科）	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人300	－	－	1300	3月9日	

（6－15） 産業科

学校名	追検査																
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
橘	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		
八王子桑志	国数英	－	－	学力200	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	－	－	－	1000	3月9日		

（7） 専門教育を主とする学科（進学重視型）

（7－1） 科学技術科

学校名	追検査																
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
科学技術	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		学力検査の数学については、２倍とする。
多摩科学技術	国数英	個人100	－	－	国数英社理	音美体技・家	7：3	700	300	－	－	－	1000	3月9日		学力検査について数学を２倍とする。

（7－2） ビジネスコミュニケーション科

学校名	追検査																
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	学力検査以外の検査の	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学校設定検査及び	調査書	面接	小論文・作文	実技検査				
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科										
大田桜台	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日		学力検査について、国語・英語を1.5倍とする。
千早	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日		学力検査について、国語・英語を1.5倍とする。

（8） 総合学科

学校名	追検査														
	学力検査及び学校設定検査				調査書		学力検査及び学校設定検査：調査書	満点					総合成績の満点	実施日	備考
	学力検査	学校設定検査			教科の評定の扱い			学力検査及び学校設定検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査			
	国数英（共通問題）	個人面接（社・理の内容を含む）	小論文・作文（社・理の内容を含む）	学力検査（社・理の内容を含む）	評定を1倍として扱う教科	評定を2倍として扱う教科									
晴海総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
つばさ総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
世田谷総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
杉並総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
王子総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
葛飾総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	
青梅総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人150	－	－	1150	3月9日	
町田総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
東久留米総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人100	－	－	1100	3月9日	
若葉総合	国数英	－	－	－	国数英	社理音美体技・家	7：3	700	300	個人200	－	－	1200	3月9日	

2 都立高等学校・定時制課程

(1) 普通教育を主とする学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
		教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
	教科	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
大崎	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
大森	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
松原	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
豊島	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
足立	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
南葛飾	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
江戸川	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
葛西南	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
農業	国数英	1倍	2倍	7：3	700	300	個人200	－	－	－	1200	3月9日
神代	国数英	1倍	2倍	7：3	700	300	個人300	－	－	－	1300	3月9日
町田	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
福生	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
五日市	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
大島	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
八丈	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日

（2） 専門教育を主とする学科

（2－1） 農業に関する学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
園芸	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
農芸	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
農産	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
農業	国数英	1倍	2倍	7：3	700	300	個人200	－	－	－	1200	3月9日

（2－2） 工業に関する学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
工芸	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
墨田工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
総合工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
中野工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
荒川工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
本所工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
小金井工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日

（2－3） 商業に関する学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
第三商業	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
足立	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人200	－	－	－	1200	3月9日
第五商業	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人500	－	－	－	1500	3月9日

（2－4） 併合科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
瑞穂農芸	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日

（2－5） 産業科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
橘	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日

（3） 単位制

（3－1） 普通教育を主とする学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
新宿山吹	国数英	1倍	2倍	7：3	700	300	個人135	－	－	－	1135	3月9日
六郷工科	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
飛鳥	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日
板橋有徳	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日

（3－2） 専門教育を主とする学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力検査：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
新宿山吹（情報科）	国数英	1倍	2倍	7：3	700	300	個人135	－	－	－	1135	3月9日
六郷工科（生産工学科）	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人100	－	－	－	1100	3月9日

（3－3）　チャレンジスクール及びチャレンジ枠がある学校

学校名	科名	追検査								
		学力検査	調査書	満点					総合成績の満点	実施日
				志願申告書	面接	作文	実技検査	学校設定検査		
六本木	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	150	個人600	500	－	－	1250	3月9日
大江戸	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	600	－	－	1300	3月9日
世田谷泉	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	500	－	－	1200	3月9日
稔ヶ丘	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	500	－	－	1200	3月9日
桐ヶ丘	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	500	－	－	1200	3月9日
小台橋	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	600	－	－	1300	3月9日
立川緑	総合学科（チャレンジスクール）1部～3部	実施しない	提出しない	100	個人600	600	－	－	1300	3月9日
八王子拓真	普通科（チャレンジ枠）1部・2部	実施しない	提出しない	100	個人500	500	－	－	1100	3月9日

（3－4）総合学科

学校名	追検査											
	学力検査	調査書		学力：調査書	満点						総合成績の合計	学力検査以外の検査の実施日
	教科	教科の評定の扱い			学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査	学校設定検査		
		学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									
青梅総合	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日
東久留米総合	国数英	1倍	2倍	6：4	600	400	個人300	－	－	－	1300	3月9日

別表14　学力検査以外の検査の内容

○ 集合時刻及び検査会場等については、受検票により指定します。

○ ※1「学校設定検査」欄に○を付した検査は、原則として、社会・理科の内容を含んだ学校設定検査（個人面接、小論文・作文、実技検査又は学力検査）として実施します。

1 全日制課程

(1) 普通教育を主とする学科

学校名（学科名等）	検査日	検査内容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備考
日比谷	3月9日（火）	○小論文を実施する。 社会又は理科に関する文章や統計資料を読んで、自分の考えを論理的に記述する。	○	○筆記用具	
		○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来への展望など 社会又は理科に関する口頭試問を含む。	○	なし	
三田	3月9日（火）	○個人面接において、社会・理科の口頭試問を実施する。	○	○筆記用具	
戸山	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 社会及び理科の内容の口頭試問を含む。	○	なし	
竹早	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
向丘	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
上野	3月9日（火）	○個人面接において、社会・理科の口頭試問を実施する。	○	○筆記用具	
日本橋	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
本所	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、中学での様々な活動、将来の展望など	―	なし	
城東	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
東	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校での活動、高校生活への決意など	―	なし	
深川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	―	なし	
大崎	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
小山台	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 学習への意欲、部活動、学校行事、生徒会活動等への意欲など	―	なし	
八潮	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
駒場	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
目黒	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	―	なし	
大森	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待、将来の展望など	―	なし	
田園調布	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 社会及び理科の内容の口頭試問を含む。	○	○筆記用具	
雪谷	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望・教科：理科・社会についてなど	○	なし	
桜町	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
千歳丘	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	

学校名（学科名等）	検査日	検査内容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備考
松原	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望・現在の学校生活など	—	なし	
青山	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望などに加え、現代的な課題に関する１分間の意見発表と、中学校までに学習した理科・社会の内容に関する質疑応答を含む。	○	○筆記用具	
広尾	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校への志望理由・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
鷺宮	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
武蔵丘	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
杉並	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待、将来の展望など	—	なし	
豊多摩	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
西	3月9日（火）	○作文を実施する。 与えられた言葉について、自分の意見を述べる。	—	○筆記用具	
		○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
豊島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
文京	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校での取り組み、本校志望理由、入学後の抱負など	—	なし	
竹台	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
板橋	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望理由、高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
大山	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・中学時代に力を入れて取り組んだこと・高校生活の抱負・高校卒業後の進路など	—	なし	
北園	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
高島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望理由、高校生活への期待、将来の展望など	—	なし	
井草	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
石神井	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来への展望など	—	なし	
田柄	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
練馬	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
光丘	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
青井	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
足立	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校生活での学習面の振り返り・高校生活への期待・本校へ出願する動機・将来の展望など	—	なし	
足立新田	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待、将来の展望など	—	なし	
足立西	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
江北	3月9日（火）	○個人面接において、社会・理科の口頭試問を実施する。	○	なし	
淵江	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
葛飾野	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
南葛飾	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
江戸川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
葛西南	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
小岩	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校志望の理由、中学校生活について、高校生活で目標とすること、将来の進路など	—	なし	
小松川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校での学習の様子、高校生活、将来の展望など	—	なし	
篠崎	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・部活動など	—	なし	
紅葉川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

学校名（学科名等）	検査日	検査内容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備考
片倉	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来への展望など	—	なし	
八王子北	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・学校生活への抱負・将来への展望	—	なし	
八王子東	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
富士森	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
松が谷	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
立川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
武蔵野北	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意教科などの他、社会及び理科の内容を含む質問を実施する。	○	なし	
多摩	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
府中	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
府中西	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	○筆記用具	
府中東	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
昭和	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
拝島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
神代	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
調布北	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
調布南	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
小川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
成瀬	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
野津田	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
町田	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の夢・得意科目など	—	なし	
山崎	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
小金井北	3月9日（火）	○個人面接において、社会及び理科の口頭試問を実施する。	○	なし	
小平	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 出願の動機、思考力など	—	○筆記用具	

学校名 （学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査 ※1	検査に必要なもの	備　　考
小　平　西	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校で頑張ってきたこと・志望動機・高校生活への期待・ 将来の展望など	—	○筆記用具	
小　平　南	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、進路希望、高校生活への期待など	—	なし	
日　　野	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来への展望など	—	なし	
日　野　台	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
南　　平	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
東村山西	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望理由・将来の希望など	—	なし	
国　　立	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
福　　生	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
狛　　江	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
東　大　和	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活での目標、将来への希望など	—	なし	
東大和南	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
清　　瀬	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・将来への展望など	—	なし	
久留米西	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
武蔵村山	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活に期待すること・高校生活で挑戦してみたいことなど	—	なし	
永　　山	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
羽　　村	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
五　日　市	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
田　　無	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
保　　谷	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
大　　島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、中学校で頑張ってきたこと、自己ＰＲカードの内容、 入学後の意欲など	—	なし	
新　　島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
神　　津	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
三　　宅	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
八　　丈	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
小　笠　原	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

（２）　普通教育を主とする学科（コース）

学校名 （学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査 ※1	検査に必要なもの	備　　考
深　　川 （外国語）	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	―	なし	
片　　倉 （造形美術）	３月９日（火）	○実技検査（鉛筆による素描）５０分	―	○鉛筆（２H～６B程度） ○消しゴム（練消しゴム可） ○目玉クリップ（２個） ○鉛筆削り（電動不可） もしくはカッターナイフ	
松　が　谷 （外国語）	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
小　　平 （外国語）	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 出願の動機、思考力など	―	○筆記用具	

（３）　普通教育を主とする学科（エンカレッジスクール）

学校名 （学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査 ※1	検査に必要なもの	備　　考
蒲　　田	３月９日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「自己ＰＲスピーチ」を行う。 ○作文を実施する。	―	○筆記用具	
足　立　東	３月９日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「自己ＰＲスピーチ」を行う。 ○作文を実施する。	―	○筆記用具	
東　村　山	３月９日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「自己ＰＲスピーチ」を行う。 ○小論文を実施する。 ○実技検査は、第一次募集と同様に、文章を読み、その内容についていくつかの設問に答える。	―	○筆記用具	
秋　留　台	３月９日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「自己ＰＲスピーチ」を行う。 ○小論文を実施する。	―	○筆記用具	

（４）　普通教育を主とする学科（進学重視型単位制）

学校名 （学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査 ※1	検査に必要なもの	備　　考
新　　宿	３月９日（火）	○個人面接において、社会及び理科の口頭試問を実施する。	○	なし	
墨　田　川	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 社会科・理科の教科の各分野に関わる知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度に関する質問を行い、受検者の思考力、判断力、表現力を検査する。	○	なし	
国　分　寺	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など 社会又は理科に関する口頭試問を含む。	○	なし	

（５）　普通教育を主とする学科（単位制）

学校名 （学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査 ※1	検査に必要なもの	備　　考
忍　　岡	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
美　　原	３月９日（火）	○個人面接を実施する 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	－	なし	
深　　沢	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
芦　　花	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 コミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力、出願の動機、規範意識・進路実現に向けた意欲	―	なし	
飛　　鳥	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望・志望の動機など	―	なし	
板　橋　有　徳	３月９日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
大　泉　桜	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来への展望など	―	なし	
翔　　陽	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
上　　水	３月９日（火）	○個人面接を実施する。 面接時間の初めに２分程度の「自己ＰＲタイム」を設けます。 受検者の長所・興味・関心・意欲・特技などを話してください。	―	なし	

（6） 専門教育を主とする学科

（6－1） 農業に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
園　　芸	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
農　　芸	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
農　　産	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	―	なし	
農　　業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待など。	―	なし	
瑞穂農芸	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	

（6－2） 工業に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
工　　芸	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、進路など	―	なし	
蔵前工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 工業科を志望する理由・高校生活への期待・将来の展望など	―	○筆記用具	
墨田工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
総合工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 工業科を志望する理由・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
杉並工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
荒川工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望理由など	―	なし	
北豊島工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 ・志望動機や中学校生活について、ものづくりに対する興味や関心について ・高校生活への期待や将来への展望など	―	なし	
足立工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
葛西工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	―	なし	
府中工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
町田工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
多摩工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校を選んだ理由、志望学科、高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	
田無工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 ものづくりへの興味関心、学校や社会の規則を守ることなど	―	なし	

（6－3） 工業に関する学科（エンカレッジスクール）

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
中野工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。 ○実技検査は、第一次募集と同様に、指示に従って簡単な作業を行う。	―	○鉛筆（ＨＢ～２Ｂ） ○消しゴム ○直線定規	
練馬工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。個人面接の一部において、第一次募集と同様に「パーソナル・プレゼンテーション」を行う。 ○作文を実施する。	―	○筆記用具 ○消しゴム	

（6－4） 工業に関する学科（単位制）

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
六郷工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	―	なし	

（6－5） 商業に関する学科

学校名（学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備 考
芝 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・展望など	—	なし	
江 東 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 【面接の例】 1 「自己ＰＲカード」に即した自己ＰＲスピーチ（1分程度） 2 「本校の期待する生徒の姿」についての取り組み度 3 高校生活への期待、将来の展望	—	なし	
第 三 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など以下の4項目を評価の観点とする。 ・コミュニケーション能力 ・思考力・将来性・表現力 ・第三商業高等学校に対する理解と適性 ・規範意識・生活態度	—	なし	
第 一 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 例として次のようなことを質問します。 ・志望の動機に関すること ・教科の学習に関すること ・入学後の高校生活に関すること ・特別活動やその他に関すること	—	なし	
第 四 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校を志望した理由・本校で取り組みたいことなど	—	なし	
葛 飾 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校希望の意欲や入学後の学校生活、卒業後の進路希望についてなど	—	なし	
第 五 商 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

（6－6） 水産に関する学科

学校名（学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備 考
大島海洋国際	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	

（6－7） 家庭に関する学科

学校名（学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備 考
農 業 （ 服 飾 ） （ 食 物 ）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待など	—	なし	
瑞 穂 農 芸 (生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ)	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
赤 羽 北 桜 （保育・栄養） （ 調 理 ）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

（6－8） 家庭に関する学科（単位制）

学校名（学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備 考
忍 岡 （生活科学）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

（6－9） 福祉に関する学科

学校名（学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備 考
野 津 田 （ 福 祉 ）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
赤 羽 北 桜 （介護福祉）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

（6－10） 理数に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
立　　川（創造理数）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	—	なし	
科 学 技 術（創造理数）	3月9日（火）	○個人面接 面接の質問には、以下の内容が含まれる。 ①本校を志望する理由及び将来の展望 ②理科や数学に関する内容	—	なし	

（6－11） 芸術に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
総 合 芸 術（ 美 術 ）	3月9日（火）	○「鉛筆による素描」（2時間30分） 検査用紙　画用紙（54．4ｃｍ×38．4ｃｍ）	—	○鉛筆（2H～4B程度） ○消し具 ○ナイフ ○ガーゼ ※検査用紙、画板は本校で用意する。	美術科の専攻 ○絵画（日本画） ○絵画（油彩画） ○彫刻 ○デザイン ○映像
総 合 芸 術（舞台表現）	3月9日（火）	○専攻実技（専攻により内容が異なる。） ア　演劇専攻 ①言葉と身体による表現 ②台本による表現（発声を含む。） イ　舞踊専攻 ①バー、センター及び走る・跳ぶ・転がる等の要素を含む運動 ②音楽による表現	—	○（演劇専攻）体操着 ○（舞踊専攻）レオタード又は体操着、バレエシューズ（トゥシューズ、ジャズシューズでも可）	※演劇専攻、舞踊専攻のうち一つを選択して出願する。
総 合 芸 術（ 音 楽 ）	3月9日（火）	(1) 旋律及び和声の聴き取り（全専攻共通） (2) 新曲の視唱（全専攻共通） (3) 専攻実技（各専攻により内容が異なる。） ア 鍵盤楽器専攻 ① 課題曲 ② 任意の１曲 イ 管楽器専攻･弦楽器専攻 ① 課題曲 ② 任意の１曲 ③ ピアノ演奏 ウ 打楽器専攻 ① 課題曲 ② 任意の１曲 ③ ピアノ演奏 エ 声楽専攻 ① 課題曲 ② イタリア古典歌曲(原語) ③ ピアノ演奏 オ 作曲専攻 ① 和声課題 ② ピアノ演奏 カ 楽理専攻 ① 楽理に関する小論文を含む学力検査 ② ピアノ演奏 ※専攻実技の演奏は、当日楽譜が提示されるものを除いて、課題曲、任意の１曲ともに暗譜とする。 ※課題曲・ピアノ演奏は、課題曲集を参照のこと。	—	【検査に必要なもの】 ○筆記用具 ○楽器（必要な場合） ※マリンバ、ピアノは本校で用意する。 ※不明な点は事前に学校まで問い合わせてください。 【備考】 音楽科の専攻 ○器楽（鍵盤楽器） ピアノ ○器楽（管楽器） フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ ○器楽（弦楽器） ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス ○器楽（打楽器） 小太鼓・マリンバ ○声楽 ○作曲 ○楽理 ※一つの専攻（楽器等）を選択して出願する。 ※課題曲等は、10月及び11月の学校説明会において提示して説明する。 ※サクソフォーン専攻は、アルトサクソフォーンで受検する。 ※打楽器専攻は、小太鼓又はマリンバで受検する。 ※声楽専攻の伴奏者は、本校で用意する。

（6－12） 体育に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
駒　　場（保健体育）	3月9日（火）	○基礎体力テスト（全員が次の４種目を受検する） ①ジグザグ走　②立幅跳　③上体起こし　④シャトルラン ○運動能力テスト（次の①～⑧の中から１種目選択） ①陸上競技（男女）　②水泳（男女）　③体操競技（男女） ④柔道（男女）　⑤剣道（男女）　⑥サッカー（男） ⑦バレーボール（女）⑧バスケットボール（男女）	—	○体育館シューズ ○選択した種目に必要な用具	本校所定の体育調書を出願時に提出すること。用紙は、令和９年１月19日（火）以降、本校ホームページからダウンロード又は経営企画室にて受け取ること。
野　津　田（ 体 育 ）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 ○実技検査を実施する。 （1）共通検査（全員受検） ①３分間シャトルランニング （2）運動技能検査（次の①～④の中から１種目選択） ①陸上競技 （男：１５００m走・砲丸投げ・走り高跳び・１００m走・ハンドボール投げから１種目選択） （女：１０００m走・砲丸投げ・走り高跳び・１００m走・ハンドボール投げから１種目選択） ②サッカー（男子のみ） ③バスケットボール（男女） ④バレーボール（女子のみ）	—	○運動靴 ○体育館シューズ ○運動着 ○選択した専門種目に必要な用具	本校所定の体育調書を出願時に提出すること。用紙は令和８年１０月２８日（水）以降、本校経営企画室にて受け取るか、又は本校ホームページからダウンロードすること。

（6－13） 国際関係に関する学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
国　　際	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	

（6－14） 併合科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
大　　島（併合科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、中学校で頑張ってきたこと、自己ＰＲカードの内容、入学後の意欲など	—	なし	
三　　宅（併合科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
八　　丈（併合科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・得意科目など	—	なし	

（6－15） 産業科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
橘	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
八王子桑志	3月9日（火）	○学力検査を実施する。 社会及び理科に関する内容を検査する。	○	○筆記用具	

（7） 専門教育を主とする学科（進学重視型）

（7－1） 科学技術科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
科学技術	3月9日（火）	○個人面接 面接の質問には、以下の内容が含まれる。 ①本校を志望する理由及び将来の展望 ②科学技術に関する内容	—	なし	
多摩科学技術	3月9日（火）	○個人面接 面接の質問には、以下の内容が含まれる。 ①本校を志望する理由 ②社会及び理科又は科学技術に関する内容	○	なし	

（7－2） ビジネスコミュニケーション科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
大田桜台	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 中学校での状況・高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
千　　早	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待、将来の展望など	—	なし	

（8） 総合学科

学校名（学科名等）	検　査　日	検　　査　　内　　容	学校設定検査※1	検査に必要なもの	備　　考
晴海総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 総合学科への理解・将来の夢・学習意欲など	—	なし	
つばさ総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
世田谷総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
杉並総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望・理想の進路など	—	なし	
王子総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	—	なし	
葛飾総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
青梅総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
町田総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	
東久留米総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・入学後の学習や特別活動に対する意欲・将来の展望など	—	なし	
若葉総合	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	—	なし	

2 定時制課程

(1) 普通教育を主とする学科

学校名 (学科名等)	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
大 崎	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
大 森	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
松 原	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、中学校で頑張ってきたこと、自己ＰＲカードの内容、入学後の意欲等	○筆記用具	
豊 島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	○筆記用具	
足 立	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	○筆記用具	
南 葛 飾	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
江 戸 川	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
葛 西 南	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・中学校での生活・将来の展望など	○筆記用具	
農 業	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校を志望した理由・将来の展望など	なし	
神 代	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望理由・高校生活への期待・将来の展望など	なし	
町 田	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への取り組み・将来の夢など	なし	
福 生	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
五 日 市	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・高校生活への期待・将来の展望・得意科目など	なし	
大 島	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
八 丈	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（2） 専門教育を主とする学科

（2－1） 農業に関する学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
園芸 （園芸科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望、理科･社会の要素を含んだ質問など	なし	
農芸 （農芸科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
農産 （農産科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待など	なし	
農業 （食品化学科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校を志望した理由・将来の展望など	なし	

（2－2） 工業に関する学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
工芸 （マシンクラフト科、アートクラフト科、インテリア科、グラフィックアーツ科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
墨田工科 （総合技術科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
総合工科 （総合技術科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など 【面接の例】 ・あなたは、なぜ総合工科高校を志望しましたか。 ・あなたは、この学校に入学して、将来どのような方面に進みたいと思っていますか。	なし	
中野工科 （総合技術科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 本校志望理由・将来の展望など	なし	
荒川工科 （電気・電子科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
本所工科 （総合技術科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待・将来の展望など	なし	
小金井工科 （機械科、電気・電子科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	○筆記用具	

（2－3） 商業に関する学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
第三商業 （商業科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
足立 （商業科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	○筆記用具	
第五商業 （商業科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（2－4） 併合科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
瑞穂農芸 （併合科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機、高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（2－5） 産業科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
橘 （産業科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（3） 単位制

（3－1） 普通教育を主とする学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
新宿山吹	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	○筆記用具	
六郷工科	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
飛鳥	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	
板橋有徳	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（3－2） 専門教育を主とする学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
新宿山吹 （情報科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	○筆記用具	
六郷工科 （生産工学科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

（3－3） チャレンジスクール及びチャレンジ枠がある学校

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
六本木 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○鉛筆又はシャープペンシル ○消しゴム	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
大江戸 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
世田谷泉 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
稔ヶ丘 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
桐ヶ丘 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
小台橋 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
立川緑 （総合学科）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	
八王子拓真 （普通科チャレンジ枠）	3月9日（火）	○作文を実施する。	○筆記用具	
	3月9日（火）	○個人面接を実施する。	なし	

（3－4） 総合学科

学校名 （学科名等）	検 査 日	検 査 内 容	検査に必要なもの	備 考
青梅総合 （総合学科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 志望動機・中学校の生活・高校生活への意欲など	なし	
東久留米総合 （総合学科）	3月9日（火）	○個人面接を実施する。 高校生活への期待・将来の展望など	なし	

別表 15

学校において予防すべき感染症の種類と出席停止期間の基準

分類	感染症の種類	出席停止の期間
第一種感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、特定鳥インフルエンザ ※　重症急性呼吸器症候群は病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。 ※　中東呼吸器症候群は病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。 ※　特定鳥インフルエンザは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。	治癒するまで ※　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する「新型インフルエンザ等感染症」、「指定感染症」及び「新感染症」は第一種の感染症とみなす。
第二種感染症	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	発症した後５日を経過し、かつ、解熱後２日（幼児にあっては３日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は５日間の適正な抗菌薬療法による治療が終了するまで
	麻しん（はしか）	解熱後３日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下線の腫脹が発現した後５日を経過、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発疹が消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）	発症した後５日を経過し、かつ、症状が軽快した後１日を経過するまで
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
第三種感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
その他の感染症（第三種感染症として扱う場合もある）	溶連菌感染症、A 型肝炎、B 型肝炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎など	学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の意見を聞き、校長が第三種の感染症として緊急的に措置を取ることができる。

関係法令）学校保健安全法施行規則第 18 条及び第 19 条並びに学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令（令和５年文部科学省令第 22 号令和５年５月８日施行）

参考文献）「学校において予防すべき感染症の解説＜令和５年度改訂＞」

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の細目

第　１　　出願書類についての注意事項等

第1－1 入学願書等の記入方法

(1) 入学願書は、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に必要事項を入力する方法又は紙の入学願書に記入する方法により作成するものとする。なお、紙の入学願書に記入する場合は、その裏面に印刷された「入学願書記入上の注意」に従って記入する。

(2) 入学願書に記入する氏名等の文字は、住民票に記載されているものを使用する。ただし、住民票に記載されている文字が常用漢字表（平成２２年内閣告示第２号）外字の文字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し支えないが、入学願書、受検票、調査書及び氏名記載のある成績一覧表（以下「原簿」という。）の表記は統一すること。

（例　澤－沢、　邊－辺）

外国籍を有する場合も、住民票に記載されている氏名（以下「本名」という。）を使用して入学願書を作成する。ただし、住民票に通称名が表示されており、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、出願サイトでは志願者氏名欄に通称名を入力し、本名欄に本名を入力する。紙の入学願書では志願者氏名欄の本名の後ろに（　）を付して併記する。

なお、受検票の受検者氏名欄には、出願サイトの志願者氏名欄に入力した通称名が記載され、紙の受検票に記入する場合は、入学願書に併記した通称名のみの記入で差し支えない。

また、都内の里親又は小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム事業）委託生徒で通称名（里親の姓）による出願を希望する志願者は、入学願書、受検票、調査書及び原簿の氏名欄には、通称名（里親の姓）を記入する。その場合は、出願時に「措置通知書」の写しを提出すること。

＜紙の願書への記入例＞

（例１）　外国籍を有する志願者（漢字併記）の場合の入学願書の志願者氏名欄

フ　リ　ガ　ナ	チャン　アイ　ピン
氏　　名	ZHANG AI PING　　張　愛　平

（例２）　外国籍を有する志願者で、本人が通称名の使用を希望する場合の記載例

(1) 入学願書の志願者氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）

フ　リ　ガ　ナ	チャン　アイ　ピン　　(トウ キョウ　タ　ロウ)
氏　　名	ZHANG AI PING　　（東　京　　太　郎）

本　名　　通　称　名

(2) 受検票の受検者氏名欄（通称名のみで可）

フ　リ　ガ　ナ	トウ キョウ　　タ　ロウ
受検者氏名	東　京　　太　郎

通　称　名

(3) 調査書の学籍の記録・氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）

フ　リ　ガ　ナ	チャン　アイ　ピン　　(トウ キョウ　タ　ロウ)
氏　　名	ZHANG AI PING　　（東　京　　太　郎）

本　名　　通　称　名

(3) 保護者氏名欄には、保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）の氏名を記入する。保護者が父母である場合、父又は母の氏名（父、母のどちらでもよい。）を記入する。なお、保護者と別居していて出願を認められた者についても、原則として保護者の氏名を記入するが、行方不明又は外国等の遠隔地居住などのため記入できない場合は、次のア又はイの氏名の記入を認める。

ア　実際に養育している成人のおじ、おば、祖父母、兄姉、知人等

イ　職員を海外に派遣する等の目的で企業内に設けられた寮等に居住（入居）している場合は、その施設の長

(4) 都内の中学校を卒業する見込みの者で、東京都立高等学校入学者選抜における検査結果を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高校から在籍する学校へ提供することに同意する場合、出願サイト上で入学願書における個人情報の提供に関する同意署名欄に受検者氏名が表示されるように登録するか、入学願書の所定の欄に志願者本人が自署する。

第1－2 自己PRカード及び志願申告書等の記入

自己ＰＲカード（様式12）は、志願者本人による手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷を原則とするが、事故や病気、障害等により志願者本人による記入が困難な場合は、保護者等による記入を認めるものとする。その際、自己ＰＲカードの下端に、その理由及び記入者と志願者との関係を明示する。

なお、志願申告書及び自己申告書についても同様とする。

第1－3 自己申告書の提出

都立高校に理解してほしい事情を説明する必要がある場合、志願者は、自己申告書（様式13）を志願する都立高校の校長に提出することができる。

自己申告書は、志願者及び保護者が記入し、厳封して在学している中学校の校長に提出する。中学校の校長は、出願に要する書類とともに志願する都立高校の校長に提出する。

なお、都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

第1－4 具申書の提出

(1) 具申書について

ア　東京都立高等学校入学者選抜実施要綱第１－３－１(3)若しくは第２－３－１②＜全日制を志願する者＞(1)に該当する者又は第２－３－２(1)都内在住者で都外の中学校に在学している者で、保護者と同居していない場合及び父母のどちらか一方と同居している場合に提出する。

イ　提出方法

(ｱ) 具申書（様式14）は、申請者が２部作成し、在学している中学校の校長に提出する。

(ｲ) 中学校の校長は、受理した具申書の内容が事実であると認めたときは、校長証明欄に氏名を記入し公印を押印の上、１部を出願に要する書類とともに志願する都立高校の校長に提出する。他の１部は中学校で保管する。

なお、都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はない。

(2) 都内の里親又は小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム事業）委託生徒は、具申書に代えて「措置通知書」の写しを提出する。

(3) 児童福祉施設に入所している東京都の措置児童は、具申書に代えて、当該児童福祉施設の長からの「意見書」を提出する。

第1－5 入学考査料の納付方法

推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集の選抜、海外帰国生徒対象の選抜、在京外国人生徒等対象（国際高校）の選抜、国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程の前期選抜の入学考査料は、出願サイト上での決済又は所定の納付書（都立高校全日制推薦受検用、都立高校全日制受検用（推薦・海外帰国以外）、都立高校全日制海外帰国受検用、都立高校定時制推薦受検用、都立高校定時制受検用（推薦以外）及び都立高校通信制受検用）により、納付する。また、その他の募集の入学考査料は、所定の納付書（都立高校全日制受検用（推薦・海外帰国以外）、都立高校定時制受検用（推薦以外）、都立高校通信制受検用）により、納付書裏面に記載された納付場所に納付する。

なお、入学考査料を納付するに当たっては、次のことに留意する。

(1) 納付書は所定の用紙を使用する（コピーしたものは使用できない。）。

(2) 納付書の金額を訂正したり、**前年度以前の納付書を使用したりしない。**

(3) 納付書の※欄は、必ず記入してから納付する。

(4) 納付期限は、それぞれの入学願書受付日の最終日とする。

(5) **一旦納付された入学考査料は還付しないので、入学考査料は、都立高校への志望が確実になってから納付すること。また、志願先の高校の入学考査料の金額を十分確認の上、納付すること。**

(6) 出願ごとに入学考査料を納付する。ただし、取下げ後の再提出時は必要ない。

(7) 指定された納付場所とは次に掲げるものをいう。

ア　都内に店舗のある銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合などで、都の公金を収納する金融機関（「都の公金収納取扱店」の掲示のある店舗）

イ　都内のゆうちょ銀行の営業所及び郵便局又は関東（山梨県を含む。）に所在するゆうちょ銀行の営業所及び郵便局

(8) 定時制課程及び通信制課程志願者で、営業時間終了等で金融機関に納付できない場合は、入学願書提出の際に志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

第1－6 諸用紙類の配布

入学願書等入学者選抜に関する諸用紙類は、令和８年１２月１日（火）までに区市町村教育委員会に配布する。

国際バカロレアコース（国際高校）、定時制課程単位制高校のうち、チャレンジスクール、一橋高校、新宿山吹高校、通信制課程の高校及び海外帰国生徒等の入学者選抜を行う高校の入学願書等については、各都立高校が印刷し配布するため、志願する都立高校に連絡して、必要書類を取り寄せること。

（様式4）

令和9年度　東京都立高等学校入学願書

（全一次、定一次・分割前期共通様式）

東京都立 西新宿 高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号	※
変更後	※

出願区分

全一次	全一次
定一次・分割前期	定一次・分割前期

※　全一次又は定一次・分割前期を赤色の○で囲む。

成人受検者特別措置希望（定時制）	成人受検者特別措置希望（定時制）

ルビ振り等受検上の配慮希望		ルビ振り等受検上の配慮希望	
ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み	ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み

志望校（第1志望）

変更前	西新宿 高校	専門学科への志願者で第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。				
	コース 普通 科(分野) 部	第2志望	科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部	
		第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部	
変更後	高校	専門学科への志願者で第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。				
	コース 科(分野) 部	第2志望	科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部	
	（チャレンジスクール、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校、砂川高校を除く定時制は変更できない。）	第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部	

志願者

フリガナ	シン ジュク タ ロウ
氏名	新 宿 太 郎
生年月日	平成23年 9月 6日 15歳
現住所（出願時の住所）	〒163-8001 東京都新宿区西新宿2－8－1
入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
在学（出身）中学校名	新宿区 立 新宿中央 中学校
卒業年月	令和9 年 3 月 卒業見込 ・ 卒業

写真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）
・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

切り取らないこと。

保護者

現住所（出願時の住所）	〒 志願者と同じ （電話）03(5320)6745
入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒 （電話）

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。
なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

令和9 年 1 月30 日

保護者氏名（自署） 新宿 春子　　志願者との続柄 母

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

令和9 年 2 月 2 日

新宿区 立　新宿中央 中学校長 東京 花子　公印

（電話）03(5320)6755

令和9年度　都立高等学校受検票

（全一次、定一次・分割前期共通様式）

受検番号	※
変更後	※

フリガナ	シンジュク タ ロウ
受検者氏名	新宿 太郎
在学（出身）中学校名	新宿区 立 新宿中央 中学校
検査会場名	※
変更後 検査会場名	※

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

1　検査日時及び時間割

令和９年２月２１日（日）　午前８時３０分集合

(1)　時間割（定時制成人受検者特別措置の受検者を除く。）

第１時限　国語　午前　９時００分　～　午前　９時５０分
第２時限　数学　午前１０時１０分　～　午前１１時００分
第３時限　英語　午前１１時２０分　～　午後　０時１０分
第４時限　社会　午後　１時１０分　～　午後　２時００分
第５時限　理科　午後　２時２０分　～　午後　３時１０分

・検査教科が３教科の高校では、学力検査の終了時刻が異なる場合がある。
・実技検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
・定時制成人受検者特別措置の受検者及び学力検査問題を自校で作成する定時制の受検者については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
・検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

(2)　持ってくるもの

受検票、ＨＢ又はＢの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き

なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

2　合格発表日時

全日制　令和９年３月１日（月）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
　　午前９時３０分（校内掲示）
定時制　令和９年３月１日（月）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
　　午後４時（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのＵＲＬについては、各高校から別途お知らせします。）

※　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（様式10）（Ａ４判）

調　　査　　書

（注）　①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

成績一覧表の番号	121	成績一覧表の提出の有無（該当を○で囲む。）	(有)・無

海外帰国生徒対象等との併願（該当番号を○で囲む。）
1　海外帰国生徒対象
2　引揚生徒対象
3　在京外国人生徒等対象
4　都立産業技術高等専門学校

※受検番号	コース・科（分野）・部
一般推薦	
文化・スポーツ等特別推薦	
理数等特別推薦	
一般選抜（変更前）	
一般選抜（変更後）	

学籍の記録					
フリガナ	シンジュク　タロウ	性別	転入学等	年　月　編入学 / 中学校から転学	
氏名	新宿　太郎	男			
生年月日	平成23年　10月　11日生		卒業・卒業見込	令和9年　3月　(卒業見込)・卒業	

各教科の学習の記録

教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			総合的な学習の時間の内容及び評価
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々に成果を発表する動画を作成した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる力、発表での表現力が向上した。
評価	B	A	A	A	A	A	B	C	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A	A	
評定	4			5			2			3			3			3			5			3			5			

諸活動の記録	
	・図書委員として「図書だより」の作成を担当（第3学年） ・○○検定○級を取得（第3学年）
中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果	A

記載事項に相違ありません。

令和9年　1月　14日　　記載者氏名　有楽　町子

〔学校所在地〕　新宿区西新宿2－8－1

〔電話番号〕　03(5320)6755

〔学校名〕（フリガナ）　シンジュクチュウオウ

新宿区立新宿中央中学校

校長名　東京　花子　　公印

〔学校番号〕　304250

（注意）学校名にのみフリガナを付ける。〔学校番号〕は、都内公立の中学校のみ記入する。
〔学校番号〕は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱別表10を参照すること。

成績一覧表記入例

（様式11）（B4判） 成績一覧表　4枚目

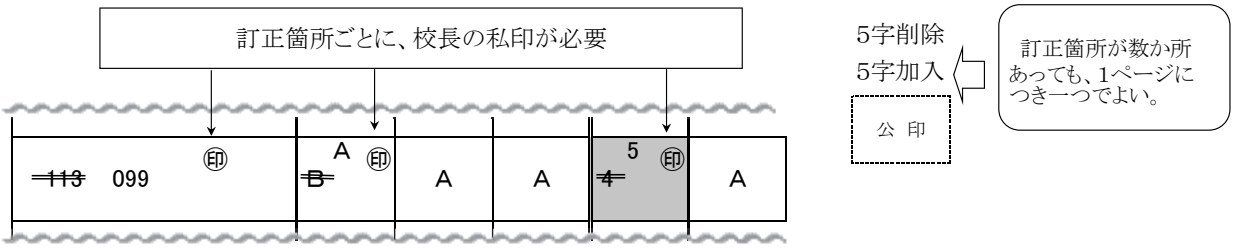
番号	国語				社会				数学				理科				音楽				美術				保健体育				技術・家庭				外国語（英語）			
	評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点				評価の観点			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定
121	B	A	A	4	A	A	A	5	B	C	B	2	B	B	B	3	B	A	B	3	B	A	B	3	A	A	A	5	A	B	B	3	A	A	A	5
122	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	B	B	B	3	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5
123	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3
157	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	A	A	A	5	B	B	B	3	A	A	A	5	A	A	A	5
158	B	A	A	4	A	A	A	5	B	C	B	2	B	B	B	3	B	B	B	3	B	B	B	3	B	A	A	4	B	B	B	3	A	A	A	5
小計	8を与えた数の計		5			5			6			4			5			4			4			5			6									
	4を与えた数の計		11			10			11			12			12			11			13			11			10									
	3を与えた数の計		16			15			14			17			15			16			16			14			16									
	2を与えた数の計		5			6			5			4			5			5			4			7			4									
	1を与えた数の計		1			2			2			1			1			2			1			1			2									

（様式11）（B4判） 成績一覧表　最終ページ

	国語		社会		数学		理科		音楽		美術		保健体育		技術・家庭		外国語（英語）	
	評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点		評価の観点	
合計	8を与えた数の計	20		21		23		21		20		18		17		17		23
		12.7		13.3		14.6		13.3		12.7		11.4		10.8		10.8		14.6
	4を与えた数の計	44		43		42		43		45		44		47		45		42
		27.8		27.2		26.6		27.2		28.5		27.8		29.7		28.5		26.6
	3を与えた数の計	62		60		57		62		64		66		66		68		57
		39.2		38.0		36.1		39.2		40.5		41.8		41.8		43.0		36.1
	2を与えた数の計	25		26		26		24		22		23		21		21		27
		15.8		16.5		16.5		15.2		13.9		14.6		13.3		13.3		17.1
	1を与えた数の計	7		8		10		8		7		7		7		7		9
		4.4		5.1		6.3		5.1		4.4		4.4		4.4		4.4		5.7
総計		158		158		158		158		158		158		158		158		158

＊成績一覧表を訂正する場合は、次のようにする。

○ 評価・評定等の訂正例



（様式32）（Ａ４判）

新宿区立新宿中央　中学校　学校番号　304250

令和9年度東京都立高等学校入学者選抜 志願者一覧 （ 兼 受付簿 ）

東京都立　西新宿　高等学校長　殿　　志願者一覧：1 枚中の 1 枚目　　成績一覧表同封の有無：有

（　普通　コース・科〔 分野 〕・部 ）　　志願者合計：6 名　（男子 3 名　・女子 3 名）　※志願者一覧全枚数の合計

※学科等ごとに1枚ずつ作成

No.	受検番号	受検番号2（※併願者のみ）	氏　名	性別（○を付ける。）		同封する書類											備　考
				男子	女子	調査書	入学願書	入学考査料領収証書	（様式１）一般推薦書	（様式２）特別推薦書	（様式１２）自己ＰＲカード	具申書			資格審査	ルビ申請	
1			新宿　太郎	○		○			○	○	○						
2			新宿　次郎	○		○			○		○						
3			新宿　三郎	○		○				○	○						
4			新宿　雪子		○	○			○	○	○						
5			新宿　月子		○	○			○		○						
6			新宿　花子		○	○				○	○	○					
7																	
8																	
9																	
10																	

※中学校は、同封する「出願に要する書類」について志願者ごとに記入してください。色付きのセル内については必ず記入してください。また、紙の入学願書及び入学考査料領収証書を同封した場合は○を記入してください。

※一般推薦書、特別推薦書、自己PRカード、スピーキングテスト個人レポートを同封する場合は、「同封する書類」欄からプルダウンにより選択し、志願者ごとに○を記入してください。

※自己申告書等、プルダウンのリストにない書類を同封する場合は、「同封する書類」欄に直接記入してください。

※入学願書、調査書、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）個人レポート等の出願書類における氏名の表記（漢字等）を統一することができない場合は、備考欄にその旨を記入してください。

※志願者一覧が複数枚にわたる場合、2枚目以降の「No.」欄は通し番号になるように中学校が修正をするようお願いします。

※学校番号は、令和9年度東京都立高等学校入学者選抜実施要項・同細目（P228～238）を参照してください。

第　２　　様式一覧

様式番号	名　　称	主な入手先	ページ
様　式　　1	一般推薦書	区市町村教育委員会	280
様　式　　2	文化・スポーツ等特別推薦書	本要綱の写しを使用等	281
様　式　　3	入学願書（推薦）	区市町村教育委員会	282
様　式　　4	入学願書（全一次、定一次・分割前期共通）	区市町村教育委員会	284
様　式　　5	入学願書（分割後期・全二次）	区市町村教育委員会	286
様　式　　6	入学願書（定時制二次）	区市町村教育委員会	288
様　式　　7	合格通知書（推薦）	高等学校で作成	290
様　式　　8	入学確約書（推薦）	高等学校で作成	291
様　式　　9	成人受検者特別措置申請書	本要綱の写しを使用等	293
様　式　　10	調　査　書	区市町村教育委員会※	294
様　式　10-2	調　査　書（令和４年度から令和７年度までの中学校卒業者）	区市町村教育委員会※	295
様　式　　11	成績一覧表	成績一覧表調査委員会	296
様　式　　12	自己ＰＲカード	区市町村教育委員会※	299
様　式　　13	自己申告書	本要綱の写しを使用等※	300
様　式　　14	具　申　書	本要綱の写しを使用等	301
様　式　　15	島しょからの転居に関する申立書	本要綱の写しを使用等	302
様　式　15-2	島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書	本要綱の写しを使用等	303
様　式　　16	志願変更願	本要綱の写しを使用等	304
様　式　　17	調査書記載事項通知書	成績一覧表調査委員会	305
様　式　　18	調査書記載成績通知書	成績一覧表調査委員会	306
様　式　　19	学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求書	高等学校	307
様　式　　20	学力検査等得点表	高等学校で作成	308
様　式　　21	選抜用評定等確認表	高等学校で作成	309
様　式　　22	合格通知書	高等学校で作成	310
様　式　　23	入学確約書	高等学校で作成	311
様　式　　24	学力検査等実施上の配慮申請書	本要綱の写しを使用等	312
様　式　　25	選考の特例申請書	本要綱の写しを使用等	313
様　式　　26	事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書	本要綱の写しを使用等	314
様　式　　27	インフルエンザ等学校感染症罹(り)患者等に対する措置申請書	本要綱の写しを使用等	315
様　式　　28	引揚生徒対象志願者の状況申立書	本要綱の写しを使用等	316
様　式　　29	引揚生徒の都立高等学校受検に対する配慮申請書	本要綱の写しを使用等	317
様　式　　30	日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する 学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）	本要綱の写しを使用等	318
様　式　　31	日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する 学力検査実施上の配慮申請書（ルビ付問題・辞書持込み）	本要綱の写しを使用等	319
様　式　　32	志願者一覧	本要綱の写しを使用等	320
様　式　　33	入学願書（追検査）	区市町村教育委員会	321
様　式　　34	入学願書（保護者の転勤等に伴う４月入学者募集）	高等学校	323
様式応　　1	東京都立高等学校出願承認申請書	本要綱の写しを使用又は応募資格審査取扱要項として配布する冊子を使用	325
様式応　　2	不受検証明書		326
様式応　　3	住民票記載事項証明書		327
様式応　　4	転居に関する申立書		328
様式応　　5	帰国等に関する申立書		329
様式応　　6	身元引受人承諾書		330
様式応　　7	理由書		331
	志願申告書（チャレンジスクール用）	高等学校※	332

※　東京都教育委員会ホームページ上に編集可能なファイルで様式を掲載

（様式１）（Ａ４判）

受検番号

一　般　推　薦　書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

立　　中学校長

公印

本校に在籍する下記の者を推薦します。

記

氏　名　　年　　月　　日生

志望する コース・科（分野）・部	第１志望	コース 科(分野) 部	第２志望	科(分野) 部

推　薦　理　由	

（注意）１　第２志望がない場合は、第２志望の欄に「なし」と記入すること。記入のない場合は、第２志望を志望しないものとみなす。

２　「推薦理由」の欄は、志望校・志望学科等への適性、中学校における学習の状況、道徳、特別活動、校外における活動の状況等のうちから、特に顕著なものを記入する。

３　文化・スポーツ等特別推薦に同時に出願する者は、文化・スポーツ等特別推薦書を併せて提出する。

（様式２）（Ａ４判）

受検番号

文化・スポーツ等特別推薦書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

立　　中学校長

公印

本校に在籍する下記の者を「文化・スポーツ等特別推薦」に推薦します。

記

氏　名　　年　　月　　日生

志望する種目等	
志望するコース・科（分野）・部	コース・科（分野）・部

推薦理由	

（注意）１　「推薦理由」の欄は、志望校・志望学科等への適性、中学校における学習の状況、道徳、特別活動、校外における活動の状況等のうちから特に顕著なものに加え、志望する種目等に対する取組状況や意欲等についても併せて記入する。

２　一般推薦に同時に出願する者は、一般推薦書を併せて提出する。

（様式3）

令和9年度　東京都立高等学校入学願書

（特別推薦 / 一般推薦）

東京都立［　　］高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号		
	特別	※
	一般	※

志望校（第1志望）				
	特別推薦	高　校 コース 科（分野） 部	一つの種目等を指定して記入する。 志望の種目等	
	一般推薦	高　校 コース 科（分野） 部	専門学科への志願者で第2志望を志望する場合は、その志望を記入することができる。 第2志望	科（分野）

志願者		
	フリガナ	
	氏　名	
	生年月日	年　月　日　歳
	現住所（出願時の住所）	〒
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業見込

写　真

正面上半身脱帽
（4cm×3cm）

・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

保護者		
	現住所（出願時の住所）	〒　（電話）
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒　（電話）

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。
なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

保護者氏名（自署）　　志願者との続柄

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

年　月　日

立　　中学校長　　公印

（電話）

切り取らないこと。

令和9年度　都立高等学校受検票

出願区分

特別推薦	特別推薦
一般推薦	一般推薦

※　特別推薦又は一般推薦を赤色の○で囲む。
　なお、特別推薦と一般推薦の両方を志願する者は、両方をそれぞれ赤色の○で囲む。

受検番号		
	特別	※
	一般	※

フリガナ	
受検者氏名	
在学（出身）中学校名	立　中学校
検査会場名	※

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

1　検査日時及び時間割

令和9年1月26日（火）　午前　時　分集合

時間割及び持ってくるものは、各高校が通知する。
なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。
また、検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

2　合格発表日時

令和9年2月　2日（火）午前8時30分（合否照会サイト上で発表※）
令和9年2月　2日（火）午前9時30分（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのＵＲＬについては、各高校から別途お知らせします。）

特別推薦と一般推薦の両方に出願した場合は、受検番号が特別推薦のものと一般推薦のものと二つになるので、合格発表の際は、それぞれの番号を確認すること。

○　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（受検票・裏）

≪ 入学願書提出期間 ≫
令和９年１月８日（金）から１月１８日（月）まで

（のりしろ）

領 収 証 書 貼 付 欄②

（のりしろ）

（のりしろ）

領 収 証 書 貼 付 欄①

（のりしろ）

（のりしろ）

貼る前に領収証書を
確認してください。

１　金融機関（銀行・郵便局等）の領収印はありますか？

２　端の色と金額は？

・全日制の人は、紺色(2, 200円)です。
・新宿山吹高校(情報科)の人は、黒色(950円)です。

入学考査料は、納付書裏面に記載の納付場所で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

入学考査料納付後の領収証書は、入学願書受付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付けてください。

（「(様式3)」の裏面）

入 学 願 書 記 入 上 の 注 意

1　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

2　入学願書及び受検票の出願区分の欄等
志願する出願区分を赤色の○で囲んでください。
なお、特別推薦と一般推薦の両方を志願する者は、両方をそれぞれ赤色の○で囲んでください。

3　第１志望の欄
志願する高等学校名とコース、科（小学科・分野）、部名を記入してください。
特別推薦の種目等の欄には、一つを指定して記入してください。

4　第２志望の欄
一般推薦において、第１志望に専門学科を志願する者は、第２志望の欄に、機械、電気、電子などと記入してください。第２志望を志望しない場合には「なし」と記入してください。
記入のない場合は、第２志望を志望しないものとみなします。

5　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は本名の後に通称名を（　　）を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

6　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

7　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

8　出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。

9　保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入しても構いません。

10　大島海洋国際高校に志願する場合は、保護者が都内に在住し、受検者本人が入舎するか、大島に身元引受人となる親族が在住しているか、又は保護者とともに大島に転居することが確実でなければなりません。

11　保護者氏名は必ず自署してください。

12　黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

13　※欄は、記入しないでください。

※　特別推薦又は一般推薦のどちらか一方を志願する場合は、１枚の領収証書を、左側の貼付欄①に貼り付けてください。
※　特別推薦と一般推薦の両方を志願する場合は、２枚の領収証書を、左側の貼付欄①と、貼付欄②に貼り付けてください。

個人情報の提供に関する同意署名欄 （任意）

私は、東京都立高等学校入学者選抜（推薦に基づく選抜）における検査結果の全て【(1) 受検番号(2) 氏名(3) 在籍学校名(4) 個人面接等の得点(5) 小論文・作文の得点(6) 実技検査の得点(7)学校設定検査の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和　　年　　月　　日　（署名）

（注意）※　上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。
※　在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。

（様式４）

令和９年度　東京都立高等学校入学願書

（全一次、定一次・分割前期共通様式）

東京都立［　　］高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号	※
変更後	※

出願区分

全一次	全一次
定一次・分割前期	定一次・分割前期

※　全一次又は定一次・分割前期を赤色の○で囲む。

志望校（第１志望）							
変更前	高校	専門学科への志願者で第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。					
	コース 科(分野) 部	第2志望	科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部		
		第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部		
変更後	高校	専門学科への志願者で第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。					
	コース 科(分野) 部 （チャレンジスクール、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校、砂川高校を除く定時制は変更できない。）	第2志望	科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部		
		第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部		

成人受検者特別措置希望（定時制）	ルビ振り等受検上の配慮希望	
	ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み

成人受検者特別措置希望（定時制）	ルビ振り等受検上の配慮希望	
	ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み

志願者		
	フリガナ	
	氏名	
	生年月日	年　月　日　歳
	現住所（出願時の住所）	〒
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業見込・卒業

写真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）
・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

切り取らないこと。

保護者		
	現住所（出願時の住所）	〒　（電話）
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒　（電話）

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。
なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

保護者氏名（自署）

志願者との続柄

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

年　月　日

立　中学校長　公印

（電話）

令和９年度　都立高等学校受検票

（全一次、定一次・分割前期共通様式）

受検番号	※
変更後	※

フリガナ		
受検者氏名		
在学（出身）中学校名	立　中学校	
検査会場名	※	
変更後 検査会場名	※	

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

１　検査日時及び時間割

令和９年２月２１日（日）　午前８時３０分集合

（1）　時間割（定時制成人受検者特別措置の受検者を除く。）

第１時限　国語　午前　９時００分　～　午前　９時５０分
第２時限　数学　午前１０時１０分　～　午前１１時００分
第３時限　英語　午前１１時２０分　～　午後　０時１０分
第４時限　社会　午後　１時１０分　～　午後　２時００分
第５時限　理科　午後　２時２０分　～　午後　３時１０分

・検査教科が３教科の高校では、学力検査の終了時刻が異なる場合がある。
・実技検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
・定時制成人受検者特別措置の受検者及び学力検査問題を自校で作成する定時制の受検者については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
・検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

（2）　持ってくるもの

受検票、ＨＢ又はＢの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き
なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

２　合格発表日時

全日制　令和９年３月１日（月）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
　　午前９時３０分（校内掲示）
定時制　令和９年３月１日（月）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
　　午後４時（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのＵＲＬについては、各高校から別途お知らせします。）

※　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（受検票・裏）

≪ 入学願書提出期間 ≫
令和９年１月２９日（金）から２月４日（木）まで

（のりしろ）

（のりしろ）

領 収 証 書 貼 付 欄

（のりしろ）

貼る前に領収証書を
確認してください。

１　金融機関（銀行・郵便局等）の領収印はありますか？

２　端の色と金額は？

・全日制の人は、桃色(2, 200円)です。
・定時制の人は、水色(950円) です。

入学考査料は、納付書裏面に記載の納付場所で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

入学考査料納付後の領収証書は、入学願書受付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付けてください。

（のりしろ）

（「(様式4)」の裏面）

入 学 願 書 記 入 上 の 注 意

1　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

2　入学願書及び受検票の出願区分の欄等
志願する出願区分を赤色の〇で囲んでください。

3　第１志望の欄
志願する高等学校名とコース、科（小学科・分野）、部名を記入してください。

4　第２志望～第５志望の欄
部及び専門学科を第１志望に志願する者は、順位の欄（第２志望から第５志望の各欄）に、志望の順位に従って、機械、電子、電気などと記入してください。第２志望以下を志望しない場合には、各順位の欄に「なし」と記入してください。
記入のない場合は、第２志望以下を志望しないものとみなします。

5　志望校「変更後」の欄
出願時には何も記入しないでください。

6　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は本名の後に通称名を(　　)を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

7　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

8　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

9　出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。

10　在学（出身）中学校名の欄には、都外の中学校の場合、道府県名から記入してください。

11　保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入しても構いません。

12　成人受検者特別措置希望欄（定時制志願者のみ）
成人受検者特別措置とは、令和９年３月３１日現在満１８歳以上の者で、希望する者については、学力検査を行わず、面接及び作文により受検できることをいいます。この措置を希望する者は、成人受検者特別措置希望欄に赤色で〇印を記入するとともに定められた申請書を提出してください。

13　ルビ振り等受検上の配慮希望欄
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として６年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題」に赤色で〇印を記入してください。
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として３年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題・辞書持込み）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題・辞書持込み」に赤色で〇印を記入してください。
なお、申請に当たっては、出願時に各受検上の配慮に定められた申請書等を提出してください。

14　保護者氏名は必ず自署してください。

15　都内の中学校に在学していない者は、中学校名、中学校長名、中学校の電話番号の記入及び中学校長の公印の押印は必要ありません。

16　黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

17　※欄は記入しないでください。

個人情報の提供に関する同意署名欄（任意）

私は、東京都立高等学校入学者選抜（第一次募集・分割前期募集）における検査結果の全て【(1) 受検番号(2) 氏名(3) 在籍学校名 (4) 学力検査の得点(5) 面接の得点(6) 小論文・作文の得点(7) 実技検査の得点(8)志願申告書の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和　　年　　月　　日　（署名）

（注意）※　上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。
※　在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。
※　都内の中学校に在学していない者は、記入の必要はありません。

（様式5）

令和9年度　東京都立高等学校入学願書

〔分割後期・全二次様式〕

東京都立［　　］高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号	※
変更後	※

志望校（第1志望）	変更前	高校	第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。			
		コース 科(分野) 部	第2志望	コース 科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部
			第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部
	変更後	高校	第2志望以下を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。			
		コース 科(分野) 部	第2志望	コース 科(分野) 部	第3志望	科(分野) 部
			第4志望	科(分野) 部	第5志望	科(分野) 部

ルビ振り等受検上の配慮希望	
ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み

志願者	フリガナ	
	氏名	
	生年月日	年　月　日　歳
	現住所（出願時の住所）	〒
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業見込・卒業
保護者	現住所（出願時の住所）	〒　(電話)
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒　(電話)

写真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）

・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

切り取らないこと。

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

保護者氏名　　志願者との続柄
（自署）

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

年　月　日

立　　中学校長　　公印

（電話）

令和9年度　都立高等学校受検票

〔分割後期・全二次様式〕

受検番号	※
変更後	※

フリガナ	
受検者氏名	
在学（出身）中学校名	立　中学校
検査会場名	※
変更後 検査会場名	※

ルビ振り等受検上の配慮希望	
ルビ付問題	ルビ付問題・辞書持込み

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

1　検査日時及び時間割

令和９年３月　９日（火）　　午前８時３０分集合

(1)　時間割

第１時限　国語　午前　９時００分　～　午前　９時５０分
第２時限　数学　午前１０時１０分　～　午前１１時００分
第３時限　英語　午前１１時２０分　～　午後　０時１０分

実技検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。

なお、検査中に不正行為が認められた場合、厳正に対応する。

(2)　持ってくるもの

受検票、ＨＢ又はＢの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き

なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

2　合格発表日時

令和９年３月１２日（金）　　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
正午（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのURLについては、各高校から別途お知らせします。）

※　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（受検票・裏）

≪ 入学願書提出期間 ≫
令和９年３月４日（木）　午前９時～午後３時

（のりしろ）

（のりしろ）

領 収 証 書 貼 付 欄

貼る前に領収証書を確認してください。

１　金融機関（銀行・郵便局等）の領収印はありますか？

２　端の色と金額は？

・全日制の人は、桃色（2, 200円）です。
・八王子拓真高校、砂川高校、浅草高校及び荻窪高校の人は、水色（950円）です。

入学考査料は、納付書裏面に記載の納付場所で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

入学考査料納付後の領収証書は、入学願書受付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付けてください。

（のりしろ）

（のりしろ）

（「（様式5）」の裏面）

入 学 願 書 記 入 上 の 注 意

1　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

2　入学願書提出時
「変更前」欄に学校名及びコース、科（分野）、部名を記入してください。

3　同一の学校が、２部又は２科（２分野）以上募集する場合は、志望の順位を付けることができます。この分割後期募集・全日制第二次募集では、同一の学校で普通科とコース、農業科と家庭科など異なる学科が募集する場合、学科を越えて志望の順位を付けることができます。第２志望以下を志望しない場合には、各順位の欄に「なし」と記入してください。
記入のない場合は、第２志望以下を志望しないものとみなします。

4　志望校「変更後」の欄
出願時には何も記入しないでください。

5　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は本名の後に通称名を（　）を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

6　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

7　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

8　出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。

9　在学（出身）中学校名の欄には、都外の中学校の場合、道府県名から記入してください。

10　保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入しても構いません。

11　ルビ振り等受検上の配慮希望欄
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として６年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題」に赤色で○印を記入してください。
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として３年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題・辞書持込み）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題・辞書持込み」に赤色で○印を記入してください。
なお、申請に当たっては、出願時に各受検上の配慮に定められた申請書等を提出してください。

12　保護者氏名は必ず自署してください。

13　都内の中学校に在学していない者は、中学校名、中学校長名、中学校の電話番号の記入及び中学校長の公印の押印は必要ありません。

14　黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

15　※欄は記入しないでください。

個人情報の提供に関する同意署名欄（任意）

私は、東京都立高等学校入学者選抜（分割後期募集・全日制第二次募集）における検査結果の全て【(1) 受検番号 (2) 氏名(3) 在籍学校名 (4) 学力検査の得点(5) 面接の得点(6) 小論文・作文の得点(7) 実技検査の得点(8)志願申告書の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和　　年　　月　　日　　（署名）

（注意）※　上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。
※　在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。
※　都内の中学校に在学していない者は、記入の必要はありません。

（様式６）

令和9年度　東京都立高等学校入学願書〔定時制第二次募集〕

東京都立　　高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号	※

成人受検者特別措置希望（定時制）

志望校（第1志望）					
高校　　科	第2志望を志望する場合は、志望の順位を記入することができる。				
	第2志望	科	第3志望	科	
	第4志望	科	第5志望	科	

志願者		
	フリガナ	
	氏名	
	生年月日	年　月　日　歳
	現住所（出願時の住所）	〒
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業見込・卒業

写真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）

・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。

なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

住所

保護者氏名　　（自署）

電話　　志願者との続柄

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

年　月　日

立　　中学校長　　公印

（電話）

切り取らないこと。

令和9年度　都立高等学校受検票

〔定時制第二次募集〕

成人受検者特別措置希望（定時制）

受検番号	※
フリガナ	
受検者氏名	
在学（出身）中学校名	立　中学校
検査会場名	※
成人受検者特別措置希望	※

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

１　検査日時

令和９年３月２６日（金）　　時　　分集合

２　持ってくるもの

受検票、ＨＢ又はＢの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き

なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

また、検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

３　合格発表日時

令和９年３月２９日（月）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
午後３時（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのURLについては、各高校から別途お知らせします。）

※　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（受検票・裏）

≪ 入学願書提出期間 ≫

令和9年3月25日（木）　午後3時～午後7時

（ のりしろ ）

（のりしろ）

領収証書貼付欄

貼る前に領収証書を確認してください。

1　金融機関（銀行・郵便局等）の領収印はありますか？

2　端の色と金額は？

水色（９５０円）です。

入学考査料は、納付書裏面に記載の納付場所で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

入学考査料納付後の領収証書は、入学願書受付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付けてください。

（のりしろ）

（ のりしろ ）

（「（様式6）」の裏面）

入学願書記入上の注意

1　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

2　志望順位の欄
同一の学校が複数の学科で募集する場合は、普通科と商業科、普通科と工業科のように学科を越えて志望の順位を付けることができます。
また、専門学科の高校が複数の科（小学科）で募集する場合は、志望の順位を付けることができます。その場合、志望の順位に従って、機械、電気・電子などと記入してください。
第２志望以下を志望しない場合は「なし」と記入してください。
記入のない場合は、第２志望以下を志望しないものとみなします。

3　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は、本名の後に通称名を（　）を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

4　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

5　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

6　出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。

7　在学（出身）中学校名の欄には、都外の中学校の場合、道府県名から記入してください。

8　保護者氏名は必ず自署してください。

9　都内の中学校に在学していない者は、中学校名、中学校長名、中学校の電話番号の記入及び中学校長の公印の押印は必要ありません。

10　成人受検者特別措置
成人受検者特別措置とは、令和９年３月３１日現在満１８歳以上の者で、希望する者については、学力検査を行わず、面接及び作文により受検できることをいいます。この措置を希望する者は、成人受検者特別措置希望欄に赤色で○印を記入するとともに定められた申請書を提出することとなります。

11　黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

12　※欄は記入しないでください。

個人情報の提供に関する同意署名欄（任意）

私は、東京都立高等学校入学者選抜（定時制第二次募集）における検査結果の全て【(1) 受検番号(2) 氏名(3) 在籍学校名 (4) 学力検査の得点(5) 面接の得点(6) 小論文・作文の得点(7) 実技検査の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和　　年　　月　　日　（署名）

（注意）※ 上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。
※ 在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。
※ 都内の中学校に在学していない者は、記入の必要はありません。

－ 応募資格のない者 －

この入学願書の提出期間までに実施された都立高校又は都立産業技術高等専門学校の入学者選抜に合格した者は、入学手続をしない場合でも応募できません。

（様式７）（Ａ４判）

受検番号

合 格 通 知 書（ 推 薦 ）

氏　　名

あなたは、令和９年度東京都立高等学校の推薦に基づく選抜において合格し、本校　　課程
コース
科（分野）　の第１学年の入学許可予定者となりましたので通知します。
部

ついては、次の期間内に入学確約書（様式８）を提出してください。

令和９年２月２日（火）　　午前９時３０分から午後３時３０分まで

令和９年２月３日（水）　　午前９時から 正　午 まで

なお、入学料については、下記の納付期限内に所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所等で納付してください。

入学料納付期限　　令和９年　　月　　日（　　）

令和９年２月２日

東京都立　　高等学校長　　公印

（注意）１　上記指定期間内に入学確約書を提出しない場合は、合格を放棄したものとみなします。
なお、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効となります。
２　学校が必要とするその他の書類を所定の期間内に提出しなければなりません。
３　推薦に基づく選抜に合格したので、今後の都立高等学校入学者選抜への出願はできません。

（様式８）（Ａ４判）

入学料番号

入 学 確 約 書（ 推 薦 ）

このたび、令和９年度東京都立高等学校の推薦に基づく選抜において合格し、貴校　　課程
コース
科（分野）　の入学許可予定者になった旨の通知を受けました。
部

ついては、既に他校に出願していても必ず貴校に入学すること及び入学料を納付期限内に納付することを、本人及び保護者連署の上、確約します。

入学料納付期限　　令和９年　　月　　日（　　）

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

受　検　番　号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中　学　校　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本　人
- 住　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者
- 住　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自　署）

電　　話 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

なお、貴校に入学するに当たり、授業料及び入学料の納付については「東京都立学校の授業料等徴収条例」を遵守します。

《参考》

東京都立学校の授業料等徴収条例（抜粋）

（昭和２２年１２月１３日 条例第９１号）

第２条　授業料等の額は、次のとおりとする。

一　授業料

イ　高等学校

（１）全日制の課程

（イ）単位制による課程以外の課程　年額　１１８，８００円

（ロ）単位制による課程

a　高等学校の定時制又は通信制の課程の生徒であって単位を修得するために当該単位に係る科目の履修を許可されたもの（以下「併修生」という。）以外の生徒　年額　１１８，８００円

b　併修生　１単位につき　３，９６０円

（２）定時制の課程

（イ）単位制による課程以外の課程　年額　３２，４００円

（ロ）単位制による課程　１単位につき　１，７４０円

ロ　中等教育学校の後期課程　年額　１１８，８００円

二　入学料

イ　高等学校

（１）全日制の課程及び専攻科　５，６５０円

（２）定時制の課程　２，１００円

（３）通信制の課程　５００円

ロ　中等教育学校の後期課程　５，６５０円

四　通信教育受講料

高等学校　１単位につき　３３６円

第３条　授業料、通信教育受講料及び聴講料は、前納しなければならない。

２　入学料は、入学手続をする際に納付しなければならない。ただし、中等教育学校の後期課程の入学料は、前期課程を修了し後期課程に進級する際に納付しなければならない。

３　入学考査料及び聴講生考査料は、入学願書を提出する際に納付しなければならない。

現在、高等学校等就学支援金制度が導入されています。

就学支援金制度とは、国籍・在留資格等の要件を満たした生徒について、生徒が申請を行い受給認定された場合に、学校へ就学支援金を支給することで、その生徒の授業料等が無料となる制度です。

また、就学支援金の対象とならない場合についても、保護者等の「区市町村民税の課税標準額×６％－区市町村民税の調整控除の額」が３０万４，２００円未満（年収目安約９１０万円未満）の世帯は高校生等・新修学支援金制度、所得要件等により高校生等・新修学支援金制度の対象とならない場合には東京都の授業料減免制度の申請により、授業料が無料となります。

なお、既に高校を卒業したことがある方及び修業年限（全日制３６か月、定時制４８か月）を超えて在学している方については、就学支援金等の対象とならないため、原則として授業料を徴収します。詳細については、入学する予定の学校にお問い合わせください。

○ 東京都の条例改正により、授業料等の金額を改定することがあります。

○ 東京都教育委員会が必要と認めた場合は、入学料、授業料及び通信教育受講料が減免になります。

（様式９）（Ａ４判）

受検番号

成 人 受 検 者 特 別 措 置 申 請 書

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

私は、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜において、成人受検者特別措置による受検を希望するので申請します。

なお、私は、他の高等学校又は高等専門学校に在籍していません。

年　　月　　日

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

年　　月　　日生（　　歳）

勤 務 先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意）令和９年３月３１日現在の満年齢を記入してください。

（様式10）（Ａ４判）

調　　査　　書

（注）　①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

成績一覧表の番号		成績一覧表の提出の有無（該当を○で囲む。）	有 ・ 無

海外帰国生徒対象等との併願（該当番号を○で囲む。）
1　海外帰国生徒対象
2　引揚生徒対象
3　在京外国人生徒等対象
4　都立産業技術高等専門学校

※受検番号	コース・科（分野）・部
一般推薦	
文化・スポーツ等特別推薦	
理数等特別推薦	
一般選抜（変更前）	
一般選抜（変更後）	

学籍の記録					
	フリガナ		性別	転入学等	年　月　編入学 中学校から転学
	氏名				
	生年月日	年　月　日生		卒業・卒業見込	年　月　卒業見込・卒業

各教科の学習の記録																											総合的な学習の時間の内容及び評価
教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価																												
評定																												

諸活動の記録		
	中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果	

記載事項に相違ありません。

年　月　日　記載者氏名

〔学校所在地〕　〔電話番号〕

〔学校名（フリガナ）〕　校長名　公印

〔学校番号〕

（注意）学校名にのみフリガナを付ける。〔学校番号〕は、都内公立の中学校のみ記入する。
〔学校番号〕は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱別表10を参照すること。

（様式10-2）（Ａ４判）

調　　査　　書

（注）　①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

※受検番号	コース・科（分野）・部
一般選抜（変更前）	

※受検番号	コース・科（分野）・部
一般選抜（変更後）	

学籍の記録			
	フリガナ		性別
	氏名		
	生年月日	年　月　日生	

卒業	年　月　卒業

海外帰国生徒対象等との併願（該当番号を○で囲む。）
1 海外帰国生徒対象 2 引揚生徒対象 3 在京外国人生徒等対象 4 都立産業技術高等専門学校

各教科の学習の記録																											総合的な学習の時間の内容及び評価
教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価																												
評定																												

諸活動の記録	

記載事項に相違ありません。

年　月　日　　記載者氏名

〔学校所在地〕　　〔電話番号〕

〔学校名〕（フリガナ）　　校長名　　公印

〔学校番号〕

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果	

（注意）学校名にのみフリガナを付ける。〔学校番号〕は、都内公立の中学校のみ記入する。
〔学校番号〕は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱別表10を参照すること。

（様式11）（Ｂ４判）

成　績　一　覧　表

（　　立　　令和８年度卒業見込者　）

第　学年在籍者　　人

記　載　人　員　　人

各教科の観点別学習状況の評価については、中学校学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価したものである。

各教科の評定については、中学校学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況を総括的に評価したものである。

年　　月　　日

立　　長　　公印

本成績一覧表は、上記のとおり作成されたものであり、各評定を与えた数の計等に誤りがないことを確認した。

年　　月　　日

第　　成績一覧表調査委員会委員長

委員長名　　私印

（注意）　とじしろは上側とし、裏表紙及び背表紙を付ける。

（様式11）（B4判） 成績一覧表 2枚目

番号	国語				社会				数学				理科				音楽				美術				保健体育				技術・家庭				外国語（英語）			
	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

（様式11）（B4判）　成績一覧表　最終ページ

	国語				社会				数学				理科				音楽				美術				保健体育				技術・家庭				外国語（英語）			
	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定	評価の観点			評定
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
合計	0点又は欠席の計																																			
	割合 %																																			
	1点又は欠席の計																																			
	割合 %																																			
	2点又は欠席の計																																			
	割合 %																																			
	3点又は欠席の計																																			
	割合 %																																			
	4点又は欠席の計																																			
	割合 %																																			
総計																																				

（様式12）　（Ａ４判）

受検番号	※　コース・科（分野）・部
文化・スポーツ等特別推薦	※
理数等特別推薦	※

受検番号	※　コース・科（分野）・部
一般推薦	※
一般選抜	※

自己ＰＲカード

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

＿＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿＿中学校

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　志望理由について

（この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。）

2　中学校生活の中で得たことについて

（中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。）

3　高等学校卒業後の進路について

（将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。）

（注意）　1　志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成してください。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。
なお、コピー等鮮明な表記のものは認めます。
2　推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己ＰＲカードを出願時に提出してください。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての配慮又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出してください。
3　※欄は記入しないでください。

（様式13）（Ａ４判）

受検番号

自 己 申 告 書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

貴校への志願に当たり、理解してほしい事柄について下記のとおりお知らせします。

記

1　本人記入欄

高等学校に理解してほしい事柄

2　保護者記入欄

高等学校に理解してほしい事柄

（注意）１　志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成してください。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。
　　なお、保護者氏名の欄を除き、コピー等鮮明な表記のものは認めます。
２　障害のある受検者に対する配慮については、「学力検査等実施上の配慮申請書（様式24）」による申請が必要となります。

（様式14）（Ａ４判）

受検番号

具　申　書

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者の家族構成及び志願者と保護者の住所が異なる理由等は下記のとおりです。

記

1　家族構成（保護者は、同居、別居にかかわらず、必ず記入してください。）

氏　　名	志願者との続柄	現　　住　　所	電　　話

2　志願者と保護者の住所が異なる理由等

以上のとおり相違ありません。
なお、上記事項の記載について、重要事項の誤記又は不備その他事実に反する記載によって入学したと認められる場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　　月　　日

保護者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（電話　　）

上記の者は、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱に定める全日制の応募資格を有することを証明します。

年　　月　　日

所 在 地
中学校名
校 長 名

公印

（様式15）（Ａ４判）

受検番号

島しょからの転居に関する申立書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(自署)
志願者との続柄＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび、下記のとおり転居しますので、よろしくお願いします。

記

1　転居先住所

フリガナ 志願者氏名	転居先住所

2　保護者又は身元引受人の氏名及び住所等

フリガナ 氏名	続柄	住所

3　転居予定年月日

年　月　日　転居予定

4　転居理由

上記の者は、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱第１－３－２(1)又は第２－３－２(7)に示す要件を満たすことを証明します。

年　　月　　日

所在地
中学校名
校長名　　公印

(注意)
1　身元引受人には、島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者を受け入れる者を含みます。
2　保護者とともに転居する場合は、本様式の身元引受人の文字に二重線を引いてください。
3　身元引受人の住所に転居する場合は、同居同意書（様式任意）及び身元引受人の住民票記載事項証明書（様式応３）又はこれに代わる書類を添付してください。島外生徒受入選考において定められた受入先に転居する場合は、当該選考に合格したことを証明する書類を提出してください。
4　身元引受人は、都内在住者で、生徒の入学後において責任をもった対応のできる者とします。
5　都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。

（様式15-2）（Ａ４判）

受検番号

島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(自署)

志願者との続柄＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび、下記のとおり転居しますので、よろしくお願いします。

記

1　転居先住所

フリガナ 志願者氏名	転居先住所

2　保護者又は身元引受人の氏名及び住所等

フリガナ 氏名	続柄	住所

3　転居予定年月日

年　月　日　転居予定

4　転居理由

上記の者は、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱第１－３－２(2)又は第２－３－２(6)に示す要件を満たすことを証明します。

年　　月　　日

所在地
中学校名
校長名　　公印

（注意）
1　身元引受人には、島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者を受け入れる者を含みます。
2　保護者の１人以上とともに転居する場合は、本様式の身元引受人の文字に二重線を引いてください。
3　身元引受人となり得る親族の住所に転居する場合は、同居同意書（様式任意）及び身元引受人の住民票記載事項証明書（様式応３）を添付してください。島外生徒受入選考において定められた受入先に転居する場合は、当該選考に合格したことを証明する書類を提出してください。
　なお、身元引受人となり得る親族及び島外生徒受入選考の合格者を受け入れる者は、出願する都立高校が所在する島の在住者で、生徒の入学後において責任をもった対応のできる者とします。
4　親族とは、六親等内の血族、配偶者及び三親等内の姻族をいいます（民法第725条）。
5　都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。

（様式16）（Ａ４判）

志　願　変　更　願

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者は貴校に入学を志願しましたが、志願変更したいので、出願書類を返却してくださるようお願いします。

年　　月　　日

保 護 者　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

上記のことを承知していますので、お願いします。

所 在 地
中学校名
校 長 名

公印

（注意）

1　都内の中学校に在学していない者については、中学校長の確認は必要ありません。

2　志願変更願を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示してください。ただし、保護者が志願変更願を提出する場合は、保護者の確認ができるもの及び志願者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示してください。

（様式17）（A4判）

調　査　書　記　載　事　項　通　知　書

学籍の記録	フリガナ		転入学等	年　月　編入学 中学校から転学
	氏　名			
	生年月日	年　月　日生	卒業見込	年　月　卒業見込

各教科の学習の記録																											総合的な学習の時間の内容及び評価
教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価																												
評定																												

諸活動の記録		
	中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果	

令和8年12月31日付けで作成した成績一覧表に記載した「各教科の観点別学習状況の評価及び評定」並びに調査書に記載した「総合的な学習の時間の内容及び評価」及び「諸活動の記録（中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）結果を含む。）」は本通知書のとおりです。

年　月　日

学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

校長名 ＿＿＿＿＿＿＿＿　公印

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式18）（A4判）

調　査　書　記　載　成　績　通　知　書

学籍の記録		
	フリガナ	
	氏　名	
	生年月日	年　月　日　生

| 各教科の学習の記録 | | |

（様式 19）（A4判）

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求書

開示請求日　　年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

令和９年度東京都立高等学校入学者選抜における次の書類を、開示請求します。

請求者	氏　　名		受検者との続柄	
	連絡先（電話番号）			
受検者	受検番号 (請求する書類の受検区分の受検番号)			
	受検者氏名			
	在学（出身）中学校名	立　　学校　　年　　月	卒業見込 卒　　業	
請求の内容	受検区分 (請求する書類の受検区分を**一つ**選択してください。)	□ 推薦（一般）　□ 推薦（文化・スポーツ等特別推薦）　□ 推薦（理数等特別推薦） □ 一次・分割前期　□ 分割後期・二次　□ その他（　　）		
	請求する書類 (必要な書類を選択してください。)	□ 学力検査等得点表 □ 答案の写し（ □ 国語　□ 数学　□ 英語　□ 社会　□ 理科）		

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求受付簿兼交付決定簿

学校記入欄	請求受付日	年　　月　　日
	本人確認（＊）	□受検票　□身分証明書　□その他（　　）

＊ 保護者が請求する際には、当該受検者の受検票と保護者の本人確認ができるもの(身分証明書等)の両方の提示が必要です。

本件について、□学力検査等得点表　・　□答案の写し　を交付する。

処理経過			校　長	副校長	経営企画課(室)長	教務主任	受付者
	施行（交付年月日）	年　月　日					
	決　　定	年　月　日					
	施行予定	年　月　日					
	起　　案	年　月　日					

キ　リ　ト　リ

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求受付票

受検番号＿＿＿＿＿＿＿＿

請求者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　様

受　付　者＿＿＿＿＿＿＿＿

請求受付日　　年　　月　　日

交　付　日　　年　　月　　日以後

交付期限　　年　　月　　日

請求の内容	受検区分	□ 推薦（一般）　□ 推薦（文化・スポーツ等特別推薦）　□ 推薦（理数等特別推薦） □ 一次・分割前期　□ 分割後期・二次　□ その他（　　）
	請求のあった書類	□ 学力検査等得点表 □ 答案の写し（ □ 国語　□ 数学　□ 英語　□ 社会　□ 理科）

＊　**一つの受検区分につき、本請求書１枚**を提出してください。

＊　請求者は、開示請求日、高等学校名及び太枠内を記入してください。また、該当する□内にレ印を記入してください。

上記のとおり、開示請求を受け付けました。

なお、請求した資料の交付までに時間を要するため、請求当日に交付できないことがありますので、あらかじめ御承知おきください。

指定された交付日以後に、この開示請求受付票と本人確認できるもの(受検票や身分証明書（生徒証等）など)を提示して、本校経営企画室窓口で請求した資料を受領してください。ただし、保護者が受領する場合は、受検票、保護者の本人確認ができるもの(身分証明書等)及び受検者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示してください。

＊　交付期限までに受け取りに来なかった場合、請求は無効となります。

（様式20）（Ａ４判）　本人得点開示用

学　力　検　査　等　得　点　表

受検番号	氏　名	在学（出身）中学校名
		立　　中学校

受検区分(明示すること。)	都立高校名・課程
	東京都立　　高等学校　　課程

調査書における各教科の評価・評定																										
教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語(英語)		
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価																										
評定																										

学力検査の得点（素点）						
教科	国語	数学	英語	社会	理科	計
得点						

個人面接等	小論文・作文	実技検査	学校設定検査	志願申告書	ESAT－J YEAR 3結果

（様式21）（Ａ４判）中学校送付用

受検区分	中学校名	ページ
	立　　中学校	/

東京都立　　高等学校　　課程

選　抜　用　評　定　等　確　認　表

| 受検番号 | 氏名 | 調査書における各教科の評価・評定 | | |

（様式22）（Ａ４判）

受検番号

合　格　通　知　書

氏　　名

あなたは、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜において合格し、本校　　課程
コース
科（分野）　の第１学年の入学許可予定者となりましたので通知します。
部

ついては、次の期間内に入学確約書（様式23）を提出してください。

令和９年　　月　　日（　　）　　時から　　時まで

令和９年　　月　　日（　　）　　時から　　時まで

なお、入学料については、下記の納付期限内に所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所等で納付してください。

入学料納付期限　　令和９年　　月　　日（　　）

令和９年　　月　　日

東京都立　　高等学校長　　公印

（注意）１　上記指定期間内に入学確約書を提出しない場合は、合格を放棄したものとみなします。
なお、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効となります。
２　学校が必要とするその他の書類を所定の期間内に提出しなければなりません。
３　都立高等学校の選抜に合格したので、今後の都立高等学校入学者選抜への出願・受検はできません。

（様式23）（Ａ４判）

入学料番号

入　学　確　約　書

このたび、令和９年度東京都立高等学校入学者選抜において合格し、貴校　　課程
コース
科（分野）　の入学許可予定者になった旨の通知を受けました。
部

ついては、必ず貴校に入学すること及び入学料を納付期限内に納付することを、本人及び保護者連署の上、確約します。

入学料納付期限　　令和９年　　月　　日（　　）

年　　月　　日

東京都立　　高等学校長　殿

受　検　番　号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中　学　校　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本　人
- 住　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者
- 住　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 氏　名（自　署） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電　　話 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

なお、貴校に入学するに当たり、授業料及び入学料の納付については「東京都立学校の授業料等徴収条例」を遵守します。

（様式 24）（Ａ４判）

受付番号

学 力 検 査 等 実 施 上 の 配 慮 申 請 書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

フリガナ
志願者　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日生

保護者　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自 署）
電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、障害のある受検者に対する配慮のうち、学力検査等実施上の配慮を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）＿＿＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）・部

2　選抜区分（どちらかに○をつけてください。）

（　推薦に基づく選抜　・　学力検査等に基づく選抜　）

3　配慮内容（検査に際して希望する配慮に○を付け、（　）内は記入してください。）

(1)検査時間　（教科名　　）を＿＿＿＿分にしてほしい。⇒（別室受検になります。）
※（外国語（英語）は最大 70 分、他の教科は最大 75 分までです。）

(2)検査会場　①普通の教室でよい（ア 前の方　イ 出入口近く　ウ １階　エ（　　））　②特殊な机
③別室受検　　④家族による送迎　　⑤車椅子の使用　　⑥介助者等の同行
⑦（　　）

(3)検査方法　（例えば、問題・解答用紙の拡大や面接における配慮などを具体的に記入してください。）
（　　）

(4)そ の 他　①器具の持込み（例　補聴器、ルーペ、ＩＣＴ機器等）（　　）
②その他（　　）

4　申請理由（障害の内容や程度などを含めて、上記２の配慮を希望する理由を具体的に記入してください。）

5　中学校長記入欄

上記のとおり、受検上の配慮が必要であると考えます。

年　　月　　日

校長名　　立　　中学校長　　公印

学校所在地　〒

学校の電話番号

（注意）

1　本申請書は、中学校長を経由して、令和８年１２月１８日（金）までに志願する都立高校長に提出してください。
2　申請後、都立高校の学力検査日以前に他校に入学手続を終えた場合、直ちに中学校長に連絡してください。
3　中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。
4　推薦に基づく選抜においても、本申請書を提出することができます。その際は、標題の「学力検査等」に二重線を引き、「推薦選抜」と書き換えてください。
5　推薦に基づく選抜において申請した志願者が、学力検査等に基づく選抜においても本配慮を希望する際は、改めて申請してください。

（様式 25）（Ａ４判）

受付番号

選 考 の 特 例 申 請 書

年　　月　　日

東京都教育委員会教育長　殿

フリガナ
志願者　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿＿日生

保護者　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(自　署)
電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、下記の学校が通学至便で、他の都立高校に通学することが困難なため、障害のある受検者に対する配慮のうち、選考の特例を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校　＿＿＿＿＿課程　＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）・部

2　申請理由（障害の内容や程度を含めて、他の高校に通学できない理由を具体的に記入してください。）
学力検査等実施上の配慮申請書（様式 24）提出者は、本申請理由に障害の内容を記入する必要はありません。

3　通学所要時間及び経路
志願校（通学至便な高校）　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

距　　離 --------▶	（　　）km	（　　）km	（　　）km	（　　）km	（　　）km	
（駅停留所名）									
通学方法 ----▶	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
経　　路 ----▶									
所要時間 ----▶	（　）分	（　）分	（　）分	（　）分	（　）分	合計
待ち時間 ----▶	（　）分	（　）分	（　）分	（　）分	（　）分	

4　その他、志望校を選んだ通学上の理由（当該校にはエレベータがある、車いす通学だが、途中に迂回できない階段や急坂がある等）があれば、記入してください。

上記のとおり相違ありません。

年　　月　　日

校長名　　立　　中学校長　　公印

学校所在地　〒

学校の電話番号

（注意）

1　本申請書は、中学校長を経由して、令和８年１２月１８日（金）までに東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に提出してください。

2　申請後、都立高校の学力検査日以前に他校に入学手続を終えた場合、直ちに中学校長に連絡してください。

3　中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。

4　学力検査等実施上の配慮申請をした志願者は、学力検査等実施上の配慮申請書（様式 24）の写しも併せて提出してください。

（様式 26）（Ａ４判）

受付番号

事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

フリガナ
志願者　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日生

保護者　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(自　署)
電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、事故や病気等による学力検査等実施上の配慮を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）＿＿＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）・部

2　選抜区分（どちらかに○をつけてください。）

（　推薦に基づく選抜　・　学力検査等に基づく選抜　）

3　配慮内容（検査に際して希望する配慮に○を付け、（　）内は記入してください。）

(1) 検査時間　（教科名　　）を＿＿＿＿＿＿分にしてほしい。⇒（ 別室受検になります。）
※（外国語（英語）は最大 70 分、他の教科は最大 75 分までです。）

(2) 検査会場　①普通の教室でよい（ア 前の方　イ 出入口近く　ウ １階　エ（　　））　②特殊な机
③別室受検　　④家族による送迎　　⑤車椅子の使用　　⑥介助者等の同行
⑦（　　）

(3) そ の 他　①器具の持込み（例　補聴器、ルーペ、ＩＣＴ機器等）（　　）
②その他（　　）

4　申請理由（事故や病気等の内容や程度などを含めて、上記２の配慮を希望する理由を具体的に記入してください。）

発生月日　　年　　月　　日（頃）
状　　況

5　中学校長記入欄

上記のとおり、受検上の配慮が必要であると考えます。

年　　月　　日

校長名　　立　　中学校長　　公印
学校所在地　〒

学校の電話番号

申請内容について追加する意見があれば記入してください。

（注意）

1　本申請書は、状況発生後直ちに中学校長を経由して、志願する都立高校長に提出してください。
2　中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。
3　推薦に基づく選抜においても、本申請書を提出することができます。その際は、標題の「学力検査等」に二重線を引き、「推薦選抜」と書き換えてください。
4　推薦に基づく選抜において申請した志願者が、学力検査等に基づく選抜においても本配慮を希望する際は、改めて申請してください。

（様式 27）（Ａ４判）

受付番号

インフルエンザ等学校感染症罹(り)患者等に対する措置申請書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

フリガナ
志願者　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿＿日生

保護者　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(自　署)
電　　話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）＿＿＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）・部

2　申請理由（インフルエンザ等の学校感染症に罹患した状況（中学校における欠席年月日、症状等）などについて、具体的に記入してください。）

発生年月日　　年　　月　　日（頃）

状　　況

3　中学校長記入欄

インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置が必要であると考えます。

年　　月　　日

校長名　　立　　中学校長　　公印

学校所在地　〒

学校の電話番号

申請内容について追加する意見があれば記入してください。

（注意）

1　本申請書は、状況発生後直ちに中学校長を経由して、第一次募集において出願した都立高校長に提出してください。
2　都内の中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。
3　インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査を受検するためには、本申請書により申請した後、第一次募集においてインフルエンザ等の学校感染症に罹患したことにより受検することができなかった都立高校に、改めて入学願書（所定の様式）を提出しなければなりません。
4　入学願書を提出する際は、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類（いずれか１通。様式は任意）が必要となります。
5　追検査の措置申請をした後、分割後期募集実施校、全日制第二次募集実施校への受検又は国私立高校等への進学等により追検査に出願しないことが確実になった段階で、その旨速やかに当該都立高校長へ電話等により連絡してください。

（様式 28）（Ａ４判）

受付番号	変更前	
	変更後	

引揚生徒対象志願者の状況申立書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

フリガナ

保護者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

志願者との続柄 ＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の者について、引揚時等の状況は次のとおりです。

記

1　志願者

フリガナ（フリガナ）	（　　）	生年月日
氏名（通称名）	（　　）	年　月　日生
在学（出身）中学名		卒業見込 年　月 卒　業
現住所		

2　引揚の状況

引揚年月日	引揚者	年　月　日	志願者	年　月　日
引揚者氏名			志願者との続柄	
志願者の引揚前の居住地				
志願者の引揚前の最終学歴	年　月　日			学校入学
	年　月　日			学校　卒業 第　学年まで在学
志願者の引揚後の学校	年　月　日			学校第　学年編入学
	年　月　日			学校第　学年転入学
	年　月　日			学校第　学年転入学
	年　月　日			学校第　学年転入学

3　他の都立高校との併願

有　・　無	都立　　高等学校（全・定）	コース 科（分野） 部

4　中学校長の確認状況等（応募資格について確認した書類等を記入してください。）

上記の者は、引揚生徒対象の応募資格があることを確認しました。

年　　月　　日

校長名 ＿＿＿＿＿＿立 ＿＿＿＿＿＿中学校長 ＿＿＿＿＿＿＿＿　公印

（様式 29）（Ａ４判）

受付番号

引揚生徒の都立高等学校受検に対する配慮申請書

年　　月　　日

東京都教育委員会教育長　殿

保 護 者 住 所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
保 護 者 氏 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　　署）
志願者との続柄＿＿＿＿＿＿＿＿

引揚生徒の受検についての配慮により、下記の者を都立高等学校に受検させたいので申請します。

記

1　志願者

（フリガナ）　（　　）（　　）

(1) 氏　　名（通称名）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

(2) 生　年　月　日　＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日生

(3) 在学（出身）中学校　東京都＿＿＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿中学校＿＿＿年＿＿＿月　卒業 ・ 卒業見込

(4) 現　　住　　所　東京都＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

注意　(1) 氏名欄の（ ）には、住民票記載事項証明書に通称名の記載がある場合に記入してください。
(2) 年齢は、令和９年３月３１日現在とします。

(5) 引 揚 年 月 日　＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日

(6) 引揚前の居住地　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(7) 引揚前の最終学校　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校第＿＿＿＿学年　在学・卒業

(8) 引 揚 後 の 学 校　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校第＿＿＿＿学 年 に 編 入 学

(9) その後に転学又は入学した場合　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校第＿＿＿＿学年に転学・入学
＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校第＿＿＿＿学年に転学・入学

2　引揚者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　志願者との続柄（　　）

3　志願校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）・部

注意　コース又は専門学科を置く高校の場合は、コース名・科（分野）名まで記入してください。

4　志願者の日本語習得状況及び希望する配慮内容（ルビ振り、時間延長等）

5　中学校長の確認状況等（応募資格について確認した書類等を記入してください。）

6　引揚生徒対象との併願の有無　　有　・　無

併願先（引揚生徒対象）学校名　　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

上記のことについて事実と相違ありません。

年　　月　　日

校 長 名＿＿＿＿＿＿立　＿＿＿＿＿＿中学校長＿＿＿＿＿＿＿＿　公印

学校の電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意）

1　本申請書は、学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集、定時制第一次募集及び第二次募集）において、配慮を希望する際に使用します。

2　本申請書は、中学校長を経由して、第一次募集・分割前期募集の場合は令和９年１月５日（火）、分割後期募集・全日制第二次募集の場合は令和９年３月４日（木）、定時制第二次募集の場合は、令和９年３月１５日（月）までに、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に提出してください。

3　配慮申請後に志願の取りやめ又は変更をするときは、申請者は中学校長を経由して、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当に取りやめの連絡をするか、変更後の申請書を直ちに提出してください。

4　中学校に在学していない者は、中学校長を経由する必要はありません。

5　本申請書を提出し、配慮が決定された者は、出願時に自己ＰＲカード（様式12）の提出が必要となります。

（様式 30）（Ａ４判）

受付番号	変更前	
	変更後	

日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）

年　月　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者住所　＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名（自署）　＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者との続柄　＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、日本語指導を必要とする生徒等の都立高等学校受検において学力検査問題等にひらがなのルビを振る配慮を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）　＿＿＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）

2　志願者　(1) 氏名（通称名）　＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿＿＿）

(2) 生年月日　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿日生

(3) 在学（出身）中学校　＿＿＿＿＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿＿＿中学校

(4) 最終入国年月日　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

3　中学校長記入欄

上記のとおり、受検上の配慮が必要であると考えます。

年　月　日

校長名　　立　　中学校長　　公印

学校の電話番号

申請内容について追加する意見があれば記入してください。

（注意）

1　本申請書は、出願書類提出時に志願する都立高校長に提出してください。

2　中学校に在学していない者は、入国後の在日期間が６年以内であることを証明する公的機関発行の書類も併せて提出してください。ただし、中学校長を経由する必要はありません。

3　第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題が、本配慮の対象となります。なお、在京外国人生徒等対象の選抜における検査問題については、ひらがなのルビを振った問題で実施するため、本申請書を提出する必要はありません。

（様式 31）（Ａ４判）

受付番号	変更前	
	変更後	

日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査実施上の配慮申請書（ルビ付問題・辞書持込み）

年　月　日

東京都立＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者住所　＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名（自署）　＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者との続柄　＿＿＿＿＿＿

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の規定により、日本語指導を必要とする生徒等の都立高等学校受検において、ひらがなのルビを振った学力検査問題での検査の実施に加え、辞書の持込み及び検査時間の延長の配慮を下記のとおり申請します。

記

1　志願校名　東京都立＿＿＿＿＿＿高等学校（全・定）＿＿＿＿＿＿コース・科（分野）

2　志願者　(1) 氏名（通称名）　＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

(2) 生年月日　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿＿日生

(3) 在学（出身）中学校　＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿中学校

(4) 最終入国年月日　＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿＿日

(5) 入国前の最終学校（国名・都市名）　＿＿＿＿＿＿＿＿

上記のことについて事実と相違ありません。

年　月　日

校長名　＿＿＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿中学校長　＿＿＿＿＿＿＿＿　公印

（注意）

1　本申請書は、出願書類提出時に志願する都立高校長に提出してください。

2　中学校に在学していない者は、入国後の在日期間が３年以内であることを証明する公的機関発行の書類も併せて提出してください。ただし、中学校長を経由する必要はありません。

3　持ち込める辞書は、希望する外国語について、日本語に対する当該外国語の訳が記載されている辞書１冊、当該外国語に対する日本語の訳が記載されている辞書１冊の合計２冊を原則とします（例：日中辞典と中日辞典）。

なお、持ち込む辞書は、第一次募集・分割前期募集は令和９年２月８日（月）から令和９年２月１２日（金）正午まで、分割後期募集・第二次募集は令和９年３月４日（木）から令和９年３月８日（月）正午までに、受検する都立高校長に提出してください。ただし、辞書に書込みがある場合など、志願先の都立高校長の判断により、提出した辞書が使用できないことがあります。

4　電子辞書は使用できません。

5　第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題が、本配慮の対象となります。

6　辞書の持込みに伴い、各教科１０分の検査時間の延長があります（別室）。ただし、国語の検査では辞書の持込みはできません。また、国語の検査では、時間延長はありません。

（様式32）（Ａ４判）　　中学校　学校番号

令和9年度東京都立高等学校入学者選抜 志願者一覧 （ 兼 受付簿 ）

東京都立　　高等学校長 殿　　志願者一覧：　　枚中の　　枚目　　成績一覧表同封の有無：

（　　コース・科〔 分野 〕・部 ）　　志願者合計：　　名　（男子　　名　・女子　　名）　※志願者一覧全枚数の合計

※学科等ごとに1枚ずつ作成

No.	受検番号	受検番号2 （※併願者のみ）	氏　名	性別（○を付ける。）		同封する書類												備 考
				男子	女子	調査書	入学願書	入学考査料領収証書								資格審査	ルビ申請	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		

※中学校は、同封する「出願に要する書類」について志願者ごとに記入してください。色付きのセル内については必ず記入してください。また、紙の入学願書及び入学考査料領収証書を同封した場合は○を記入してください。

※一般推薦書、特別推薦書、自己PRカード、スピーキングテスト個人レポートを同封する場合は、「同封する書類」欄からプルダウンにより選択し、志願者ごとに○を記入してください。

※自己申告書等、プルダウンのリストにない書類を同封する場合は、「同封する書類」欄に直接記入してください。

※入学願書、調査書、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）個人レポート等の出願書類における氏名の表記（漢字等）を統一することができない場合は、備考欄にその旨を記入してください。

※志願者一覧が複数枚にわたる場合、2枚目以降の「No.」欄は通し番号になるように中学校が修正をするようお願いします。

※学校番号は、令和9年度東京都立高等学校入学者選抜実施要項・同細目（P228～238）を参照してください。

（様式33）

令和9年度　東京都立高等学校入学願書

〔追検査用様式〕

東京都立 [　　] 高等学校長　殿

貴校への入学を志願します。

受検番号	※

志望校	高　校 コース 科(分野) 部	ルビ振り等受検上の配慮希望 ルビ付問題 / ルビ付問題・辞書持込み
志願者	フリガナ	
	氏　名	
	生年月日	年　月　日　歳
	現住所（出願時の住所）	〒
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業見込・卒業
保護者	現住所（出願時の住所）	〒　(電話)
	入学式までに転居予定の人は入学後の住所	〒　(電話)

写真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）
・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

切り取らないこと。

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。
なお、事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

保護者氏名
（自署）

志願者との続柄

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

年　月　日

立　中学校長　公印

（電話）

令和9年度　都立高等学校受検票　〔追検査〕

受検番号	※

ルビ振り等受検上の配慮希望
ルビ付問題 / ルビ付問題・辞書持込み

フリガナ	
受検者氏名	
在学（出身）中学校名	立　中学校
学力検査会場名	※
その他の検査会場名	※

・検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

1　検査日時及び時間割

令和９年３月　９日（火）　午前８時３０分集合

(1)　時間割
第１時限　国語　午前　９時００分　～　午前　９時５０分
第２時限　数学　午前１０時１０分　～　午前１１時００分
第３時限　英語　午前１１時２０分　～　午後　０時１０分
その他、各高校が実施する検査については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
なお、検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

(2)　持ってくるもの
受検票、ＨＢ又はＢの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、上履き
なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

2　合格発表日時

令和９年３月１２日（金）　午前８時３０分（合否照会サイト上で発表※）
正午（校内掲示）

※　合格発表は合否照会サイトで行う予定です。
（サイトのURLについては、各高校から別途お知らせします。）

※　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

（受検票・裏）

≪ 入学願書提出期間 ≫
令和９年３月４日（木）　午前９時～午後３時

（のりしろ）

（のりしろ）

領 収 証 書 貼 付 欄

貼る前に領収証書を
確認してください。

１　金融機関（銀行・郵便局等）の領収印はありますか？

２　端の色と金額は？

・全日制の人は、桃色(2, 200円)です。
・定時制の人は、水色(950円)です。

入学考査料は、納付書裏面に記載の納付場所で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

入学考査料納付後の領収証書は、入学願書受付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付けてください。

（のりしろ）

（のりしろ）

（「(様式33)」の裏面）

入 学 願 書 記 入 上 の 注 意

1　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

2　入学願書提出時
志願校欄に学校名及びコース、科（分野）、部名を記入してください。

3　同一の学校が、２科（２分野）又は２部以上募集する場合であっても、志望の順位を付けることができません。追検査では、同一の学校で普通科とコース、普通科と商業科、農業科と家庭科など異なる学科が募集する場合であっても、学科を越えて志望の順位を付けることができません。

4　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は本名の後に通称名を（　）を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

5　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

6　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

7　出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。

8　在学（出身）中学校名の欄には、都外の中学校の場合、道府県名から記入してください。

9　保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入しても構いません。

10　ルビ振り等受検上の配慮希望欄
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として６年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題」に赤色で○印を記入してください。
国籍を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として３年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する受検上の配慮（ルビ付問題・辞書持込み）を希望する者は、ルビ振り等受検上の配慮希望欄の「ルビ付問題・辞書持込み」に赤色で○印を記入してください。
なお、申請に当たっては、所定の申請書等の提出は不要です。

11　保護者氏名は必ず自署してください。

12　都内の中学校に在学していない者は、中学校名、中学校長名、中学校の電話番号の記入及び中学校長の公印の押印は必要ありません。

13　黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

14　※欄は記入しないでください。

個人情報の提供に関する同意署名欄（任意）

私は、東京都立高等学校入学者選抜（追検査）における検査結果の全て【(1) 受検番号(2) 氏名(3) 在籍学校名(4) 学力検査の得点(5) 面接の得点(6) 小論文・作文の得点(7) 実技検査の得点(8)学校設定検査の得点(9)志願申告書の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和　　年　　月　　日　（署名）

（注意）※　上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。
※　在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。
※　都内の中学校に在学していない者は、記入の必要はありません。

（様式34）

4月

令和9年度
東京都立高等学校入学願書（全日制）

（保護者の転勤等に伴う4月入学者募集）

全

東京都立　　高等学校長　殿

受検番号	※

貴校への入学を志願します。

志望校	高校	科（分野）

合格している学科・学科

立　　高　校　　科

志願者	フリガナ	
	氏　　名	
	生年月日	年　月　日　歳
	在学（出身）中学校名	立　中学校
	卒業年月	年　月　卒業

写　真
正面上半身脱帽
（4cm×3cm）

・令和8年10月1日以降に撮影したもの
・カラー・白黒どちらでも可

事実に反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　月　日

現住所

保護者　氏名（自署）　　志願者との続柄

電話

令和9年度　都立高等学校受検票

（保護者の転勤等に伴う4月入学者募集）

4月

受検番号	※
フリガナ	
受検者氏名	
検査会場名	※

1　検査日時
　令和9年4月　　日（　　）
　午前8時30分集合

2　時間割
　第1時限　国語　午前　9時00分　～　午前　9時50分
　第2時限　数学　午前10時10分　～　午前11時00分
　第3時限　英語　午前11時20分　～　午後　0時10分
　第4時限　面接　午後　1時00分　～

3　持ってくるもの
　受検票、鉛筆、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き
　なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

4　合格発表日時
　令和9年4月　　日（　　）
　　時　　分

5　その他
　この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

※　検査中に不正行為が確認された場合、厳正に対応する。

いずれかの都立高等学校に合格した場合は、入学手続を行っていなくても、その日以降、都立高等学校に出願することはできません。

（受検票・裏）

≪入学願書提出期間≫

・前期日程実施校　令和９年４月１日（木）　　午前９時から午後３時まで

・後期日程実施校　令和９年４月５日（月）　　午前９時から午後３時まで

（「（様式34）」の裏面）

―入 学 願 書 記 入 上 の 注 意―

１　高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。

２　志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているとおりの氏名を記入してください。

外国籍を有し住民票に通称名が記載されていて、受検票に通称名のみの記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は、本名の後に通称名を（　）を付して記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。

３　生年月日の欄の年齢は、令和９年３月３１日現在で記入してください。

４　住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目８番１号」は「西新宿２－８－１」と記入しても構いません。

５　在学（出身）中学校名の欄には、道府県名から記入してください。

６　入学考査料は、志願先の高校の窓口において、現金で納付してください。ただし、納付したものは、いかなる理由でも還付しません。

７　※欄は記入しないでください。

（様式応１）（Ａ４判）

受付番号	受検番号
※	※

東京都立高等学校出願承認申請書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者氏名(自署)
志願者との続柄

下記の者を貴校に入学させたいので、出願の承認を申請します。

記

1　志願者

フリガナ 氏　　名		現住所	
在学（出身）中学校	中学校	年　　月	卒業見込 卒業

2　家族構成（保護者は、同居、別居にかかわらず、必ず記入してください。）

志願者との続柄		フリガナ 氏　　名	現　　住　　所
保護者			
保護者			

3　出願申請理由（該当する事項の番号を○で囲んでください。）

1　都内在住者で都外の中学校等に在学している者又は都内在住者で中学校等を既に卒業した者
2　入学日までに都内の島しょに転居することが確実な者
3　都外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者

（注意）1　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類を併せて提出してください。
2　海外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者は、この申請書を提出する必要はありません。
3　応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとします。
4　※欄は記入しないでください。

（様式応２）（Ａ４判）

不 受 検 証 明 書

卒業見込

道府県　　立　　中学校　　（該当しない方を二重線で消してください。）

卒　　業

生徒（志願者）氏　名

住　所

上記の者の保護者から＿＿＿＿道府県の公立高等学校等を志願しない旨の申出があったことを証明します。

年　　月　　日

道　府　県　　立　　中学校長

氏　　名　　公印

年　　月　　日

道府県教育委員会教育長

氏　　名　　公印

（注意）

１　道府県所定の様式も使用することができます。

２　中学校に在学していない者は、中学校長の証明は必要ありません。

（様式応３）（Ａ４判）

住 民 票 記 載 事 項 証 明 書

①住所		②世帯主 氏名	

③氏名	④生年月日	⑤住所を定めた 年月日	⑥世帯主との 続柄	⑦国籍・地域

※都立高校 使用欄
旅・在・他

上記事項は住民票に記載があることを証明します。

年　　月　　日

区市町村長氏名

公印

【都立高校使用欄】
＊外国籍を有する志願者のうち、在日期間の確認が必要な志願者の上陸許可年月日を記入する（志願者のみの確認でよい。）。
＊上陸許可年月日を確認した書類の種類（旅券、在留カード、その他）について、「旅・在・他」のいずれかを○で囲む。

（注意）１　証明を要する者について、住民票に記載されているとおり枠内に記入し、令和８年１１月１日以降に証明を受けてください。
２　区市町村所定の様式も使用することができます。ただし、上記①から⑥に該当する項目が含まれていることが必要です。
３　志願者が成人の場合は、保護者についての記載は不要です。
４　志願者が外国籍の場合は、⑦の国籍・地域についても証明を受けてください（志願者以外については、証明は必要ありません。）。
なお、住民票に通称名が記載されている場合は、「氏名」欄に括弧書きで通称名の証明を受けてください。

（様式応４）（Ａ４判）

転 居 に 関 す る 申 立 書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）
志願者との続柄＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび、下記のとおり転居しますのでよろしくお願いします。

記

1　転居先住所

志願者との続柄		フリガナ 氏　名	転　居　先　住　所
保護者			

2　転居予定年月日

年　月　日　転居予定

3　転居理由

（注意）１　転居を証明する書類を添付してください。
２　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類を併せて提出してください。
３　応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとします。

（様式応５）（Ａ４判）

帰 国 等 に 関 す る 申 立 書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

保護者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者と家族の帰国（入国）予定についての状況は下記のとおり相違ありません。

記

1　家族の状況

氏　　名	志願者との続柄	現　住　所	勤　務　先（学　校　名）	帰国（入国）予定年月	帰国（入国）後の住所
	本人			年　月	
	保護者				
	保護者				

（注意）保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類を併せて提出してください。

2　日本国籍を有する志願者で、特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、その理由及び身元引受人

理　由				
身元引受人	氏　　名	志願者との続柄	住　　所	電　話　番　号

（注意）上記２の場合、身元引受人承諾書（様式応６）及び保護者が帰国できない理由を証明する書類（海外における勤務証明書等）を併せて提出してください。

（様式応６）（Ａ４判）

身 元 引 受 人 承 諾 書

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

志願者の帰国後の住所

志 願 者 氏 名

上記の者が貴校を受検するに当たり、志願者の保護者が帰国するまでの間、志願者の身元引受人となることを承諾します。

年　　月　　日

現　　住　　所　　東京都

身元引受人氏名(自署)

志願者との続柄等

（注意）身元引受人は、都内在住者で、保護者が帰国するまでの間、保護者に代わる者で志願者と同居することが確実な者とします。

（様式応７）（Ａ４判）

受検番号

理　由　書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

志願者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者の保護者である（　父　・　母　）が都内に志願者と同居できない理由は下記のとおりです。

記

1　志願者と同居できない保護者

志願者との続柄	フリガナ 氏名	現住所
父　・　母		

2　志願者と同居できない理由等

理　由	
証明する書類	

※　父又は母が志願者と都内に同居できない理由（志願者の祖父母の介護、保護者の病気療養等）及び志願者が父母のどちらか一方と都内に同居した方が身上監護を受けられる理由を明記します。

※　同居できない理由を証明する書類の名称を記入し、その書類の写しを本理由書に添付し、提出します。

3　その他確認事項（内容を確認の上、□内にレ印を記入してください。）

□　都立高校へ入学手続をするため、一時的に都内に住所を有し、入学後再び都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居することはありません。

□　都立高校の受検を目的として、都内に転居するものではありません。

□　父又は母が、志願者と都内に同居できない理由が解消された場合は、速やかに都内に転居します。

以上のとおり相違ありません。

なお、上記事項の記載について、重要事項の誤記又は不備その他事実に反する記載によって入学したと認められる場合は、入学を取り消されても異存ありません。

年　　月　　日

保護者氏名（自署）

（電話　　）

（注意）１　本書類は、保護者が父母である者で、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できない場合に提出します。

２　都内の中学校に在学している者は、本書類を提出する必要はありません。

３　都立高校へ入学手続をするため、一時的に都内に住所を有し、入学後再び都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する場合は、応募することはできません。

４　応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとします。

チャレンジスクール用

受検番号

志　願　申　告　書

年　　月　　日

東京都立＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

私が貴校を受検するに当たり、入学を希望する理由と特にＰＲしたいことは、次のとおりです。

1　入学を希望する理由

（この学校に入学したい理由について記入しましょう。）

2　将来の夢・希望

（将来の夢や希望について記入しましょう。）

3　高校生活への抱負

①教科の学習

（この学校で、教科の学習活動で特に力を入れたいことを具体的に記入しましょう。）

②教科以外での活動

（生徒会活動、学校行事、部活動など、教科以外での活動で特に力を入れたいことを具体的に記入しましょう。）

4　自己ＰＲ

（入学を希望するに当たって、自分が特にＰＲしたいことを記入しましょう。）

（注意）上記１から４までについて、志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成してください。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

なお、保護者氏名の欄を除き、コピー等鮮明な表記のものは認めます。

第３　東京都立高等学校応募資格審査取扱要項

令和９年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱第２－３－２(1)から(4)までのいずれかに該当している者で、出願を認められる者の応募資格審査の取扱いはこの要項の定めるところによる。

１　都内在住者で都外の中学校等に在学している者又は都内在住者で中学校等を既に卒業した者
（都内在住者で外国において学校教育における９年の課程を修了した者を含む。）　…… ３３６ページ
２　入学日までに都内の島しょに転居することが確実な者　…… ３３８ページ
３　都外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者　…… ３４０ページ
４　海外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者　…… ３４２ページ

全日制第二次募集への応募について

全日制第二次募集の出願に要する応募資格審査関係書類の様式は、全日制第一次募集と同様である。

全日制第二次募集においては、募集校の発表日と出願日が近接しているので、入学願書を除く応募資格審査関係書類は、事前に複数枚用意すること（写しでもよい。ただし、調査書は、公印のある厳封されたものが必要。）。

＜特別の事情として認められる事情及び必要書類＞

区分	父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない特別の事情	父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類	応募資格審査取扱要項の該当項目
A	父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由が、介護、病気療養（又は出産）のためであり、志願者にとって、都内に転入（在住）する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合 ※　介護については、志願者の２親等内の親族が、要介護２、３、４、５である場合を対象とします。要介護１、要支援１、２である場合、対象とはなりません。 ※　病気療養については、志願者の保護者又は志願者の兄弟姉妹が病気療養中である場合を対象とします。	〔介護の場合〕 ・介護保険被保険者証（原本） ・介護者と被介護者の関係が分かる書類（戸籍謄本、戸籍抄本、住民票記載事項証明書等の原本） 〔病気療養の場合〕 ・医師の診断書（都内に転入できない理由が記載されているもの）（原本） 〔出産の場合〕 ・母子健康手帳（原本） ※　郵送で提出する場合、上記二重下線の書類については写しを提出してください。ただし、合格後、入学日までに原本を提示して確認を受けてください。	１、３、４
B	父母のどちらか一方が都内に転入する理由が、介護のためであり、志願者にとって、都内に転入する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合 ※　介護については、志願者の２親等内の親族が、要介護２、３、４、５である場合を対象とします。要介護１、要支援１、２である場合、対象とはなりません。	・介護保険被保険者証（原本） 〔都内に転入できない父又は母〕 ・他道府県における勤務証明書等（原本） ・介護者と被介護者の関係が分かる書類（戸籍謄本、戸籍抄本、住民票記載事項証明書等の原本） ※　郵送で提出する場合、上記二重下線の書類については写しを提出してください。ただし、合格後、入学日までに原本を提示して確認を受けてください。	３
C	父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由が、父と母が離婚調停中のためであり、志願者にとって、都内に転入（在住）する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合	・事件係属証明書等（原本）	１、３、４
D	日本国籍を有する志願者の父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由が、海外勤務の継続のためであり、志願者にとって、海外から都内に転入又は都内に在住する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合 ※　父母の両方が帰国できない場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいること、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母の一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが必要です。	・海外における勤務証明書等（入学日以降も海外における勤務継続予定が確認できるもの）（原本）	４

◆　都立高校は、特別の事情について、志願者から応募資格の確認を受けた場合は、上記の表に基づき応募資格の有無を判断すること。

◆　東京都教育委員会において事前の資格確認を受けた志願者に対して、東京都教育委員会が「特別の事情確認証」を発行する。都立高校においては、出願時に「特別の事情確認証」の提出のあった志願者について、保護者要件に関する応募資格審査を行わなくてよい。

１　都内在住者で都外の中学校等に在学している者又は都内在住者で中学校等を既に卒業した者（都内在住者で外国において学校教育における９年の課程を修了した者を含む。）

一　応募資格

高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次の(1)に該当し、かつ、(2)に該当する者

(1) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を令和９年３月に卒業する見込みの者又は既に卒業した者（外国において学校教育における９年の課程を修了した者を含む。）

(2) 保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）とともに都内に住所を有し、入学後も保護者と同居し、引き続き都内から通学することが確実な者。ただし、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

また、都内に住所を有し、都外の中学校に在学している者のうち、次のアからエまでのいずれかに該当すると中学校の校長が認める者については、具申書（東京都立高等学校入学者選抜実施要綱において定めた様式）を提出すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

ア　父母のどちらか一方又は父と母が行方不明で、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

イ　父母のどちらか一方又は父と母が療養・転勤のため、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

ウ　父と母が離婚したため又は離婚するため別居している場合で、父母のどちらか一方又はおじ等と同居している者

エ　その他、志願者と保護者がやむを得ず別居中であると認められる者

※　海外帰国生徒対象の選抜又は在京外国人生徒等対象の選抜に出願する場合は、上記に加え海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱に記載された応募資格にも該当する必要がある。

二　出願方法

(1) 提出期間

書類提出期間又は出願日とする。

(2) 提出先

志願する都立高校の校長

(3) 出願に要する書類等

ア　東京都立高等学校出願承認申請書（様式応１）

イ　前記一の(2)ただし書に該当する場合は、特別の事情を示す書類

(ｱ) 理由書（様式応７）

志願者が父母のどちらか一方と都内に同居した方が身上監護を受けられる理由を明記すること。

(ｲ) 父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

※　特別の事情として認められる事情及び必要書類（３３５ページ）を参照し、該当の書類を提出する。

ウ　入学願書（所定の用紙）

（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）においては、出願サイトへの入力による。）

エ　志願者及び保護者を記載した住民票記載事項証明書（様式応３）

（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの）

オ　入学考査料

全日制高等学校　　２，２００円

（出願サイト上での決済（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）に出願する場合のみ）又は所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所に納めること。ただし、一旦納付したものは還付しない。）

カ　調査書（所定の用紙）及び成績一覧表（在学している中学校の校長が作成したもの）

※　成績一覧表は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校の校長に提出する。

キ　自己ＰＲカード（所定の用紙）（面接実施校の志願者のみ）

ク　中学校英語スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）

（中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）（以下「スピーキングテスト」という。）を受験した者のみ提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。）

ケ　具申書（所定の様式）

※　中学校の校長が前記一の(2)アからエまでのいずれかに該当すると認めた者のみ提出する。

コ　学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）において、郵送により出願する場合は、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の切手を貼り付けたもの）を同封すること。

三　その他

(1) 応募資格の審査は志願校の校長が行い、出願を承認し、入学願書を受理したときは受検票を交付する。

(2) 応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとする。

(3) 前記二の(3)カについて、外国において学校教育における９年の課程を修了した者は、成績証明書又はこれに代わるもの（外国において学校教育における９年の課程が修了したことが分かる卒業証明書等）を提出する。

また、卒業者は成績一覧表を提出する必要はない。令和９年３月３１日現在満２０歳以上の者（平成１９年４月１日以前に出生した者）は、調査書の代わりに卒業証明書を提出する。

２　入学日までに都内の島しょに転居することが確実な者

一　応募資格

高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次の(1)アからウまでのいずれかに該当し、かつ、(2)に該当する者

(1) ア　都外に所在する学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を令和９年３月に卒業する見込みの者

イ　中学校を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９５条の各号のいずれかに該当する者

※　都内の中学校を令和９年３月に卒業する見込みの者又は島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者は、本項によらず、島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書（様式15-2）等の提出により、応募資格審査に代える。

(2) 保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）の１人以上とともに、令和９年４月の入学日までに都内の島しょ（以下「島しょ」という。）に転居し、入学後も保護者と同居し、引き続き当該島しょから通学することが確実な者

なお、都立高校へ入学手続をするため、一時的に当該島しょに住所を有し、入学後再び当該島しょ以外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する場合は、応募することはできない。

二　出願方法

(1) 提出期間

書類提出期間又は出願日とする。

(2) 提出先

志願する都立高校の校長

(3) 出願に要する書類等

ア　東京都立高等学校出願承認申請書（様式応１）

イ　不受検証明書（様式応２）（都外在住者のみ）

※　道府県教育委員会教育長及び中学校の校長による当該道府県の公立高等学校等を志願しないことを証明する書類

ウ　転居に関する申立書（様式応４）

エ　転居を証明する書類

(ｱ) 新たに島しょに住居を持つ場合

契約書の写し（売買、賃貸）、転居証明書（社宅等）、当選通知書の写し（公共住宅）、確認済証（建築物）の写し

なお、写しの場合は原本を持参し、確認後返却を受けること。ただし、郵送により書類を提出する場合は、合格後に原本による確認を受けること。

(ｲ) 既に島しょに在住している親族等と同居する場合

親族等の住民票記載事項証明書（様式応３（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの））及び同居同意書（様式任意）

オ　入学願書（所定の用紙）

（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集）においては、出願サイトへの入力による。）

カ　入学考査料

全日制高等学校　　２，２００円

（出願サイト上での決済（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集）に出願する場合のみ）又は所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所に納めること。ただし、一旦納付したものは還付しない。）

キ　調査書（所定の用紙）及び成績一覧表（在学している中学校の校長が作成したもの）

※　成績一覧表は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校の校長に提出する。

ク　自己ＰＲカード（所定の用紙）（面接実施校の志願者のみ）

ケ　中学校英語スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）

（中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）（以下「スピーキングテスト」という。）を受験した者のみ提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。）

コ　学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集）において、郵送により出願する場合は、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の切手を貼り付けたもの）を同封すること。

三　その他

(1) 応募資格の審査は志願校の校長が行い、出願を承認し、入学願書を受理したときは受検票を交付する。

(2) 応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとする。

(3) 入学日までに、入学を予定している都立高校の校長に住民票記載事項証明書（様式応３（申請した島しょの住所に本人及び保護者が転居したことを確認できるもの））を提出する。

３　都外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者

一　応募資格

高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者で、次の(1)アからウまでのいずれかに該当し、かつ、(2)に該当する者

(1) ア　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に規定する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を令和９年３月に卒業する見込みの者

イ　中学校を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９５条の各号のいずれかに該当する者

(2) 保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）とともに、令和９年４月の入学日までに都内に転入し、入学後も保護者と同居し、引き続き都内から通学することが確実な者。ただし、保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

なお、都立高校へ入学手続をするため、一時的に都内に住所を有し、入学後再び都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する場合は、応募することはできない。

※　海外帰国生徒対象の選抜又は在京外国人生徒等対象の選抜に出願する場合は、上記に加え海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱に記載された応募資格にも該当する必要がある。

二　出願方法

(1) 提出期間

書類提出期間又は出願日とする。

(2) 提出先

志願する都立高校の校長

(3) 出願に要する書類等

ア　東京都立高等学校出願承認申請書（様式応１）

イ　不受検証明書（様式応２）

※　道府県教育委員会教育長及び中学校の校長による当該道府県の公立高等学校等を志願しないことを証明する書類

ウ　転居に関する申立書（様式応４）

※　出願時に、保護者が都内在住で志願者が都外在住の場合には、保護者の住民票記載事項証明書（様式応３（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの））及び同居同意書（様式任意）を転居を証明する書類とし、この場合に限り、省略してもよい。

エ　転居を証明する書類

(ｱ) 新たに都内に住居を持つ場合

契約書の写し（売買、賃貸）、転居証明書（社宅等）、当選通知書の写し（公共住宅）、確認済証（建築物）の写し

なお、写しの場合は原本を持参し、確認後返却を受けること。ただし、郵送により書類を提出する場合は、合格後に原本による確認を受けること。

(ｲ) 既に都内に在住している親族等と同居する場合

親族等の住民票記載事項証明書（様式応３（令和８年１１月１日以降に区市町村長が発行したもの））及び同居同意書（様式任意）

オ　前記一の(2)ただし書に該当する場合は、特別の事情を示す書類

(ｱ) 理由書（様式応７）

志願者が父母のどちらか一方と都内に同居した方が身上監護を受けられる理由を明記する。

(ｲ) 父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

※　特別の事情として認められる事情及び必要書類（３３５ページ）を参照し、該当の書類を提出する。

カ　入学願書（所定の用紙）

（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）においては、出願サイトへの入力による。）

キ　入学考査料

全日制高等学校　　２，２００円

（出願サイト上での決済（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）に出願する場合のみ）又は所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所に納めること。ただし、一旦納付したものは還付しない。）

ク　調査書（所定の用紙）及び成績一覧表（在学している中学校の校長が作成したもの）

※　成績一覧表は、在学している中学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校の校長に提出する。

ケ　自己ＰＲカード（所定の用紙）（面接実施校の志願者のみ）

コ　中学校英語スピーキングテスト個人レポート（都立高校提出用）

（中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）（以下「スピーキングテスト」という。）を受験した者のみ提出する。やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できない又は受験できなかったことについて東京都教育委員会の承認を受けた志願者は、個人レポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書を提出する。）

サ　学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）において、郵送により出願する場合は、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の切手を貼り付けたもの）を同封すること。

三　その他

(1) 応募資格の審査は志願校の校長が行い、出願を承認し、入学願書を受理したときは受検票を交付する。

(2) 応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとする。

(3) 入学日までに、入学を予定している都立高校の校長に住民票記載事項証明書（様式応３（申請した都内の住所に本人及び保護者が転居したことを確認できるもの））を提出する。

４　海外在住者で入学日までに都内に転入することが確実な者

一　応募資格

海外在住者で、次の(1)アからウまでのいずれかに該当し、かつ、(2)に該当する者

(1) ア　外国の学校（現地校）において、学校教育における９年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了する見込みの者

イ　文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（日本人学校）の当該課程を修了した者又は令和９年３月に修了する見込みの者

ウ　日本の中学校を卒業した者

(2) 保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）とともに、令和９年４月の入学日までに都内に住所を有し、入学後も保護者と同居し、引き続き都内から通学することが確実な者。ただし、保護者については以下の場合も含む。

ア　保護者が父母である場合、父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、父又は母のどちらか一方と同居すればよい（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

イ　日本国籍を有する志願者で、特別の事情により保護者が帰国できず、志願者のみが帰国する場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいて、かつ、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母のどちらか一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが確実であること（応募資格の審査を受け、承認を得た場合に限る。）。

なお、都立高校へ入学手続をするため、一時的に都内に住所を有し、入学後再び都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する場合は、応募することはできない。

※　海外帰国生徒対象の選抜又は在京外国人生徒等対象の選抜に出願する場合は、上記に加え海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱に記載された応募資格にも該当する必要がある。

二　出願方法

(1) 提出期間　　書類提出期間又は出願日とする。

(2) 提出先　　志願する都立高校の校長

(3) 出願に要する書類等

ア　帰国等に関する申立書（様式応５）

イ　前記一の(2)アに該当する場合は、理由書（様式応７）及び父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由を証明する書類

ウ　前記一の(2)イに該当する場合は、身元引受人承諾書（様式応６）及び保護者が帰国できない理由を証明する書類（海外における勤務証明書等）

エ　入学願書（所定の用紙）

（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）においては、出願サイトへの入力による。）

オ　入学考査料

全日制高等学校　　２，２００円

（出願サイト上での決済（学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）に出願する場合のみ）又は所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所に納めること。ただし、一旦納付したものは還付しない。）

カ　日本人学校の場合は、調査書（所定の用紙）及び成績一覧表（在学している学校の校長が作成したもの）。現地校の場合は、最終学校の成績証明書（学校教育における９年の課程が修了したことが分かる卒業証明書等）又はこれに代わるもの。日本の中学校を卒業した者の場合は、調査書（所定の用紙）

※　成績一覧表は、在学している学校の校長が親展扱いで、生徒が出願を予定している都立高校の校長に提出する。

キ　自己ＰＲカード（所定の用紙）（面接実施校の志願者のみ）

ク　学力検査に基づく選抜（全日制第一次募集等）において、郵送により出願する場合は、受検票返送用の定形（長形３号）の封筒（返信時の宛先として、志願者の住所・氏名等を明記の上、簡易書留郵便による郵送料相当分の切手を貼り付けたもの）を同封すること。

なお、受検票返送先は国内の住所とし、これにより難い場合は志願校に問い合わせること。

三　その他

(1) 応募資格の審査は志願校の校長が行い、出願を承認し、入学願書を受理したときは受検票を交付する。

(2) 応募資格に違反し、又は事実に反する記載により出願を承認された者は、出願の承認を取り消すものとする。

(3) 入学日までに、入学を予定している都立高校の校長に、住民票記載事項証明書（様式応３（帰国（入国）後の住所として申請した都内の住所に本人及び保護者が転居したことを確認できるもの））を提出する。

なお、前記一の(2)イに該当する場合は、入学日に、本人及び身元引受人の住民票記載事項証明書を提出するとともに、１年以内に保護者が帰国した時点で、保護者の住民票記載事項証明書を提出する。

「令和９年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目」

令和８年９月発行
東京都教育委員会印刷物登録
令和８年度　第２９号

編集・発行　東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課
〒163-8001
東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電話　０３（５３２０）６７４５

印刷・製本　山浦印刷株式会社

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

〒163-8001　東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当
電　話　０３（５３２０）６７４５（直通）

※　実施要綱、細目等についての御質問は、各学校の管理職又は区市町村教育委員会を通して、まとめてお問い合わせください。

問合せ時間　月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）午前９時から正午まで
午後１時から午後５時まで